

令和2（2020）年度

「授業評価アンケート」報告書

令和3（2021）年9月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長

山本政人

本報告書は、令和2（2020）年度に実施した「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一環として「学生による授業評価アンケート」を年2回各学期末に実施しており、令和2年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって15年目を迎えた。しかし、新型コロナウイルスの影響で例年通り授業内に集合形式で実施することが叶わず、アンケートが始まって以来、初めてのWebでの実施となった。未曾有の事態に学生も教員も手探りで授業に取り組んだ極めて特殊な年であったのではないだろうか。

集計された「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。さらに、このアンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、このアンケートの結果を受けて、自部門における授業の実施方法等について、良かった点悪かった点などを評価、分析し、次年度の改善点を第3章「各部門の分析・評価」にて記載している。

第二に、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、第4章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有することができる。

大学を取り巻く環境は日々変化しており、「例年通り」のようにいかない状況が今後も続くことが考えられる。そのため、授業評価アンケートの実施方法や活用用途などその時々状況に応じて柔軟に取り組む必要がある。

また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形でFDに関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学のFD活動の見直しを続けていきたい。

令和3（2021）年9月

目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	4
I. 実施の経緯	5
II. 実施の方法	6
III. 実施にかかる全体的な状況、集計結果	8
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	17
第2章 令和2年度の概観	18
第3章 各部門の分析・評価	29
I. 法学部	31
II. 経済学部	40
III. 文学部	49
IV. 理学部	64
V. 国際社会科学部	71
VI. 計算機センター	82
VII. 外国語教育研究センター	89
VIII. スポーツ・健康科学センター	97
IX. 基礎教養科目運営委員会	103
X. 教職課程	110
XI. 学芸員課程委員会	115
第4章 授業への取り組み例	120
第5章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	161
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	178

第1章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の情報共有等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、各学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況や、経済学部、法学部法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは実施を予定）していた授業評価アンケートについての報告がなされた。

その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。

委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされた。委員会では、そのために取り組むべき活動として、全学的な「学生による授業評価アンケート」の実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動に活かすための基礎的な情報収集という意味を持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられるためである。

その後、FD推進委員会においては、「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」及び、学習院個人情報保護規程をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これらのガイドラインにもとづき、平成18（2006）年度、全学的な「学生による授業評価アンケート」が初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるFD活動の基礎として、改善を加えながら毎年度実施されている。また、平成27（2015）年度からは、この結果を活用した授業改善のためのFD研修会等も継続して実施しており、部局が異なる教員間での忌憚ない情報交換の機会となっている。令和2年度はコロナ禍により集合形式でのFD活動ができなかったため、オンデマンド形式でのFDコンテンツ動画『授業評価アンケート令和元年度の概観－教員向けアンケートと授業評価アンケートの結合結果－』を教員へ発信している。

II. 実施の方法

第1学期は9月、第2学期は1月の所定の期間中（各約2週間）に、Web アンケート形式にて実施した。LMS(ラーニングマネジメントシステム)上にシステムのログイン用 URL を記したお知らせを掲載し、回答を促した。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第1学期：第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期：第2学期科目及び通年科目

注1. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

2. 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目は対象外。

3. 回答者数が5名以下の科目は、集計結果の担当教員へのフィードバックを行わず、また、各種集計データに含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
基礎教養科目運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として「5.強く思う」～「1.全くそう思わない」の5段階の評価方式としている。（別途指定のある設問・枝問を除く）

実際に使用された設問項目を以下に掲載する。

No.	設 問
Q1	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた
Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）
Q3	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
Q3-2	※Q3で「2.あまりそう思わない」「1.全くそう思わない」を選んだ人は回答不要です 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5：4.5時間以上 4：3時間以上 4.5時間未満 3：2時間以上 3時間未満 2：90分以上 2時間未満 1：90分未満
Q4	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった
Q5	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った
Q6	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
Q7	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
Q8	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた
Q9	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している
Q9-2	※Q9で「2.あまりそう思わない」「1.全くそう思わない」を選んだ人のみ回答してください 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5：多い 4：少ない
Q10	この授業の水準に満足している
Q10-2	※Q10で「2.あまりそう思わない」「1.全くそう思わない」を選んだ人のみ回答してください 授業の水準について、どのように感じましたか 5：高すぎる 4：低すぎる
Q11	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
Q12	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる
Q13	総合的に見てこの授業は高く評価できる
Q14	（自由記述欄） そのほか、意見や気付いた点があれば記入してください（200字まで。プライバシー保護のため、記入内容を担当教員へ直接伝えることはせず、大学として今後の授業改善の参考にいたします）

Ⅲ. 実施にかかる全体的な状況、集計結果

前述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。令和2年度は、対象科目数2,427、実施科目数2,301、実施率94.81%となった。学生の回答率(=延べ回答者数/延べ履修者数)は20.43%であった。

なお、令和2年度は、質問項目を前年度から一部変更している。(Q3,Q4,Q5,Q6,Q7,Q9,Q12が新設)

令和3年3月、授業担当者へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を各教員に送付した。また、同年7月には令和2年度と同様に本学HPページ上で速報(<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/2021/0721-2.html>)を公開し、開設部門別・授業形態別に、前年度と比較できる6項目に関する回答の平均値の経年変化及び回答率の経年変化のグラフを掲載した。

本報告書では、上記に加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化(5年間)を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を掲載している。さらに、授業評価アンケートの結果を受けた「授業への取り組み例」も、引き続き収集し取りまとめている。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第3章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第4章に、「基礎データクロス表」は第5章に掲載する。

1. 実施概要

令和2年度のアンケートは、第1学期は9月1日から9月11日まで、第2学期は1月12日から1月22日までのそれぞれ約2週間に、学部生が履修することのできる科目を対象として Web アンケート形式で行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表1**である。

令和2年度は、対象科目数2,427に対して、実施科目数2,301、実施率は94.81%となり、前年度から若干下落した（前年度比-1.18%）。

一方、集計対象科目における学生の回答率（＝集計対象科目の延べ回答者数／集計対象科目の延べ履修者数）は20.43%と大幅な下落となった。前年度までのような授業内に時間を取り、学生が紙媒体のマークシートに回答する形式から、授業が終了した後に学生各自がオンラインで回答する形式への変化により、このような結果になったと思われる。

また、回答者の種類を表したのが、**図表2**である。例年通り、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向となっている。

図表1 アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

部門別	形態別		実施率			集計対象科目数	集計対象外科目数	回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
計セ	講義		94	92	97.87%	75	17	4,113	1,410	34.28%
	合計		94	92	97.87%	75	17	4,113	1,410	34.28%
外セ	語学		526	495	94.11%	210	285	6,104	1,724	28.24%
	合計		526	495	94.11%	210	285	6,104	1,724	28.24%
スポ健	演習		109	95	87.16%	33	62	845	249	29.47%
	合計		109	95	87.16%	33	62	845	249	29.47%
基礎教養	講義		102	101	99.02%	86	15	11,082	2,180	19.67%
	演習		1	1	100.00%	0	1	0	0	-
	合計		103	102	99.03%	86	16	11,082	2,180	19.67%
法学部	講義		141	136	96.45%	109	27	20,657	3,424	16.58%
	演習		116	97	83.62%	33	64	803	296	36.86%
	合計		257	233	90.66%	142	91	21,460	3,720	17.33%
経済学部	講義		152	146	96.05%	96	50	21,267	3,098	14.57%
	演習		109	85	77.98%	14	71	226	108	47.79%
	合計		261	231	88.51%	110	121	21,493	3,206	14.92%
文学部	講義		265	249	93.96%	160	89	11,330	2,425	21.40%
	演習		322	297	92.24%	98	199	3,214	864	26.88%
	合計		587	546	93.02%	258	288	14,544	3,289	22.61%
理学部	講義		134	127	94.78%	104	23	6,098	1,907	31.27%
	演習		34	34	100.00%	26	8	1,225	412	33.63%
	合計		168	161	95.83%	130	31	7,323	2,319	31.67%
国際社会 科学部	講義		72	68	94.44%	47	21	9,888	1,275	12.89%
	演習		46	36	78.26%	7	29	124	52	41.94%
	語学		150	122	81.33%	36	86	764	297	38.87%
	合計		268	226	84.33%	90	136	10,776	1,624	15.07%
教職課程	講義		34	34	100.00%	19	15	1,260	352	27.94%
	演習		48	47	97.92%	23	24	1,032	251	24.32%
	合計		82	81	98.78%	42	39	2,292	603	26.31%
学芸員	講義		21	21	100.00%	16	5	697	250	35.87%
	演習		9	8	88.89%	0	8	0	0	-
	合計		30	29	96.67%	16	13	697	250	35.87%
形態別	講義計		1,015	974	95.96%	712	262	86,392	16,321	18.89%
	演習計		794	700	88.16%	234	466	7,469	2,232	29.88%
	語学計		676	617	91.27%	246	371	6,868	2,021	29.43%
全科目		2,485	2,291	92.19%	1,192	1,099	100,729	20,574	20.43%	

注1 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 アンケート実施対象科目であっても、実際の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」: 学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」: 授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」: アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」: アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	11,411	5,607	2,909	621	0	0	20,548
大学院生(博士前期課程)	7	6	0	0	0	0	13
大学院生(博士後期課程)	6	0	2	0	0	0	8
科目等履修生(学部)	0	0	0	0	5	0	5
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	0	0	0
他大学生(大学院生含む)	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	11,424	5,613	2,911	621	5	0	20,574

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが**図表3**である。令和2年度までは多少の変動はあるものの、毎年ほぼ同様の傾向となっていたが、令和2年度は令和元年度とは異なる部分もあった。令和2年度の講義科目は25名以下の割合が大きく減り(-14.24%)、51~100名の割合が増えた(+9.18%)。演習科目も25名以下の割合が大きく減り(-30.63%)、26~50名の割合が大きく増えた(+23.68%)。語学科目も他の2科目と同様、25名以下の割合が大きく減り(-26.05%)、26~50名の割合が大きく増えた(+25.65%)結果となった。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26~50名	51~100名	101~150名	151~200名
形態別	講義	科目数	32	124	262	89	54
		%	4.49%	17.42%	36.80%	12.50%	7.58%
	演習	科目数	97	110	23	4	0
%		41.45%	47.01%	9.83%	1.71%	0.00%	
語学	科目数	90	155	1	0	0	
	%	36.59%	63.01%	0.41%	0.00%	0.00%	
合計		科目数	219	389	286	93	54
		%	18.37%	32.63%	23.99%	7.80%	4.53%

			履修者数別					
			201~250名	251~300名	301~350名	351~400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	48	64	19	9	11	712
		%	6.74%	8.99%	2.67%	1.26%	1.54%	100.00%
演習	科目数	%	0	0	0	0	0	234
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
語学	科目数	%	0	0	0	0	0	246
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	48	64	19	9	11	1,192
		%	4.03%	5.37%	1.59%	0.76%	0.92%	100.00%

2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別・形態別」「形態別」「学年別」「履修者数別」に分類し、各項目（主な13項目+ α ）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたものを以下に示す。

別紙 質問項目別単純集計表【第3章各部門頁末、第5章】

3. 授業満足度による集計結果

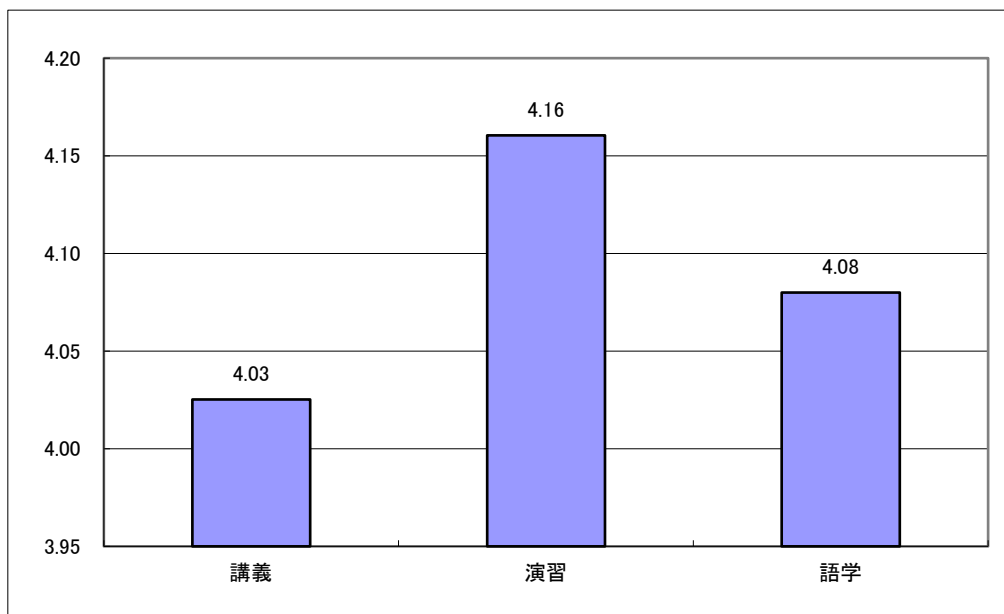
アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計のみでは、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、「Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「授業の形態別」「学部生の学年別」の視点から概観する。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が**図表4-1**である。この結果を過去5年間の経年変化で示した**図表4-2**から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高い授業形態である「演習」に比べると、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加の機会が少ないと思われる「講義」、反復学習が重要な初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低くなりがちであることが考えられる。しかし、令和2年度は遠隔授業が中心となり、どの形態でも学生との距離が遠くなったことが要因なのか、全形態で令和元年度より下回っており、また、3種類の形態の差が令和元年度よりも縮まっている。次年度以降も継続して経年の変化に注意が必要である。

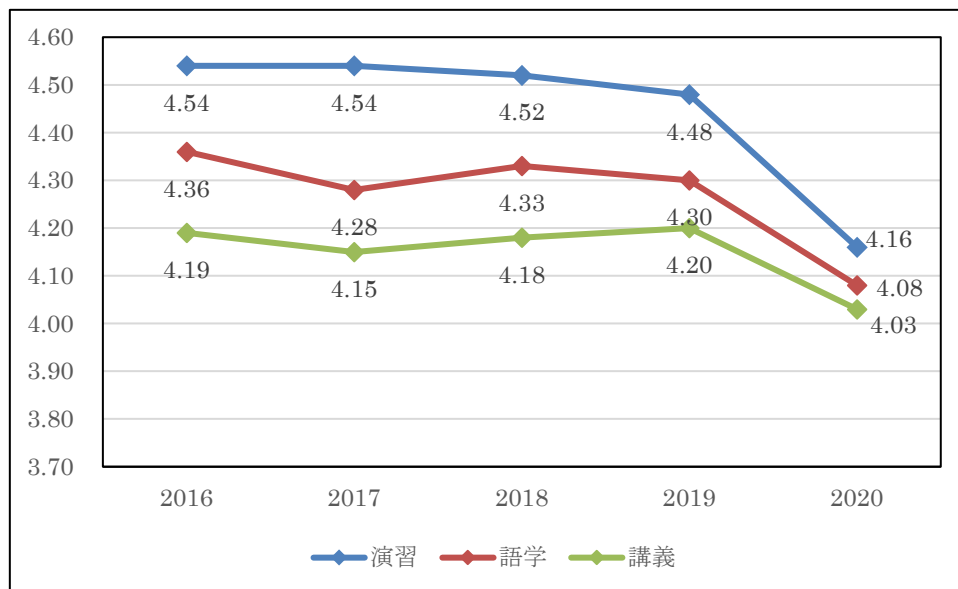
図表4-1 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



講義	演習	語学
4.03	4.16	4.08

図表4-2 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)

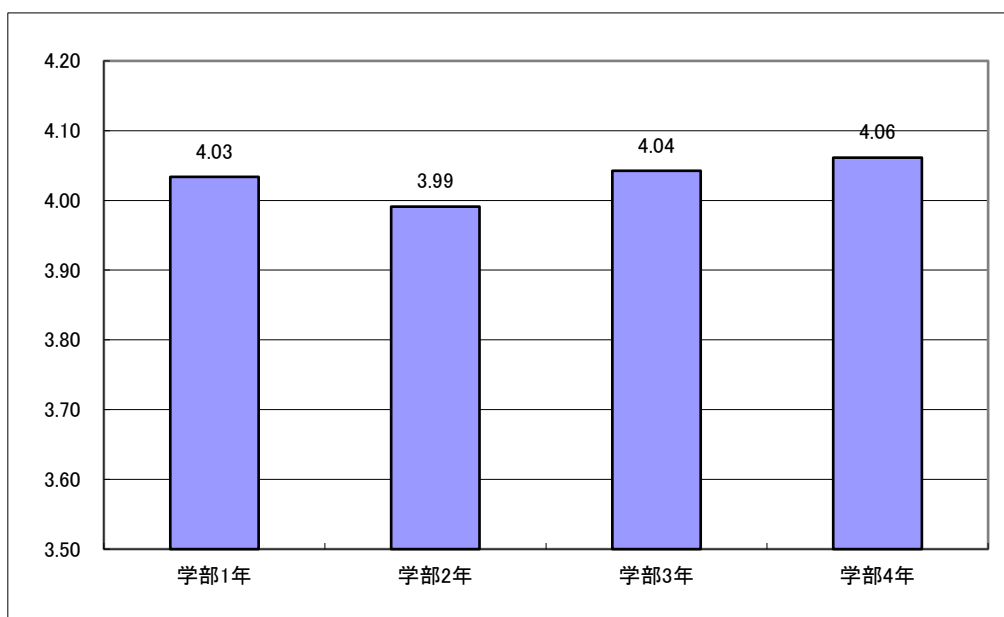
(過去5年)



・「学年別」による集計結果

学部生の回答に限定して、学年別の集計を行った結果が**図表5**である。例年の傾向として、学年が進むにつれて評価値が高くなっていくが、令和2年度は学部2年生が最も低い値となっている。どの学年も4.00前後となっており、学年間で大きな違いは見られない結果となった。

図表5 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.03	3.99	4.04	4.06

4. シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

前年度から追加した「Q1 履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」の項目では、学生の受講前のシラバス活用度を確認している。この項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は79.80%（前年度比+10.06 ポイント）であった。また、令和2年度から追加した「Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」の項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は79.80%となり、教員の工夫がうかがえる結果となった。前述のとおり学生のシラバスの活用度は向上していることがうかがえるので、教員側は、遠隔授業を行う上で重要になる「課題の提出方法」や「疑問点が生じた際の質問方法」などを事前または、初回授業時などでわかりやすく伝える必要があると思われる。また、学期中に授業方法やシラバス等の変更をする場合は、引き続き学生に丁寧に説明をする必要があると思われる。

シラバスは、履修科目を選択する際だけでなく、学期を通じて授業の進捗や今後の学習計画を確認したり、ひいては卒業までに身につけるべき知識・能力を整理し、学習の道りを自己管理したりするために、常に学生が自律的に学ぶガイドとなることが望まれる。シラバスの内容をブラッシュアップすることはもちろん、学生に向けてその意義をしっかりと説明し、活用を促進していく必要があるだろう。

IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

令和2年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して15年目となったが、無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

一方で、FD活動としての、授業評価アンケートの将来的な課題も無視することはできない。FD推進委員会は、授業評価アンケートの実施を活動の主軸としてきたが、今後これまで以上にそのあり方や活用方法を考えていく必要がある。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

また、平成27年度より、授業評価アンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生による評価が高かった科目を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その科目の担当教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施してきた。コロナ禍により集合形式での取り組みが難しくなったことから令和2年度はオンデマンドを活用し、授業評価アンケートの結果を活用したFDとして『2019年度教員向けアンケート×授業評価アンケートの結果』を動画コンテンツ化し、学内への発信を行った。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の目的は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて達成されることになる。個々の努力を大学全体で共有でき、より良い授業のための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、WEB上での実施を続ける中でアンケートの回答率を向上させることが次回以降の課題である。

今後、授業評価アンケートの更なる充実を図るとともに、各部門で進められているFD活動や各教員の創意工夫との関係を強化することにより、全学的なFDの活性化・組織化を進めることに注力していきたい。

第2章

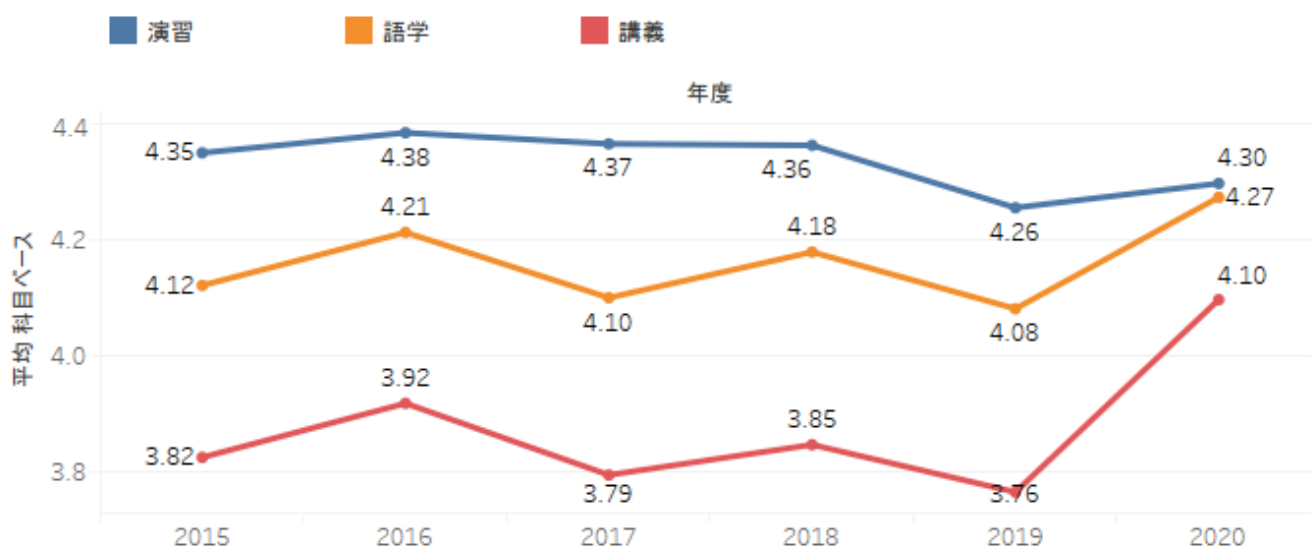
令和2年度の概観

I. 経年の変化に見るコロナ禍の影響

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、遠隔授業の形式が中心となった。第1章で見たように、総合評価は例年に比較して科目ベース評価値は低い結果であった。本項では、その他の項目についても検討する。

まず、「Q02.私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」の科目ベース評価値の経年変化に関するグラフを以下に示す。

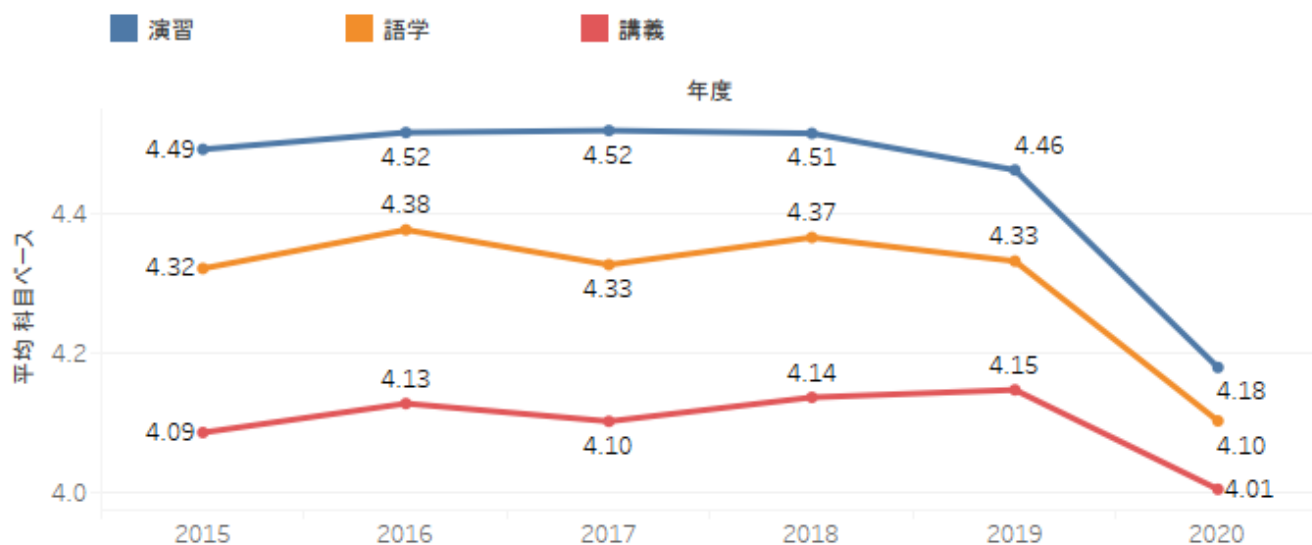
図表6 「Q02.私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」の形態別集計結果（科目ベース）



これを見ると、演習は令和元年度と同程度であったが、語学や講義については向上していた。令和元年度までと令和2年度では授業の形式が遠隔授業となり、アンケートの形式も Web 方式に変化したことやアンケートの回答率が例年に比較して下がってしまったことを踏まえると、学生の意欲が向上したというより、授業に意欲的に取り組んだ学生がアンケートに回答した結果であるとも考えられる。また、受け身でも成り立つ対面授業の形式と比較すると、授業のコンテンツに自らアクセスする必要のある遠隔授業の形式は、学生が自らの意欲を高く感じやすい形式であることを示している可能性も考えられる。このように、意欲に関する評価値が高まった要因はいくつも考えられるが、アンケートの回答傾向として意欲的に授業に取り組んだ学生が回答したものと捉えて、これ以降の回答傾向について見ていくこととする。

次に、「Q08.教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」の科目ベース評価値の経年変化に関するグラフを以下に示す。この項目は、令和元年度までの「教員は理解しやすい授業を行っている」に変更を加えたものである。

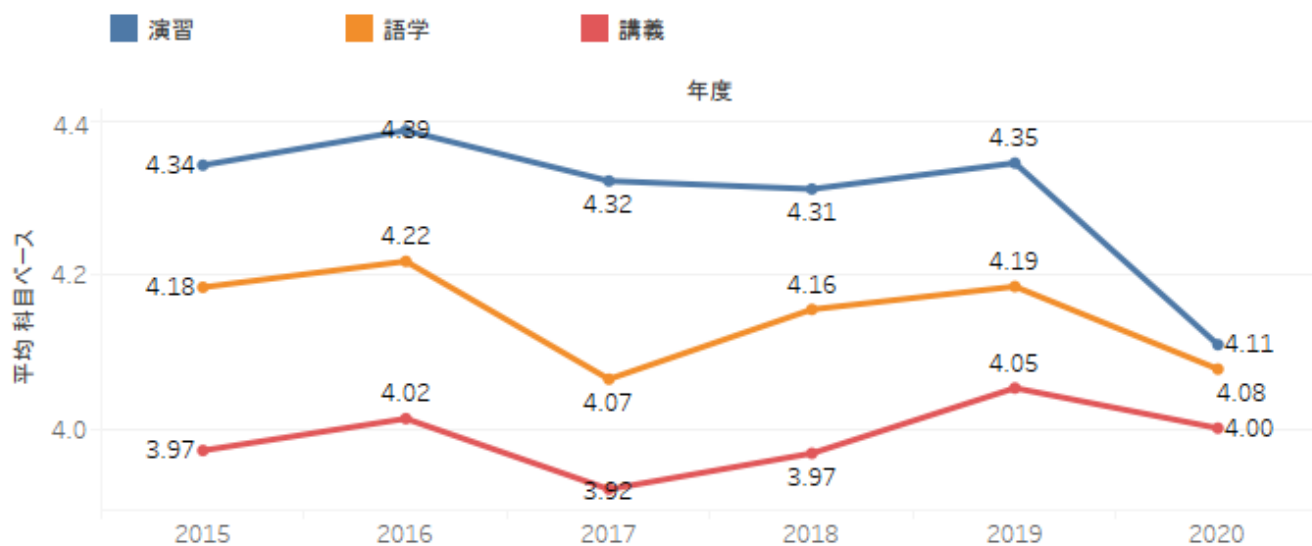
図表7 「Q08.教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」の形態別集計結果（科目ベース）



これを見ると、理解しやすさに関する評価値がどの形態においても低下したことがわかる。低下の幅は演習で最も大きく、語学、講義と続く。低下の要因としては、遠隔授業になり、教員も学生も慣れない状況の中で授業を行うことになった点が考えられる。授業内容の提示の方法が変わったことや、教員・学生間や学生同士のコミュニケーションが取りづらくなったことが、この理解しやすさに影響したと言えるだろう。対面による授業よりも理解することに苦勞していた学生の姿がうかがえる。

次のグラフは、「Q10.この授業の水準に満足している」の科目ベース評価値の経年変化を示すものである。この項目は、平成30年度までの「この授業のレベルは適切である」に令和元年度に変更を加えたものである。

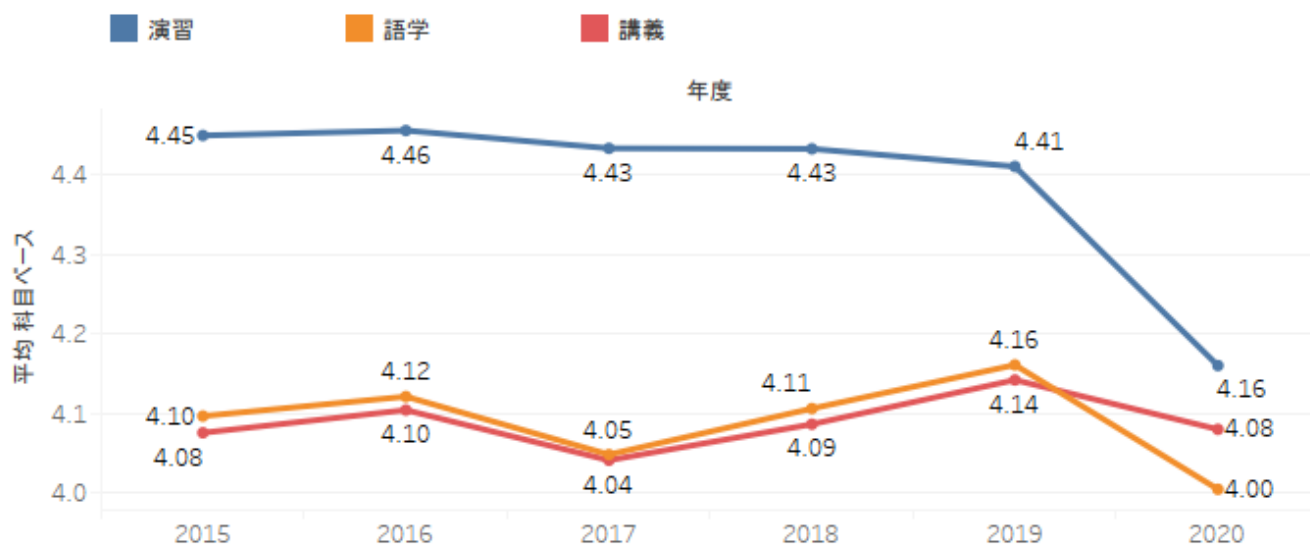
図表8 「Q10.この授業の水準に満足している」の形態別集計結果（科目ベース）



これを見ると、令和2年度は、前年度と比較して、どの形態においても低下したことがわかる。低下の幅は演習で最も大きく、語学、講義は小さい。また、語学や講義は、平成27（2015）年度からの変動中で令和元年度が最も低いわけではなく、これまでと同様の満足度であることがうかがえる。したがって、授業の水準については、語学と講義は例年と同程度であるが、演習のみ低下した結果であると言える。この点については、演習において特に重要になるとと思われる、コミュニケーションが難しくなったことが要因であると推察される。

次のグラフは、「Q11.この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の科目ベース評価値の経年変化を示すものである。

図表9 「Q11.この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の形態別集計結果（科目ベース）



これを見ると、演習と語学は例年よりも低く、演習では低下の幅が大きいですが、一方で講義に関して低下は見られなかった。この結果もコミュニケーションが難しくなったことによると推察され、演習や語学など、直接的なコミュニケーションが失われることで、他者の視点を知る機会などが減ってしまった可能性が考えられる。

以上、経年比較が可能な項目について検討したところ、次のようにまとめられる。

- ・演習科目は、授業への取組み意欲は例年と同程度であったが、理解しやすさ、授業の水準、知的好奇心についての評価は例年より低い傾向にある。
- ・語学科目は、授業への取組み意欲は例年より高いが、理解しやすさや知的好奇心の刺激については評価が低い。しかし、水準に関しては例年とあまり変わらない。
- ・講義科目は、授業への取組み意欲は例年より高く、理解しやすさの点では評価が低い。授業の水準や知的な好奇心については例年とあまり違いはなかった。

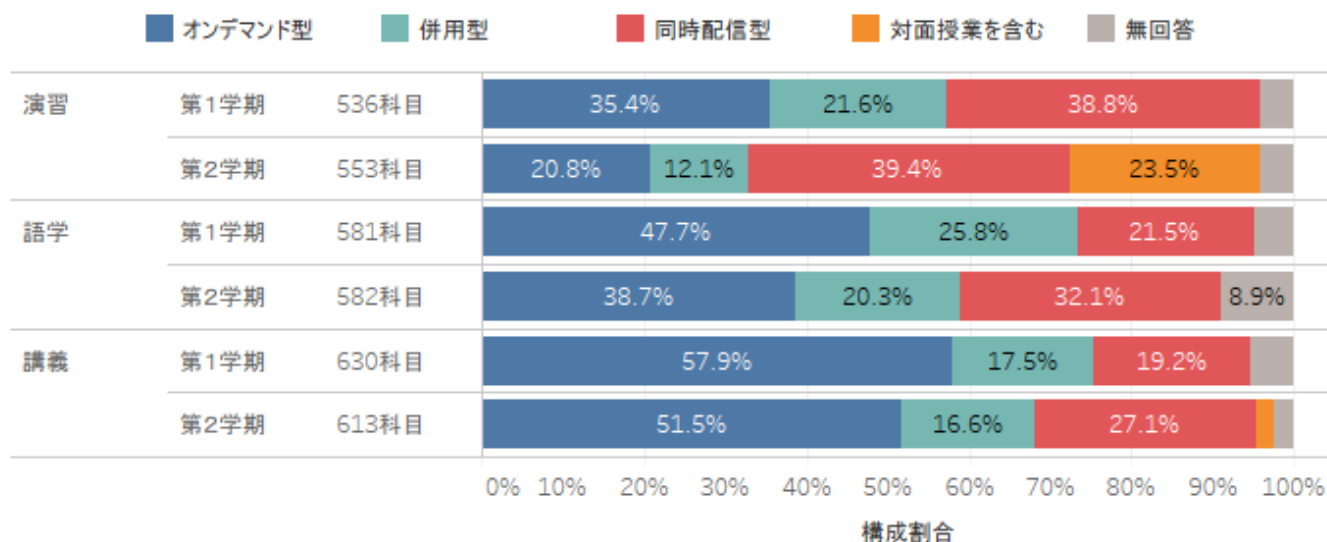
このように見ると、コロナ禍の中での授業について、教員と学生間や学生同士のコミュニケーションの重要度がもともと高い形態ほど、評価が下がってしまう項目が多いことがうかがえる。今後はコミュニケーションをどう改善するかが授業運営上の課題と言えるだろう。

II. 遠隔授業の形式別に見る総合評価へ影響の大きい項目の検討

本章の I では、経年での比較が可能な項目について確認し、2020 年度のコロナ禍において意欲や総合評価が例年とは異なることがわかってきた。本項では、遠隔授業の形式に注目し、同時配信型、オンデマンド型、併用型の 3 つの形式別に総合評価と関連の深い項目を検討する。

2020 年度は全学的に遠隔授業を行うこととなり、各教員へどのような形式で授業を実施するか調査が行われた。調査は第 1 学期・第 2 学期とも行われ、通年の科目において、第 2 学期に形式を変更する科目も見られた。次のグラフは、各学期の授業形態別の遠隔授業の形式の構成割合である。

図表 10 遠隔授業の形式調査に基づいた形態別の形式



各形態の第 1 学期から第 2 学期の変化を見ると、まず演習は対面授業の再開に伴い、オンデマンド型と併用型の割合が減少していることがわかる。語学は同時配信型が増え、オンデマンド型と併用型の割合が減少した。講義は、同時配信型が増え、オンデマンド型が減少したが、オンデマンド型は約半数となっている。このように、授業形態によって 4 つの形式の割合は異なるが、いずれの形態においても様々な形式で実施されていたことがわかる。以降の分析では、遠隔授業の形式別に、総合評価と関連が深い項目の検討を試みる。

本項では、遠隔授業の形式別にアンケート項目や授業形態、回答率などのデータについて決定木分析を行い、「総合評価との関連が深い要素は何か」を検討する。決定木分析は、データマイニングの1つの手法であり、目的となる変数（今回は Q13 の総合評価の科目ベース評価値）について、他の変数をどのように使って分類していけば特徴的なグループを作成できるかを示すものである。今回は、コロナ禍の中の遠隔授業について、形式別に分析して総合評価と関連の深い項目を探り、形式による違いを検討することを目指した。

次頁以降では、以下の内容で形式別に決定木分析を行った結果を示している。

目的変数：

Q13 総合評価の科目ベース評価値

説明変数：

Q1～Q12 の科目ベース評価値（Q9-2、Q10-2 は除く）

講義期間（第1学期、第2学期、通年）

アンケート実施時期（第1学期、第2学期）

授業形態（演習、語学、講義）

設置部門（学部等）

履修者数

回答者数

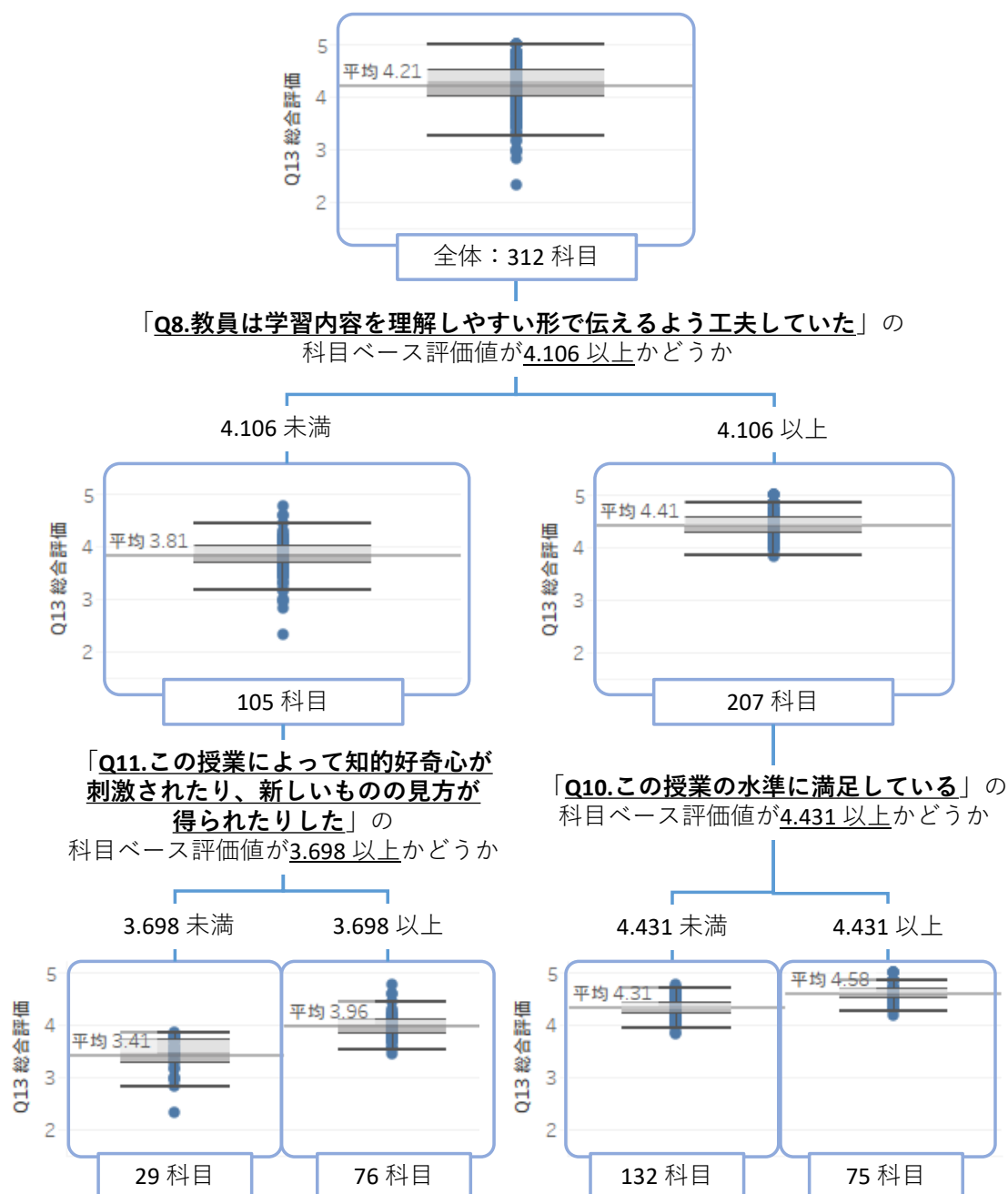
回答率

上記の内容で分析することで、総合評価と関連の深い要素が説明変数の中から抽出することができる。例えば、アンケートの実施時期による変動が大きい場合は実施時期が優先されるが、アンケートの他の質問項目との関わりが深い場合は、その項目の評価値が何点以上であれば総合評価が高い傾向にあるといった結果がわかる。一方、抽出されない項目は総合評価との関わりは比較的浅いということになる。今回は複雑にならないよう、4グループに分けられたところで分析を中断した。

同時配信型の分析結果

以下の図は、同時配信型の分析結果を可視化したものである。

図表 1 1 遠隔授業の形式調査に基づいた形態別の形式

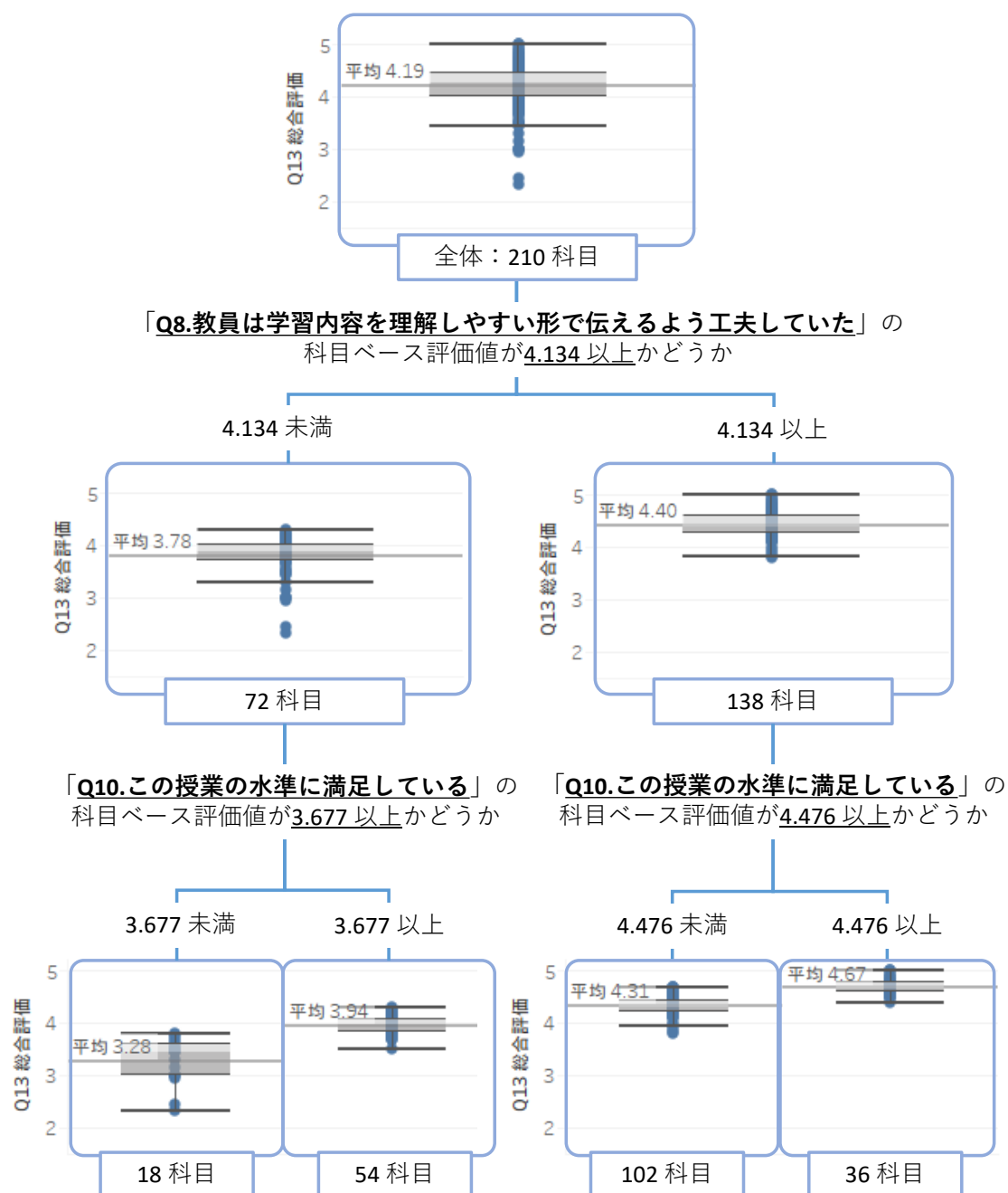


これを見ると、同時配信型の場合、Q8 の評価値が総合評価と最も関わっており、その値が 4.106 以上であれば比較的高いグループとなり、4.106 未満であると比較的低いグループとなっている。低いグループはさらに Q11 の評価値によってさらに分かれ、高いグループは Q10 の評価値によってさらに分かれている。同時配信型の授業では、教員が工夫していると伝わっているかどうか、総合評価に影響を与えていた可能性が考えられる。

併用型の分析結果

以下の図は、併用型の分析結果を可視化したものである。

図表 1 2 遠隔授業の形式調査に基づいた形態別の形式

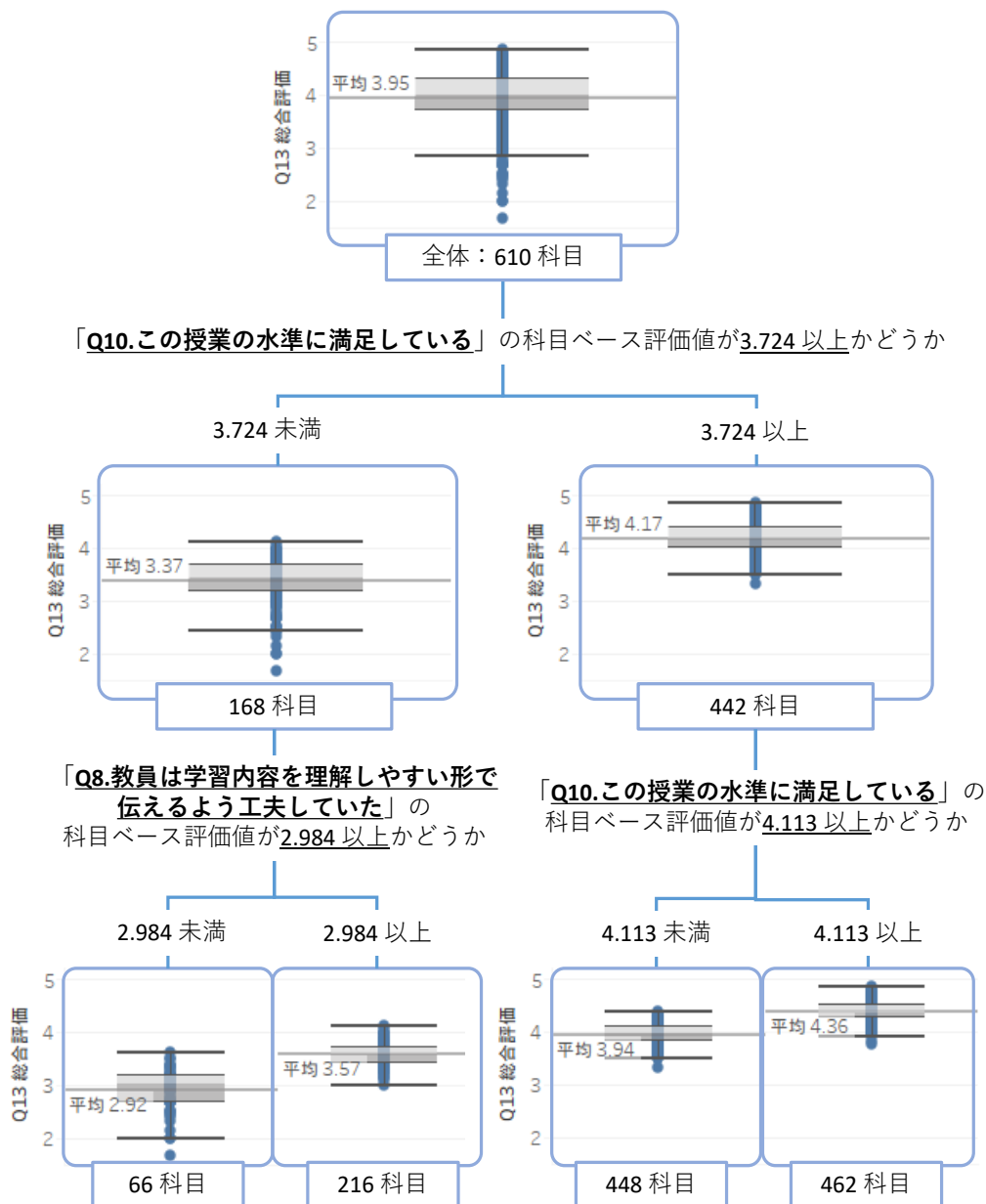


これを見ると、併用型の場合も同時配信型と同様に、Q8 の評価値が総合評価と最も関わっており、その値が 4.134 以上であれば比較的高いグループとなり、4.134 未満であると比較的低いグループとなっている。併用型の場合は、どちらのグループも Q10 の値によってさらにグループ分けされる結果となっていた。教員の工夫が伝わったかどうかの次の段階として、授業の水準に満足できたかどうか総合評価に関わっていることがうかがえる。

オンデマンド型の分析結果

以下の図は、オンデマンド型の分析結果を可視化したものである。

図表 1 3 遠隔授業の形式調査に基づいた形態別の形式



これを見ると、オンデマンド型の場合は、前の2つの形式とは異なり、Q10の評価値が総合評価と最も関わっており、その値が 3.724 以上であれば総合評価が比較的高いグループとなり、3.724 未満であると比較的低いグループとなっている。低いグループはさらに Q8 の評価値によって分かれ、高いグループはまた Q10 の評価値によって分かれる結果となった。オンデマンド型の場合は、授業の水準が最も総合評価と関わっている結果となった。

以上の分析結果をまとめると、以下のようになる。

- ・同時配信型や併用型の科目では、教員の工夫により理解度が上がったかどうかは総合評価と関わっているが、オンデマンド型の場合は授業の水準との関連が深い。
- ・2段階目の分類のために抽出された項目は、教員の工夫が伝わること、授業の水準、知的な好奇心が刺激されたか、の3つであり、総合評価とのかかわりの中ではこの3つに限定される。
- ・授業期間やアンケート実施時期、設置部門（学部等）、授業形態、履修者数、回答者数、回答率は総合評価との関わりは上記の項目より低い結果となった。

オンデマンド型の授業は、動画や文書等の違いはあっても、提示された学習内容を学生が閲覧し、課題をこなすというスタイルが一般的であると思われるが、上記の結果からはオンデマンド型の場合、受講生が資料を閲覧して学習している間に教員は何かしらの支援をすることは想定されない。オンデマンド型は基本的には学生の独習となるため、授業の水準が総合評価と関連する結果になったと考えられる。

同時配信型や併用型は、オンデマンド型に比較して教員と学生がリアルタイムに交流するタイミングが必ずあり、教員も授業の調整がしやすかった可能性が考えられ、このことが教員の工夫と総合評価の関連性が抽出された要因であるように思われる。しかし、工夫は学生の理解に貢献していなければ総合評価も低い結果であるため、教員はその工夫の意図や想定される効果をしっかりと学生に伝える必要があると考えられる。

今回の分析結果から、総合評価との関連で現れやすい項目として、「Q10.この授業の水準に満足している」と「Q8.教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」が挙げられる。今後、遠隔授業が一般的になってくる場合、まず注目すべき内容として、これらの2つについての学生の認識を高めることを意識して授業を実施していけば、学生の総合評価の高い授業となる可能性が考えられる。これは授業の水準を学生に合わせるということではなく、その授業の水準にあった学生が履修できるようにすることなどを想定している。今回の分析結果からは、授業改善の視点として、授業に合った学生が履修できることと、学生の理解に資するような工夫をすることという2点が重要であることが考えられた。

第3章

各部門の分析・評価

この章では、集計結果に基づいた開設部門ごとの分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータには、「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」（各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目間の回答の関係性を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。その他、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」を第5章に掲載している。

I. 法学部

1. 集計データからわかること

Q1 (私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身に着けたいと思う知識や能力をイメージしていた) は、令和元 (2019) 年度に新設された設問であるが、本学部では、講義の場合、学生回答単純集計平均 (以下、回答者ベースという) は 4.03 (標準偏差 0.767、以下同じ)、部門別形態別平均 (以下、科目ベースという) は 4.05 (0.238) であり、2 年目においても比較的高い水準を維持し、ポイントは元年度より若干改善した。このことは、本学部において、履修登録時の段階でシラバスが一定程度重視され、学生が授業を受ける際のモチベーションの形成に利用されていることを示している。次の設問である Q2 (私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)) との中程度の正の相関がみられることから (.487)、このことが裏付けられる。講義と演習の比較では、元年度は演習の方がシラバスが重視される度合いが高かったが、2 年度は相対的に演習のポイントが低下しており、次年度以降の傾向に留意すべきである (回答者ベース 4.06 (0.0837)、科目ベース 4.05 (0.443))。

Q2 (私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)) は、講義の場合、回答者ベース 4.03 (0.873)、科目ベース 4.03 (0.335) であり、最近 5 年間の中で数字が若干高く出ており、コロナ禍における緊急事態宣言の発出等により単調な生活を余儀なくされたことが、ある意味で逆説的に学生の関心を大学の授業に向かわせた可能性がある。そして、Q2 と Q3 (私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ) との間には、強い正の相関があるといえるが (.719)、これは、問いの内容からして驚くにはあたらない。

Q3 (私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ) は、2 年度に新設された設問であるが、講義では、回答者ベースで 4.00(0.958)、科目ベースで 4.00(0.370)、演習の場合は、回答者ベースで 4.38(0.768)、科目ベースで 4.37(0.301) となっている。講義・演習とも高水準であり、学生が相応の時間を確保して授業に取り組んでいると評することができる。また、演習においては、講義よりも一層の積極性が求められるところ、そのことが学習時間の確保という形で具体的に表れている。この項目に関連して、Q3-2 (私がこの授業に使った時間 (受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)) については、遠隔授業にかかる受講時間を含めて、講義では回答者ベースで 2.27(1.051)、科目ベースで 2.26 (0.444) となっており (2 : 90 分以上 2 時間未満、3 : 2 時間以上 3 時間未満)、平均値からは、学生の学習時間は授業時間を含めて、太宗 90 分から 3 時間未満の間にあると一応いえそうである。演習の場合は、回答者ベースで 2.90(1.249)、科目ベースで 2.96(0.712) であ

る。演習の方が学習時間が相対的に多く、事柄の性質からして当然ではあるが、積極的な学習がされていることみられるが、この傾向は元年度も同様であった。

Q4 (授業方法や、シラバスの記載内容 (計画、準備学習、成績評価の方法・基準など) の変更についての教員からの説明は適切だった) は、新年度開始後にオンライン授業が実施される方針が決定される等の基本に関わる変更があったことを踏まえたものである。この点、講義の場合、回答者ベースでは 4.02(0.887)、科目ベースでは 4.02(0.457)、演習の場合、回答者ベースでは 4.22(0.876)、科目ベースでは 4.21(0.427)の数値がでており、授業方針の変更は、前例のない大きな変更であったにも拘わらず大きな混乱はなく、比較的スムーズにオンライン授業に移行することができたことの証左として、一定の評価ができるように思われる。なお、後述するとおり、Q4 は、Q5 (この授業で配布された教材 (動画や音声の外部リンク等も含む) は、学習を進めるのに役立った)、Q8 (教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた) とあいまって、授業の水準に対する高評価 (Q10)、授業に対する総合的な高評価につながっている (Q13)。

Q5 (この授業で配布された教材 (動画や音声の外部リンク等も含む) は、学習を進めるのに役立った) については、講義の場合、回答者ベースで 4.06(0.921)、科目ベースで 4.06(0.439)、演習の場合、回答者ベースで 4.20(0.826)、4.19(0.391)である。おおむね高評価となっている。演習の方が若干ポイントが高くでているが、授業の形態からくる授業内容の濃さを示唆するものとして、理由のあることであろう。なお、Q5 は学習内容の理解しやすさ (Q8)、ボリューム (Q9)、水準 (Q10)、知的刺激 (Q11)、知識・能力の向上 (Q12)、総合評価 (Q13) との間に強い正の相関関係がある。

Q6 (この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた) については、講義の場合、回答者ベースで 3.85(1.028)、科目ベースで 3.86(0.556)、演習の場合、回答者ベースで 4.32(0.840)、科目ベースで 4.34(0.426)である。質問の機会に関しては、講義の評価が芳しくなく、他方で、演習の場合には評価が高いが、これは、授業形態の性格上、双方向性の確保のしにくさ、しやすさに影響されたものとみうる。講義をオンラインで実施する場合の課題として、今後とも留意すべきであろう。

Q7 (この授業に関する受講者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた) については、講義の場合、回答者ベースで 2.79(1.258)、2.78(0.588)、演習の場合、回答者ベースで 3.85(1.244)、科目ベースで 3.95(0.752)であり、いずれの場合も、他の設問との比較で低い数値がでていることが注目される。令和 2 年度は、年度開始後に急遽オンライン授業の方針が決まり、多くの教員は経験のない中で手探りでオンライン教材の作成と提供を行うこととなったが、そのため、自らの教材提供や学生の自らに対する質問の機会を設けるとこ

ろまではなんとか対応ができたものの、学生間のコミュニケーションについてまで配慮が行き届かなかったものであろうと推測される。Q6と並んで、銘記すべき課題である。

Q8（教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた）については、講義の場合、回答者ベースで 3.94(0.970)、科目ベースで 3.94(0.510)、演習の場合、回答者ベースで 4.25(0.837)、科目ベースで 4.24(0.425)となっている。前年度までの同趣旨の質問（旧 Q9（教員は理解しやすい授業を行っている））との 5 年間の経年比較では、講義・演習とも評価が低くなっており、これは、R2 年度のオンライン授業における教員の学習内容に関する説明が、従前の対面授業に比べて学生にとって理解しやすいものではなかったということと総括できる。なお、Q8 は、Q9（ボリューム）、Q10（水準）、Q11（知的好奇心の獲得）、Q12（能力向上）、Q13（総合評価）との間に強い正の相関関係がある。

Q9（この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している）については、講義の場合、回答者ベースで 3.93(0.951)、科目ベースで 3.94(0.458)、演習の場合、回答者ベースで 4.17(0.865)、科目ベースで 4.15(0.398)の数字がでていいる。演習はともかくとして、講義については評価が相対的に低く、学習内容の説明のわかりやすさ（Q8）、授業の水準についての評価（Q10）がそろって 4 ポイントを割り、結論として授業に対する総合的な満足度がいまひとつ（Q13）という残念な結果となっている。もっとも、本設問のボリュームが多すぎるというのは、教員が突如始まったオンライン授業に不慣れなため、学生の受け止めにやや過敏（不安）になり、その反応を知りたくて各授業において課題を多く出しすぎ、これを一手に引きうけることとなった学生が過大な負担と認識したという、R2 年度の特異な状況を勘案する必要がある。ただ、いずれにしても、今後は、教員側がオンライン授業につき格段に習熟することが求められることは間違いない。

Q10（この授業の水準に満足している）については、講義の場合、回答者ベースで 3.98(0.890)、科目ベースで 3.99(0.444)、演習の場合は回答者ベースで 4.18(0.820)、科目ベースで 4.18(0.423)となっている。演習については、5 年間の経年変化をみると若干ポイントが低めにでているが、講義のポイントはそれほど下がっておらず、未経験のオンライン授業であったことを勘案すると、授業の水準に関する評価は全体としてあまり変わっていないといって差し支えないように思われる。なお、この設問は、知的好奇心への刺激（Q11）、知識・能力の向上（Q12）、授業への総合評価（Q13）との間に強い正の相関関係がある。

Q11（この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした）については、講義の場合、回答者ベースで 4.05(0.865)、科目ベースで 4.07(0.385)、演習の場合、回答者ベースで 4.30(0.772)、科目ベースで 4.31(0.367)となっている。5 年間の経年比較でみると、この問いに関しては総じて遜色のない比較的高い数値がでており、授業の水

準に関わる Q10 と連動している。この設問は、知識・能力の向上 (Q12)、授業に対する総合評価 (Q13) との間に強い正の相関関係がある。

Q12 (この授業によって自らの知識や能力が向上したと感じる) は、R2 年度に新設された質問項目であるが、講義の場合、回答者ベースで 4.03(0.863)、科目ベースで 4.04(0.380)、演習の場合、回答者ベースで 4.30(0.750)、科目ベースで 4.30 (0.319) となっており、おおむね高評価といってよいであろう。Q11 と同趣旨であり、同様の結果がでていているといつてよい。この設問は Q13 と強い正の相関関係がある。

Q13 (総合的に見てこの授業は高く評価できる) は、全体評価に関わる質問項目であるが、講義の場合、回答者ベースで 3.98(0.931)、科目ベースで 3.99 (0.488)、演習の場合、回答者ベースで 4.30 (0.783)、科目ベースで 4.30(0.391)の数値がでている。演習については例年なみの高評価を辛うじて維持することができたといえるが、講義の場合は 4 に満たないポイントとなっており、全体として R2 年度の学生の評価はやはり低調となったといわざるを得ない。

2. 相関関係

講義における相関関係について整理的に述べる。

まず、Q2 と Q3 に強い正の相関関係があるが(.719)、これは意欲のある学生が、授業につき一定時間を確保して取り組んだという関係性を示すものであり、自然なことと受け止められる。次に、Q4 は Q5、Q8、Q10-1、Q13 との間にそれぞれ強い正の相関関係が認められる (Q5 とは.648、Q8 とは.627、Q10-1 とは.607、Q13 とは.663)。これは、授業方法やシラバスについての教員の説明が十分に実施された場合には、教材が学習の助けになった、教員が学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していたという評価と連動し、結果として授業の水準についての満足度の高さとして現れ、授業に対する総合的な高評価になっていることを示すものである。

Q5 については、Q8、Q9、Q10-1、Q11、Q12、Q13 に関して強い正の相関関係が認められる (Q8 とは.743、Q9 とは.601、Q10-1 とは.693、Q11 とは.632、Q12 とは.651、Q13 とは.750)。Q5 の授業で配布された教材 (動画や外部リンク等も含む) に対する高評価は、教員の説明ぶりの良さ (Q8) と連動し、授業のボリューム (Q9) ・水準 (Q10-1) 両者に対する高い満足度、さらに踏み込む形で、受講することで知的好奇心や新しいものの見方が得られた (Q11)、自らの知識や能力が向上したと感じる (Q12) ことにつながり、結論として、授業への非常に高い評価 (Q13) として現れているといえることができる。

Q8 については、Q9、Q10-1、Q11、Q12、Q13 に関して強い正の相関関係が認められる (Q9 とは.674、Q10-1 とは.756、Q11 とは.653、Q12 とは.659、Q13 とは.797)。Q8 は、教員が学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していたという設問であるが、オンライン授

業においては、学生に学習内容がどのようなものであるかを理解してもらうことが肝要であり、そのハードルがクリアされると、授業のボリューム・水準に対する納得感（Q9、Q10-1）に加え、授業を受けることで知的好奇心が刺激され、知識・能力が向上した（Q11、Q12）という具体性のある達成感を得ることができ、総合的に授業を高く評価することにつながる（Q13）ことがわかる。

Q9については、Q10-1、Q13 に関して強い正の相関関係が認められる（Q10-1 とは.768、Q13 とは.685）。授業のボリュームが適切と感じられる場合には、授業の水準についても同時に満足感を得ることができ、結果として授業全体の総合的高評価につながるものといえる。

Q10-1 については、Q11、Q12、Q13 に関して強い正の相関関係が認められる（Q11 とは.665、Q12 とは.667、Q13 とは.792）。授業の水準に満足している場合、知的好奇心の刺激、知識・能力の向上を自覚することが多く、授業に対する総合的な高評価につながっているといえることができる。

Q11 については、Q12、Q13 に関して強い正の相関関係が認められる（Q12 とは.829、Q13 とは.757）。知的好奇心への刺激と知識・能力の向上は連動しており、授業の高評価につながっている。

Q12 については、Q13 との間に強い正の相関関係が認められる（Q13 とは.761）。知識・能力の向上は、授業の高評価につながっている。

3 今後の改善に向けて

R2年度は、学期開始後に、予想もしない形で、前例も経験もないオンライン授業を実施しなければならない状況に見舞われた異例の年となり、教員はもちろん、学生にとっても、試行錯誤の連続であった。そうした中で、前期・後期ともあわせて俯瞰すると、大きなスタックは回避され、1年間を何とか乗り切ることができたと総括することが許されよう。

もっとも、R3年度においてもなおニューノーマルな授業形態がなお継続している状態にあり、また、普遍的には、技術の進歩を生かした授業形態への移行は不可避であることから、R2年度において認識された問題は、緊急事態時における例外としてではなく、今後、留意し、かつ克服すべき恒久的な課題群として受け止めるべきである。具体的には、第一に、シラバスの一層の充実、教材や教員の説明のわかりやすさは入り口の問題として、やはり重要である。第二に、オンライン授業の場合、教員に対する質問のしやすさについて配慮すべきことはもとより、同時に学生間の意見交換の場を提供し、情報交換がやりやすいよう、教員の側で心がけることを忘れてはならない。第三に、オンライン授業の場合、とくに講義形式では、教員側からすると学生の反応がわかりにくいいため、えてしてレポートを頻繁に出すことに流れがちであるが、学生からすると、他の教科とあいまって過重負担となる事態が生じやすく、掲示板を活用するなど、学生にとってボリュームが過大とならないための工夫やちょっとしたスキルを駆使することが考えられてよい。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

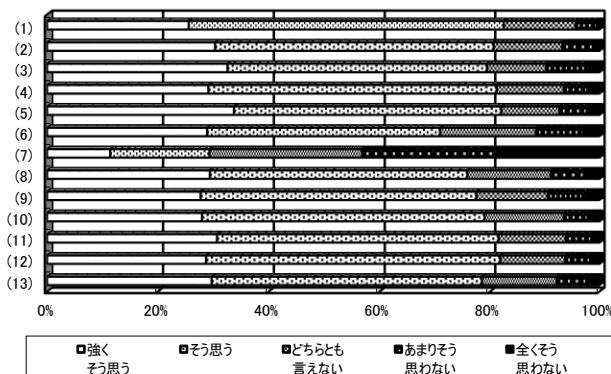
部門名 法学部

形態名 講義

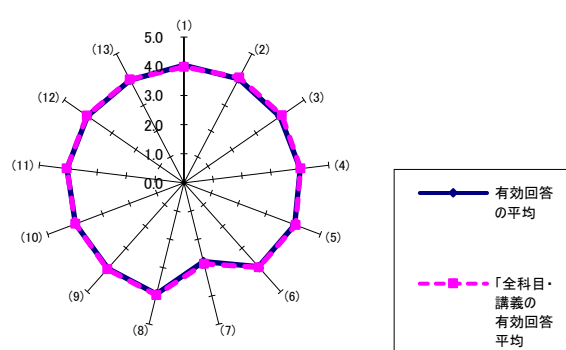
	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,424	20,657	16.58%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	874	1,946	449	130	19	6	3,424	4.03	0.767	4.05	0.238
	25.53%		56.83%	13.11%	3.80%	0.55%	0.18%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,037	1,721	428	191	42	5	3,424	4.03	0.873	4.03	0.335
	30.29%		50.26%	12.50%	5.58%	1.23%	0.15%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,114	1,603	370	268	65	4	3,424	4.00	0.958	4.00	0.370
	32.54%		46.82%	10.81%	7.83%	1.90%	0.12%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	108	204	495	1,046	567	667	3,087	2.27	1.051	2.26	0.444
	3.50%		6.61%	16.03%	33.88%	18.37%	21.61%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	995	1,779	419	147	76	8	3,424	4.02	0.887	4.02	0.457
	29.06%		51.96%	12.24%	4.29%	2.22%	0.23%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,153	1,650	364	171	79	7	3,424	4.06	0.921	4.06	0.439
	33.67%		48.19%	10.63%	4.99%	2.31%	0.20%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	988	1,438	596	294	103	5	3,424	3.85	1.028	3.86	0.556
28.86%	42.00%		17.41%	8.59%	3.01%	0.15%	100.00%						
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	390	612	942	835	639	6	3,424	2.79	1.258	2.78	0.588	
11.39%		17.87%	27.51%	24.39%	18.66%	0.18%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,005	1,589	520	208	97	5	3,424	3.94	0.970	3.94	0.510	
29.35%		46.41%	15.19%	6.07%	2.83%	0.15%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	949	1,704	446	240	84	1	3,424	3.93	0.951	3.94	0.458	
27.72%		49.77%	13.03%	7.01%	2.45%	0.03%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	268	51	-	-	-	5	324	-	-	-	-	
82.72%		15.74%	-	-	-	1.54%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	956	1,744	494	150	73	7	3,424	3.98	0.890	3.99	0.444	
27.92%		50.93%	14.43%	4.38%	2.13%	0.20%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	150	60	-	-	-	13	223	-	-	-	-	
67.26%		26.91%	-	-	-	5.83%	100.00%						
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,047	1,736	419	159	51	12	3,424	4.05	0.865	4.07	0.385	
30.58%		50.70%	12.24%	4.64%	1.49%	0.35%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	981	1,817	405	155	60	6	3,424	4.03	0.863	4.04	0.380	
28.65%		53.07%	11.83%	4.53%	1.75%	0.18%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,016	1,668	468	185	82	5	3,424	3.98	0.931	3.99	0.488	
29.67%		48.71%	13.67%	5.40%	2.39%	0.15%	100.00%						

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

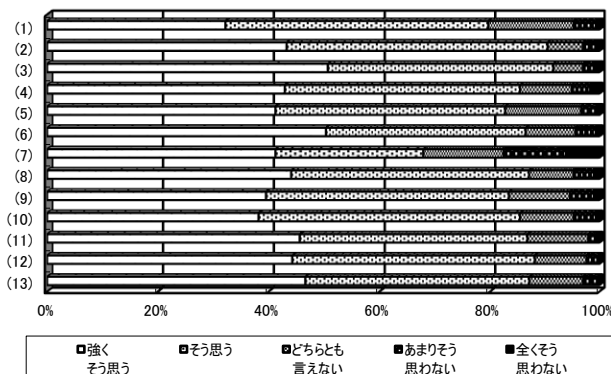
部門名 法学部

形態名 演習

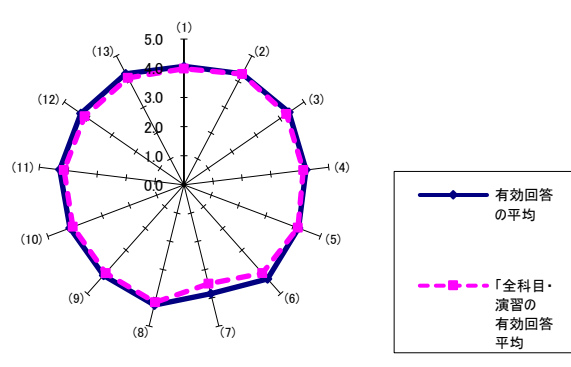
	合計	総履修者数	回答率
回答数	296	803	36.86%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	95	140	46	12	2	1	296	4.06	0.837	4.05	0.443
			32.09%	47.30%	15.54%	4.05%	0.68%	0.34%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	128	140	19	7	2	0	296	4.30	0.751	4.30	0.332
			43.24%	47.30%	6.42%	2.36%	0.68%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	150	121	16	6	3	0	296	4.38	0.768	4.37	0.301
			50.68%	40.88%	5.41%	2.03%	1.01%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	30	44	58	63	32	60	287	2.90	1.249	2.96	0.712
			10.45%	15.33%	20.21%	21.95%	11.15%	20.91%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	127	126	28	10	5	0	296	4.22	0.876	4.21	0.427
			42.91%	42.57%	9.46%	3.38%	1.69%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	122	123	41	8	2	0	296	4.20	0.826	4.19	0.391
			41.22%	41.55%	13.85%	2.70%	0.68%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	149	107	27	11	2	0	296	4.32	0.840	4.34	0.426
		50.34%	36.15%	9.12%	3.72%	0.68%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	122	79	43	34	18	0	296	3.85	1.244	3.95	0.752	
		41.22%	26.69%	14.53%	11.49%	6.08%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	130	127	24	11	3	1	296	4.25	0.837	4.24	0.425	
		43.92%	42.91%	8.11%	3.72%	1.01%	0.34%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	117	130	33	13	3	0	296	4.17	0.865	4.15	0.398	
		39.53%	43.92%	11.15%	4.39%	1.01%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	13	3	-	-	-	0	16	-	-	-	-	
		81.25%	18.75%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	113	140	29	12	2	0	296	4.18	0.820	4.18	0.423	
		38.18%	47.30%	9.80%	4.05%	0.68%	0.00%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	8	6	-	-	-	0	14	-	-	-	-	
		57.14%	42.86%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	135	122	33	4	2	0	296	4.30	0.772	4.31	0.367	
		45.61%	41.22%	11.15%	1.35%	0.68%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	131	130	28	6	1	0	296	4.30	0.750	4.30	0.319	
		44.26%	43.92%	9.46%	2.03%	0.34%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	138	120	29	8	1	0	296	4.30	0.783	4.30	0.391	
		46.62%	40.54%	9.80%	2.70%	0.34%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.487 (**)	1												
Q3	.381 (**)	.719 (**)	1											
Q3-2	(**)	.216 (**)	.301 (**)	1										
Q4	(**)	.411 (**)	.357 (**)	.102 (**)	1									
Q5	(**)	.434 (**)	.355 (**)	.065 (**)	.648 (**)	1								
Q6	(**)	.315 (**)	.284 (**)	.127 (**)	.527 (**)	.497 (**)	1							
Q7	(**)	.256 (**)	.215 (**)	.058 (**)	.363 (**)	.324 (**)	.481 (**)	1						
Q8	(**)	.432 (**)	.333 (**)	.036	.627 (**)	.743 (**)	.508 (**)	.375 (**)	1					
Q9	(**)	.362 (**)	.271 (**)	.017	.535 (**)	.601 (**)	.423 (**)	.346 (**)	.674 (**)	1				
Q10	(**)	.434 (**)	.336 (**)	.028	.607 (**)	.693 (**)	.494 (**)	.373 (**)	.756 (**)	.768 (**)	1			
Q11	(**)	.509 (**)	.401 (**)	.131 (**)	.576 (**)	.632 (**)	.455 (**)	.340 (**)	.653 (**)	.569 (**)	.665 (**)	1		
Q12	(**)	.527 (**)	.416 (**)	.141 (**)	.569 (**)	.651 (**)	.457 (**)	.338 (**)	.659 (**)	.565 (**)	.667 (**)	.829 (**)	1	
Q13	(**)	.490 (**)	.385 (**)	.060 (**)	.663 (**)	.750 (**)	.529 (**)	.409 (**)	.797 (**)	.685 (**)	.792 (**)	.757 (**)	.761 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.326 (**)	1												
Q3	.291 (**)	.600 (**)	1											
Q3-2	.153 (*)	.258 (**)	.375 (**)	1										
Q4	.232 (**)	.422 (**)	.321 (**)	.011	1									
Q5	.193 (**)	.439 (**)	.355 (**)	.186 (**)	.601 (**)	1								
Q6	.126 (*)	.348 (**)	.253 (**)	-.047	.542 (**)	.470 (**)	1							
Q7	.055	.276 (**)	.147 (*)	.068	.396 (**)	.305 (**)	.566 (**)	1						
Q8	.163 (**)	.462 (**)	.304 (**)	.060	.629 (**)	.604 (**)	.586 (**)	.405 (**)	1					
Q9	.267 (**)	.518 (**)	.359 (**)	.010	.530 (**)	.599 (**)	.464 (**)	.388 (**)	.649 (**)	1				
Q11														
Q10	.290 (**)	.517 (**)	.352 (**)	.050	.601 (**)	.612 (**)	.511 (**)	.372 (**)	.655 (**)	.760 (**)	1			
Q13														
Q11	.301 (**)	.489 (**)	.305 (**)	.173 (**)	.436 (**)	.561 (**)	.502 (**)	.377 (**)	.571 (**)	.535 (**)	.600 (**)	1		
Q12	.321 (**)	.563 (**)	.421 (**)	.194 (**)	.490 (**)	.583 (**)	.463 (**)	.348 (**)	.610 (**)	.551 (**)	.634 (**)	.766 (**)	1	
Q13	.281 (**)	.582 (**)	.427 (**)	.093	.626 (**)	.672 (**)	.575 (**)	.488 (**)	.697 (**)	.696 (**)	.785 (**)	.697 (**)	.729 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.935	3.97	0.246	4.03	0.767	4.05	0.238
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.79	1.022	3.83	0.391	3.64	1.100	3.70	0.363	3.70	1.093	3.79	0.438	3.61	1.067	3.65	0.377	4.03	0.873	4.03	0.335
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.958	4.00	0.370
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.27	1.051	2.26	0.444
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.887	4.02	0.457
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.921	4.06	0.439
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.028	3.86	0.556
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.79	1.258	2.78	0.588
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.11	0.975	4.13	0.444	4.07	1.006	4.13	0.418	4.12	0.985	4.16	0.437	4.09	0.967	4.10	0.435	3.94	0.970	3.94	0.510
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.951	3.94	0.458
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.00	0.943	3.99	0.370	3.87	1.003	3.90	0.365	3.93	0.995	3.96	0.423	4.00	0.940	4.00	0.361	3.98	0.890	3.99	0.444
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.05	0.965	4.11	0.400	3.99	0.993	4.08	0.349	4.05	0.975	4.14	0.394	4.08	0.908	4.11	0.331	4.05	0.865	4.07	0.385
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.863	4.04	0.380
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.17	0.903	4.21	0.398	4.13	0.927	4.21	0.357	4.18	0.906	4.23	0.394	4.16	0.891	4.17	0.357	3.98	0.931	3.99	0.488	

部門名 法学部
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.26	0.882	4.30	0.438	4.06	0.837	4.05	0.443
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.38	0.717	4.39	0.291	4.35	0.792	4.40	0.283	4.32	0.814	4.35	0.313	4.29	0.809	4.32	0.368	4.30	0.751	4.30	0.332
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38	0.768	4.37	0.301
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.90	1.249	2.96	0.712
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.22	0.876	4.21	0.427
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.826	4.19	0.391
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.840	4.34	0.426
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.244	3.95	0.752
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.54	0.725	4.56	0.369	4.54	0.738	4.57	0.335	4.50	0.782	4.53	0.395	4.45	0.818	4.52	0.405	4.25	0.837	4.24	0.425
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.865	4.15	0.398
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.33	0.822	4.35	0.370	4.28	0.847	4.30	0.361	4.25	0.894	4.27	0.433	4.37	0.834	4.42	0.390	4.18	0.820	4.18	0.423
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.53	0.710	4.56	0.333	4.52	0.741	4.56	0.315	4.49	0.764	4.52	0.356	4.46	0.782	4.51	0.418	4.30	0.772	4.31	0.367
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.750	4.30	0.319
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.58	0.694	4.60	0.356	4.59	0.668	4.62	0.307	4.55	0.737	4.58	0.367	4.51	0.763	4.57	0.403	4.30	0.783	4.30	0.391	

II. 経済学部

1. 集計データからわかること

文末の図表 1-1 と 1-2 は、2020 年の平均から、2019 年の平均を減じた結果である。前年度の報告と同様に、使用する数字は、質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。

平均値分析(表 1-1、1-2)

1) 授業の総合的な評価を問う Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」は、講義では 0.15、演習では 0.14 低下し、前年度に続き減少している。減少幅も、2020 年度の標準偏差が 0.540(講義)、0.314(演習)であることを鑑みると、0.27~0.44 標準偏差ほどの低下であり、やや大きいと言わねばならない。

2) 全体的に他の項目も減少が多く、講義科目においては、比較可能な 6 項目のうち、20 年度にかけて上昇しているのは、2 項目のみである。同様の傾向は、演習科目に見られ、比較可能な 6 項目中、評価が上昇しているのは、1 項目(「私はこの授業に意欲的に取り組んだ。」)だけである。また(10)-1「この授業の水準に満足している」は、講義で 3.97(5 点中)→3.91(同)、演習で 4.43(同)→4.33(同)と、前年までの低下傾向が継続している。ちなみに他学部でも、自分の努力量を示す項目を除いて、総合評価や他の授業そのものの評価を示す項目は低下の傾向が見られる。

3) 特に、今年度は演習での落ち込みが大きい。比較可能な 6 項目のうち、5 項目で平均値が下降しており、また総合評価である Q13 において、落ち込み幅が標準偏差の 44%程度になっているのも気になる。これまで対面で行われ学生同士の頻繁な意見交換が可能だった演習において、遠隔授業になることで、いわゆる「ゼミらしさ」が失われたことが関係しているのかもしれない。ただし、(6)「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」や(7)「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた。」の絶対値は、各々 4.50(5 点中)、4.40(同)であり、それほど低くはない。

4) また (3)-2「私がこの授業に使った時間」の平均値から推測すると、講義で 2 時間程度、演習でも講義よりほんの少し大きい程度である。ただし、(2)の意欲的に取り組んだという側面では、講義が 4.03(5 点中)、演習が 4.50(同)と高めに答えている。後述するように、学生の勉強時間は、今回の授業調査で測定されたどの項目との相関が低く、勉強時間を上げるのが常に良い事かは別として、影響を与える要因が特定しにくい側面である。

5) 演習科目については、大きな低下が見られたひとつの項目は、(1)「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」であり、講義科目で 0.10 上昇しているのに比較して、マイナス 0.29 である。前年度に引き続き、演習科目のシラバス提示のあり方に関する課題が示唆されているのかもしれない。

6) さらに演習について注目すべき点は、(2)「私はこの授業に意欲的に取り組んだ。」のみが上昇している点(プラス 0.13)かもしれない。この項目は前々年度から前年度にかけて、0.17 と比較的大きく低下していたのに対して、今年度は上昇している。もちろん、担当教員の努力等による可能性もあるが、コロナ禍でのオンライン・オンデマンドなどの変則的な授業形態が多くなるなかで、教員や他の学生との交流がある演習科目への期待を顕しているとも考えられ、さらなる検討が必要である。

2. 項目間の相関

次に、評価項目間の相関を精査し、そのなかから見えてくることや課題を記したい。表 2-1 および 2-2 で示されている値は 2020 年度の授業評価で用いられた項目間の相関係数である。

1) 講義については、総合評価である Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」と相関が高い項目(0.60 以上を高いと判断)は、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q5「この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」、Q4「授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった」などであり、当然だが、Q10「この授業の水準に満足している」の相関係数も高い。教員が授業の内容を解り易く説明し、配布・紹介教材を工夫し、知的好奇心を刺激し、またボリューム等を適切に保ちながら、学生に学びが発生しているとき、学生は高い評価をあたえるようである。前年に比べて、授業の工夫に関する要素が高い相関係数をみせており、コロナ禍で学生がオンライン・オンデマンドで授業を受けながら、担当教員が授業の工夫を行った場合に、高評価を与えることが示唆される。

2) これに対し、これまでの傾向と同じだが、Q3-2「私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)」は、総合的評価と高い相関をみせなかった。学生にとっては、授業の総合的評価と、自分がその授業にどれだけ多くの努力を投入するかは、あまり関係ないのだろう。ちなみに Q3-2 は、今回の授業調査で測定された項目との相関が低く、講義では 0.351 以上の相関がなく、演習でも 0.392 以上の相関がない。もちろん、この結果は学生が、授業の準備や学習に費やすことのできる総時間には限界があり、設問上、「5:3 時間以上 4:2 時間以上 3 時間未満」と大きい数字の選択肢が選ばれにくいという理由もあるのかもしれないが、教員の努力や熱意の効果が学習行動の量との関係が明確に出ていないという意味で、今後の検証が必要な項目である。

3) 演習については、Q13 の総合評価と相関が高い(0.60 以上)のは、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝

えるよう工夫していた」、Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」、Q4「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」、などである。講義と同様に、Q10「この授業の水準に満足している」の相関係数は高い。演習を工夫したことは大きな要因だが、同時にシラバス等を明確に書くことで、授業内容が学生に伝わっており、一定の予想がついて、演習を受けられる授業が高い評価になるようである。

4) だが、Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」、や Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」などは、総合評価との相関は、0.3~0.4 台であり、相対的に低く、こうした学生間や教員との意見交換の側面は、演習の場合あまり影響がないということなのか、演習であれば、それは一定の前提となっており、追加的な効果は及ぼさないということなのかについては、さらなる検討が必要である。

3. 今後の授業改善へ向けて

経済学部では、経済学科、経営学科共に、コロナ禍で、多くの教員がオンデマンド・オンラインなど、これまでとは異なった制限のある授業方式への移行にともない、授業の工夫を進めてきた。今回の結果からは、そうした工夫が一定の効果을あげている様子が見て取れる。今後は、教員が行った先端的な工夫などの具体的方法を共有し、さらなる授業の改善を進めていくことだろう。

表1-1 2020年度と2019年度との差(講義)														
番号	(1)	(2)	(3)	(3)-2	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)-1	(10)-1	(11)	(12)	(13)
質問内容	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上4:2時間以上3時間未満3:1時間以上2時間未満2:30分以上1時間未満1:30分未満	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	この授業で配付された教材(動画や音声)の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会には、不足感を感じてた	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会には、不足感を感じてた	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	この授業の水準に満足している	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しい見方が得られた	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	総合的に見てこの授業は高く評価できる
20年度平均	3.97	4.03	4.06	2.35	4.02	4.00	3.80	2.85	3.85	3.93	3.91	3.90	3.97	3.92
20年度平均—19年度平均	0.10	0.33	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	-0.21	比較不能	-0.06	-0.12	比較不能	-0.15

表1-2 2020年度と19年度との差(演習)

番号	(1)	(2)	(3)	(3)-2	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)-1	(10)-1	(11)	(12)	(13)
質問内容	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上4:2時間以上3時間未満3:1時間以上2時間未満2:30分以上1時間未満1:30分未満	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった未満	この授業で配付された教材(動画や音声)の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つた	この授業に関する付された教材(動画や音声)の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つた	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会不足なく設けられていた	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	この授業の水準に満足している	この授業によって知的好奇心が刺激された新しいもの見方が得られた	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	総合的に見てこの授業は高く評価できる
20年度平均	3.85	4.5	4.36	2.66	4.32	4.21	4.50	4.40	4.34	4.31	4.33	4.39	4.32	4.41
20年度平均-19年度平均	-0.29	0.13	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	比較不能	-0.20	比較不能	-0.10	-0.10	比較不能	-0.14



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

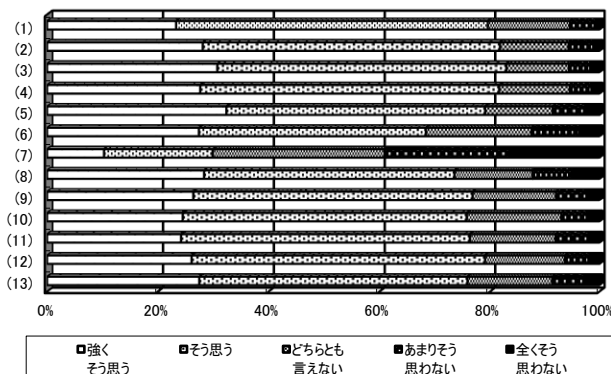
部門名 経済学部

形態名 講義

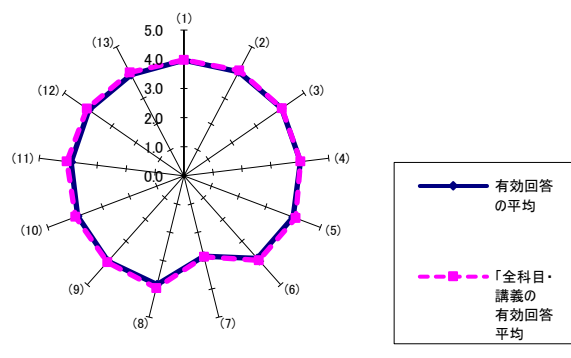
	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,098	21,267	14.57%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	720	1,740	463	140	28	7	3,098	3.97	0.803	4.00	0.255
	23.24%		56.17%	14.95%	4.52%	0.90%	0.23%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	870	1,663	388	140	35	2	3,098	4.03	0.830	4.05	0.319
	28.08%		53.68%	12.52%	4.52%	1.13%	0.06%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	951	1,618	355	120	52	2	3,098	4.06	0.851	4.04	0.353
	30.70%		52.23%	11.46%	3.87%	1.68%	0.06%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	121	181	544	928	481	669	2,924	2.35	1.066	2.30	0.566
	4.14%		6.19%	18.60%	31.74%	16.45%	22.88%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	854	1,668	398	123	45	10	3,098	4.02	0.834	4.01	0.408
	27.57%		53.84%	12.85%	3.97%	1.45%	0.32%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,000	1,444	382	177	87	8	3,098	4.00	0.964	4.01	0.551
	32.28%		46.61%	12.33%	5.71%	2.81%	0.26%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	846	1,265	592	268	116	11	3,098	3.80	1.054	3.85	0.635
27.31%	40.83%		19.11%	8.65%	3.74%	0.36%	100.00%						
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	318	606	959	699	509	7	3,098	2.85	1.212	2.96	0.634	
10.26%		19.56%	30.96%	22.56%	16.43%	0.23%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	876	1,397	440	228	150	7	3,098	3.85	1.065	3.91	0.631	
28.28%		45.09%	14.20%	7.36%	4.84%	0.23%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	816	1,557	471	173	73	8	3,098	3.93	0.921	3.96	0.428	
26.34%		50.26%	15.20%	5.58%	2.36%	0.26%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	186	51	-	-	-	9	246	-	-	-	-	
75.61%		20.73%	-	-	-	3.66%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	756	1,583	534	143	72	10	3,098	3.91	0.897	3.94	0.492	
24.40%		51.10%	17.24%	4.62%	2.32%	0.32%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	92	109	-	-	-	14	215	-	-	-	-	
42.79%		50.70%	-	-	-	6.51%	100.00%						
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	747	1,610	484	181	67	9	3,098	3.90	0.905	3.94	0.424	
24.11%		51.97%	15.62%	5.84%	2.16%	0.29%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	808	1,640	452	134	62	2	3,098	3.97	0.872	3.98	0.397	
26.08%		52.94%	14.59%	4.33%	2.00%	0.06%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	850	1,498	478	176	92	4	3,098	3.92	0.958	3.95	0.540	
27.44%		48.35%	15.43%	5.68%	2.97%	0.13%	100.00%						

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

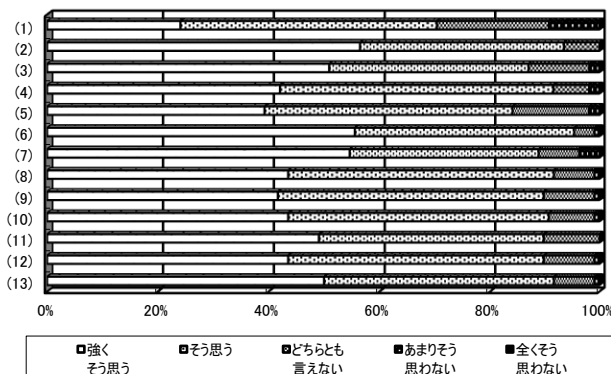
部門名 経済学部

形態名 演習

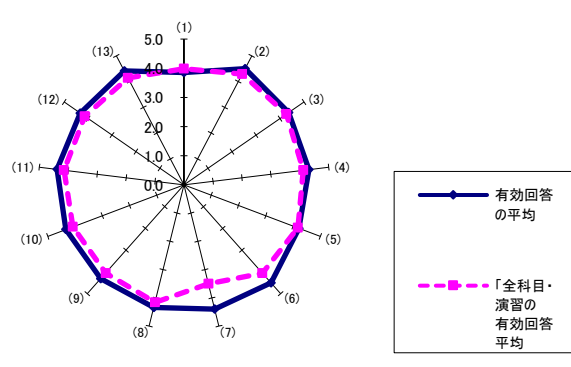
	合計	総履修者数	回答率
回答数	108	226	47.79%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	26	50	22	10	0	0	108	3.85	0.895	3.86	0.416
	24.07%		46.30%	20.37%	9.26%	0.00%	0.00%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	61	40	7	0	0	0	108	4.50	0.619	4.48	0.290
	56.48%		37.04%	6.48%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	55	39	12	2	0	0	108	4.36	0.755	4.34	0.380
	50.93%		36.11%	11.11%	1.85%	0.00%	0.00%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	8	16	20	29	17	16	106	2.66	1.229	2.61	0.802
	7.55%		15.09%	18.87%	27.36%	16.04%	15.09%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	45	53	7	2	0	1	108	4.32	0.681	4.32	0.343
	41.67%		49.07%	6.48%	1.85%	0.00%	0.93%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	42	48	15	2	0	1	108	4.21	0.753	4.23	0.332
	38.89%		44.44%	13.89%	1.85%	0.00%	0.93%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	60	43	4	1	0	0	108	4.50	0.619	4.51	0.333
55.56%	39.81%		3.70%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	59	37	8	4	0	0	108	4.40	0.785	4.39	0.385	
54.63%		34.26%	7.41%	3.70%	0.00%	0.00%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	47	52	8	1	0	0	108	4.34	0.658	4.34	0.291	
43.52%		48.15%	7.41%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	45	52	10	1	0	0	108	4.31	0.676	4.31	0.324	
41.67%		48.15%	9.26%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	0	1	-	-	-	0	1	-	-	-	-	
0.00%		100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	47	51	9	1	0	0	108	4.33	0.670	4.34	0.307	
43.52%		47.22%	8.33%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	1	0	-	-	-	0	1	-	-	-	-	
100.00%		0.00%	-	-	-	0.00%	100.00%						
(11)	この授業によって知的な好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	53	44	11	0	0	0	108	4.39	0.667	4.39	0.332	
49.07%		40.74%	10.19%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	47	50	10	1	0	0	108	4.32	0.681	4.32	0.340	
43.52%		46.30%	9.26%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	54	45	8	1	0	0	108	4.41	0.670	4.40	0.314	
50.00%		41.67%	7.41%	0.93%	0.00%	0.00%	100.00%						

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.497 (**)	1												
Q3	.380 (**)	.700 (**)	1											
Q3-2	.182 (**)	.272 (**)	.351 (**)	1										
Q4	.391 (**)	.439 (**)	.390 (**)	.161 (**)	1									
Q5	.343 (**)	.457 (**)	.384 (**)	.095 (**)	.620 (**)	1								
Q6	.249 (**)	.323 (**)	.295 (**)	.105 (**)	.512 (**)	.532 (**)	1							
Q7	.227 (**)	.242 (**)	.186 (**)	.110 (**)	.314 (**)	.347 (**)	.522 (**)	1						
Q8	.366 (**)	.458 (**)	.355 (**)	.116 (**)	.591 (**)	.781 (**)	.558 (**)	.401 (**)	1					
Q9	.355 (**)	.473 (**)	.368 (**)	.046 (*)	.543 (**)	.664 (**)	.464 (**)	.336 (**)	.688 (**)	1				
Q10	.379 (**)	.502 (**)	.391 (**)	.085 (**)	.590 (**)	.724 (**)	.501 (**)	.371 (**)	.758 (**)	.756 (**)	1			
Q11	.459 (**)	.514 (**)	.414 (**)	.173 (**)	.560 (**)	.638 (**)	.446 (**)	.359 (**)	.673 (**)	.603 (**)	.676 (**)	1		
Q12	.473 (**)	.566 (**)	.458 (**)	.187 (**)	.553 (**)	.636 (**)	.422 (**)	.312 (**)	.649 (**)	.583 (**)	.669 (**)	.797 (**)	1	
Q13	.412 (**)	.520 (**)	.405 (**)	.124 (**)	.629 (**)	.764 (**)	.540 (**)	.390 (**)	.826 (**)	.712 (**)	.812 (**)	.744 (**)	.741 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.489 (**)	1												
Q3	.398 (**)	.670 (**)	1											
Q3-2	.269 (*)	.263 (*)	.367 (**)	1										
Q4	.417 (**)	.450 (**)	.347 (**)	.180	1									
Q5	.381 (**)	.311 (**)	.374 (**)	.291 (**)	.499 (**)	1								
Q6	.304 (**)	.244 (*)	.270 (**)	.277 (**)	.383 (**)	.392 (**)	1							
Q7	.205 (*)	.317 (**)	.244 (*)	.130	.487 (**)	.235 (*)	.279 (**)	1						
Q8	.532 (**)	.470 (**)	.426 (**)	.205	.769 (**)	.570 (**)	.516 (**)	.421 (**)	1					
Q9	.446 (**)	.368 (**)	.331 (**)	.234 (*)	.447 (**)	.534 (**)	.368 (**)	.350 (**)	.561 (**)	1				
Q11														
Q10	.442 (**)	.451 (**)	.351 (**)	.250 (*)	.721 (**)	.546 (**)	.451 (**)	.439 (**)	.672 (**)	.660 (**)	1			
Q13														
Q11	.489 (**)	.566 (**)	.461 (**)	.318 (**)	.580 (**)	.542 (**)	.475 (**)	.398 (**)	.651 (**)	.521 (**)	.648 (**)	1		
Q12	.371 (**)	.476 (**)	.479 (**)	.392 (**)	.472 (**)	.452 (**)	.388 (**)	.316 (**)	.501 (**)	.432 (**)	.437 (**)	.707 (**)	1	
Q13	.444 (**)	.541 (**)	.464 (**)	.284 (**)	.605 (**)	.607 (**)	.383 (**)	.471 (**)	.613 (**)	.609 (**)	.694 (**)	.771 (**)	.650 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	0.994	3.96	0.317	3.97	0.803	4.00	0.255
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.82	1.037	3.86	0.457	3.75	1.106	3.80	0.443	3.78	1.121	3.82	0.456	3.70	1.048	3.81	0.399	4.03	0.830	4.05	0.319
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.851	4.04	0.353
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.35	1.066	2.30	0.566
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.834	4.01	0.408
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.964	4.01	0.551
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	1.054	3.85	0.635
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.212	2.96	0.634
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.03	1.040	4.09	0.513	4.07	1.020	4.11	0.514	4.12	1.012	4.13	0.506	4.06	0.991	4.14	0.454	3.85	1.065	3.91	0.631
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.921	3.96	0.428
	(10)-1	この授業の水準に満足している	3.91	1.029	3.95	0.476	3.86	1.059	3.89	0.475	3.90	1.050	3.92	0.498	3.97	0.961	4.04	0.398	3.91	0.897	3.94	0.492
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.92	1.057	3.99	0.504	3.87	1.079	3.97	0.475	3.95	1.056	4.02	0.489	3.97	0.972	4.08	0.405	3.90	0.905	3.94	0.424
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.872	3.98	0.397
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	0.981	4.13	0.470	4.10	0.952	4.15	0.463	4.13	0.960	4.17	0.480	4.07	0.940	4.17	0.411	3.92	0.958	3.95	0.540	

部門名 経済学部
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.952	4.13	0.451	3.85	0.895	3.86	0.416
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.53	0.678	4.51	0.302	4.53	0.707	4.53	0.288	4.54	0.680	4.53	0.298	4.37	0.740	4.38	0.288	4.50	0.619	4.48	0.290
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.755	4.34	0.380
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.66	1.229	2.61	0.802
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.343
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.753	4.23	0.332
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.50	0.619	4.51	0.333
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.40	0.785	4.39	0.385
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.59	0.686	4.57	0.361	4.57	0.721	4.58	0.361	4.57	0.721	4.57	0.420	4.53	0.687	4.52	0.321	4.34	0.658	4.34	0.291
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.676	4.31	0.324
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.46	0.774	4.45	0.387	4.43	0.764	4.45	0.381	4.40	0.812	4.40	0.391	4.43	0.748	4.42	0.351	4.33	0.670	4.34	0.307
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.56	0.708	4.55	0.353	4.53	0.731	4.55	0.350	4.51	0.739	4.51	0.409	4.49	0.701	4.49	0.319	4.39	0.667	4.39	0.332
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.340
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.64	0.645	4.63	0.340	4.61	0.672	4.62	0.310	4.60	0.676	4.61	0.391	4.55	0.677	4.54	0.327	4.41	0.670	4.40	0.314	

Ⅲ. 文学部

1. 集計データからわかること

(1) 実施率と回答率

過去4年間の文学部のアンケート実施率と回答率を下の表に示す。今年度はコロナ禍の中で、従来の教室でのマークシート方式による回答から、初めてオンラインによる授業評価アンケートの実施となった。

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	実施率	回答率	実施率	回答率	実施率	回答率	実施率	回答率
講義	93.88%	71.72%	95.32%	72.40%	98.43%	73.30%	93.96%	21.40%
演習	90.21%	82.53%	94.48%	84.75%	97.87%	83.22%	92.24%	26.88%
計	91.46%	76.26%	94.83%	76.86%	98.11%	76.94%	93.02%	22.61%

実施率は過去最高であった前年 2019 年度（平成 30 年度）の 98.11%より若干下がり、93.02%となった。この数値は 2018 年度（94.83%）とさらにその前年 2017 年度（91.46%）の中間程度であり、やや後退したものの、学生たちにはアンケート実施に関する情報が偏りなく行き渡り、また多くの授業において教員がアンケートへの回答を学生に促したことが伺える。

しかしその一方で回答率は大幅に下がり、前年までの 76%台から 22.61%に落ち込んだ。これは、学生たちがアンケート回答に参加しなかったことを示す。従来の教室でのアンケート回答・回収とは異なり、学生たちがオンライン回答にわざわざ取り組むということをしなかったということである。このような結果になることは実施するまでわからなかったことではあるが、今後、大いに対策を講じるべき点である。

学生がなぜ回答しなかったかについては、いくつかの理由が考えられる。まず、①学生たちに回答の仕方そのものが伝わっていなかった、あるいはわからなかった学生が多かった可能性がある。学生たちには複数回にわたりアンケートにアクセスする方法を示す必要がある。②そのためには、学生だけでなく、回答を促す教員にも方法を伝え、教員から授業中に具体的な方法までアナウンスできるようにすることも必要かもしれない。また別の意見として、③オンラインによる回答であるために、学生が回答者を特定されることを恐れたのではないかという意見もあった。システム上、そのようなことが起らないよう設定されているはずであるが、学生たちに対してそうした不安を払拭できるような丁寧な示し方が求められる。④アンケートは強制するものではないが、まだ回答をしていない学生に何らかの「通知」をシステム上で行うことも検討してほしい。学生たちには、アンケートに回答したくないという積極的な意思があるというよりも、単に忘れていた・うっかりしていただけで

あるという可能性も高いからである。例えば G-Port や LMS に示される学生の時間割に、アンケートを回答していない科目がマークされるなどの方法が可能であれば、学生にとっても便利である。⑤オンラインアンケートにより、集計の手間と時間は大幅に減じたはずであるので、アンケートの実施期間をもっと延ばすことが可能になっているのではないか。上の④とも重なるが、学年末は学生もレポートなどの課題に追われ、気づいたらアンケート回答期間が終わっていたということがあることも予想される。時期をもっと延長することを検討する余地がある。

回答率については、例年同様、「講義」よりも「演習」のほうが 5%ほど高かった。これは、学生が「講義」よりも「演習」のほうに、アンケートの時期まできちんと出席している率が高いということ、また「演習」の授業のほうに、より帰属感を持って取り組んでいることを示している。とはいえ、その差はさほど大きいわけではない。文学部の「講義」の多くが「演習」に近い特性を持って授業が行われていることが伺える。この特性は、今後も長所として一層充実させていきたい。

オンラインで実施された前年のアンケート結果は、例年よりもだいぶ早く各教員の手元に届いたものの、その中には回答者が少ないため結果が示されていない授業が多くあった。遠隔授業の実施に懸命に取り組んだ教員一同にとって、初めての授業がどのように学生に受け止められたかを知る重要な機会であったため、教員からは、落胆した声もあった。一方で、学期末ごとに行われるこのアンケートではなく、遠隔授業の中で、こまめに学生の意見や希望・要望を聞いていた教員からは、例年以上に学生から多くのリアクションをもらったという声もあり、各教員はすでに新年度の授業にその声を反映させていることが予想される。

(2) 質問項目別の分析

続いて、アンケート質問項目別に、前年度までの平均の数値と比較しつつ本年度の結果を見ていく。下の表の空白箇所は、本年度の新規質問項目であり、前年度にはない質問項目であることを示す。また、前年度までの平均の数値より下がった項目に網掛けをした。

全体を通して、ほとんどが 4 ポイントを超えており、高い評価を得ていることがわかる。遠隔授業という初めての授業形態に対して教員が努力したこと、また学生もそれに応えたことが伺える。

前年度までの共通質問項目 6 項目のうち、わずかではあるもののが下がった項目は 4 項目あり、すべて「講義」であった。減少率はそれほど大きなものとは言えないが、「講義」の遠隔授業に対して学生の満足度が「演習」ほど高くなかったことがわかる。一方、「演習」においては下がった項目はなく、遠隔授業となったにも関わらず、学生たちが演習授業に対し充実感を持っていたことが伺えたことは、喜ばしいことであった。

A : 前年度までの平均 B : 回答者ベース C : 科目ベース

		講義			演習		
		A	B	C	A	B	C
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.88	3.96	3.99	4.09	4.08	4.10
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.84	4.10	4.13	4.16	4.37	4.38
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ		4.06	4.04		4.32	4.32
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満 2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満		2.26	2.27		2.62	2.56
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった		4.06	4.06		4.24	4.23
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った		4.18	4.19		4.23	4.20
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた		3.95	3.95		4.20	4.20
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた		3.00	3.09		3.69	3.73
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.24	4.10	4.11	4.18	4.24	4.23
(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している		4.03	4.02		4.14	4.13
(10)	この授業の水準に満足している	4.13	4.08	4.09	4.14	4.20	4.20
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.24	4.22	4.24	4.23	4.23	4.23
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる		4.14	4.16		4.23	4.22
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.29	4.11	4.13	4.21	4.25	4.25

(1)「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この質問項目についての数値は、前年よりも若干ながら向上した。文学部では前年、シラバスの活用を検討課題としていたが、本年度、その効果が見られたと考えられる。遠隔授業となり、授業についての情報をなかなか得られない学生がシラバスを活用したとも考えられる。また前年から提案されていたように、授業の最初にシラバスを使用してガイダンスを行う授業も増えた可能性がある。

(2)「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

これについては過去最高の数値となり、これまで4ポイントを超えなかった「講義」においても4ポイントを超えたことは、大変喜ばしいことである。とはいえ、先に述べたように、アンケート回答者数が少なく、したがってアンケート回答者は熱心な授業参加者でもあったことが予測はされるが、そうした真面目な学生が遠隔授業に高い意欲を持って熱心に取り組んだことを表しているとも解釈でき、また全般に遠隔授業の長所が生かされたとも考えられる。今後、従来の対面授業に戻ったとしても、この項目が引き続き高ポイントを獲得できるように努めることが望まれる。

(3)「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

これは本年度の新規項目であったが、(2)と同様、高い結果となった。その理由は(2)に述べたものと重なりと予想される。

(3)-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で5:4.5 時間以上 4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3時間未満 2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満」

例年、高いとは言えない数値になるが、本年度の「平均2~3ポイント」という回答からは、1つの授業に2時間前後の時間を費やしたことになる。授業時間が90分であることを考慮すると、それほど多い時間とは言えない一方で、遠隔授業下での課題過多の問題についても教員は考慮していた。遠隔授業初年度の前年、学生が単に授業に出席するという以外に、自律的にこれだけの時間を勉学に費やしたことは評価したい。その上で、今後は授業と課題の関係について考える必要がある。

(4)「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

これについても高いポイントであった。遠隔授業に際し、シラバス内容の変更がある場合は学生に周知するようという教務課からの指示を各教員がしっかり守ったことの表れであろう。

(5) 「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

これについても4ポイントを超え、高い評価が得られた。遠隔授業実施に際し、教員にとってどのように授業を行うか、教材をどのように作成し使用するかは最大の課題であったが、各教員が最大限の努力をして学生に授業を行ったことが現れた数値である。今後は高い平均値に満足せず、個々の授業に関して丁寧に検討・分析することが望まれる。

(6) 「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

この項目は、遠隔授業実施に際し、懸念されていた点の一つであった。しかし結果は、他と比べてやや低いというレベルにとどまり、各授業において学生からの質問を受け付ける体制を整えた授業が多かったことが分かる。特に演習ではポイントが高く、チャットなどを活用した質問方法が現代の学生には使いやすいものである可能性もある。

(7) 「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

遠隔授業に際し、最も懸念されていた点はこの部分であったが、やはり「講義」「演習」とともに3ポイント台と、他に比べて低くなった。これについては個々の授業の差も大きいことが予想され、この設問のポイントが高かった授業の方法について教員間で共有するなどの試みが求められる。また、この設問は「講義」と「演習」との差が大きい。しかし「講義」ではそもそも履修者同士の意見交換を求めることがあまり想定されていないためとも言えるだろう。それが良いかどうかも含めて、今後、検討していきたい部分である。

(8) 「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるようにしていた」

初めての遠隔授業に際し、全教員が大変な努力と労力を払ったことが伺える、高いポイントとなった。特に「演習」において、対面授業であった前年までよりも高く評価されていることは注目に値する。一方で「講義」については前年までよりも低くなっている。遠隔授業は多人数の「講義」において今後も継続の可能性が高いことを考えると、「講義」をどのように充実させていくかが今後の課題である。

(9)-1 「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

これについても、満足度の高い結果となった。教員が学生に対し、適切な授業を展開していることが伺える。

(10)-1 「この授業の水準に満足している」および(11) 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

これらの2項目は、(8)と同様、「講義」においてこれまでより下がり、「演習」において

はこれまでよりも上がった項目である。遠隔授業の「講義」をどのように行っていくことが求められるのか、教員側の検討が必要である。

(12)「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

授業評価アンケートの中でも重要な項目と言えるものであるが、(11)と同レベルの高い評価となった。前年までにはない項目であるため比較はできないが、他の項目同様、「演習」よりも「講義」において、低い評価となっていることが気になる点であり、「講義」の充実を検討していきたい。

(13)「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

(8)(10)(11)と同様、「講義」においてこれまでより下がり、「演習」においてはこれまでよりも上がった項目である。遠隔授業の「講義」が文学部の課題であることが改めて示された。

2. 今後の授業改善に向けて

前々年度のアンケートから今後の改善が望まれる点として「シラバス」の活用があったが、遠隔授業が実施された前年度は若干ながら改善された。また、同じく課題とされていた「自律的な学習時間の確保」については、今回のアンケートでも望ましい結果が出たとは言えないものの、学生たちが対面授業時と変わらぬ時間を自律的に学習していたことは評価すべきである。一方で遠隔授業の課題過多の問題が学科からの報告で指摘された。学習時間と課題の分量の関連については今後、検討の余地がある。

今年度のアンケートから明らかになった文学部の課題は「講義」の在り方であろう。もっとも、これまでも多くの項目で「講義」のほうが「演習」より学生の満足度が低かった。遠隔授業初年度であった今回、「演習」が例年よりも評価がむしろ上がったことを踏まえ、今後は「講義」をどのように充実させていくかが課題であることが改めて明らかになった。

最後に、前々年度のアンケート結果を各学科がどのように受け止めたか、またコロナ禍の遠隔授業となった前年度、文学部各学科がどのように学修指導に取り組んだかについて、次に簡単にまとめ、今後の指針としたい。

(1) コロナ禍における学科体制の整備

コロナ禍において、学科会議や教員間の連絡が密になったことが多くの学科から報告された。教員間の情報交換において、授業や学生の状況(出席や課題提出状況、進路情報など)などがこれまで以上にきめ細やかに共有された。また、非常勤講師へのサポート充実も多くの学科で行われた。

(2) 学修指導の充実

文学部全学科において、カリキュラムとして、また実際の授業運営において、基礎教育・初年次教育に力を入れており、今後も充実が期待される。

学修を補うために、授業時間外の補講、講習会、学生同士の交流促進の機会を持つ学科もある。コロナ禍において、図書の貸出などに教員が協力した学科があったが、事務体制の充実が求められる。

卒業論文については、オンライン指導を行い、従来と遜色のない個別的な対応が行われた学科が多かった。

(3) 授業の工夫

アクティブ・ラーニングの実践にはいずれの学科も熱心に取り組んでいる。リアクションペーパーの活用は前年までに引き続き、多くの学科が工夫して活用している。授業でのグループ討議は、Zoom 等を利用した遠隔授業でも積極的に取り入れられ、特に演習授業の高い満足度に反映されていると考えられる。チャットやリアルタイム・アンケート・アプリの活用のほか、従来の紙教材についても様々な工夫がなされたことが報告された。これらは今後も継続し、またFD研究会(次項)などを通じて情報共有を進めていく。

(4) 文学部のFD活動

文学部では年2回(7月と12月)、文学部FD研究会を開催し、通例、文学部教員の約8割が出席している。前年も2回にわたり、オンラインで実施した。テーマは2回とも「遠隔授業」であり、様々な遠隔授業のスタイルの紹介、実践報告、機材の紹介、問題点・課題の指摘など、充実した情報交換とディスカッションが行われた。また12月は初めて講演内容を事前に動画で配信し、当日はディスカッションの時間を多くとる形式で実施した。

3. 学科別の分析

【哲学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価(単年度データ、及び過去5ヵ年経年変化比較表)からわかること

<文学部のデータより>

・「経年変化 比較一覧表(実施状況)」を見る限り、例年は回答が70%台~80%台をキープしていたのに、2020年度は講義も演習も20%台と、大幅に減ってしまっている。これではごく一部の学生の考えしか教員にはわからないため、積極的に呼びかけて、回答率を上げたほうがよい。

・2020年度はコロナ禍ゆえに初めて遠隔授業の方法が導入された年であったが、「経年変化

比較表（設問別）」を見る限り、文学部に関しては学生の満足度（(9) -1 および (10) -1）は演習のほうが数値は高く、講義に関しては4をこらうじて超えているものの、数値が高くない。おそらくこれまではただ教室に行って、受動的に講義を聞いて、最後にペーパーを出すなどといった対応でもこなせてきたものが、オンデマンド方式の授業が増えたことによって、ある程度自発的に資料を読み、課題に取り組むということが求められたということも大きく影響していると推測する。質問の機会（6）、意見交換の機会（7）に関しても講義のほうが数値が低い、これは授業の性格上、致し方ないと考える。大人数の講義授業の場合、意見交換の機会を設けること自体が難しく、演習と同じレベルで意見交換の場を設けるのはほとんど不可能なのではないか。

なお、気になるのは勉強時間に関する設問（(3) -2）である。2020年度は遠隔授業だったため、受講時間を含めた学習時間合計を質問したわけであるが、講義はよいとしても、演習で約2.5（つまり授業時間を含めて2時間未満の学生が多い）というのは、授業以外に予習や、課題の時間をあまりとっていないということを意味するように思われる。教員の側も学生の負担を考えて、課題の量などを少なくしたのかもしれない。

【哲学科】

・上記のように文学部全体でも回答率が低かったが、哲学科に関しては講義に関して248名の回答、そして演習に関しては23名の回答しかない。他学科と比べても演習についての回答率は著しく低いため、今年度は積極的に教員の側も呼びかける必要がある。

・文学部のデータでは、勉強時間に関する設問（(3) -2）では演習に関して約2.5であったが、哲学科に関しては3を超えている。この数値は他学科と比べても高いほうであり、遠隔授業でも授業時間外に予習や課題の時間を学生が確保できたということを示している。しかしやはり23名の回答だけをもとにしたデータなので、学科全体でどれだけの学生が勉強の時間を確保しているのかについては不明のままである。

・教材に関する設問（5）に関しては、講義、演習いずれも4,3以上となっており、教材に関しては学生がある程度満足しているということがわかる。

・意見交換についての設問（7）に関しては、講義での値2.89と低い、上述のように講義という授業の性格上、数値をあげるのはなかなか難しいのではないか。

・教員による内容の伝え方、学ぶ量、授業水準、総合評価などについてはいずれも4以上なので、少なくとも回答した学生にとっては満足のいく授業が多かったものと推測される。

【史学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

質問項目〔8〕「教員が学習内容を理解しやすい形で伝えるように工夫していた」項目に顕著だが、1年生の「強くそう思う」評価が講義・演習ともに2年生以上に比べて半分程度と極端に低い。全学年の数値で史学は他の学科に比べて10%低い。〔10〕「授業の水準に満足

している」項目でも「強くそう思う」項目で他の学科に比べて 10～20%低い評価になっている。[5]「教材が役立ったか」についても他の学科に比べて評価が低い。教員側でも通常期待される学修成果が得られていない、という指摘があり、遠隔授業に対応する授業方法や提供教材の工夫・開発が成功していないと思われる。[3]「この授業に毎週一定の時間を確保して取り組んだ」についても、他の学科に比べて値が低く、課題の課し方にも問題があるのかも知れない。2 学期から演習・基礎演習に対面方式をとり入れたが、学生の評価からみて挽回できていないといえる。特に 1 年生の評価が低い点が憂慮される。2021 年度は演習の全てが対面方式になったため、一定の改善が得られるのではないかと期待される。

【日本語日本文学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

Q3 講義と演習とで費やす時間にあまり差がない。これは「講義」でもアクティブ・ラーニングが採用されている現れかも知れない

【英語英米文化学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

<文学部について>

講義より演習の方が意欲的に取り組み、準備して臨む学生が多いが、これは当然のこと。

2020 年度はオンラインのためだったのか、学生の評価が、それまでよりも総合的に見て、比較的低い傾向が見られた。例えば、(8)「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」という質問についてなど、低い傾向が見られたのは、設問が前年度まで「教員は理解しやすい授業を行なっている」だったので、今回は、より具体的な質問になったためということも考えられるかもしれない。

授業に使った時間（受講、予習・復習、課題を合わせて）について、文学部では、受講時間を含め、90分未満の学生が 18.88 % もいたのは多いように思われる。これは、オンラインになったためかも知れないが、時間があまりにも少ない。

<英語英米文化学科について>

学生回答単純集計の平均値は、講義、演習ともにおおむね 4 以上であり、それ以下だったのは、Q1 の講義で、「シラバスなどを通してこの授業で身につけたい知識や能力をイメージしていたか」が 3.84、そして Q7 の「この授業に対する履修者同士の意見交換の機会は不足なく設けられていた」が、講義、演習ともに、それぞれ 3.34、3.85 と低かった。

これらの理由を考えると、前者は、必修科目等が多く、履修を当然のこととして考えているので、自ら身につけたい知識や能力をあまり意識しなかったのではないかとと思われる。後者に関しては、オンライン授業だったため、アクティブラーニングの工夫が少なかったためかと思われる。

【ドイツ語圏文化学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

学生回答単純集計平均を見ると、「Q1 3 総合的に見てこの授業は高く評価できる」が文学部平均の 4.15 に対してドイツ語圏文化学科は 4.19 であることをはじめ、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」が文学部平均 4.17 に対して 4.24、「Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」が文学部平均 4.13 に対して 4.36、「Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」が文学部平均 4.14 に対して 4.26、「Q1 1 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」が文学部平均 4.22 に対して 4.24、「Q1 2 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」が文学部平均 4.16 に対して 4.20 と、多くの項目で平均を上回る値となっている。特に「Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」は文学部平均の 3.18 に対して 3.71 と差が大きく、また「Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」（4.13、文学部平均は 4.02）を考え併せても、ドイツ語圏文化学科では他学科以上にインタラクティブな授業が行われていることが伺える。過去 5 年の経年変化についてはデータがないが、一年前のデータと比べると「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」は 4.17 から 4.24 に上昇しており、アクティブ・ラーニングを取り入れた学生が主体的に取り組むことのできる授業が実現してきていると言えるだろう。今後の課題として、それでもやはり 3 点台にとどまっている「履修者同士の意見交換の機会」の充実には工夫の余地があるものと思われる。一方、数値としては前年より下がってしまった「Q1 3 総合的に見てこの授業は高く評価できる」（前年は 4.37）については、より詳細な分析が必要であろう。

【フランス語圏文化学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

令和 2 年度は遠隔授業で始まったことによって、シラバスをあらかじめ読む学生が増えたようである。この傾向は学年を追うごとに強くなっている（Q1 の学部生・学年別参照）ことから、前年度までの「履修登録時までにシラバスを読んでもらう」ための取り組みと全面遠隔授業という状況との相乗効果が生まれたと推測できる。また、授業への取り組みに関する質問（Q2, Q3）の解答から、遠隔授業という特殊な状況においてむしろ勉学へのモチベーションはあがったということも推測される。また、授業方法やシラバス記載内容の変更についての教員からの説明についての質問（Q4）の解答からは、学内および文学部内において説明の徹底が周知・実践されていたことが窺える。Q5 および Q6 から学内および文学部内において遠隔授業実施にあたってその方法、問題点への対処法など随時情報交換が行われたことが功を奏したと分析できるであろう。質問全体を通して、遠隔授業では同時配信型の

方が授業への満足度が高かったということだが、それでもなお履修者同士の交流という面からは(Q7)遠隔授業全般について改善の余地があることが窺える。

【心理学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

・令和2年度は回答率が以前と比べて著しく低下している（文学部 22.61%）。回答した学生と回答しなかった学生の比較ができない以上、過去のデータとの直接的な比較は困難である。同様に今回の数値データのみを解釈する場合においても注意を要する。それでも自由記述内容の分析は有効であると考えられる。

・各質問項目の相関係数を見ると、およそ(1)～(3)の予習・取り組みに関わる質問と(5)、(6)と(9)～(13)の満足度・評価に分けられるようである。(7)と(8)は教員の授業の進め方と関連しているが、他の質問との相関は比較的小さい。

・心理学科の回答は、文学部全体および各学科と比較して、講義・演習ともに一貫して低い水準にある。上記の質問項目の枠組みで捉えるなら、心理学科の授業は、事前学習が少なく、満足度・評価も低い。例えばQ13の総合的評価をとりあげると講義は4.01（8学科中7番目）、演習は4.14（8学科中8番目）となっている。心理学科の演習に関しては、1、2年次の英文講読を中心とした基礎的演習、3、4年次の専門ゼミナール、2、3年次の実験演習に大きく区分されるため、演習ごとに比較する必要がある。

【教育学科】

■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

文学部に関する評価内容は、総合的評価を含めて、おおむね平均ないし平均以上の評価を得られてきた。2020年度は、緊急対応の形で遠隔講義、課題提出型講義が中心となり、その形態も多様であったことから、学生側も戸惑いながら授業に参加していた。このことが、例年に比した数字となって表れているようにも思われる。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

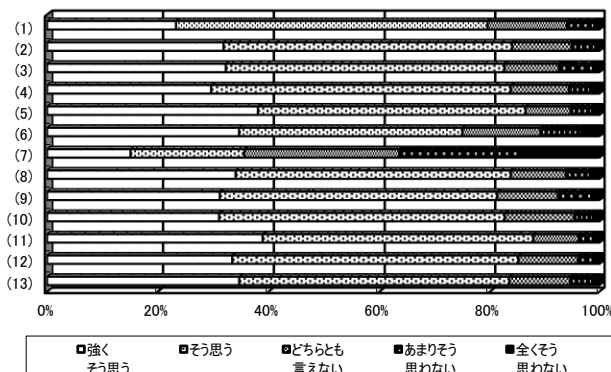
部門名 文学部

形態名 講義

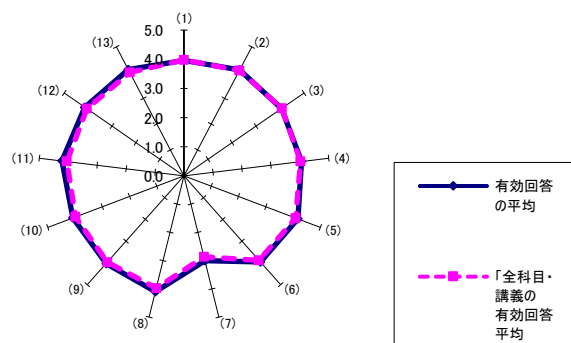
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,425	11,330	21.40%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	563	1,361	351	121	23	6	2,425	3.96	0.814	3.99	0.296
			23.22%	56.12%	14.47%	4.99%	0.95%	0.25%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	772	1,265	263	105	19	1	2,425	4.10	0.813	4.13	0.327
			31.84%	52.16%	10.85%	4.33%	0.78%	0.04%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	781	1,219	241	152	28	4	2,425	4.06	0.880	4.04	0.412
			32.21%	50.27%	9.94%	6.27%	1.15%	0.16%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	74	155	386	755	446	425	2,241	2.26	1.049	2.27	0.634
			3.30%	6.92%	17.22%	33.69%	19.90%	18.96%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	716	1,309	257	94	41	8	2,425	4.06	0.841	4.06	0.430
			29.53%	53.98%	10.60%	3.88%	1.69%	0.33%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	922	1,173	199	94	34	3	2,425	4.18	0.844	4.19	0.435
			38.02%	48.37%	8.21%	3.88%	1.40%	0.12%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	839	975	345	179	82	5	2,425	3.95	1.043	3.95	0.652
		34.60%	40.21%	14.23%	7.38%	3.38%	0.21%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	365	497	678	535	347	3	2,425	3.00	1.266	3.09	0.854	
		15.05%	20.49%	27.96%	22.06%	14.31%	0.12%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	824	1,204	243	106	43	5	2,425	4.10	0.876	4.11	0.497	
		33.98%	49.65%	10.02%	4.37%	1.77%	0.21%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	755	1,213	269	147	37	4	2,425	4.03	0.896	4.02	0.468	
		31.13%	50.02%	11.09%	6.06%	1.53%	0.16%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	99	84	-	-	-	1	184	-	-	-	-	
		53.80%	45.65%	-	-	-	0.54%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	751	1,248	307	82	30	7	2,425	4.08	0.824	4.09	0.433	
		30.97%	51.46%	12.66%	3.38%	1.24%	0.29%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	44	63	-	-	-	5	112	-	-	-	-	
		39.29%	56.25%	-	-	-	4.46%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	942	1,186	201	65	27	4	2,425	4.22	0.795	4.24	0.366	
		38.85%	48.91%	8.29%	2.68%	1.11%	0.16%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	810	1,254	264	67	28	2	2,425	4.14	0.800	4.16	0.357	
		33.40%	51.71%	10.89%	2.76%	1.15%	0.08%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	840	1,182	269	97	33	4	2,425	4.11	0.853	4.13	0.468	
		34.64%	48.74%	11.09%	4.00%	1.36%	0.16%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

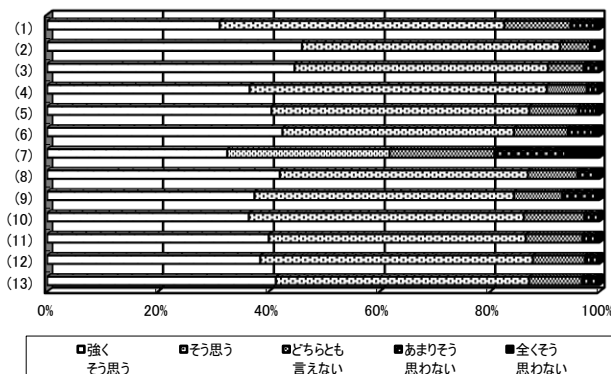
部門名 文学部

形態名 演習

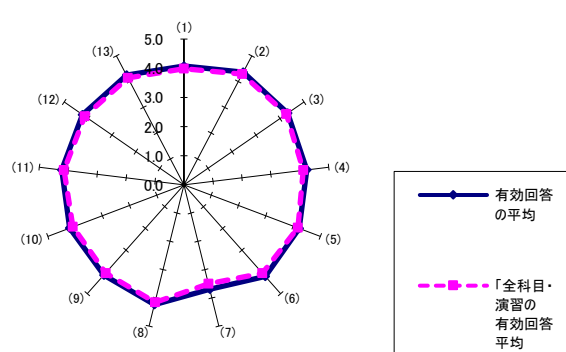
	合計	総履修者数	回答率
回答数	864	3,214	26.88%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	269	444	104	38	8	1	864	4.08	0.829	4.10	0.378
	31.13%		51.39%	12.04%	4.40%	0.93%	0.12%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	397	404	47	12	3	1	864	4.37	0.683	4.38	0.306
	45.95%		46.76%	5.44%	1.39%	0.35%	0.12%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	385	396	56	24	1	2	864	4.32	0.728	4.32	0.367
	44.56%		45.83%	6.48%	2.78%	0.12%	0.23%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	63	100	165	218	135	156	837	2.62	1.218	2.56	0.728
	7.53%		11.95%	19.71%	26.05%	16.13%	18.64%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	316	465	63	17	3	0	864	4.24	0.700	4.23	0.350
	36.57%		53.82%	7.29%	1.97%	0.35%	0.00%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	350	403	77	28	6	0	864	4.23	0.796	4.20	0.435
	40.51%		46.64%	8.91%	3.24%	0.69%	0.00%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	367	362	85	39	11	0	864	4.20	0.883	4.20	0.526
42.48%	41.90%		9.84%	4.51%	1.27%	0.00%	100.00%						
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	281	253	164	112	54	0	864	3.69	1.225	3.73	0.898	
32.52%		29.28%	18.98%	12.96%	6.25%	0.00%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	363	388	78	26	9	0	864	4.24	0.818	4.23	0.512	
42.01%		44.91%	9.03%	3.01%	1.04%	0.00%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	323	405	76	52	7	1	864	4.14	0.870	4.13	0.496	
37.38%		46.88%	8.80%	6.02%	0.81%	0.12%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	31	27	-	-	-	1	59	-	-	-	-	
52.54%		45.76%	-	-	-	1.69%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	314	429	95	22	2	2	864	4.20	0.748	4.20	0.404	
36.34%		49.65%	11.00%	2.55%	0.23%	0.23%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	12	10	-	-	-	2	24	-	-	-	-	
50.00%		41.67%	-	-	-	8.33%	100.00%						
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	345	401	89	20	7	2	864	4.23	0.787	4.23	0.428	
39.93%		46.41%	10.30%	2.31%	0.81%	0.23%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	332	426	82	19	4	1	864	4.23	0.746	4.22	0.415	
38.43%		49.31%	9.49%	2.20%	0.46%	0.12%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	356	395	83	23	5	2	864	4.25	0.780	4.25	0.446	
41.20%		45.72%	9.61%	2.66%	0.58%	0.23%	100.00%						

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.481 (**)	1												
Q3	.310 (**)	.610 (**)	1											
Q3-2	.076 (**)	.259 (**)	.355 (**)	1										
Q4	.383 (**)	.398 (**)	.296 (**)	.082 (**)	1									
Q5	.330 (**)	.419 (**)	.325 (**)	.080 (**)	.573 (**)	1								
Q6	.256 (**)	.291 (**)	.279 (**)	.108 (**)	.496 (**)	.466 (**)	1							
Q7	.216 (**)	.311 (**)	.284 (**)	.165 (**)	.362 (**)	.329 (**)	.507 (**)	1						
Q8	.327 (**)	.400 (**)	.289 (**)	.076 (**)	.601 (**)	.684 (**)	.532 (**)	.372 (**)	1					
Q9	.344 (**)	.381 (**)	.279 (**)	.012	.515 (**)	.579 (**)	.421 (**)	.302 (**)	.650 (**)	1				
Q10	.388 (**)	.438 (**)	.318 (**)	.058 (*)	.577 (**)	.654 (**)	.466 (**)	.361 (**)	.712 (**)	.750 (**)	1			
Q11	.447 (**)	.503 (**)	.330 (**)	.125 (**)	.527 (**)	.567 (**)	.402 (**)	.308 (**)	.605 (**)	.577 (**)	.652 (**)	1		
Q12	.430 (**)	.509 (**)	.368 (**)	.134 (**)	.496 (**)	.545 (**)	.403 (**)	.321 (**)	.580 (**)	.567 (**)	.646 (**)	.799 (**)	1	
Q13	.375 (**)	.463 (**)	.331 (**)	.091 (**)	.638 (**)	.672 (**)	.524 (**)	.392 (**)	.752 (**)	.674 (**)	.776 (**)	.708 (**)	.696 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.497 (**)	1												
Q3	.373 (**)	.590 (**)	1											
Q3-2	.115 (**)	.269 (**)	.400 (**)	1										
Q4	.426 (**)	.435 (**)	.323 (**)	.044	1									
Q5	.404 (**)	.408 (**)	.327 (**)	.055	.673 (**)	1								
Q6	.308 (**)	.320 (**)	.260 (**)	.046	.511 (**)	.558 (**)	1							
Q7	.288 (**)	.288 (**)	.204 (**)	.035	.403 (**)	.405 (**)	.599 (**)	1						
Q8	.417 (**)	.415 (**)	.273 (**)	.057	.629 (**)	.717 (**)	.633 (**)	.505 (**)	1					
Q9	.397 (**)	.374 (**)	.295 (**)	.003	.539 (**)	.614 (**)	.476 (**)	.411 (**)	.670 (**)	1				
Q11														
Q10	.460 (**)	.478 (**)	.339 (**)	.037	.599 (**)	.659 (**)	.532 (**)	.464 (**)	.730 (**)	.760 (**)	1			
Q13														
Q11	.441 (**)	.487 (**)	.309 (**)	.055	.492 (**)	.546 (**)	.445 (**)	.391 (**)	.598 (**)	.571 (**)	.659 (**)	1		
Q12	.453 (**)	.514 (**)	.378 (**)	.075	.516 (**)	.562 (**)	.487 (**)	.403 (**)	.626 (**)	.599 (**)	.647 (**)	.716 (**)	1	
Q13	.473 (**)	.511 (**)	.363 (**)	.067	.628 (**)	.685 (**)	.577 (**)	.499 (**)	.784 (**)	.711 (**)	.803 (**)	.699 (**)	.717 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	1.020	3.91	0.369	3.96	0.814	3.99	0.296
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.89	0.930	3.97	0.390	3.73	1.053	3.80	0.415	3.82	1.057	3.92	0.466	3.76	1.009	3.87	0.436	4.10	0.813	4.13	0.327
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.880	4.04	0.412
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.26	1.049	2.27	0.634
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.841	4.06	0.430
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.844	4.19	0.435
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	1.043	3.95	0.652
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	1.266	3.09	0.854
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.22	0.902	4.30	0.410	4.14	0.975	4.22	0.451	4.20	0.959	4.30	0.443	4.21	0.929	4.31	0.416	4.10	0.876	4.11	0.497
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.896	4.02	0.468
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.12	0.881	4.19	0.377	4.02	0.941	4.09	0.412	4.09	0.954	4.20	0.428	4.14	0.890	4.23	0.365	4.08	0.824	4.09	0.433
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.22	0.889	4.32	0.363	4.13	0.961	4.21	0.397	4.19	0.935	4.29	0.381	4.26	0.862	4.35	0.353	4.22	0.795	4.24	0.366
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.800	4.16	0.357
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	0.850	4.36	0.382	4.20	0.894	4.27	0.426	4.25	0.880	4.35	0.395	4.27	0.859	4.37	0.381	4.11	0.853	4.13	0.468	

部門名 文学部
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.01	0.945	4.06	0.341	4.08	0.829	4.10	0.378
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.32	0.745	4.32	0.273	4.27	0.798	4.29	0.297	4.27	0.812	4.28	0.285	4.16	0.821	4.17	0.298	4.37	0.683	4.38	0.306
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.728	4.32	0.367
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.62	1.218	2.56	0.728
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.700	4.23	0.350
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.796	4.20	0.435
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.883	4.20	0.526
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.69	1.225	3.73	0.898
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.47	0.754	4.49	0.409	4.42	0.795	4.47	0.346	4.39	0.797	4.44	0.332	4.39	0.781	4.40	0.366	4.24	0.818	4.23	0.512
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.870	4.13	0.496
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.35	0.770	4.36	0.337	4.24	0.843	4.27	0.352	4.19	0.871	4.23	0.344	4.25	0.819	4.25	0.370	4.20	0.748	4.20	0.404
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.44	0.769	4.45	0.374	4.37	0.816	4.41	0.337	4.34	0.823	4.39	0.336	4.36	0.784	4.37	0.344	4.23	0.787	4.23	0.428
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.746	4.22	0.415
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.49	0.729	4.51	0.387	4.44	0.756	4.49	0.319	4.41	0.761	4.46	0.315	4.41	0.764	4.42	0.354	4.25	0.780	4.25	0.446	

IV. 理学部

1. 集計データからわかること

Q1 はシラバスを通じて、身につけたい成果をイメージしていたかを問う設問である。科目ベースの平均値で、3.84 (法 4.05 経 3.98 文4.03 国 3.94)と理学部は他学科に比べて低めの値が出ているが、前年度: 3.73 (法 4.11 経 4.03 文4.00 国 3.94)と比較するとやや上昇している。改善傾向はあるものの、学生側の授業に対するイメージと実際の授業内容の間に若干の乖離がある事を示唆している。

Q2 は授業への意欲を問うもので、科目ベースの平均値では、講義: 4.10 (法 4.03 経 4.05 文 4.13 国 4.12)、演習: 4.28 (法 4.30 経 4.48 文4.38 国 4.31)、であり、他学科と同等の高いスコアを示している。この項目については 2019 年度のデータ 講義: 3.64 (法 3.65 経 3.81 文3.87 国 3.74)、演習: 4.10 (法 4.32 経 4.38 文4.17 国 4.19)と比較すると、スコアの改善が著しい。これは理学部のみならず全学的な傾向である。特に講義のスコアの伸びが大きく、毎年高いスコアを示していた演習との差が今年は無意に縮まっている。ひとつの理由として、オンライン授業により講義科目で多くの課題を消化することが求められ、授業への高い参加意識が求められたという可能性が考えられるかもしれない。

Q3 は授業時間外の学習時間についての問いで、講義: 4.17 (法 4.00 4.04 文4.04 国 4.12)、演習: 4.43 (法 4.37 経 4.34 文4.32 国 4.04)と、全体的に他学科と比べて、同等か多くの時間を授業外の学習に費やしている事が分かる。Q3-2 の具体的な学習時間の結果を見ると、週に 3 時間以上の学習時間を費やした人数の割合は講義で 19.14%と約 2 割にのぼり、演習に至っては 59.35%と 6 割にのぼる。これは他学科に比べて著しく高い。また、前年度、2019 年度(講義: 6.96%、演習: 31.11%)と比較すると、3 時間以上の学習時間を費やした人数は、講義で 3 倍、演習で 2 倍程度の増加を示している。この増加の原因は、授業のオンライン化によるものと推測される。特に講義において、週ベースで課題の提出が求められる授業が増えたことが大きな理由として考えられる。

Q4 は授業方法・シラバスの記載内容の変更についての教員の説明が十分であったかを問うもので、理学部では 80%程度の学生が「4.そう思う」または「5.強くそう思う」と回答していた。

Q5 は授業で配布された教材が学習に有用なものであったかを問う設問であり、科目ベースの平均値で、4.02 と高いスコアを示し、また、講義・演習とも、80%程度の学生が「4.そう

思う」または「5.強くそう思う」と回答していた。特にオンデマンド型の授業では配布される教材の質が授業の質を直接決めることは言うまでもないが、少なくとも Q5 の回答から判断する限り、多くの学生が配信される教材の質に満足しているようである。一方で、7%程度と少なくない学生が「2.あまりそう思わない」、「1.全くそう思わない」を選択しており、特に演習でこの二つの項目のいずれかを回答した人数が 6 人であるのに比べて、講義では 45 人と数が多い。従来から教材を配布して解答させる、というスタイルを取ることが多かった演習の授業に比べ、講義の配布資料の質がまだ十分に練られていないことを示唆する結果である。

Q6、Q7 はコミュニケーションに関する設問である。まず、Q6 は教員への質問の機会についての問いであるが、講義:3.87、演習:4.02 と講義と演習とで開きがある。特に「2.あまりそう思わない」、「1.全くそう思わない」の回答人数が演習では 29 人に対し、講義では 184 人(全体の 10%)にのぼった。オンライン授業でもっとも失われやすい要素が双方向のコミュニケーションであり、講義ではまだ教員と学生間のコミュニケーションの確立が不十分であることを示唆している。Q7 は履修者同士の意見交換の機会についての問いである。講義:3.02、演習:3.36 と残念ながら低い水準にとどまり、「2.あまりそう思わない」、「1.全くそう思わない」の回答者の割合は講義で 34.66%、演習で 29.85%に及んだ。対面の授業では当たり前であった、友人同士のコミュニケーションが失われたことに不満を感じている学生が相当数いることが改めて認識される結果となった。

Q8 は教員の授業内容を理解しやすくするための努力についての設問である。科目ベースで 3.91 というスコアであり、2019 年度の 3.92 とほぼ変わらない、横這いの結果となった。

Q9 は授業のボリュームについての設問である。理学部は科目ベースの平均値で 3.86 であり、(法 3.99 経 4.01 文 4.06 国 4.14)と他学科に比べて低いスコアを示した。その内容を Q9-2 で詳しく見ると、授業のボリュームが多いと回答した学生が 88.48%に及び、(法 82.65% 経 75.30% 文 53.50% 国 57.89%)と、法学部に並んで、授業内容が多すぎると感じた受講者が多かったことを分かった。Q3 の学習時間の増加を示す結果と合わせ、オンライン授業において課題を出しすぎる傾向を反映している可能性がある。

Q10 は授業の水準についての設問である。3.88 というスコアであり、Q10-2 でその内訳を見ると、水準が高すぎると感じる受講者が 75%程度いることがわかった。授業の水準が高いと感じる傾向は毎年のものであるが、2016 年度から 3.77、3.70、3.63、3.77 と推移してきており、今年は僅かながら改善が見られる。

Q11 の、授業による知的好奇心の刺激、新しいものの見方の獲得を問う項目では、3.96 と

いう比較的高い値が得られ、5.「強くそう思う」、4.「そう思う」の回答の合計が77.86%と、2019年度の69.32%よりも有意に多い人数が、授業に知的な満足感を得ている事を読み取る事ができる。この傾向はQ12の知識や能力の向上の実感を問う設問においても見ることができ、78.40%の学生が「5.強くそう思う」、「4.そう思う」と回答し、授業に対する充実感を示している。

Q13の総合評価は、講義、演習ともに3.92であり、2019年度の3.96よりもわずかに下がったものの、概ね例年の傾向通りの値を示しているとの印象を受ける。

2. 今後の授業改善に向けて

2020年度は講義のオンライン化に伴い、授業の形態に大きな変化が生じた。その具体的な影響はアンケート結果の多数の項目から伺うことができる。最も大きな変化のひとつはQ3, Q9から窺われる学習時間の増加である。理学部では前年度に比べて授業時間外の学習時間が3時間以上と回答した学生数が講義で3倍、演習で2倍と著しく増加した。オンデマンド講義の場合、「講義時間」が実質上ゼロとなるので、このアンケート結果はある程度割り引いて受け止めるべきかもしれない。しかしながら、学習時間が大幅に増加したことは事実であろう。学習に主体的に費やす時間が増えたことは良い面もある一方、負担が過剰になっている可能性もあり、講義における課題の量には、例えば異なる講義間での調整を図るなど、学生にかかる負荷を考慮した措置が必要であろう。

オンライン化に伴うもう一つの大きな変化はQ6, Q7から読み取れるコミュニケーションの質的变化である。特に講義において、教員と学生間、および学生同士のコミュニケーションが不足していると感じている受講者の数が多いことを改めて認識させられた。幸いなのは、授業内容の理解に困難を覚える受講者の数がQ8, Q10を見る限り、昨年度までとそれほど変わらず、また、Q11, Q12の結果から、授業に知的な充実感を感じている受講者の数も、昨年度よりもむしろ向上していることである。

オンライン授業の初年度ということで教員側も多くの時間を講義の準備に費やした結果ということかもしれない。オンライン主体の態勢が今後どのように続いて行くかは不透明であるが、オンライン化による2つの顕著な効果: 課題量の増加とコミュニケーションの不足、については強く認識しつつ、今後の講義の態勢を整えて行くべきと考える。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

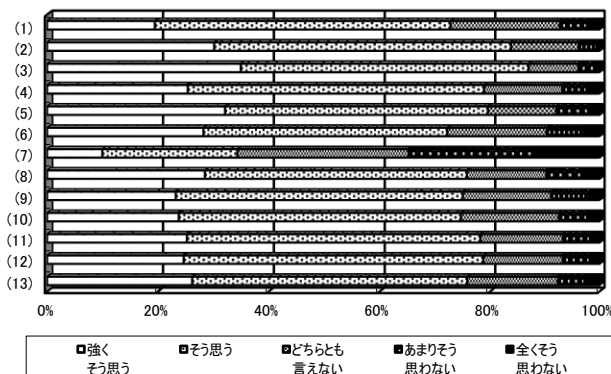
部門名 理学部

形態名 講義

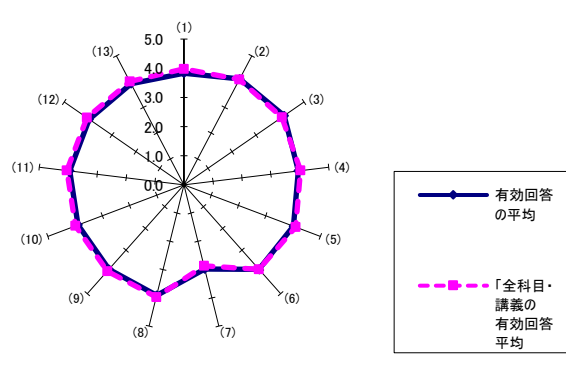
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,907	6,098	31.27%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	371	1,016	380	94	44	2	1,907	3.83	0.878	3.84	0.293
			19.45%	53.28%	19.93%	4.93%	2.31%	0.10%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	575	1,023	236	63	9	1	1,907	4.10	0.769	4.10	0.276
			30.15%	53.64%	12.38%	3.30%	0.47%	0.05%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	667	993	174	57	16	0	1,907	4.17	0.779	4.17	0.286
			34.98%	52.07%	9.12%	2.99%	0.84%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	151	200	432	507	196	348	1,834	2.73	1.157	2.73	0.713
			8.23%	10.91%	23.56%	27.64%	10.69%	18.97%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	483	1,017	272	84	45	6	1,907	3.95	0.886	3.95	0.398
			25.33%	53.33%	14.26%	4.40%	2.36%	0.31%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	611	903	238	110	40	5	1,907	4.02	0.931	4.01	0.506
			32.04%	47.35%	12.48%	5.77%	2.10%	0.26%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	538	838	345	130	54	2	1,907	3.88	0.989	3.87	0.491
		28.21%	43.94%	18.09%	6.82%	2.83%	0.10%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	190	463	588	439	222	5	1,907	2.98	1.158	3.02	0.521	
		9.96%	24.28%	30.83%	23.02%	11.64%	0.26%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	541	898	275	122	63	8	1,907	3.91	0.989	3.91	0.561	
		28.37%	47.09%	14.42%	6.40%	3.30%	0.42%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	442	986	307	131	37	4	1,907	3.87	0.910	3.90	0.407	
		23.18%	51.70%	16.10%	6.87%	1.94%	0.21%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	148	18	-	-	-	2	168	-	-	-	-	
		88.10%	10.71%	-	-	-	1.19%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	451	966	339	98	43	10	1,907	3.89	0.903	3.90	0.447	
		23.65%	50.66%	17.78%	5.14%	2.25%	0.52%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	109	31	-	-	-	1	141	-	-	-	-	
		77.30%	21.99%	-	-	-	0.71%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	480	1,007	287	94	33	6	1,907	3.95	0.869	3.95	0.389	
		25.17%	52.81%	15.05%	4.93%	1.73%	0.31%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	470	1,031	277	94	34	1	1,907	3.95	0.865	3.95	0.355	
		24.65%	54.06%	14.53%	4.93%	1.78%	0.05%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	499	945	315	93	52	3	1,907	3.92	0.929	3.92	0.478	
		26.17%	49.55%	16.52%	4.88%	2.73%	0.16%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

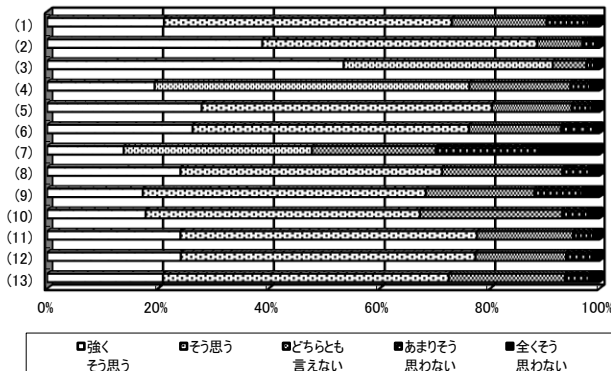
部門名 理学部

形態名 演習

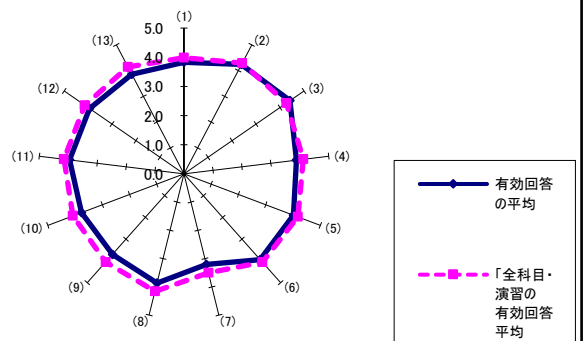
	合計	総履修者数	回答率
回答数	412	1,225	33.63%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	87	214	71	32	8	0	412	3.83	0.917	3.86	0.361
			21.12%	51.94%	17.23%	7.77%	1.94%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	160	205	34	10	3	0	412	4.24	0.761	4.28	0.310
			38.83%	49.76%	8.25%	2.43%	0.73%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	220	156	25	6	4	1	412	4.42	0.755	4.43	0.298
			53.40%	37.86%	6.07%	1.46%	0.97%	0.24%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	163	75	48	37	8	70	401	4.05	1.142	4.06	0.724
			40.65%	18.70%	11.97%	9.23%	2.00%	17.46%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	80	234	76	15	7	0	412	3.89	0.816	3.96	0.359
			19.42%	56.80%	18.45%	3.64%	1.70%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	115	216	60	15	6	0	412	4.02	0.838	4.05	0.350
			27.91%	52.43%	14.56%	3.64%	1.46%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	108	205	69	24	5	1	412	3.94	0.879	4.02	0.415
		26.21%	49.76%	16.75%	5.83%	1.21%	0.24%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	57	140	92	78	45	0	412	3.21	1.216	3.36	0.755	
		13.83%	33.98%	22.33%	18.93%	10.92%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	99	194	90	20	8	1	412	3.87	0.902	3.93	0.493	
		24.03%	47.09%	21.84%	4.85%	1.94%	0.24%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	71	210	81	36	13	1	412	3.71	0.959	3.73	0.441	
		17.23%	50.97%	19.66%	8.74%	3.16%	0.24%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	44	4	-	-	-	1	49	-	-	-	-	
		89.80%	8.16%	-	-	-	2.04%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	73	203	106	19	9	2	412	3.76	0.874	3.81	0.400	
		17.72%	49.27%	25.73%	4.61%	2.18%	0.49%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	20	6	-	-	-	2	28	-	-	-	-	
		71.43%	21.43%	-	-	-	7.14%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	99	220	72	15	5	1	412	3.96	0.819	4.00	0.375	
		24.03%	53.40%	17.48%	3.64%	1.21%	0.24%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	99	218	68	19	6	2	412	3.94	0.850	4.02	0.398	
		24.03%	52.91%	16.50%	4.61%	1.46%	0.49%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	86	212	87	18	8	1	412	3.85	0.867	3.92	0.412	
		20.87%	51.46%	21.12%	4.37%	1.94%	0.24%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.468 (**)	1												
Q3	.326 (**)	.645 (**)	1											
Q3-2	.137 (**)	.289 (**)	.391 (**)	1										
Q4	.441 (**)	.432 (**)	.354 (**)	.094 (**)	1									
Q5	.359 (**)	.411 (**)	.320 (**)	.051	.622 (**)	1								
Q6	.364 (**)	.343 (**)	.283 (**)	.086 (**)	.552 (**)	.544 (**)	1							
Q7	.346 (**)	.265 (**)	.179 (**)	.035	.365 (**)	.318 (**)	.490 (**)	1						
Q8	.379 (**)	.388 (**)	.266 (**)	-.001	.616 (**)	.749 (**)	.577 (**)	.389 (**)	1					
Q9	.357 (**)	.368 (**)	.258 (**)	-.038	.503 (**)	.574 (**)	.432 (**)	.321 (**)	.624 (**)	1				
Q10	.399 (**)	.407 (**)	.263 (**)	-.018	.566 (**)	.674 (**)	.514 (**)	.364 (**)	.695 (**)	.738 (**)	1			
Q11	.453 (**)	.448 (**)	.327 (**)	.058 (*)	.514 (**)	.608 (**)	.477 (**)	.316 (**)	.628 (**)	.558 (**)	.649 (**)	1		
Q12	.456 (**)	.491 (**)	.367 (**)	.105 (**)	.516 (**)	.604 (**)	.485 (**)	.330 (**)	.594 (**)	.524 (**)	.643 (**)	.778 (**)	1	
Q13	.414 (**)	.433 (**)	.297 (**)	.009	.623 (**)	.730 (**)	.573 (**)	.407 (**)	.762 (**)	.648 (**)	.790 (**)	.702 (**)	.710 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.373 (**)	1												
Q3	.276 (**)	.569 (**)	1											
Q3-2	.054	.272 (**)	.407 (**)	1										
Q4	.318 (**)	.325 (**)	.257 (**)	.083	1									
Q5	.295 (**)	.379 (**)	.252 (**)	.172 (**)	.579 (**)	1								
Q6	.305 (**)	.284 (**)	.177 (**)	.157 (**)	.481 (**)	.512 (**)	1							
Q7	.336 (**)	.286 (**)	.128 (**)	-.002	.372 (**)	.335 (**)	.495 (**)	1						
Q8	.343 (**)	.383 (**)	.229 (**)	.114 (*)	.585 (**)	.657 (**)	.551 (**)	.399 (**)	1					
Q9	.261 (**)	.327 (**)	.194 (**)	-.041	.385 (**)	.490 (**)	.359 (**)	.429 (**)	.579 (**)	1				
Q11														
Q10	.293 (**)	.358 (**)	.211 (**)	-.043	.522 (**)	.532 (**)	.460 (**)	.414 (**)	.625 (**)	.667 (**)	1			
Q13														
Q11	.369 (**)	.478 (**)	.280 (**)	.183 (**)	.452 (**)	.544 (**)	.407 (**)	.330 (**)	.580 (**)	.432 (**)	.555 (**)	1		
Q12	.309 (**)	.522 (**)	.264 (**)	.154 (**)	.483 (**)	.541 (**)	.410 (**)	.321 (**)	.529 (**)	.463 (**)	.597 (**)	.763 (**)	1	
Q13	.364 (**)	.402 (**)	.203 (**)	.038	.522 (**)	.605 (**)	.495 (**)	.473 (**)	.675 (**)	.640 (**)	.743 (**)	.669 (**)	.671 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.66	1.063	3.70	0.341	3.83	0.878	3.84	0.293
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.95	0.981	3.95	0.339	3.83	1.069	3.84	0.348	3.80	1.086	3.83	0.370	3.61	1.042	3.64	0.359	4.10	0.769	4.10	0.276
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.779	4.17	0.286
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.73	1.157	2.73	0.713
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.886	3.95	0.398
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.931	4.01	0.506
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.989	3.87	0.491
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.98	1.158	3.02	0.521
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	3.90	1.107	3.97	0.504	3.95	1.066	3.98	0.481	3.89	1.069	3.94	0.465	3.87	1.043	3.92	0.478	3.91	0.989	3.91	0.561
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	0.910	3.90	0.407
	(10)-1	この授業の水準に満足している	3.77	1.099	3.81	0.429	3.70	1.091	3.73	0.439	3.63	1.120	3.66	0.495	3.77	1.026	3.82	0.438	3.89	0.903	3.90	0.447
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	3.91	1.044	3.99	0.406	3.89	1.062	3.94	0.426	3.84	1.061	3.89	0.411	3.86	1.010	3.91	0.410	3.95	0.869	3.95	0.389
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.865	3.95	0.355
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.01	0.995	4.08	0.428	4.03	0.980	4.06	0.438	3.97	0.977	4.02	0.403	3.96	0.960	4.02	0.446	3.92	0.929	3.92	0.478	

部門名 理学部
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	0.999	3.86	0.236	3.83	0.917	3.86	0.361
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.35	0.855	4.26	0.391	4.44	0.800	4.42	0.274	4.36	0.919	4.35	0.377	4.07	0.907	4.10	0.301	4.24	0.761	4.28	0.310
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.755	4.43	0.298
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	1.142	4.06	0.724
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	0.816	3.96	0.359
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.838	4.05	0.350
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.879	4.02	0.415
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.21	1.216	3.36	0.755
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.17	0.903	4.14	0.296	4.22	0.889	4.23	0.306	4.15	0.957	4.14	0.409	4.07	0.885	4.09	0.260	3.87	0.902	3.93	0.493
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.71	0.959	3.73	0.441
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.09	0.954	4.03	0.374	3.97	1.026	3.95	0.364	3.97	1.032	3.94	0.438	4.00	0.931	4.03	0.323	3.76	0.874	3.81	0.400
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.19	0.956	4.12	0.376	4.21	0.944	4.19	0.352	4.15	1.041	4.13	0.512	4.14	0.890	4.14	0.302	3.96	0.819	4.00	0.375
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.850	4.02	0.398
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	0.884	4.23	0.326	4.29	0.869	4.29	0.307	4.24	0.894	4.21	0.390	4.16	0.865	4.17	0.272	3.85	0.867	3.92	0.412	

V. 国際社会科学部

1. 集計データからわかること

A. 講義科目

講義科目の令和2(2020)年度のアンケートの実施率は94.44%となり令和元年度の100%からは低下したものの、それ以前の3年間の平均実施率(平均91.2%)並みに戻ったと考えることができる。一方アンケートの回答率は12.89%であり、それ以前の4年間の平均(53.25%)と比べて大幅に低下した。コロナ禍において急遽オンライン授業が導入され、教室で質問票を配布する従来の方式がオンラインアンケートに変更されたことが直接の原因であると思われる。

講義形式の社会科学科目は、例年通り日本語を使用言語とした科目を中心に履修者数が200名前後に達した科目も多くみられたものの、講義科目の全学平均値(以下、全学平均)(3.99)と等しいレベルのシラバスの理解度(Q1)(3.99)を示した。

講義科目の意欲度(Q2)(4.12)は全学平均(4.10)を若干上回った。各授業の全学習時間(Q3-2)(2.42)は全学平均(2.35)を上回った。この項目は前年度までは授業外学習時間を問うており、過去3年間において全学平均を上回る傾向にあったが、今年度導入された全学習時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)においても、全学平均を上回った。Q4からQ7まではオンライン授業に対応して新たに導入された質問項目であるため前年度までの経緯の比較はできないが、授業方法やシラバスに関する教員からの説明の適切さ(Q4)(3.95)(全学平均(4.03))、配布された教材の評価(Q5)(3.98)(全学平均(4.11))、授業に関する教員への質問の機会(Q6)(3.84)(全学平均(3.89))、授業に関する履修者同士の意見交換の機会(Q7)(2.82)(全学平均(2.92))のいずれにおいても全学平均よりやや低めの評価となった。

結果として、総合評価(Q13)についても全学平均(4.03)を下回る評価となった。この項目の学部平均を見ると、総合評価はコロナ前の4年間においては一貫して上昇傾向にあった(3.74→4.00→4.02→4.12)が、2020年度においては3.85とやや低下した。

ただし上述のように従来最低でも半数程度の学生が回答していた授業評価アンケートの2020年度の回答率が12.89%と極端に低かった。どのような学生が回答したかの分析が十分ではないため、オンライン授業に満足していなかった学生が回答する傾向にあったのか、逆に満足していた学生が回答する傾向にあったのかで結果の解釈は異なり、上記のさまざまな評価値に関しても、代表性に留意する必要がある。

表V-1 国際社会科学部 講義科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	3.87	3.90	3.99	3.99	△
Q2 意欲度	3.78	3.79	3.81	3.85	3.74	3.76	4.12	4.10	△
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	—	—	4.12	4.07	—
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	—	—	2.42	2.35	—
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	—	—	3.95	4.03	—
Q5 教材	—	—	—	—	—	—	3.98	4.11	—
Q6 質問機会	—	—	—	—	—	—	3.84	3.89	—
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	—	—	2.82	2.92	—
Q8 授業の理解しやすさ	3.96	4.10	4.01	4.14	4.12	4.15	3.84	4.01	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	—	—	3.87	3.98	—
Q10-1 授業の水準	3.80	3.92	3.80	3.97	3.97	4.05	3.88	4.00	▼
Q11 知的好奇心、新しい視角	3.84	4.04	3.88	4.09	4.07	4.14	3.96	4.08	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	—	—	3.96	4.08	—
Q13 総合評価	4.00	4.15	4.02	4.18	4.12	4.20	3.85	4.03	▼
アンケート実施率	94.12%		98.57%		100.00%		94.44%		
回答率	56.00%	51.95%	44.97%	51.83%	40.93%	51.47%	12.89%	23.83%	

B. 演習科目

演習科目の今年度のアンケートの実施率は78.26%となり前3年間の実施率より低くなった。アンケートの回答率は41.94%であり、オンラインでの実施であったため前年度の回答率より大幅に低下したが、全学平均(30.11%)よりは高めとなった。

授業に関する質問の機会(Q6)、履修者同士の意見交換の機会(Q7)において全学平均より高い評価を得たこと、および授業意欲(Q2)と知識や能力の向上(Q12)については全学平均とほぼ等しい評価だったことを除いては、他の項目において全体的に全学平均より低い値となった。特にシラバス等を通じた目標理解(Q1)において、全学平均よりかなり低い値に留まったことより、演習科目のシラバスにおいて改善余地があることがわかる。

また経時的評価が可能である項目(Q1, Q2, Q8, Q10-1, Q11, Q13)については、いずれも対前年度でマイナスの値となった。ただし今年度は主としてオンライン授業による値であるため、同じ質問内容でも結果を前年度と比較することには注意が必要である。

表V-2 国際社会科学部 演習科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	3.94	4.11	3.55	4.00	▼
Q2 意欲度	4.05	4.37	4.36	4.36	4.19	4.26	4.31	4.30	△
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	—	—	4.04	4.26	—
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	—	—	2.46	2.64	—
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	—	—	3.98	4.13	—
Q5 教材	—	—	—	—	—	—	3.97	4.18	—
Q6 質問機会	—	—	—	—	—	—	4.29	4.06	—
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	—	—	4.15	3.56	—
Q8 授業の理解しやすさ	4.25	4.52	4.58	4.51	4.41	4.46	4.13	4.18	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	—	—	3.92	4.07	—
Q10-1 授業の水準	4.04	4.32	4.36	4.31	4.27	4.35	4.04	4.11	▼
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.02	4.43	4.39	4.43	4.34	4.41	4.08	4.16	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	—	—	4.15	4.15	—
Q13 総合評価	4.16	4.54	4.48	4.52	4.41	4.48	4.06	4.16	▼
アンケート実施率	100.00%		97.78%		95.65%		78.26%		
回答率	82.85%	82.06%	83.86%	83.20%	84.35%	83.75%	41.94%	30.11%	

C. 英語科目

英語科目の今年度のアンケートの実施率は81.33%となり、前年度より低かった。また講義科目の実施率より低く、演習科目よりは高かった。回答率は38.87%となり、全学平均(33.56%)より高かった。

本年度の結果において、シラバス等を通じた目標理解(Q1)は全学平均よりわずかに低かったが、これ以外のすべての項目において、経時的変化を見ることができる項目に関しては対前年度マイナスとなったものの、全学平均より高かったことから、1年目を中心として英語トレーニングに力を入れている当学部のカリキュラムの特色に沿った語学学習の機会を提供することができていると考える。

中でも履修者同士の意見交換の機会(Q7)において、全学平均よりかなり高い値を得ており、当学部の語学の授業において教室またはオンライン上の学生同士のコミュニケーションが活発に行われたことが伺われる結果となった。

表V-3 国際社会科学部 英語科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	3.98	3.92	3.94	4.00	▼
Q2 意欲度	4.21	4.10	4.37	4.18	4.27	4.08	4.43	4.27	△
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	—	—	4.38	4.31	—
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	—	—	2.78	2.43	—
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	—	—	4.12	4.06	—
Q5 教材	—	—	—	—	—	—	4.18	4.14	—
Q6 質問機会	—	—	—	—	—	—	4.42	4.09	—
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	—	—	4.48	3.59	—
Q8 授業の理解しやすさ	4.33	4.33	4.39	4.37	4.37	4.33	4.34	4.10	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	—	—	4.14	4.08	—
Q10-1 授業の水準	4.03	4.07	4.17	4.16	4.24	4.19	4.23	4.08	▼
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.03	4.05	4.12	4.11	4.25	4.16	4.16	4.00	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	—	—	4.21	4.05	—
Q13 総合評価	4.24	4.28	4.32	4.33	4.34	4.30	4.29	4.08	▼
アンケート実施率	91.79%		99.28%		99.32%		81.33%		
回答率	84.72%	82.74%	83.34%	83.90%	83.31%	84.10%	38.87%	33.56%	

2. 今後の授業改善に向けて

2020年度はオンライン授業が導入されたことに対応し、これに合わせた質問内容に変更されたものも多く、2019年度までの経時的变化を分析できるものが少なくなった。また同じ質問内容でも学生が受講している授業のすべて、または大部分がオンライン授業である分野も多く、経時的变化を見る際にもこのことに留意する必要がある。

またオンライン授業が導入されたことに関連して、アンケートの回答率が2019年度までと比較して大幅に低下しており、得られたアンケート結果の代表性にも疑問が残るため、この面からも結果を見る際に留意が必要である。

以上の留保条件を付した上で今年度の結果を見ると、全体的に見て多くの評価項目において全学平均の値とほぼ近い結果が得られており、学部ごとに使用しているLMSが異なるなどのオンライン授業環境の違いを超えて、各学部および当学部が急遽導入されたオンライン授業を適切に運営し、可能な範囲で学生に最善の授業を行う努力を行ってきたことが推察される。

今後コロナ禍の収束とともに、一方では対面授業が徐々に復活していく傾向になると思われるが、他方ではオンライン授業の良い面についての理解も進んだため、両者の良いところを組み合わせ、アフターコロナ環境における最適な学習環境を学生に提供できるように、学部として試行錯誤と改善を続けて行きたい。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

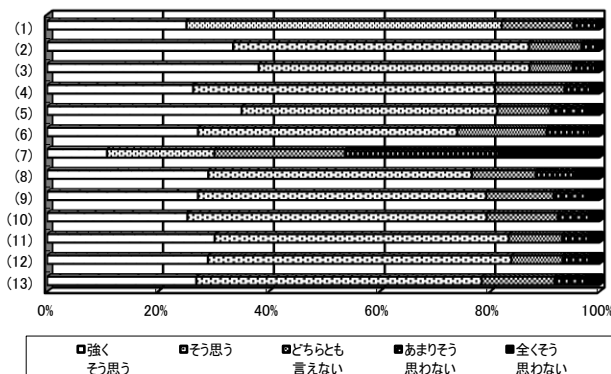
部門名 国際社会科学部

形態名 講義

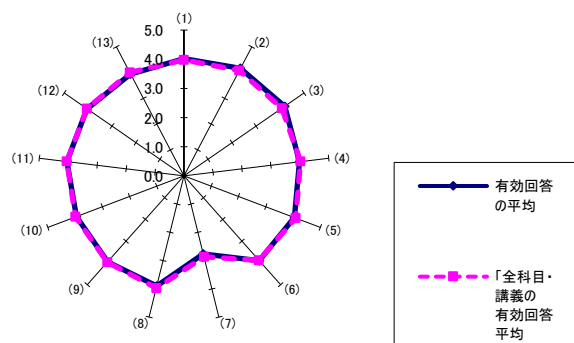
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,275	9,888	12.89%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	320	725	166	53	8	3	1,275	4.02	0.778	3.99	0.268
			25.10%	56.86%	13.02%	4.16%	0.63%	0.24%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	428	682	122	33	9	1	1,275	4.17	0.756	4.12	0.300
			33.57%	53.49%	9.57%	2.59%	0.71%	0.08%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	485	623	100	51	11	5	1,275	4.20	0.813	4.12	0.356
			38.04%	48.86%	7.84%	4.00%	0.86%	0.39%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	25	101	246	398	164	274	1,208	2.38	0.983	2.42	0.403
			2.07%	8.36%	20.36%	32.95%	13.58%	22.68%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	334	690	161	59	22	9	1,275	3.99	0.857	3.95	0.395
			26.20%	54.12%	12.63%	4.63%	1.73%	0.71%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	446	587	123	79	35	5	1,275	4.05	0.971	3.98	0.558
			34.98%	46.04%	9.65%	6.20%	2.75%	0.39%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	346	594	207	100	23	5	1,275	3.90	0.951	3.84	0.486
		27.14%	46.59%	16.24%	7.84%	1.80%	0.39%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	137	245	298	351	234	10	1,275	2.76	1.261	2.82	0.572	
		10.75%	19.22%	23.37%	27.53%	18.35%	0.78%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	369	603	148	95	53	7	1,275	3.90	1.036	3.84	0.612	
		28.94%	47.29%	11.61%	7.45%	4.16%	0.55%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	346	661	156	73	34	5	1,275	3.95	0.930	3.87	0.468	
		27.14%	51.84%	12.24%	5.73%	2.67%	0.39%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	70	35	-	-	-	2	107	-	-	-	-	
		65.42%	32.71%	-	-	-	1.87%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	322	687	165	72	25	4	1,275	3.95	0.886	3.88	0.485	
		25.25%	53.88%	12.94%	5.65%	1.96%	0.31%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	51	43	-	-	-	3	97	-	-	-	-	
		52.58%	44.33%	-	-	-	3.09%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	385	677	124	60	27	2	1,275	4.05	0.882	3.96	0.402	
		30.20%	53.10%	9.73%	4.71%	2.12%	0.16%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	370	699	119	61	25	1	1,275	4.04	0.866	3.96	0.361	
		29.02%	54.82%	9.33%	4.78%	1.96%	0.08%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	343	656	169	70	35	2	1,275	3.94	0.931	3.85	0.500	
		26.90%	51.45%	13.25%	5.49%	2.75%	0.16%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

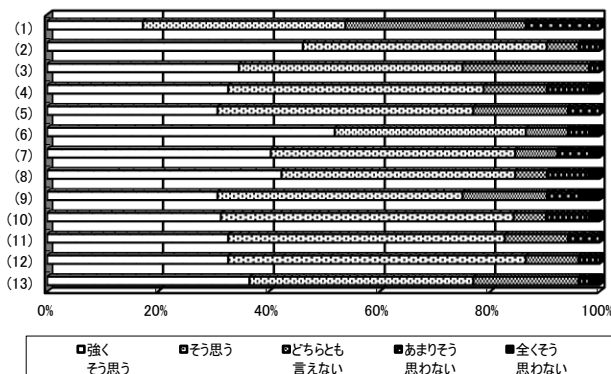
部門名 国際社会科学部

形態名 演習

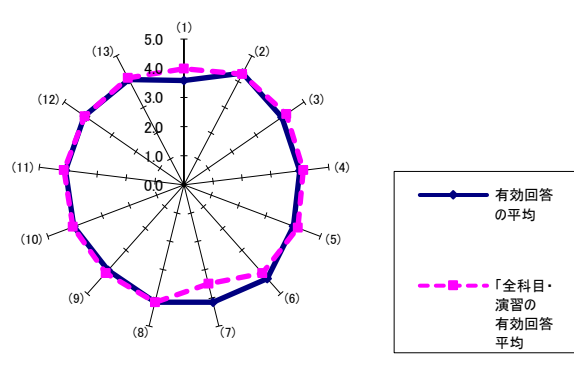
	合計	総履修者数	回答率
回答数	52	124	41.94%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	9	19	17	7	0	0	52	3.58	0.936	3.55	0.625
			17.31%	36.54%	32.69%	13.46%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	24	23	3	2	0	0	52	4.33	0.760	4.31	0.452
			46.15%	44.23%	5.77%	3.85%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	18	21	12	1	0	0	52	4.08	0.813	4.04	0.518
			34.62%	40.38%	23.08%	1.92%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	4	5	9	13	11	9	51	2.48	1.273	2.46	0.841
			7.84%	9.80%	17.65%	25.49%	21.57%	17.65%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	17	24	6	4	1	0	52	4.00	0.970	3.98	0.507
			32.69%	46.15%	11.54%	7.69%	1.92%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	16	24	9	3	0	0	52	4.02	0.852	3.97	0.532
			30.77%	46.15%	17.31%	5.77%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	27	18	4	2	1	0	52	4.31	0.919	4.29	0.511
		51.92%	34.62%	7.69%	3.85%	1.92%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	21	23	4	3	1	0	52	4.15	0.937	4.15	0.786	
		40.38%	44.23%	7.69%	5.77%	1.92%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	22	22	3	4	1	0	52	4.15	0.978	4.13	0.708	
		42.31%	42.31%	5.77%	7.69%	1.92%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	16	23	8	3	2	0	52	3.92	1.026	3.92	0.641	
		30.77%	44.23%	15.38%	5.77%	3.85%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	1	4	-	-	-	0	5	-	-	-	-	
		20.00%	80.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	16	27	3	4	1	1	52	4.04	0.937	4.04	0.682	
		30.77%	51.92%	5.77%	7.69%	1.92%	1.92%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	0	5	-	-	-	0	5	-	-	-	-	
		0.00%	100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	17	26	6	3	0	0	52	4.10	0.823	4.08	0.460	
		32.69%	50.00%	11.54%	5.77%	0.00%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	17	28	5	2	0	0	52	4.15	0.751	4.15	0.416	
		32.69%	53.85%	9.62%	3.85%	0.00%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	19	21	10	1	1	0	52	4.08	0.904	4.06	0.664	
		36.54%	40.38%	19.23%	1.92%	1.92%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

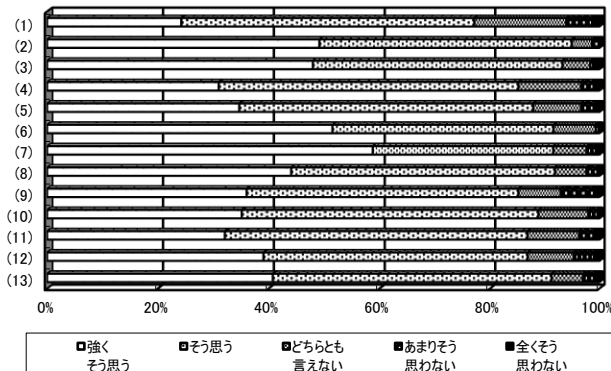
部門名 国際社会科学部

形態名 語学

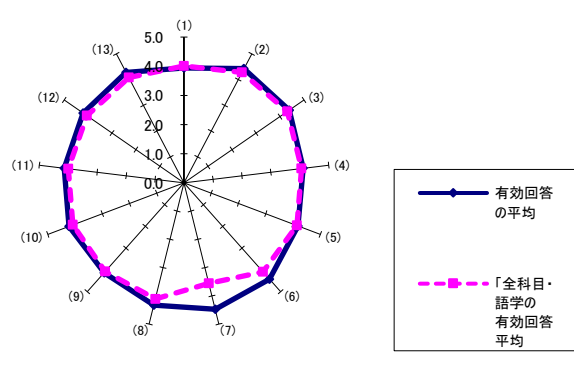
	合計	総履修者数	回答率
回答数	297	764	38.87%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない		無回答	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	72	157	50	14	4	0	297	3.94	0.848	3.94	0.395
			24.24%	52.86%	16.84%	4.71%	1.35%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	146	136	11	4	0	0	297	4.43	0.633	4.43	0.270
			49.16%	45.79%	3.70%	1.35%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	142	134	15	2	3	1	297	4.39	0.709	4.38	0.323
			47.81%	45.12%	5.05%	0.67%	1.01%	0.34%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	21	48	74	69	28	51	291	2.85	1.135	2.78	0.696
			7.22%	16.49%	25.43%	23.71%	9.62%	17.53%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	92	161	34	7	3	0	297	4.12	0.773	4.12	0.283
			30.98%	54.21%	11.45%	2.36%	1.01%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	103	158	26	7	3	0	297	4.18	0.767	4.18	0.340
			34.68%	53.20%	8.75%	2.36%	1.01%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	153	119	23	2	0	0	297	4.42	0.664	4.42	0.275
		51.52%	40.07%	7.74%	0.67%	0.00%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	174	97	18	5	2	1	297	4.47	0.745	4.48	0.283	
		58.59%	32.66%	6.06%	1.68%	0.67%	0.34%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	130	141	17	6	1	2	297	4.33	0.708	4.34	0.256	
		43.77%	47.47%	5.72%	2.02%	0.34%	0.67%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	107	146	23	18	3	0	297	4.13	0.870	4.14	0.406	
		36.03%	49.16%	7.74%	6.06%	1.01%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	6	15	-	-	-	0	21	-	-	-	-	
		28.57%	71.43%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	104	159	27	5	1	1	297	4.22	0.704	4.23	0.357	
		35.02%	53.54%	9.09%	1.68%	0.34%	0.34%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	0	6	-	-	-	0	6	-	-	-	-	
		0.00%	100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	95	162	28	8	3	1	297	4.14	0.772	4.16	0.333	
		31.99%	54.55%	9.43%	2.69%	1.01%	0.34%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	116	142	25	11	3	0	297	4.20	0.822	4.21	0.357	
		39.06%	47.81%	8.42%	3.70%	1.01%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	121	150	17	6	3	0	297	4.28	0.748	4.29	0.340	
		40.74%	50.51%	5.72%	2.02%	1.01%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.385 (**)	1												
Q3	.273 (**)	.673 (**)	1											
Q3-2	.038	.188 (**)	.359 (**)	1										
Q4	.387 (**)	.339 (**)	.228 (**)	-.086 (**)	1									
Q5	.300 (**)	.339 (**)	.214 (**)	-.034	.612 (**)	1								
Q6	.267 (**)	.247 (**)	.239 (**)	.055	.435 (**)	.436 (**)	1							
Q7	.198 (**)	.161 (**)	.129 (**)	.021	.286 (**)	.328 (**)	.441 (**)	1						
Q8	.348 (**)	.354 (**)	.201 (**)	-.092 (**)	.629 (**)	.769 (**)	.440 (**)	.328 (**)	1					
Q9	.353 (**)	.336 (**)	.252 (**)	-.079 (*)	.521 (**)	.627 (**)	.355 (**)	.271 (**)	.677 (**)	1				
Q10	.374 (**)	.353 (**)	.241 (**)	-.010	.572 (**)	.657 (**)	.390 (**)	.300 (**)	.724 (**)	.728 (**)	1			
Q11	.416 (**)	.444 (**)	.297 (**)	-.025	.539 (**)	.600 (**)	.371 (**)	.275 (**)	.626 (**)	.606 (**)	.644 (**)	1		
Q12	.405 (**)	.475 (**)	.340 (**)	-.005	.508 (**)	.571 (**)	.376 (**)	.274 (**)	.578 (**)	.555 (**)	.603 (**)	.786 (**)	1	
Q13	.369 (**)	.391 (**)	.263 (**)	-.076 (*)	.620 (**)	.708 (**)	.436 (**)	.320 (**)	.748 (**)	.706 (**)	.777 (**)	.735 (**)	.713 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.557 (**)	1												
Q3	.533 (**)	.689 (**)	1											
Q3-2	.135	.248	.503 (**)	1										
Q4	.475 (**)	.638 (**)	.547 (**)	.318 (*)	1									
Q5	.355 (**)	.505 (**)	.338 (*)	.285	.475 (**)	1								
Q6	.405 (**)	.555 (**)	.361 (**)	.203	.572 (**)	.594 (**)	1							
Q7	.545 (**)	.534 (**)	.525 (**)	.329 (*)	.453 (**)	.389 (**)	.468 (**)	1						
Q8	.587 (**)	.696 (**)	.528 (**)	.270	.661 (**)	.656 (**)	.754 (**)	.680 (**)	1					
Q9	.476 (**)	.586 (**)	.430 (**)	.142	.571 (**)	.585 (**)	.587 (**)	.584 (**)	.774 (**)	1				
Q11														
Q10	.449 (**)	.706 (**)	.577 (**)	.301	.610 (**)	.619 (**)	.584 (**)	.562 (**)	.706 (**)	.827 (**)	1			
Q13														
Q11	.589 (**)	.670 (**)	.575 (**)	.322 (*)	.737 (**)	.501 (**)	.634 (**)	.591 (**)	.712 (**)	.543 (**)	.586 (**)	1		
Q12	.568 (**)	.735 (**)	.558 (**)	.211	.538 (**)	.516 (**)	.583 (**)	.579 (**)	.608 (**)	.423 (**)	.582 (**)	.769 (**)	1	
Q13	.595 (**)	.819 (**)	.579 (**)	.267	.693 (**)	.660 (**)	.702 (**)	.634 (**)	.851 (**)	.789 (**)	.861 (**)	.781 (**)	.733 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.420 (**)	1												
Q3	.228 (**)	.661 (**)	1											
Q3-2	.037	.155 (*)	.337 (**)	1										
Q4	.336 (**)	.366 (**)	.334 (**)	.051	1									
Q5	.365 (**)	.417 (**)	.465 (**)	.166 (*)	.522 (**)	1								
Q6	.286 (**)	.451 (**)	.366 (**)	.184 (**)	.435 (**)	.498 (**)	1							
Q7	.233 (**)	.409 (**)	.310 (**)	.154 (*)	.271 (**)	.333 (**)	.592 (**)	1						
Q8	.288 (**)	.566 (**)	.525 (**)	.149 (*)	.448 (**)	.593 (**)	.548 (**)	.522 (**)	1					
Q9	.345 (**)	.542 (**)	.382 (**)	.102	.449 (**)	.587 (**)	.459 (**)	.325 (**)	.526 (**)	1				
Q11														
Q10	.347 (**)	.553 (**)	.463 (**)	.167 (**)	.503 (**)	.619 (**)	.478 (**)	.328 (**)	.583 (**)	.730 (**)	1			
Q13														
Q11	.452 (**)	.602 (**)	.487 (**)	.174 (**)	.454 (**)	.619 (**)	.489 (**)	.436 (**)	.646 (**)	.540 (**)	.675 (**)	1		
Q12	.410 (**)	.645 (**)	.590 (**)	.157 (*)	.473 (**)	.595 (**)	.468 (**)	.422 (**)	.647 (**)	.606 (**)	.705 (**)	.765 (**)	1	
Q13	.367 (**)	.553 (**)	.495 (**)	.166 (*)	.509 (**)	.694 (**)	.495 (**)	.381 (**)	.661 (**)	.675 (**)	.800 (**)	.727 (**)	.770 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	1.015	3.87	0.262	4.02	0.778	3.99	0.268
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.78	1.097	3.80	0.368	3.72	1.082	3.78	0.350	3.83	1.070	3.81	0.298	3.74	1.030	3.74	0.302	4.17	0.756	4.12	0.300
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.813	4.12	0.356
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.38	0.983	2.42	0.403
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.857	3.95	0.395
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.971	3.98	0.558
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.90	0.951	3.84	0.486
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.76	1.261	2.82	0.572
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	3.72	1.237	3.66	0.590	3.98	1.027	3.96	0.431	4.07	1.012	4.01	0.381	4.11	0.947	4.12	0.313	3.90	1.036	3.84	0.612
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.930	3.87	0.468
	(10)-1	この授業の水準に満足している	3.81	1.106	3.80	0.460	3.85	1.021	3.80	0.402	3.91	1.030	3.80	0.409	3.99	0.936	3.97	0.310	3.95	0.886	3.88	0.485
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	3.78	1.178	3.73	0.456	3.87	1.059	3.84	0.340	3.94	1.057	3.88	0.320	4.09	0.923	4.07	0.291	4.05	0.882	3.96	0.402
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.866	3.96	0.361
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.79	1.154	3.74	0.542	4.01	0.963	4.00	0.377	4.07	0.963	4.02	0.319	4.14	0.898	4.12	0.305	3.94	0.931	3.85	0.500	

部門名 国際社会科学部
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.91	1.075	3.94	0.546	3.58	0.936	3.55	0.625
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.18	0.835	4.17	0.348	4.05	0.884	4.05	0.295	4.37	0.781	4.36	0.305	4.18	0.860	4.19	0.357	4.33	0.760	4.31	0.452
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.813	4.04	0.518
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.48	1.273	2.46	0.841
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.970	3.98	0.507
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.852	3.97	0.532
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.919	4.29	0.511
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.937	4.15	0.786
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.28	0.959	4.28	0.535	4.25	0.920	4.25	0.448	4.58	0.742	4.58	0.398	4.40	0.789	4.41	0.343	4.15	0.978	4.13	0.708
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	1.026	3.92	0.641
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.21	0.860	4.21	0.442	4.04	0.901	4.04	0.406	4.37	0.789	4.36	0.338	4.27	0.817	4.27	0.333	4.04	0.937	4.04	0.682
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.07	1.017	4.07	0.418	4.04	0.998	4.02	0.412	4.39	0.831	4.39	0.394	4.33	0.824	4.34	0.377	4.10	0.823	4.08	0.460
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.751	4.15	0.416
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.22	0.953	4.23	0.517	4.17	0.943	4.16	0.455	4.49	0.753	4.48	0.414	4.40	0.766	4.41	0.310	4.08	0.904	4.06	0.664	



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 語学

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.96	1.072	3.98	0.385	3.94	0.848	3.94	0.395
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.36	0.769	4.35	0.255	4.22	0.868	4.21	0.314	4.38	0.785	4.37	0.268	4.26	0.807	4.27	0.338	4.43	0.633	4.43	0.270
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.39	0.709	4.38	0.323
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 5:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.135	2.78	0.696
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.773	4.12	0.283
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.767	4.18	0.340
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.664	4.42	0.275
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.745	4.48	0.283
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.41	0.830	4.40	0.393	4.34	0.861	4.33	0.446	4.39	0.920	4.39	0.530	4.37	0.880	4.37	0.480	4.33	0.708	4.34	0.256
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.13	0.870	4.14	0.406
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.23	0.912	4.22	0.326	4.04	0.971	4.03	0.412	4.16	0.986	4.17	0.430	4.23	0.889	4.24	0.427	4.22	0.704	4.23	0.357
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.08	1.002	4.08	0.372	4.02	1.001	4.03	0.395	4.12	0.988	4.12	0.440	4.25	0.875	4.25	0.416	4.14	0.772	4.16	0.333
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.822	4.21	0.357
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.33	0.867	4.32	0.380	4.25	0.901	4.24	0.422	4.32	0.917	4.32	0.494	4.34	0.866	4.34	0.476	4.28	0.748	4.29	0.340	

VI. 計算機センター

計算機センターでは、初等情報処理 1・2、データ科学 1・2、プログラミング 1・2、コンピュータ科学 1・2・3・4、数値解析及び計算機 I・II、画像情報 1・2 の 14 科目に対して、102 クラスを提供しており、うち、初等情報処理科目は、初等情報処理 1 と 2 を合わせて、78 クラスを占める。更に、初等情報処理 1 を必修としている学部・学科も多いことから、履修者数では初等情報処理科目が占める割合は更に大きい。このことから、アンケートの集計結果には、初等情報処理科目についての結果が支配的に影響しているものと考えられる。この理解の上で、初等情報処理科目を中心として現状の分析と将来の対応について考えたい。

1. 現状の分析

初等情報処理科目では、主に、以下の 3 項目の内容を講義する。

1. 情報倫理講習、学内ネットワークの使い方、インターネット利用のマナー、インターネットでの身の守り方などの基本知識を含む IT リテラシー
2. Microsoft Office や HTML の書き方など、大学で勉学する上で必要となる基本的なツールの利用方法
3. 学士として知っているべき情報処理の基礎知識

上記のうち 1. は、特に、学内ネットワークインフラを利用する上で最低限必要となる知識を学ぶもので、初等情報処理 1 の単位取得が学内アカウント取得の条件となっていることの根拠である。1. ～3. を見ると、(A) 講義内容が多岐にわたること、かつ、(B) それぞれの内容が学術的に深みを持ち得ないこと、の 2 つの特徴が存在する。それでも、3. については、担当教員がそれぞれ内容を工夫して、少しでも学生が情報技術に興味を持ってもらえるよう努力を行なっているが、限られた時間数の中で、学生に強く印象付けるには至っていないと思われる。

以上の情報科目の特徴がアンケートの結果に総体的に反映しており、特に、以下に述べる質問項目を含め、多くの質問項目において、全学平均に比較して情報科目の評価が低い。

以下に各項目を個別に見た結果を示す。

(Q10)「この授業の水準に満足している」に対して、全学平均 4.04 に比較して、部門平均 3.95 と下回っている。ただし、2019 年度 40% の学生が「どちらとも言えない」～「全くそう思わない」と回答したのに対し、22% と改善を示している。「水準が高すぎる」に関する数字も 95% から、73% に改善している。

実は、2021 年度は、コロナ感染拡大防止を目的にほぼ全ての情報科目がオンライン授業となったが、この機会を捉えて、計算機センターで約 30 本程度の動画を含む標準教材を作

成し、非常勤講師を含む担当教員に提供した。結果、ほぼ全員の担当教員が標準教材を利用して授業を実施し、授業レベルがかなりの程度均質化され、その結果が数字に現れたものと理解している。

(Q5)「この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」では、部門平均 4.17 と、全学平均 4.13 を上回っている事実にも、標準教材の効果が示されているものと考えられる。

(Q11)「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、(Q13)「総合的に見てこの授業は高く評価できる」への回答の部門平均は全学平均より値が低くなっている一方、(Q12)「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」については、部門平均が全学平均を上回っている。(Q11)と(Q13)において評価が低い理由は、前記(B)で述べたように、初等情報処理科目では教えなければならない内容自体が学術的に深みを持ち得ない点にあると考えている。一方で、(Q12)の評価が高い理由は、情報処理に関連したスキルの上達が体感できるからであろう。

(Q9-2)「授業のボリュームについて、どのように感じたか」に対しては、81%のが「多い」と回答している。一方、(Q9)「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」に対しては、「強くそう思う」26%、「そう思う」51%と回答しているので、ボリュームが多いという事実自体は、負担というよりは、学習機会が多く与えられていると認識されていることが分かる。

結論として、前記(A)と(B)で述べた、初等情報処理の授業としての特徴が、多くの質問項目において、他の科目に比較して学生の評価が低くなる原因であると分析できる。

2. 2020 年度の改善点

2019 年度の報告において、「現状の初等情報処理の科目が、複数の必ずしも互いに整合しない要求を同時に満たすよう求められている点に問題の大きな原因があり、現状の分析で整理した 1. ～3. の内容は、それぞれ機能分解することが望ましい」とし、各項目についての具体的な対応として以下のように述べた。

1. 学内ネットワークインフラの利用アカウントの要件となる IT リテラシーの獲得は、全ての新生生にとって必要な要件である。学内ネットワークを利用できない状態で、他の講義を受講し、卒業研究を遂行することは不可能である。にもかかわらず、必ずしも全ての学生に同じ要求がなされる訳ではない、残りの 2. 3. の内容とセットでの修得を求めることは合理的ではない。また、アカウント取得のために要求される IT リテラシーは、一定レベルをクリアすれば十分で、修得レベルで成績をつけるような扱いには馴染まない。アカウント取得のための講習を、初等情報処理科目から分離し、学生が短期で効率的にアカウントを取得できるようにすることが望ましい。
2. Microsoft Office のようなツールは、学生毎に受講前のレベルが異なり、また、所属す

る学部・学科で要求される機能やレベルも異なる。これらのツールは非常に多様な機能を提供するので、その全てを使えるようにすることには逆に意味がなく、本来、実務で使いながら必要な機能を必要なレベルで修得していく性質のものである。講義で教えるならば、ごく基礎的な機能を教えて、ツールを利用する心理的ハードルを下げることで、ツールによってどのようなことができるか俯瞰を与えることが必要である。学習方法について言えば、座学の学習効果は低く、講義の中での実習は必須である。以上の考えに基づき、ツールの使い方に関する基礎的な教育を標準化し、標準化された教材で基礎を学んだ上で、担当教員ごとに重要と思われる機能を応用という形で講義する形式が望ましい。

3. 情報処理の基礎知識を獲得することは、データ科学（データサイエンス）を勉強する上での礎となる。データサイエンティストは、現在、そして、将来一定期間にわたって、企業が渴望する人材である。経済産業省や情報処理推進機構（IPA）も、「AI を道具として駆使することができ、かつ、社会的視点からデータ分析を行うことのできる人材」＝データサイエンティストがこれからの企業競争力の源であるものの、日本では将来に渡って人材不足が明らかであり、人材育成にむけた対策を講じる必要があるとしている。この動向に応じて、データサイエンスの学部・学科を新設する動きが諸大学で顕著であるが、文理融合の学際領域であるという認識が一般である。本学においても、花形の職業であるデータサイエンティストを目指す学生は増えるものと考えられ、初等情報処理科目はそのような希望を持つ学生にとって、勉学を進める最初の一步になる筈である。現状では、アカウント取得・ツール修得のためにさく時間が大きく、情報処理の基礎知識を学び、データサイエンスへの興味を培うための時間は非常に少ない。初等情報処理科目（もしくは、別科目が担うべき役割かもしれないが）は、前述の二つのテーマから独立させ、データサイエンスへの道程にあつて、最初のステップとなる科目とするべきであるとする。2020年度は、それぞれの項目について、以下の対応を行った。

1. 初等情報処理 1 の単位取得と、学内ネットワークインフラ利用アカウントの取得とを独立させる計画を提案し、2022年度からの実施が承認された（基礎教養科目見直し検討委員会）。新制度では、新入生は入学時に仮アカウントを授与され、初等情報処理 1 の履修・単位取得のいかんに関わらず、所定の期間内に試験に合格すれば、即座に卒業まで有効な永続的アカウントに切り替えられる。
2. 初等情報処理 1・2 に関して、動画を含む標準教材を開発し、担当教員に提供を行った。ほぼ全員の教員が標準教材を利用してオンライン授業を実施し、授業内容の標準化をかなりの程度推進することができた。標準教材は、オンデマンド学習が可能であるように作成され、教員の裁量で反転学習の教材として利用できる。学生は、自分がわからない箇所を繰り返し学習することが可能で、特に、Microsoft Office の利用法の習得においては、従来の授業時間内の演習形式に比較して、学習効果が大きいことが期待できる。

3. データ科学・コンピュータ科学・プログラミングの科目において、データサイエンティストにつながるキャリアパスを意識し、内容・手法の両観点から教材の開発を行なった。特に、プログラミングにおいては、データサイエンティストにとっては必修であるプログラミング言語 Python を科目に加え、初心者にもハードルが低く、プログラミング開発の効率も良いことから普及が著しい、プログラミング環境 Jupyter Notebook（正確には、Jupyter Notebook の機能をクラウドサービスで提供している Google Colaboratory）を利用して授業を行うための教材開発を行い、授業で利用した。教材は、解説が記述されていることに加え、学生がプログラムを書き込んで実行しながら、理解を進めることができるハンズオン形式としている。

3. 将来の対応

2019 年度の問題認識を踏まえ、2020 年度の取り組みをさらに推進していく。

1. 2022 年度より、初等情報処理 1 の履修・単位取得と、学内ネットワークインフラ利用アカウントの取得を切り離す。
2. 初等情報処理 1・2 では、2020 年度に実施した教材の標準化の範囲をさらに広げるとともに、小テストの標準化などによる評価の標準化を推進する。
3. データサイエンティスト必修の知識・スキルを整理し、それら知識・スキルを提供する科目群を設計し、カリキュラムの再構築を行う。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

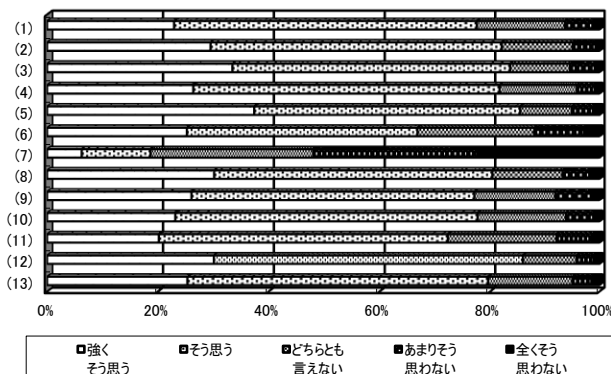
部門名 計算機センター

形態名 講義

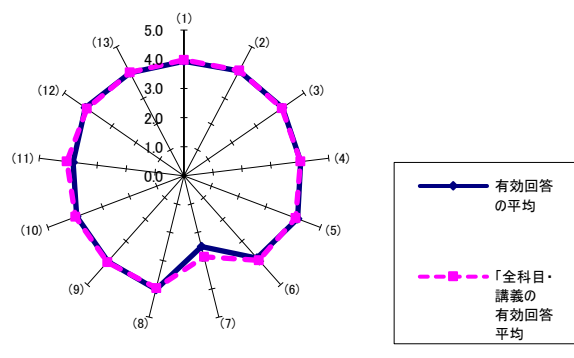
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,410	4,113	34.28%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	322	767	226	71	18	6	1,410	3.93	0.839	3.94	0.298
			22.84%	54.40%	16.03%	5.04%	1.28%	0.43%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	415	740	182	59	10	4	1,410	4.06	0.808	4.08	0.295
			29.43%	52.48%	12.91%	4.18%	0.71%	0.28%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	471	707	154	64	12	2	1,410	4.11	0.831	4.11	0.298
			33.40%	50.14%	10.92%	4.54%	0.85%	0.14%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	48	93	259	451	246	235	1,332	2.31	1.047	2.32	0.588
			3.60%	6.98%	19.44%	33.86%	18.47%	17.64%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	370	776	198	46	12	8	1,410	4.03	0.783	4.01	0.382
			26.24%	55.04%	14.04%	3.26%	0.85%	0.57%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	526	677	133	54	17	3	1,410	4.17	0.839	4.17	0.412
			37.30%	48.01%	9.43%	3.83%	1.21%	0.21%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	355	585	298	129	39	4	1,410	3.77	1.015	3.78	0.479
		25.18%	41.49%	21.13%	9.15%	2.77%	0.28%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	88	175	413	416	315	3	1,410	2.51	1.150	2.54	0.417	
		6.24%	12.41%	29.29%	29.50%	22.34%	0.21%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	425	708	181	69	26	1	1,410	4.02	0.890	4.02	0.463	
		30.14%	50.21%	12.84%	4.89%	1.84%	0.07%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	367	719	208	92	22	2	1,410	3.94	0.898	3.95	0.341	
		26.03%	50.99%	14.75%	6.52%	1.56%	0.14%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	93	21	-	-	-	0	114	-	-	-	-	
		81.58%	18.42%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	325	766	227	70	16	6	1,410	3.94	0.832	3.95	0.389	
		23.05%	54.33%	16.10%	4.96%	1.13%	0.43%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	63	21	-	-	-	2	86	-	-	-	-	
		73.26%	24.42%	-	-	-	2.33%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	283	731	278	93	17	8	1,410	3.83	0.865	3.87	0.316	
		20.07%	51.84%	19.72%	6.60%	1.21%	0.57%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	424	787	138	45	14	2	1,410	4.11	0.778	4.13	0.310	
		30.07%	55.82%	9.79%	3.19%	0.99%	0.14%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	357	765	217	49	21	1	1,410	3.99	0.825	3.99	0.412	
		25.32%	54.26%	15.39%	3.48%	1.49%	0.07%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.493 (**)	1												
Q3	.353 (**)	.624 (***)	1											
Q3-2	.054	.216 (**)	.333 (**)	1										
Q4	.368 (**)	.375 (**)	.319 (**)	-.033	1									
Q5	.346 (**)	.391 (**)	.298 (**)	-.101 (**)	.622 (**)	1								
Q6	.281 (**)	.313 (**)	.271 (**)	.053	.435 (**)	.386 (**)	1							
Q7	.237 (**)	.229 (**)	.157 (**)	.025	.291 (**)	.221 (**)	.395 (**)	1						
Q8	.322 (**)	.364 (**)	.278 (**)	-.093 (**)	.646 (**)	.732 (**)	.465 (**)	.288 (**)	1					
Q9	.300 (**)	.345 (**)	.232 (**)	-.127 (**)	.508 (**)	.570 (**)	.376 (**)	.258 (**)	.626 (**)	1				
Q10	.355 (**)	.382 (**)	.282 (**)	-.112 (**)	.599 (**)	.644 (**)	.423 (**)	.282 (**)	.712 (**)	.720 (**)	1			
Q11	.445 (**)	.519 (**)	.358 (**)	.106 (**)	.493 (**)	.522 (**)	.363 (**)	.320 (**)	.511 (**)	.443 (**)	.523 (**)	1		
Q12	.428 (**)	.540 (**)	.391 (**)	.068 (*)	.491 (**)	.591 (**)	.386 (**)	.216 (**)	.554 (**)	.515 (**)	.592 (**)	.672 (**)	1	
Q13	.416 (**)	.474 (**)	.329 (**)	-.042	.624 (**)	.722 (**)	.479 (**)	.306 (**)	.758 (**)	.629 (**)	.746 (**)	.628 (**)	.687 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

		2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.75	1.065	3.80	0.358	3.93	0.839	3.94	0.298
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.07	0.984	4.07	0.311	3.93	1.056	3.94	0.302	3.95	1.074	3.94	0.341	3.74	0.998	3.78	0.345	4.06	0.808	4.08	0.295
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.831	4.11	0.298
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 5:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.047	2.32	0.588
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.783	4.01	0.382
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.839	4.17	0.412
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.77	1.015	3.78	0.479
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.51	1.150	2.54	0.417
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	3.85	1.146	3.88	0.553	3.84	1.126	3.83	0.531	3.84	1.133	3.83	0.622	3.82	1.116	3.86	0.553	4.02	0.890	4.02	0.463
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.898	3.95	0.341
	(10)-1	この授業の水準に満足している	3.81	1.150	3.82	0.500	3.74	1.140	3.70	0.518	3.74	1.153	3.70	0.597	3.79	1.055	3.84	0.452	3.94	0.832	3.95	0.389
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.68	1.118	3.78	0.439	3.64	1.122	3.69	0.379	3.65	1.124	3.70	0.468	3.73	1.030	3.80	0.405	3.83	0.865	3.87	0.316
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.778	4.13	0.310
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.87	1.065	3.95	0.479	3.85	1.058	3.86	0.473	3.87	1.041	3.87	0.535	3.84	1.036	3.91	0.482	3.99	0.825	3.99	0.412	

Ⅶ. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、令和元年度は対象とする 504 科目に対して実施は 502 科目であり、99.60%であったが、令和 2 年度は対象とする 526 科目に対して実施は 495 科目であり、94.11%となった。回答率については、令和元年度は 84.30%であったが、令和 2 年度は大幅に低下し 28.24%という結果であった。これらの結果は、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アンケートの実施方法が例年と異なり、ウェブでの実施に変更となったことが大きく影響していると考えられる。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この項目の科目ベースの平均値は、前年度の 3.91 から 0.11 ポイント上昇し 4.02 であった。履修登録時に、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージした上で授業に臨むと、学びの姿勢や学習効果も変わってくると考えられ、より高い教育効果が期待できる。次年度はより高い数値を得られるよう、引き続き、シラバスなどを通して、授業のねらいや目標、内容の周知徹底を行いたい。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、令和元年度に科目ベースで平均値 4.03 であったが、令和 2 年度には平均値 4.25 と上昇し、この 5 年間で最も高い数値となった。また、令和元年度は 73.08%の学生が意欲的に取り組んでいると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）のに対し、令和 2 年度は 89.62%と 16.54 ポイント高くなっている。引き続き、教材や課題を工夫し、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりを進めていく必要がある。

Q3-1「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

Q3-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1 週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上 4.5 時間未満 3: 2 時間以上 3 時間未満 2: 90 分以上 2 時間未満 1: 90 分未満」

Q3-1 に関しては、科目ベースの平均値は 4.29 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均と比較すると 0.13 ポイント高い結果となっている。

Q3-2 に関しては、科目ベースの平均値は 2.37 であった。こちらも今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均と比較すると

0.05 ポイント低い結果となっている。語学は日々の積み重ねが重要であるため、引き続き、課題や小テストなどにより、学生自身が普段から語学学習に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

また、Q3-1「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」と Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の相関係数の値は.718 と高く、学習意欲や意欲的な学習態度は学習時間と関連性が高いことがわかる。教員が学生とコミュニケーションを図りながら、授業への意欲が持てるようなさまざまな働きかけを行うことで、授業外における学習時間の確保、増加にもつながるだろう。

Q4「授業方法やシラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

この新項目の科目ベースの平均値は 4.04 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均と比較すると 0.01 ポイント低い結果となっている。授業方法やシラバスの記載内容の変更が生じた場合は、その周知方法等を含め熟考した上で、学生に対し適切なタイミングで適切な説明を行い、学生が安心して学べる授業運営に努めたい。

Q5「この授業で配布された教材（「動画や音声の外部リンク等も含む」）は、学習を進めるのに役立った」

この新項目の科目ベースの平均値は 4.13 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、全体平均と同等の値を示している。令和 2 年度に培ったノウハウを活かし、教員間でも情報共有を積極的に行いながら、今後も各教員が学生の興味や学習意欲を掻き立て、学生の主体的な学習を促すような教材作成に努めたい。

Q6「この授業に対する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

この新項目の科目ベースの平均値は 4.04 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均と比較すると 0.08 ポイント高い結果となっている。これは、令和 2 年度は学生にとっても慣れない遠隔授業ということもあり、学生の不安を取り除く意味でも、各教員が積極的に質問の機会を設け、学生とのコミュニケーションを密に図るよう努めた結果であるといえよう。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

この新項目の科目ベースの平均値は 3.44 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均 3.19 と比較すると 0.25 ポイント高い結果となっている。実際、外国語教育研究センターが独自に実施した授業担当教員へのアンケート結果を見ると、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、

遠隔での授業が基本となったため、履修者同士がなかなか会えないということもあり、特に意識して各教員が LMS のチャット機能や掲示板を活用して履修者同士の意見交換の機会を積極的に提供していた。

Q8 「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.06 であり、前年度の 4.32 を若干下回ったものの（前年度は、「教員は理解しやすい授業を行っている」という設問であった）、ここ 5 年間いずれも 4.0 以上の数値を維持している。肯定的な回答の割合は 82.13%と、前年度 84.88%より 2.75 ポイント下降しているので、教員の話し方や授業スタイル、教材等を工夫し、より適切な授業運営を心がけていく必要があるだろう。

Q9-1 「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

Q9-2 「授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない」

Q9-1 に関しては、科目ベースの平均値は 4.07 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均 4.02 と比較すると 0.05 ポイント高い結果となっている。

Q9-2 に関しては、多いと回答した学生の割合は 52.88%で、少ないと回答した学生の割合は 46.15%と比率は半々に近い数値となっている。学生の様子をよく観察しながら、学生の学習意欲をそこなわないよう、適度なボリュームで指導の工夫を図る必要があるだろう。

Q10-1 「この授業の水準に満足している」

Q10-2 「授業の水準について、どのように感じましたか」

Q10-1 に関しては、適切であると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）学生の割合も、前年度 78.93%から 2.74 ポイント上昇し、81.67%となっている。各授業担当者における授業改善の取り組みの成果が反映された結果といえよう。

Q10-2 に関しては、上の設問で否定的な回答をした者のうち、令和元年度は「高すぎる」50.12%、「低すぎる」42.58%、無回答 7.30%であったが、令和 2 年度は「高すぎる」37.50%、「低すぎる」57.95%、無回答 4.55%となり、前年度に比べ低すぎると感じている学生が増えている。習熟度別クラスなどを今後さらに定着させ、より学生のレベルにあった授業を提供することで改善を試みたい。

また、Q10-1「この授業の水準に満足している」と Q9-1「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」の相関係数の値は.758 と高く、授業の水準とボリュームが適切であることは関連性が高いことが分かる。学生のレベルや理解度をよく把握し、学生のレベルにあったテキストを選択したり、教材、指導法を工夫したりすることなどが求められる。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 3.98 で、前年度 4.13 より 0.15 下降した。肯定的な回答の割合は 78.02%と前年度の 77.46%から 0.56 ポイント上昇し、否定的な回答の割合は 6.32%で前年度の 4.68%から 1.64 ポイント上昇した。また「どちらとも言えない」の数値は 15.37%で前年度 17.39%より 2.02 ポイント下降している。

初修外国語の場合、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

この新項目の科目ベースの平均値は 4.03 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均 4.09 と比較すると 0.06 ポイント低い結果となっている。肯定的な回答の割合は 81.56%、否定的な回答の割合は 6.27%となっており、概ね学生に知的満足感を与えることができているといえよう。引き続き、学生の学びや成長を促進するような教材や指導法の工夫を図りたい。

また、**Q12**「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」と **Q11**「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の相関係数の値は.785 と高く、知識や能力の向上と知的好奇心の刺激や新しい視野の獲得は関連性が高いことが分かる。

Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.04 と前年度より 0.25 低くなっている。肯定的な回答の割合は前年度より 2.08 ポイント低い 80.85%、否定的な回答の割合が前年度より 2.71 ポイント高い 6.15%であった。否定的な回答の割合がやや増えたものの、前年度に続いて肯定的な回答の割合が 80%を超える高水準を維持している点から、好ましい状況が続いていると評価できる。

この項目と最も相関が強いのは、**Q10-1**「この授業の水準に満足している」の.787（相関係数）、次いで **Q5**「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」の.767、**Q12**「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」の.735、**Q11**「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.722、**Q9-1**「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」の.718 となっている。このことから、総合的に評価が高い授業とは、授業の水準やボリューム（学ぶ内容の量）が適切であ

り、教員の説明が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激され、かつ自らの知識や能力の向上が感じられる授業であるといえる。このような授業を提供できるようにするには、学生のレベルや理解度を考慮しながら、学生の学習意欲を向上させ、達成感や知的満足感も得られるような教材作成や授業スタイルのより一層の工夫が求められるだろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と授業環境の整備が求められるだろう。

外国語教育研究センターが開講する英語クラスに関しては、令和 3 年度より新しい英語プログラムを導入し、少人数クラス編成、習熟度別クラス編成を開始した。これにより学生のレベルに合ったよりきめ細やかな指導を行うことが可能になった。この新英語プログラムによって、新しい学習内容や学習方法を取り入れながら、学生の英語力をさらに高めることができるよう、新英語プログラムのより一層の定着を目指したい。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業形態の変更など余儀なくされたが、学生が意欲的に外国語学習に取り組めるよう教員各自がこれまで以上に授業スタイルや教材等を工夫し、学生の学習をしっかりと支援した。外国語教育研究センターでは、今後も授業評価アンケートの結果を効果的に活用し、授業内容や方法の改善に役立てながら、学生のより一層の語学学習の活性化を目指し、引き続きさらなる外国語教育の充実化を図っていきたい。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

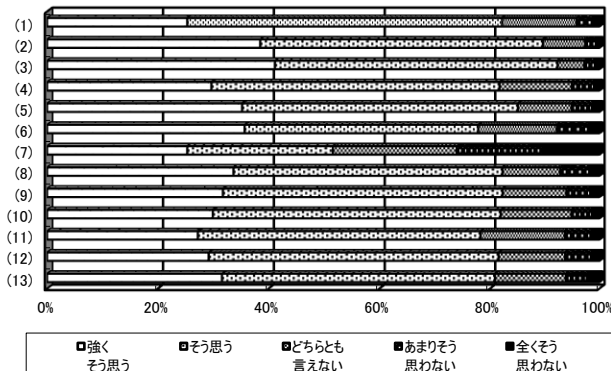
部門名 外国語教育研究センター

形態名 語学

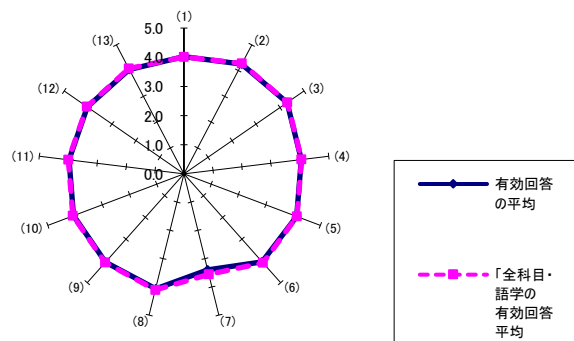
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,724	6,104	28.24%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない		無回答	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	436	980	235	50	22	1	1,724	4.02	0.788	4.02	0.334
			25.29%	56.84%	13.63%	2.90%	1.28%	0.06%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	663	882	133	34	11	1	1,724	4.25	0.733	4.25	0.319
			38.46%	51.16%	7.71%	1.97%	0.64%	0.06%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	709	883	84	34	14	0	1,724	4.30	0.723	4.29	0.348
			41.13%	51.22%	4.87%	1.97%	0.81%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	56	153	371	587	252	257	1,676	2.42	1.025	2.37	0.539
			3.34%	9.13%	22.14%	35.02%	15.04%	15.33%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	510	895	227	70	17	5	1,724	4.05	0.824	4.04	0.421
			29.58%	51.91%	13.17%	4.06%	0.99%	0.29%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	607	860	169	64	24	0	1,724	4.14	0.840	4.13	0.400
			35.21%	49.88%	9.80%	3.71%	1.39%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	613	725	247	98	36	5	1,724	4.04	0.957	4.04	0.511
		35.56%	42.05%	14.33%	5.68%	2.09%	0.29%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	436	453	385	270	179	1	1,724	3.40	1.298	3.44	0.930	
		25.29%	26.28%	22.33%	15.66%	10.38%	0.06%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	579	837	181	92	32	3	1,724	4.07	0.905	4.06	0.496	
		33.58%	48.55%	10.50%	5.34%	1.86%	0.17%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	547	871	201	75	29	1	1,724	4.06	0.870	4.07	0.390	
		31.73%	50.52%	11.66%	4.35%	1.68%	0.06%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	55	48	-	-	-	1	104	-	-	-	-	
		52.88%	46.15%	-	-	-	0.96%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	514	894	222	64	24	6	1,724	4.05	0.837	4.05	0.402	
		29.81%	51.86%	12.88%	3.71%	1.39%	0.35%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	33	51	-	-	-	4	88	-	-	-	-	
		37.50%	57.95%	-	-	-	4.55%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	468	877	265	81	28	5	1,724	3.97	0.873	3.98	0.422	
		27.15%	50.87%	15.37%	4.70%	1.62%	0.29%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	503	903	210	81	27	0	1,724	4.03	0.861	4.03	0.423	
		29.18%	52.38%	12.18%	4.70%	1.57%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	544	850	223	66	40	1	1,724	4.04	0.898	4.04	0.467	
		31.55%	49.30%	12.94%	3.83%	2.32%	0.06%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.462 (**)	1												
Q3	.413 (**)	.719 (**)	1											
Q3-2	.091 (**)	.199 (**)	.275 (**)	1										
Q4	.399 (**)	.457 (**)	.406 (**)	.059 (*)	1									
Q5	.377 (**)	.519 (**)	.438 (**)	.076 (**)	.651 (**)	1								
Q6	.275 (**)	.390 (**)	.350 (**)	.066 (*)	.518 (**)	.527 (**)	1							
Q7	.163 (**)	.238 (**)	.162 (**)	.026	.306 (**)	.293 (**)	.464 (**)	1						
Q8	.349 (**)	.445 (**)	.347 (**)	.029	.639 (**)	.699 (**)	.604 (**)	.390 (**)	1					
Q9	.303 (**)	.448 (**)	.356 (**)	.010	.526 (**)	.592 (**)	.488 (**)	.326 (**)	.638 (**)	1				
Q10	.327 (**)	.478 (**)	.400 (**)	.036	.566 (**)	.654 (**)	.524 (**)	.327 (**)	.687 (**)	.758 (**)	1			
Q11	.396 (**)	.495 (**)	.417 (**)	.143 (**)	.524 (**)	.629 (**)	.493 (**)	.312 (**)	.630 (**)	.583 (**)	.656 (**)	1		
Q12	.407 (**)	.500 (**)	.451 (**)	.145 (**)	.517 (**)	.648 (**)	.483 (**)	.279 (**)	.634 (**)	.591 (**)	.670 (**)	.785 (**)	1	
Q13	.360 (**)	.480 (**)	.385 (**)	.048	.642 (**)	.698 (**)	.599 (**)	.388 (**)	.767 (**)	.718 (**)	.787 (**)	.722 (**)	.735 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

		2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.003	3.91	0.352	4.02	0.788	4.02	0.334
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.18	0.840	4.19	0.296	4.06	0.927	4.07	0.315	4.12	0.927	4.13	0.327	4.00	0.898	4.03	0.329	4.25	0.733	4.25	0.319
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.723	4.29	0.348
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 5:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.42	1.025	2.37	0.539
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.824	4.04	0.421
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.840	4.13	0.400
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.957	4.04	0.511
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	1.298	3.44	0.930
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.35	0.856	4.37	0.411	4.31	0.882	4.33	0.455	4.34	0.880	4.36	0.418	4.29	0.864	4.32	0.418	4.07	0.905	4.06	0.496
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.870	4.07	0.390
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.21	0.892	4.22	0.380	4.06	0.940	4.08	0.402	4.14	0.921	4.15	0.374	4.14	0.882	4.17	0.366	4.05	0.837	4.05	0.402
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.11	0.936	4.13	0.388	4.02	0.987	4.05	0.432	4.07	0.976	4.10	0.399	4.10	0.898	4.13	0.373	3.97	0.873	3.98	0.422
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.861	4.03	0.423
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.35	0.836	4.36	0.399	4.28	0.870	4.30	0.436	4.31	0.866	4.33	0.409	4.27	0.848	4.29	0.398	4.04	0.898	4.04	0.467	

VIII. スポーツ・健康科学センター

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ほとんどの授業が遠隔授業となった。スポーツ・健康科学科目も遠隔授業への変更を余儀なくされたが、科目の特性上、どのような授業運営が可能なのかを模索し続けた1年であった。

例年、回答率は80%前後であったが、令和2年度は29.47%と非常に低いものとなった。これは、アンケートの実施方法がオンラインに変わったためと考えられるが、このように回答率が低い状況であると、授業に対する評価も履修者全体の意見を反映できていない可能性も考えられる。以上のような点も含めて、今年度の分析を行いたいと思う。

1. 項目別

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、平均値3.86であり、「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は75.50%であった。本センターで開講している授業において扱っているスポーツ種目は一般的にもなじみのあるものが多く、学生もイメージが付きやすかったのではないかと考える。

Q2「私は、この授業に意欲的に取り組んだ」については、平均値3.99であった。79.92%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答おり、授業実施者としても嬉しく思う。今後は「どちらともいえない」「あまりそうは思わない」「全くそう思わない」と回答した学生にとっても必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持ってもらい意欲的に授業に参加してもらえるような工夫が必要であると考えられる。

Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」については、平均値4.04であったが、取り組んだ時間については72.65%の学生が2時間未満であった。毎回の授業において講義動画と実技動画に取り組ませ、それらに関連した課題を行わせていたが、短い時間で集中して行えるような課題であったためこのような結果になったと考えられる。

Q4「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」は、平均値3.82であった。授業形態がオンラインになることはもちろん、その後の変更点についてもWebClassを通じて細かく連絡していたが、他のツールも使用してより全体的に連絡が行き届くように工夫してもよかったかもしれない。

Q5「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」については、平均値4.19であり、85.14%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答していた。講義動画で学んだことを実技動画の中や私生活において実践するという形式の教材を目指して作成していたため、このような評価が得られて嬉しく思う。

Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」については、

平均値が 3.14 と低めであった。オンデマンド教材を配信し、課題提出期間を長めに設けていたため、即座のフィードバックが行いにくかったことも要因の一つだと考えられる。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値 2.26 と評価が低かった。確かに履修者同士の意見交換の機会はあまり多く設けることができなかつたので、令和 3 年度も遠隔授業を行うことになるのであれば工夫する必要があると考えられる。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」については、平均値 4.12 と高い評価を受けている。87.14%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。通常とは異なる授業形態ではあつたが、各教員がそれぞれしっかりと努力した結果であると思われる。

Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」については、平均値 3.92 であつた。そして、満足していない履修者のほとんどが、量が少なかつたと回答している。あまり学生の負担にならないようにと控えめの内容にしたところもあるので、これを踏まえて内容について再検討したいと思う。

Q10「この授業の水準に満足している」については平均値 3.85 であり、満足していない履修者の意見で多かつたのは水準が低すぎるという回答であつた。Q9 の授業のボリュームについてもそうであつたが、少し控えめにしたところがあるのは否めないで、しっかり反省して次年度以降に活かしていきたいと思う。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 3.81 とやや低めの回答であつた。実技を行えなかつた分、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示（様々な練習ドリルの紹介）、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせる内容をより充実させる必要があつたと思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」については、平均値 3.74 であつた。実際に実技を行えなかつた分、難しい点もあつたが、それでももう少し評価が上がるような工夫をしていく必要があると考えられる。

Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 3.81 であつた。実技を行わなくても充実した内容の授業を行えるよう、今後も各教員の創意工夫が必要であると思われる。

2. 相関係数から

相関係数が 0.7 以上の項目は、Q5「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立つ」と Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」と Q10「この授業の水準に満足している」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激

されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」と Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」であった。

令和 2 年度は授業形態が大きく変わったこともあるが、例年より履修者の評価が低かったように思う。こちらも初めての状況の中、いろいろと最善の方法を模索しながら取り組んだつもりではあったが、今思うともう少し工夫できる部分もあったように感じる。今回の結果をしっかりと受け止めて、令和 3 年度以降の授業運営に活かしていこうと思う。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

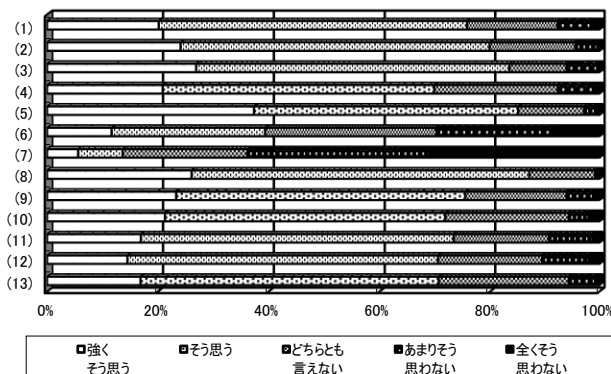
部門名 スポーツ・健康科学センター

形態名 演習

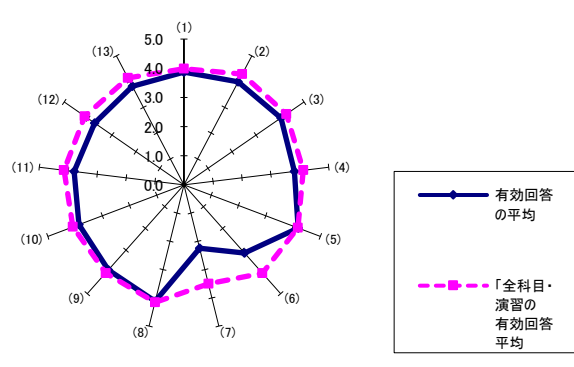
	合計	総履修者数	回答率
回答数	249	845	29.47%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	50	138	41	15	4	1	249	3.87	0.860	3.86	0.418
			20.08%	55.42%	16.47%	6.02%	1.61%	0.40%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	60	139	39	10	1	0	249	3.99	0.772	4.00	0.347
			24.10%	55.82%	15.66%	4.02%	0.40%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	67	141	26	14	1	0	249	4.04	0.797	4.04	0.356
			26.91%	56.63%	10.44%	5.62%	0.40%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	2	3	18	66	104	41	234	1.62	0.802	1.62	0.397
			0.85%	1.28%	7.69%	28.21%	44.44%	17.52%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	52	122	56	16	3	0	249	3.82	0.877	3.82	0.337
			20.88%	49.00%	22.49%	6.43%	1.20%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	93	119	30	5	2	0	249	4.19	0.783	4.19	0.254
			37.35%	47.79%	12.05%	2.01%	0.80%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	29	69	77	53	21	0	249	3.13	1.132	3.14	0.434
		11.65%	27.71%	30.92%	21.29%	8.43%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	14	20	56	82	77	0	249	2.24	1.143	2.26	0.560	
		5.62%	8.03%	22.49%	32.93%	30.92%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	65	152	30	1	1	0	249	4.12	0.649	4.12	0.229	
		26.10%	61.04%	12.05%	0.40%	0.40%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	58	130	46	12	3	0	249	3.92	0.845	3.92	0.364	
		23.29%	52.21%	18.47%	4.82%	1.20%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	1	14	-	-	-	0	15	-	-	-	-	
		6.67%	93.33%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	53	126	56	9	5	0	249	3.86	0.863	3.85	0.420	
		21.29%	50.60%	22.49%	3.61%	2.01%	0.00%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	1	11	-	-	-	2	14	-	-	-	-	
		7.14%	78.57%	-	-	-	14.29%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	42	140	43	20	3	1	249	3.80	0.858	3.81	0.370	
		16.87%	56.22%	17.27%	8.03%	1.20%	0.40%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	36	139	47	21	5	1	249	3.73	0.885	3.74	0.400	
		14.46%	55.82%	18.88%	8.43%	2.01%	0.40%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	42	134	59	12	2	0	249	3.81	0.799	3.81	0.341	
		16.87%	53.82%	23.69%	4.82%	0.80%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.378 (**)	1												
Q3	.387 (**)	.629 (***)	1											
Q3-2	.205 (**)	.201 (**)	.140	1										
Q4	.274 (**)	.492 (***)	.512 (***)	.168 (*)	1									
Q5	.316 (**)	.489 (***)	.530 (***)	.089	.572 (**)	1								
Q6	.234 (**)	.352 (**)	.334 (**)	.144 (*)	.584 (***)	.391 (**)	1							
Q7	.255 (**)	.336 (**)	.255 (**)	.163 (*)	.426 (**)	.232 (**)	.589 (***)	1						
Q8	.387 (**)	.557 (***)	.575 (***)	.095	.634 (***)	.717 (***)	.424 (***)	.292 (**)	1					
Q9	.414 (**)	.487 (**)	.406 (**)	.093	.469 (**)	.499 (**)	.369 (**)	.293 (**)	.585 (**)	1				
Q10	.427 (**)	.446 (**)	.436 (**)	.103	.599 (**)	.571 (**)	.461 (**)	.355 (**)	.607 (**)	.751 (***)	1			
Q11	.338 (**)	.516 (**)	.452 (**)	.162 (*)	.543 (**)	.532 (**)	.506 (**)	.386 (**)	.560 (**)	.545 (**)	.550 (**)	1		
Q12	.421 (**)	.532 (**)	.431 (**)	.156 (*)	.531 (**)	.540 (**)	.507 (**)	.428 (**)	.535 (**)	.598 (**)	.617 (**)	.776 (***)	1	
Q13	.400 (**)	.573 (**)	.487 (**)	.199 (**)	.625 (**)	.625 (**)	.455 (**)	.391 (**)	.651 (**)	.699 (**)	.697 (**)	.683 (**)	.739 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.55	0.707	4.60	0.271	4.48	0.810	4.53	0.296	4.45	0.850	4.50	0.322	4.40	0.846	4.46	0.325	3.99	0.772	4.00	0.347	
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.797	4.04	0.356	
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 5:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.62	0.802	1.62	0.397	
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.82	0.877	3.82	0.337	
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.783	4.19	0.254	
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.13	1.132	3.14	0.434	
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.24	1.143	2.26	0.560	
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.70	0.611	4.74	0.248	4.68	0.601	4.72	0.229	4.68	0.627	4.70	0.239	4.64	0.650	4.68	0.270	4.12	0.649	4.12	0.229	
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	0.845	3.92	0.364	
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.55	0.735	4.60	0.253	4.48	0.760	4.53	0.248	4.48	0.806	4.51	0.276	4.55	0.710	4.60	0.287	3.86	0.863	3.85	0.420	
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.45	0.798	4.52	0.331	4.39	0.892	4.45	0.351	4.40	0.862	4.46	0.321	4.39	0.874	4.46	0.385	3.80	0.858	3.81	0.370	
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.73	0.885	3.74	0.400	
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.70	0.609	4.75	0.253	4.69	0.609	4.74	0.243	4.66	0.619	4.68	0.251	4.62	0.680	4.67	0.302	3.81	0.799	3.81	0.341		

IX. 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

1. 集計データからわかること

令和 2 (2020) 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 103 科目、内訳として講義形態が 102 科目、演習形態が 1 科目となっており、アンケート実施率は講義形態が 99.02%で、演習形態の 1 科目は 100.00%であった（ただし、演習形態科目は履修者無しのため、集計対象外）。総履修者数は、11,082 名であるが、このうちアンケート回答者数は 2,180 名に留まり、回答率は 19.67%という結果となった。前年度の回答率 56.59%と比較すると 36.92 ポイント下降しているが、これは、アンケート実施形式が WEB アンケートとなったことが影響していると考えられる。

また、「基礎教養科目」の回答率 19.67%という値は全科目平均の 20.43%を下回っているが、講義科目のみの平均値 18.89%よりは上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、すべて講義形態のものを引用する。

Q1 私は、履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）は 84.54%であり、講義形式全体の 79.80%と比較しても高い数値となっていることから、基礎教養科目としては、授業内容をイメージしやすいシラバスとなっていることが窺える。また、大学全体でみると、79.80%と前年度の 70.01%から上昇し、講義形式、演習形式の差も少なくなっていることから、シラバスの記載方法について、改善の傾向がみられることが窺える。

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

学生の授業への意欲度については、肯定の割合が 85.23%となり、令和元 (2019) 年度の 57.97%から大きく上昇した。この値は、講義形式全体としての肯定の割合である 83.01%と比較しても高くなっている。ただし、今年度はアンケートの実施形態が WEB アンケートとなったことで、回答者数が大きく減少しており、回答者の傾向が受講に意欲的であった学生に偏っている可能性が考えられるため、本結果から見た学生の意欲についての判断は引き続き考察する必要がある。

Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

Q3-2 私がこの授業使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で

前年度は授業時間外学習時間を問う設問であったが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間全体を含めた学習時間を問う設問となっているが、3時間以上が8.17%である一方、2時間未満は57.29%となっている。今年度は遠隔授業中心にあることで、課題に取り組む時間が増大しているとの声が寄せられていたが、大学設置基準上必要とされている予習・復習時間の目安が3倍とされている点を鑑みると、必ずしも授業に費やした時間が過大とはなっておらず、逆に不足しがちであることが窺える。

Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった

感染症対策に伴う授業実施方法の変更について、説明が適切であったと肯定的に捉える割合は86.19%であり、講義形式全体の81.59%を上回る結果となった。概ね適切な説明がなされたといえよう。

Q5 この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った

遠隔授業の実施に伴い授業内容の理解における教材の質が重要となる中で、肯定の割合は89.68%と、講義形式全体の82.78%を上回り、適切な教材が用いられた授業が実施されていたことが窺える。

Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

遠隔授業の実施にあたり、一方的な教材の提供だけではなく、学生からの相談に速やかに応じる体制が確保されていることが必要な条件となるが、肯定の割合は79.27%と講義形式全体の71.65%を上回る結果となった。大学全体では演習形式に比べて、講義形式で肯定的な回答の割合が低くなる傾向の中、基礎教養科目では講義形式でも一定の機会が設けられていることが窺える。

Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

Q6の教員への質問の機会と同様、遠隔授業の実施にあたり、履修者同士の意見交換の機会を設けることが求められているが、大学全般で演習形式や語学の授業に比べて、講義形式の肯定の割合は低くなっている。その中でも基礎教養科目では40.18%と大学全体の31.61%と比較すれば高い値となっているものの、改善の必要があると考えられる。

Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

学習内容の理解しやすさについては、講義科目全体の平均 78.26% (令和元年度 76.55%) を上回り、肯定の割合は 87.24% (令和元年度 83.50%) となっている。両年度とも全体平均より高い値を示している点において、授業の開講形態が遠隔授業中心となっても傾向に大きな変化はなく、むしろ理解度が上がっている可能性も示唆されている。ただし、Q2 同様、アンケートの回答者数が大きく減少していることで、意欲的に取り組んだ学生の回答が多い可能性も考慮し、結果に対して慎重な判断が求められる。

Q9-1 この授業のボリューム (学ぶ内容の量) に満足している

Q9-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

授業のボリュームについては、肯定の割合が 84.68% と講義形式全体の 78.54% を上回り満足度の高さが窺える。一方で否定的な回答の内訳としては「多い」が 77.60%、「少ない」が 21.60% であるが、否定的な回答の割合が全体の 5.73% と高くないことから、授業全体のボリュームを調整するのではなく、「多い」と感じる学生をラーニング・サポートセンターにてフォローするといった配慮が必要であるといえる。

Q10-1 この授業の水準に満足している

Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか

授業の水準の満足度について、肯定の割合は 84.96% であり、令和元 (2019) 年度のレベルの適切度と比較すると 78.76% から増大する結果となっている。また、大学全体の講義形式の平均 78.72% を上回っているため、水準の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となっている。

なお、否定的な回答をした学生の内訳は「高すぎる」という回答が 41.33%、「低すぎる」という回答が 57.33% と比率は半々に近い数字となっている。

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激については、講義形式全体の平均 81.47% を上回り、肯定の割合は 90.28% とかなり高い数値であった。

Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

自らの知識や能力が向上したと感じる満足度についても、講義形式全体の平均 82.66% を上回り、肯定の割合は 87.84% であった。

Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 87.24% であり、対前年度 (令和元年度 84.34%) から増大しており、平成 30 年度が 85.79% であった点も含めて考慮すると、近年は 80% を超える高水準を維持していると評価できる。

2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 15 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これはコロナ禍における急な授業形態の変更にもかかわらず、例年同様の授業の水準を維持しようとした各担当教員における授業実施方法の工夫の努力が結果としてあらわれたものと考えられる。

なお、例年半数程度に留まっている回答率が毎年の課題となっているが、令和 2 (2020) 年度については令和元 (2019) 年度の 56.59%から下降し 19.67%という結果となり、直近 3 年間の 56~57%台から大きく下降している。これは、対面形式での授業実施が困難になったことに伴い、アンケートの実施方法を WEB 形式に変更したことが大きく影響していると考えられ、数値が総じて高い傾向から、授業やアンケートに意欲的な学生の割合が多かったことを念頭に置いて、今後の改善につなげる必要がある。

アンケート結果は、単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、従来の平成 28 年度の GPA 制度導入に伴う「棄権」の廃止や、平成 30 (2018) 年度新入学生以降のキャップ制の導入等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化に加えて、遠隔授業実施方法の改善や教育効果に及ぼす影響を引き続き注視していきたい。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

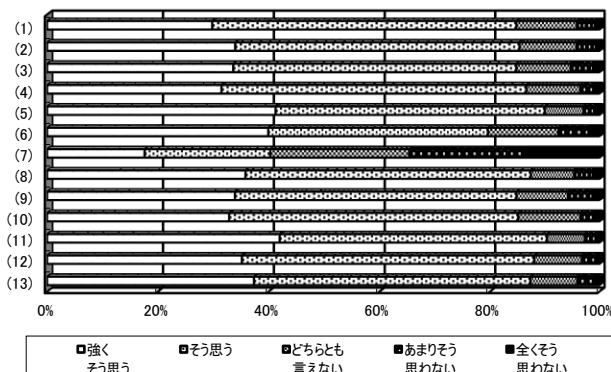
部門名 基礎教養

形態名 講義

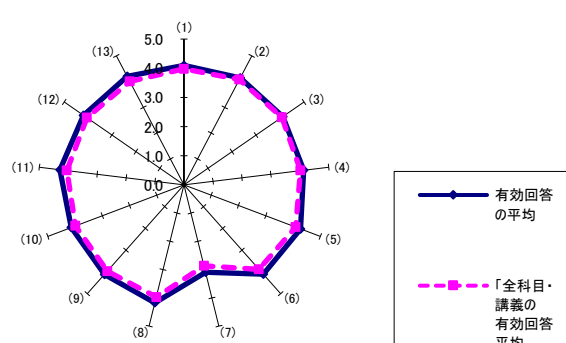
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,180	11,082	19.67%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	648	1,195	240	71	19	7	2,180	4.10	0.780	4.12	0.225
			29.72%	54.82%	11.01%	3.26%	0.87%	0.32%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	739	1,119	227	76	15	4	2,180	4.14	0.791	4.17	0.237
			33.90%	51.33%	10.41%	3.49%	0.69%	0.18%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	730	1,112	216	88	26	8	2,180	4.12	0.831	4.13	0.274
			33.49%	51.01%	9.91%	4.04%	1.19%	0.37%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	53	115	319	774	405	392	2,058	2.18	0.982	2.22	0.459
			2.58%	5.59%	15.50%	37.61%	19.68%	19.05%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	683	1,196	214	53	23	11	2,180	4.14	0.767	4.14	0.305
			31.33%	54.86%	9.82%	2.43%	1.06%	0.50%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	896	1,059	154	42	21	8	2,180	4.27	0.757	4.29	0.293
			41.10%	48.58%	7.06%	1.93%	0.96%	0.37%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	867	861	280	120	43	9	2,180	4.10	0.958	4.08	0.518
		39.77%	39.50%	12.84%	5.50%	1.97%	0.41%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	383	493	545	458	295	6	2,180	3.10	1.295	3.10	0.796	
		17.57%	22.61%	25.00%	21.01%	13.53%	0.28%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	779	1,123	172	74	27	5	2,180	4.17	0.809	4.18	0.367	
		35.73%	51.51%	7.89%	3.39%	1.24%	0.23%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	738	1,108	205	97	28	4	2,180	4.12	0.845	4.12	0.356	
		33.85%	50.83%	9.40%	4.45%	1.28%	0.18%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	97	27	-	-	-	1	125	-	-	-	-	
		77.60%	21.60%	-	-	-	0.80%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	715	1,137	248	50	25	5	2,180	4.13	0.788	4.15	0.325	
		32.80%	52.16%	11.38%	2.29%	1.15%	0.23%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	31	43	-	-	-	1	75	-	-	-	-	
		41.33%	57.33%	-	-	-	1.33%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	914	1,054	151	43	15	3	2,180	4.29	0.739	4.30	0.262	
		41.93%	48.35%	6.93%	1.97%	0.69%	0.14%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	765	1,150	190	55	15	5	2,180	4.19	0.752	4.22	0.271	
		35.09%	52.75%	8.72%	2.52%	0.69%	0.23%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	813	1,089	187	65	23	3	2,180	4.20	0.797	4.20	0.332	
		37.29%	49.95%	8.58%	2.98%	1.06%	0.14%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.518 (**)	1												
Q3	.360 (**)	.607 (**)	1											
Q3-2	.084 (**)	.184 (**)	.325 (**)	1										
Q4	.425 (**)	.402 (**)	.333 (**)	.051 (*)	1									
Q5	.425 (**)	.458 (**)	.379 (**)	.080 (**)	.629 (**)	1								
Q6	.336 (**)	.336 (**)	.266 (**)	.033	.541 (**)	.528 (**)	1							
Q7	.255 (**)	.259 (**)	.151 (**)	-.001	.295 (**)	.260 (**)	.455 (**)	1						
Q8	.446 (**)	.476 (**)	.340 (**)	.056 (*)	.633 (**)	.732 (**)	.596 (**)	.354 (**)	1					
Q9	.415 (**)	.424 (**)	.320 (**)	-.065 (**)	.545 (**)	.616 (**)	.487 (**)	.332 (**)	.680 (**)	1				
Q10	.452 (**)	.475 (**)	.353 (**)	.014	.597 (**)	.678 (**)	.529 (**)	.337 (**)	.734 (**)	.768 (**)	1			
Q11	.458 (**)	.469 (**)	.348 (**)	.059 (*)	.537 (**)	.634 (**)	.456 (**)	.251 (**)	.653 (**)	.604 (**)	.664 (**)	1		
Q12	.493 (**)	.493 (**)	.376 (**)	.073 (**)	.531 (**)	.615 (**)	.455 (**)	.309 (**)	.638 (**)	.599 (**)	.671 (**)	.756 (**)	1	
Q13	.474 (**)	.497 (**)	.363 (**)	.012	.614 (**)	.727 (**)	.555 (**)	.333 (**)	.769 (**)	.719 (**)	.802 (**)	.716 (**)	.718 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.936	3.98	0.291	4.10	0.780	4.12	0.225
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.75	1.004	3.82	0.410	3.65	1.113	3.68	0.449	3.72	1.090	3.69	0.370	3.65	1.041	3.68	0.358	4.14	0.791	4.17	0.237
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.831	4.13	0.274
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.18	0.982	2.22	0.459
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.767	4.14	0.305
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.27	0.757	4.29	0.293
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.10	0.958	4.08	0.518
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.10	1.295	3.10	0.796
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.22	0.892	4.26	0.441	4.18	0.919	4.23	0.440	4.32	0.825	4.31	0.317	4.26	0.817	4.28	0.292	4.17	0.809	4.18	0.367
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.845	4.12	0.356
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.12	0.905	4.15	0.388	4.09	0.916	4.10	0.392	4.21	0.850	4.17	0.339	4.13	0.844	4.15	0.273	4.13	0.788	4.15	0.325
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.22	0.906	4.25	0.362	4.18	0.931	4.22	0.358	4.29	0.863	4.27	0.278	4.24	0.828	4.26	0.280	4.29	0.739	4.30	0.262
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.752	4.22	0.271
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.25	0.865	4.29	0.400	4.21	0.883	4.26	0.393	4.31	0.815	4.29	0.303	4.27	0.806	4.28	0.267	4.20	0.797	4.20	0.332	

部門名 基礎教養
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.00	0.725	4.00	-	4.25	1.047	4.33	0.552	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.25	0.716	4.25	-	4.48	0.820	4.53	0.430	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.10	0.718	4.10	-	4.17	0.943	4.25	0.526	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.20	0.894	4.20	-	4.35	0.936	4.41	0.460	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.35	0.875	4.35	-	4.48	0.737	4.52	0.295	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	

X. 教職課程

教職課程開設科目は、教員免許取得を希望する学生が自発的に履修するものである。また、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も文部科学省の課程認定行政の指導・助言によって、近年では法的拘束力（「教職課程コア・カリキュラム」）が強まってきている。授業形態も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は、講義形式でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ない。加えて、近年の教員政策的重点事項として「(教員としての) 実践的指導力の育成」強化が指示されており、教科教育法の授業を中心に模擬授業や場面指導などの具体的かつ実践的な内容及び方法を取り入れていかなければならない。

教職科目については、コロナ禍にあった令和2（2020）年度あるいは経年変化比較においても、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的によいとは言えるものの、意欲的に取り組んでいるかといえば、専門科目の学習活動と比較すると必ずしもよいとはいえない。また、予習・復習等の授業外の学習時間など、履修者にとっては、専門分野の学習に加えての履修であるために、意欲の注ぎ方は各専門分野の学習に比べればやや劣る傾向にあるのかもしれない。他方で、「授業に意欲的に取り組んでいる」・「授業の水準に満足」・「熱意を持って授業をおこなっている」をはじめ、複数の項目で一定の評価を得ているように思われ、総合的な評価を含めて、特段に低下する傾向はみられない。なお、講義の進め方等については、コロナ禍にあったため、対面式授業、オンライン授業、オンデマンド授業などの違いによって、学生の授業に対する満足度に差が見られた。そのことをふまえた上で、改善の余地があるようにも思われ、教職課程として、引き続き、授業内容の改善及び授業時間内での確実な定着の工夫など、一層の改善努力をしていきたいと考えている。

なお、学校現場における児童・生徒に関する多様な問題の発生とその対応としての新しい教育政策的動向を鑑みるに、教員養成に必要な教育内容の量／質は増加し、レベルは高まるばかりであるため、指導計画上の困難さは大きくなるばかりである。教職課程では、『教職課程年報』を毎年度発行し、「研究論文」に加えて「授業研究」ジャンルを設け、専任教員のみならず教職課程開設科目を担当する非常勤講師及び関係者の「授業取り組み例」として研究的に相互交流を図り、困難さについても共有するとともに、担当者及び担当者間全体の研究成果を共有しつつ、改善に向けて努めていこうとしている。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

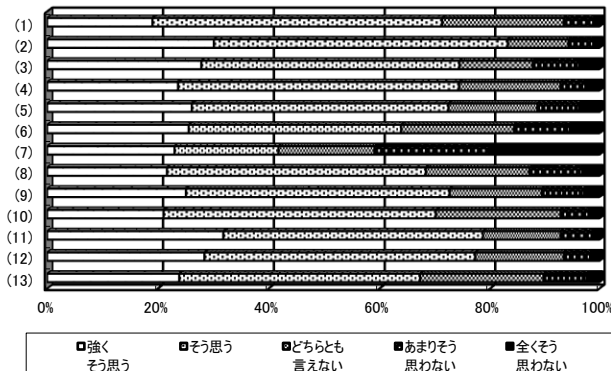
部門名 教職課程

形態名 講義

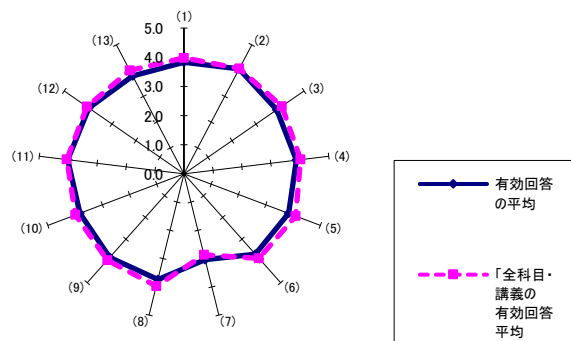
	合計	総履修者数	回答率
回答数	352	1,260	27.94%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	67	184	78	19	4	0	352	3.83	0.838	3.97	0.318
			19.03%	52.27%	22.16%	5.40%	1.14%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	106	187	39	16	4	0	352	4.07	0.833	4.15	0.231
			30.11%	53.13%	11.08%	4.55%	1.14%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	98	164	47	30	13	0	352	3.86	1.034	3.97	0.399
			27.84%	46.59%	13.35%	8.52%	3.69%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	16	18	61	117	48	49	309	2.37	1.056	2.43	0.471
			5.18%	5.83%	19.74%	37.86%	15.53%	15.86%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	83	178	65	16	9	1	352	3.88	0.907	4.01	0.379
			23.58%	50.57%	18.47%	4.55%	2.56%	0.28%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	92	163	57	27	13	0	352	3.84	1.019	4.11	0.520
			26.14%	46.31%	16.19%	7.67%	3.69%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	90	135	72	36	19	0	352	3.68	1.122	3.85	0.613
		25.57%	38.35%	20.45%	10.23%	5.40%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	81	66	61	73	71	0	352	3.04	1.458	3.04	1.041	
		23.01%	18.75%	17.33%	20.74%	20.17%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	76	164	66	34	11	1	352	3.74	1.005	3.99	0.519	
		21.59%	46.59%	18.75%	9.66%	3.13%	0.28%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	88	167	59	27	10	1	352	3.84	0.980	4.03	0.421	
		25.00%	47.44%	16.76%	7.67%	2.84%	0.28%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	15	22	-	-	-	0	37	-	-	-	-	
		40.54%	59.46%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	74	173	80	18	7	0	352	3.82	0.890	4.03	0.451	
		21.02%	49.15%	22.73%	5.11%	1.99%	0.00%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	4	19	-	-	-	2	25	-	-	-	-	
		16.00%	76.00%	-	-	-	8.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	112	165	50	20	5	0	352	4.02	0.904	4.21	0.374	
		31.82%	46.88%	14.20%	5.68%	1.42%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	100	172	57	17	6	0	352	3.97	0.891	4.16	0.371	
		28.41%	48.86%	16.19%	4.83%	1.70%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	84	153	79	28	8	0	352	3.79	0.971	4.02	0.498	
		23.86%	43.47%	22.44%	7.95%	2.27%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

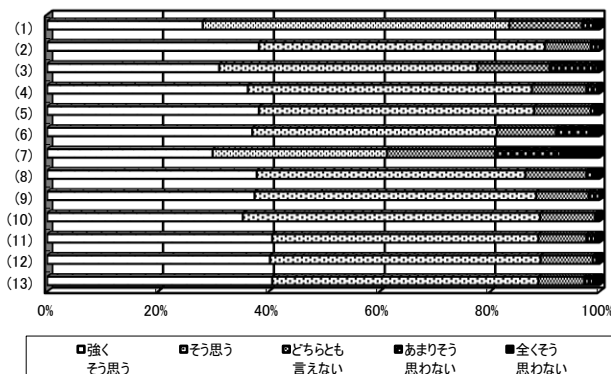
部門名 教職課程

形態名 演習

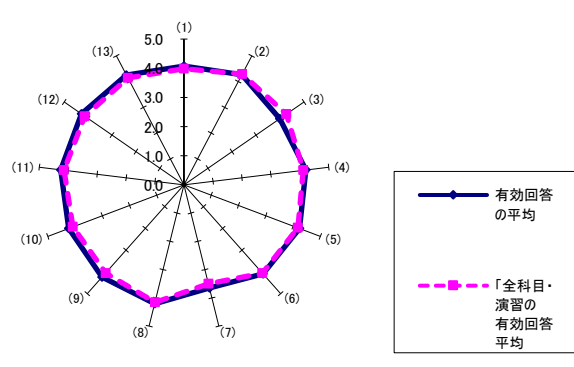
	合計	総履修者数	回答率
回答数	251	1,032	24.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない		無回答	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	70	138	33	5	3	2	251	4.07	0.774	4.08	0.281
			27.89%	54.98%	13.15%	1.99%	1.20%	0.80%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	96	130	21	4	0	0	251	4.27	0.679	4.29	0.254
			38.25%	51.79%	8.37%	1.59%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	78	117	33	22	1	0	251	3.99	0.912	3.99	0.378
			31.08%	46.61%	13.15%	8.76%	0.40%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	17	13	35	79	39	45	228	2.40	1.172	2.47	0.621
			7.46%	5.70%	15.35%	34.65%	17.11%	19.74%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	91	129	25	5	1	0	251	4.21	0.732	4.21	0.273
			36.25%	51.39%	9.96%	1.99%	0.40%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	96	125	26	2	2	0	251	4.24	0.731	4.22	0.323
			38.25%	49.80%	10.36%	0.80%	0.80%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	93	111	27	15	5	0	251	4.08	0.945	4.05	0.444
		37.05%	44.22%	10.76%	5.98%	1.99%	0.00%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	75	79	49	30	18	0	251	3.65	1.225	3.67	0.730	
		29.88%	31.47%	19.52%	11.95%	7.17%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	95	122	28	3	3	0	251	4.21	0.778	4.18	0.326	
		37.85%	48.61%	11.16%	1.20%	1.20%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	94	128	24	5	0	0	251	4.24	0.703	4.23	0.260	
		37.45%	51.00%	9.56%	1.99%	0.00%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	2	3	-	-	-	0	5	-	-	-	-	
		40.00%	60.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	88	134	25	0	2	2	251	4.23	0.690	4.23	0.266	
		35.06%	53.39%	9.96%	0.00%	0.80%	0.80%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	0	2	-	-	-	0	2	-	-	-	-	
		0.00%	100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	102	121	22	4	2	0	251	4.26	0.750	4.23	0.392	
		40.64%	48.21%	8.76%	1.59%	0.80%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	101	123	24	2	1	0	251	4.28	0.700	4.26	0.315	
		40.24%	49.00%	9.56%	0.80%	0.40%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	102	121	21	4	3	0	251	4.25	0.774	4.24	0.281	
		40.64%	48.21%	8.37%	1.59%	1.20%	0.00%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.559 (**)	1												
Q3	.380 (**)	.490 (**)	1											
Q3-2	.218 (**)	.265 (**)	.361 (**)	1										
Q4	.450 (**)	.452 (**)	.272 (**)	.173 (**)	1									
Q5	.400 (**)	.429 (**)	.335 (**)	.088	.581 (**)	1								
Q6	.354 (**)	.330 (**)	.365 (**)	.069	.451 (**)	.460 (**)	1							
Q7	.145 (**)	.132 (*)	.353 (**)	.060	.165 (**)	.100	.606 (**)	1						
Q8	.394 (**)	.416 (**)	.424 (**)	.062	.568 (**)	.699 (**)	.661 (**)	.326 (**)	1					
Q9	.363 (**)	.460 (**)	.367 (**)	.127 (*)	.541 (**)	.582 (**)	.572 (**)	.312 (**)	.713 (**)	1				
Q10	.463 (**)	.500 (**)	.416 (**)	.113	.583 (**)	.631 (**)	.585 (**)	.266 (**)	.782 (**)	.758 (**)	1			
Q11	.422 (**)	.456 (**)	.338 (**)	.142 (*)	.417 (**)	.529 (**)	.436 (**)	.142 (**)	.559 (**)	.506 (**)	.635 (**)	1		
Q12	.421 (**)	.467 (**)	.410 (**)	.135 (*)	.424 (**)	.551 (**)	.485 (**)	.209 (**)	.625 (**)	.532 (**)	.648 (**)	.800 (**)	1	
Q13	.438 (**)	.546 (**)	.445 (**)	.128 (*)	.565 (**)	.650 (**)	.566 (**)	.279 (**)	.766 (**)	.751 (**)	.820 (**)	.657 (**)	.698 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.422 (**)	1												
Q3	.377 (**)	.650 (**)	1											
Q3-2	.254 (**)	.410 (**)	.520 (**)	1										
Q4	.519 (**)	.394 (**)	.296 (**)	.232 (**)	1									
Q5	.480 (**)	.411 (**)	.405 (**)	.280 (**)	.578 (**)	1								
Q6	.458 (**)	.321 (**)	.205 (**)	.156 (*)	.588 (**)	.428 (**)	1							
Q7	.317 (**)	.262 (**)	.252 (**)	.100	.351 (**)	.215 (**)	.454 (**)	1						
Q8	.522 (**)	.319 (**)	.318 (**)	.235 (**)	.619 (**)	.630 (**)	.570 (**)	.354 (**)	1					
Q9	.301 (**)	.402 (**)	.371 (**)	.220 (**)	.500 (**)	.464 (**)	.385 (**)	.279 (**)	.604 (**)	1				
Q11														
Q10	.490 (**)	.465 (**)	.409 (**)	.171 (*)	.604 (**)	.572 (**)	.482 (**)	.410 (**)	.654 (**)	.652 (**)	1			
Q13														
Q11	.500 (**)	.498 (**)	.465 (**)	.361 (**)	.489 (**)	.614 (**)	.364 (**)	.371 (**)	.551 (**)	.479 (**)	.663 (**)	1		
Q12	.422 (**)	.491 (**)	.423 (**)	.320 (**)	.509 (**)	.518 (**)	.364 (**)	.343 (**)	.518 (**)	.612 (**)	.680 (**)	.774 (**)	1	
Q13	.479 (**)	.487 (**)	.383 (**)	.189 (*)	.632 (**)	.578 (**)	.507 (**)	.411 (**)	.616 (**)	.556 (**)	.811 (**)	.732 (**)	.710 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.71	1.062	3.90	0.376	3.83	0.838	3.97	0.318
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.92	0.956	3.99	0.286	3.71	1.030	3.78	0.293	3.75	1.120	3.97	0.431	3.70	0.997	3.90	0.393	4.07	0.833	4.15	0.231
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.034	3.97	0.399
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以下2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.37	1.056	2.43	0.471
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.907	4.01	0.379
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	1.019	4.11	0.520
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.68	1.122	3.85	0.613
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.04	1.458	3.04	1.041
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.12	0.977	4.19	0.434	4.03	1.033	4.19	0.555	4.02	1.100	4.29	0.579	4.05	1.068	4.32	0.511	3.74	1.005	3.99	0.519
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	0.980	4.03	0.421
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.13	0.901	4.17	0.327	3.98	0.906	4.08	0.393	3.98	1.018	4.22	0.527	4.02	0.979	4.27	0.489	3.82	0.890	4.03	0.451
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.09	0.985	4.16	0.324	4.04	0.964	4.15	0.400	4.05	1.028	4.29	0.468	4.12	0.953	4.37	0.440	4.02	0.904	4.21	0.374
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.891	4.16	0.371
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.13	0.905	4.22	0.366	4.04	0.956	4.18	0.491	4.06	1.042	4.30	0.524	4.07	1.008	4.33	0.503	3.79	0.971	4.02	0.498	

部門名 教職課程
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	1.050	3.97	0.321	4.07	0.774	4.08	0.281
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.25	0.811	4.30	0.269	4.17	0.916	4.23	0.287	4.17	0.988	4.18	0.276	4.05	0.885	4.10	0.310	4.27	0.679	4.29	0.254
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.912	3.99	0.378
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以下2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.40	1.172	2.47	0.621
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.732	4.21	0.273
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.731	4.22	0.323
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.945	4.05	0.444
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.65	1.225	3.67	0.730
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.37	0.883	4.42	0.400	4.37	0.867	4.46	0.328	4.50	0.776	4.47	0.241	4.34	0.847	4.37	0.336	4.21	0.778	4.18	0.326
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.703	4.23	0.260
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.41	0.781	4.44	0.281	4.35	0.840	4.41	0.276	4.43	0.759	4.41	0.214	4.25	0.838	4.29	0.318	4.23	0.690	4.23	0.266
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.38	0.877	4.42	0.320	4.34	0.854	4.39	0.306	4.40	0.844	4.39	0.275	4.33	0.869	4.35	0.303	4.26	0.750	4.23	0.392
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.700	4.26	0.315
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.42	0.844	4.47	0.345	4.35	0.847	4.44	0.344	4.45	0.790	4.42	0.241	4.34	0.827	4.36	0.320	4.25	0.774	4.24	0.281	

XI. 学芸員課程委員会

前年度はコロナ禍によって、授業形態がオンライン化するなど大きく変化し、アンケートも十全に行うことができなかった。結果として例年と同様の分析を行うのは難しく、オンライン対応などを含めての実情を報告する。

1. ガイダンス

学芸員課程の開設科目は、学芸員資格取得を希望する学生が自主的に履修するものであるが、館園実習（博物館・美術館等での実習）に至る4年間の履修の流れは体系化されている。これを学生に周知するため、本課程専用のガイドを作成し、課程全体について、また館園実習については、二度のガイダンスを設定しているが、前年度はオンデマンドでのガイダンスとなった。その結果、周知度・理解度が若干低下したことは、その後の書類提出の状況などから推定される。

2. 集計データからわかること

アンケートは、講義科目では常に例年80%を越えていた回答率が35.87%と低く、質問項目が大きく変化したことと合わせて、経年変化を見るための有意のデータとは見做しがたいものとなった。たとえば、質問（1）「シラバスなどを通じての授業イメージの形成」は3.99（回答者ベース・以下同）を示しているが、上記のように書類提出の状況などからは理解度の低下が想定され、回答率の低さが反映したものと思われる。また質問（2）「授業への意欲的な取り組み」が、例年ほぼ3.8～3.9であるのが4.06と上昇しているのは、アンケートに回答したのが意欲的な学生であったことを示す可能性がある。

オンライン授業の性格が大きく反映したと思われるのは、（7）「履修者同士の意見交換の機会」の提供に対する2.31、（6）「教員への質問の機会」の提供に対する3.28で、いずれも講義科目でのインタラクティブィティを十全に確保するのは難しい。一方、（5）「配付された教材」についての評価が4.05と高いのは、従来のコピーによるペーパーベースの資料に対してカラーのPDFで配付され、とくに美術系の教材において、相対的に良質の画像を授業の後も参照できるようになったのが一因と考えられる。しかし、このような状態のなかでも、（11）「知的好奇心の刺激と新しいものの見方の獲得」が4.17（部門別4.26）、（12）「知識や能力の向上」が4.12（4.23）、（13）「総合的に高く評価できる」が3.92（4.08）と、全体的な評価が相対的に高かったことは、教員の努力が学生に通じたものと思われる。

演習科目（学芸員実習）については、オンラインで行うことのできない内容も多く、これらを対面で実施したため、オンラインによるアンケートへの対応ができず、結果を得ることができなかった。ただし、ほとんどの授業がオンラインとなるなかで、人数の調整など感染対策をしながら対面の実習を行なったことから、学生の満足度は高かったと思われる。

3. 今後の授業改善に向けて

本報告書をまとめている令和3（2021）年度は、前年度の経験をもとに、オンデマンドや同時配信、いわゆるハイフレックスなどの授業を、おおむね順調に行えるようになっているが、アンケート結果が示したようなインタラクティブ性の向上を含めて、より効果的なLMSやオンラインミーティングシステムの活用を追求する必要がある。学芸員課程の教育内容も、美術作品の扱いや植物の飼育など対象との物理的な接触から、VRなどデジタル技術を駆使した展示まで幅を広げつつある。これに対応するため、教材を整備し教授法を研究しつつ魅力ある授業運営に努めていきたい。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業アンケート 集計結果

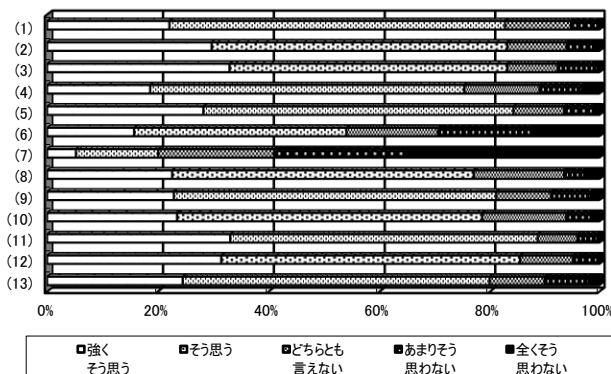
部門名 学芸員

形態名 講義

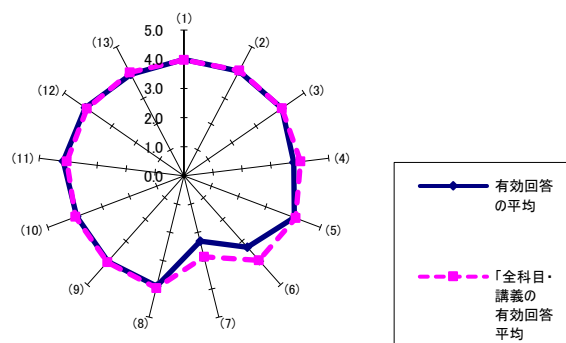
	合計	総履修者数	回答率
回答数	250	697	35.87%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	55	151	30	12	1	1	250	3.99	0.757	4.03	0.210
			22.00%	60.40%	12.00%	4.80%	0.40%	0.40%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	74	133	27	12	3	1	250	4.06	0.841	4.08	0.290
			29.60%	53.20%	10.80%	4.80%	1.20%	0.40%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	82	125	23	18	1	1	250	4.08	0.862	4.01	0.347
			32.80%	50.00%	9.20%	7.20%	0.40%	0.40%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	8	20	36	68	46	52	230	2.30	1.109	2.06	0.617
			3.48%	8.70%	15.65%	29.57%	20.00%	22.61%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	46	140	34	19	8	3	250	3.80	0.941	3.97	0.514
			18.40%	56.00%	13.60%	7.60%	3.20%	1.20%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	70	139	23	13	3	2	250	4.05	0.833	4.18	0.376
			28.00%	55.60%	9.20%	5.20%	1.20%	0.80%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	39	95	41	43	30	2	250	3.28	1.263	3.51	0.741
		15.60%	38.00%	16.40%	17.20%	12.00%	0.80%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	13	37	52	60	87	1	250	2.31	1.237	2.51	0.953	
		5.20%	14.80%	20.80%	24.00%	34.80%	0.40%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	56	135	41	9	7	2	250	3.90	0.886	4.06	0.403	
		22.40%	54.00%	16.40%	3.60%	2.80%	0.80%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	57	145	25	18	4	1	250	3.94	0.873	4.08	0.361	
		22.80%	58.00%	10.00%	7.20%	1.60%	0.40%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	9	11	-	-	-	2	22	-	-	-	-	
		40.91%	50.00%	-	-	-	9.09%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	58	136	38	11	4	3	250	3.94	0.844	4.08	0.369	
		23.20%	54.40%	15.20%	4.40%	1.60%	1.20%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	5	9	-	-	-	1	15	-	-	-	-	
		33.33%	60.00%	-	-	-	6.67%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	82	138	18	9	1	2	250	4.17	0.746	4.26	0.358	
		32.80%	55.20%	7.20%	3.60%	0.40%	0.80%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	78	134	24	11	1	2	250	4.12	0.783	4.23	0.333	
		31.20%	53.60%	9.60%	4.40%	0.40%	0.80%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	61	138	25	20	5	1	250	3.92	0.919	4.08	0.440	
		24.40%	55.20%	10.00%	8.00%	2.00%	0.40%	100.00%					

「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



相関係数表

部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.400 (**)	1												
Q3	.279 (**)	.517 (**)	1											
Q3-2	-.038	.132	.349 (**)	1										
Q4	.081	.208 (**)	.025	-.336 (**)	1									
Q5	.071	.325 (**)	.062	-.288 (**)	.616 (**)	1								
Q6	.176 (**)	.219 (**)	.113	-.168 (*)	.622 (**)	.501 (**)	1							
Q7	.145 (*)	.258 (**)	.143 (*)	.081	.420 (**)	.366 (**)	.580 (**)	1						
Q8	.135 (*)	.289 (**)	-.026	-.389 (**)	.616 (**)	.692 (**)	.517 (**)	.409 (**)	1					
Q9	.182 (**)	.313 (**)	.152 (*)	-.269 (**)	.512 (**)	.521 (**)	.445 (**)	.295 (**)	.574 (**)	1				
Q10	.299 (**)	.370 (**)	.162 (*)	-.233 (**)	.589 (**)	.567 (**)	.564 (**)	.405 (**)	.604 (**)	.673 (**)	1			
Q11	.274 (**)	.481 (**)	.205 (**)	-.179 (*)	.467 (**)	.610 (**)	.405 (**)	.304 (**)	.544 (**)	.563 (**)	.623 (**)	1		
Q12	.274 (**)	.544 (**)	.285 (**)	-.203 (**)	.467 (**)	.537 (**)	.395 (**)	.329 (**)	.530 (**)	.575 (**)	.588 (**)	.768 (**)	1	
Q13	.231 (**)	.387 (**)	.125 (*)	-.356 (**)	.628 (**)	.659 (**)	.562 (**)	.397 (**)	.733 (**)	.647 (**)	.734 (**)	.674 (**)	.669 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和2(2020)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.822	4.11	0.226	3.99	0.757	4.03	0.210
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.96	0.811	3.95	0.211	3.78	0.931	3.85	0.346	3.80	0.966	3.86	0.289	3.80	0.924	3.87	0.305	4.06	0.841	4.08	0.290
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.862	4.01	0.347
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.30	1.109	2.06	0.617
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	0.941	3.97	0.514
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.833	4.18	0.376
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.28	1.263	3.51	0.741
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.237	2.51	0.953
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.43	0.709	4.42	0.296	4.34	0.749	4.37	0.185	4.40	0.755	4.44	0.225	4.35	0.724	4.40	0.197	3.90	0.886	4.06	0.403
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.873	4.08	0.361
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.30	0.737	4.28	0.265	4.25	0.760	4.24	0.181	4.30	0.742	4.33	0.191	4.27	0.717	4.32	0.184	3.94	0.844	4.08	0.369
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.44	0.706	4.45	0.223	4.31	0.847	4.38	0.257	4.45	0.736	4.50	0.196	4.45	0.706	4.51	0.208	4.17	0.746	4.26	0.358
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.783	4.23	0.333
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.39	0.701	4.38	0.261	4.34	0.750	4.38	0.218	4.39	0.719	4.44	0.227	4.38	0.713	4.44	0.222	3.92	0.919	4.08	0.440	

部門名 学芸員
形態名 演習

			2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.49	0.643	4.49	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.33	0.647	4.34	0.221	4.23	0.710	4.27	0.348	4.46	0.631	4.46	0.224	4.50	0.628	4.52	0.277	0.00	0.000	0.00	0.000
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満 ※前年度は授業外学習時間を問う設問でしたが、遠隔授業の形態を鑑み、受講時間を含めた学習時間合計を質問しています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた ※前年度は「教員は理解しやすい授業を行っている」	4.67	0.502	4.68	0.116	4.73	0.536	4.74	0.309	4.93	0.302	4.93	0.094	4.83	0.379	4.84	0.219	0.00	0.000	0.00	0.000
	(9)-1	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
	(10)-1	この授業の水準に満足している	4.59	0.550	4.60	0.162	4.55	0.697	4.54	0.389	4.75	0.462	4.76	0.170	4.76	0.458	4.78	0.243	0.00	0.000	0.00	0.000
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.64	0.537	4.66	0.240	4.71	0.517	4.71	0.159	4.86	0.352	4.87	0.102	4.80	0.462	4.81	0.201	0.00	0.000	0.00	0.000
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.68	0.497	4.70	0.160	4.73	0.536	4.73	0.179	4.88	0.326	4.89	0.117	4.80	0.437	4.81	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000	

第4章

授業への取り組み例

I. 法学部

● 「特殊講義（商取引法）」

令和2年度は、Zoomを用いた同時配信授業を行うとともに、同時配信授業に参加できなかった学生を想定して、授業の音声データをWebClassにアップロードした。学生に、授業に参加している意識を高めてもらうため、また、学生の理解度を向上させるため、授業は頻繁に学生を指名しながら進める方法を採用した。その際、学生にとっては、いつ指名されるかが全く分からないと常に緊張を強いられること、毎回同時配信授業に参加しなければならないことになると、データ量等の関係で困難を感じる学生がいる可能性があることから、各回に指名される学生をあらかじめ割り当てる方法をとった。具体的には、「第1回の授業であれば学籍番号の下一桁が1の学生を、第2回の授業であれば学籍番号の下一桁が2の学生を……（以下同じ）指名するため、該当する回は同時配信授業に参加してほしい」旨をアナウンスしておき、当日は該当の学生を指名した。

● 「商法演習」

令和2年度は、1学期はZoomを用いた同時配信授業を行い、2学期は対面授業とZoomを用いた同時配信授業を組み合わせたハイブリット方式での授業を行った。

➤ 1学期のZoomを用いた同時配信授業について

1学期は学生を4名程度のグループに分けた上で、グループ単位での事例の調査・分析と報告を行った。報告の準備をするためには、グループ単位での打ち合わせが必須となるところ、この点についてはZoomの「ブレイクアウトルーム」の機能を使用することで、スムーズにグループ単位での打ち合わせを行うことができた。

また、当日の報告についてもZoomで行い、報告の様子は、学生に承諾を取った上で、録音・録画した。この録画データは、次年度（令和3年度）の授業において、学生にデモンストレーションとして見せることができ、大変役立った。

1学期に行われた報告については、学生間での「ピアレビュー」を実施した。具体的には、各学生に、どのグループやどの学生の報告が優れていたかとその理由を記載したレポートを提出させたうえで、得票数が多かったグループや学生を表彰するとともに、その報告の何が良かったのかを全員で振り返った。このピアレビューを通じて、他者の報告を客観的に評価できる力をつけるとともに、自分自身の報告をも客観的に評価できるようになることが期待される。

➤ 2学期のハイブリッド方式での授業について

2学期は、教室で対面授業を実施し、対面授業に参加することを希望しない学生を想定して、Zoomを用いて同時配信も行った。具体的には、①教室にいる全員の音声を収録し、また、Zoomで参加している学生の音声を出力できるマイク・スピーカー、②教室の様子を映すカメラ、③Zoomで参加している学生の様子を映す大型の画面等を使用した。

この方法により、教室にいない学生とも、特段の問題なくスムーズにコミュニケーションをとることができ、全員が教室にいる状態と大きく変わらない状態で授業運営ができた。

●「特設演習（ビジネスと法）」

Zoomを用いた同時配信授業を行った。1・2年生向けの少人数での演習方式の授業であり、また、特に1年生は他の学生と接する機会が十分に確保できていないと考えられたことから、できるだけ対面授業に近い環境を整えることを意識した。

具体的には、この授業については、学生には、可能であればマイクをオンにして互いの表情が見えるようにすることをお願いした。また、授業内でZoomの「ブレイクアウトルーム」の機能を利用し、学生相互間での議論の時間を設けた。また、授業時間内は、できるだけ自由に発言しやすい雰囲気を作ることを心がけた。

●「特殊講義（金融商品取引法）」

Zoomを用いた同時配信授業を行った。少人数での授業であったが、他学部や他学科（法学部政治学科や経済学部、国際社会科学部）の学生の割合が比較的高かったことから、授業の内容を工夫することが必要となった。

他学部の学生が多い場合、金融商品取引法を理解する上での基礎となる民法や商法といった科目を履修していないことから、そうした基礎知識を含めて説明を行うことを意識した。

その一方で、こうした基礎知識に時間を費やした場合には、授業全体の難易度が下がり、法学科の学生にとっては物足りない内容となることが懸念されたため、実際に生じた事案の資料を多めに取り上げるなど、応用的な内容を盛り込むことも意識した。

●「国際開発協力論Ⅰ・Ⅱ」

解説動画と、レジュメ、およびレジュメの内容を補う図表等を掲載した配布資料を用いたオンデマンド型の授業を行った。解説動画は、PC上でMicrosoft PowerPointを立ち上げ、各スライドの内容を解説しているところを、PCの画面を録画するソフトウェアで録画する形で用意した。学生が視聴しやすいように、動画は分割して用意し、1本当たり20～30分程度の長さに調整した。動画へのアクセスを管理する必要上、リンクへのパス

ワードが設定できる配信プラットフォームを利用した。

音声ファイルではなく、動画ファイルを用意したのは、図表を用いて説明することが多く、音声だけでは分かり易い解説が困難であったためである。その際、説明する内容に応じた工夫も施した。例えば、動きを伴う説明が適している場合は、書画カメラを用いてホワイトボードに図を書きながら説明している様子を PC の画面に映し出し、それを録画した。重要な理論を紹介する際には、理論を提唱した研究者の写真や、それが記された文献の表紙などを見せることで、視覚的なアクセントを添えた。また、国際開発協力の舞台は所謂途上国であり、受講生の多くはどのような環境下に本授業の対象である開発援助政策活動が展開されるのかについてイメージを持ちにくいことが予想される。そのため、適宜途上国の様子が分かるような写真やイラストを用いることを心がけた。

成績評価については、国際開発協力論 I・II とともに合計 3 本の小レポートを課し、その内容をもとに行った。レポートの題材は、授業の内容と密接に関連した動画もしくは論文を指定した。いずれのレポートも、教員側が設定した設問に答えることによって、動画や論文の内容を分析するに当たって、授業で扱った知見を動員し、理解を深めることが目指された。動画については、制作サイドによって公開されているものを選ぶなど、著作権に留意した。動画の中には利用言語が英語のみで日本語の字幕が見つからないものもあり、その場合は、別途教員の方で動画の内容が分かるように解説動画を用意した。

● 「国際開発協力論演習」

Zoom を用いたネット同時配信型の授業を行った。Zoom では受講者同士の接点が形成されにくいので、最初の 2 回は Breakout Session 機能を活用し、受講者が少人数で話し合う機会を用意することで、受講者間の繋がりや素地を造ることを心がけた。また、第 3・4 回目の授業では、本演習で扱う内容の基礎知識の定着と報告の技法の確認を兼ねて、課題文献をもとに報告用レジュメと Microsoft PowerPoint スライドを作製する作業をグループ単位で行わせたことも、参加者同士の繋がりや形成に寄与した。加えて、第 2 学期にも 2 回ほど、Breakout Session 機能を活用して、スマートフォンを題材として国際開発問題を考えるグループ単位でのワークショップ形式の作業を行った。

本演習は、英語文献を課題文献として用いた文献講読が中心となっていたため、課題文献の報告内容については、英文の意味が正しく把握できているかどうかを確認する必要があった。Zoom を用いた授業である利点を生かして、タブレット上に PDF 化した文献の該当箇所を立ち上げ、解説つきで必要事項を書き込む様子を、画面共有機能を用いて学生に提示することで、文献のどの場所についての説明であるのかが分かるようにした。

オンライン形式の授業が学生に大きな負荷をかけているようであったので、第 1 学期・第 2 学期、それぞれ 1 回ずつ、国際開発に関する動画を視聴する回を用意し、学生がリフレッシュできるように心がけた。また、受講生の学生生活の把握と、学修状況のフォローアップを目的として、第 1 学期に 1 回、第 2 学期に 2 回、1 人 45 分程度の個別指導

を、Zoom を用いて行った。第 1 学期には、その時点までの課題内容や、課題文献の報告内容に対して指導を行ったことに加え、履修計画やオンライン授業への適用状況、日常生活の様子を確認し、学生生活の把握に努めた。第 2 学期の 2 回にわたる個別指導においては、学生生活については、既にある程度は掌握できていることから、その比重を低くし、代わりに、学期末に提出を課したレポートの執筆に向けた指導に力点を置くこととした。

● 「FT 論文」

Zoom を用いたネット同時配信型の授業を行った。FT コース 15 期生を対象とするこの授業では、受講生はすでに 1 年以上、同じコースにて学修に励んでいたため、受講生同士の関係作りについては、特に配慮する必要性は認められなかった。その代わり、最終的に 2 万字程度の論文を執筆することが本授業の目的であるため、当初から「実際に書く」ことを意識した授業構成にした。即ち、第 1 学期においては、まず前年の FT チュートリアル I で執筆したグループレポートを題材に、論文には何が求められるのかを検討し、次いで実際に論文を執筆する際に必要な作業を確認した。これらの作業においては、Zoom の Breakout Session を用いて少人数で検討したのち、その成果をクラス全体で共有する形をとり、各受講者が自らの見解を述べる時間が取れるように配慮した。その後、研究計画書作成に向けて必要な作業をこなしていった。第 2 学期においては、これらの作業を踏まえて各自が用意した研究計画書と、それに基づいたドラフトの検討が中心となった。具体的には、受講者が予め割り振られた授業回において自らの作業内容を共有し、受講者同士および教員からフィードバックを得るようにした。その際、Zoom の画面共有機能を活用し、教員の方でタブレット上に PDF 化した担当者の提出課題ファイルを立ち上げ、解説つきで必要事項を書き込む様子を、画面共有機能を用いて受講生に提示した。そうすることで、どの部分が問題となっているのか、どのように改善していけばいいのかが、学生に伝わりやすくなった。また、第 2 学期に、論文執筆の技法として、引用・参照の方法および、パラグラフ・ライティングについて確認した際も、タブレットが大いに役立った。教員が用意した設問に対して、具体的に解答を示すことで、受講生側の理解が進むように心がけた。

オンライン形式の授業が学生に与える負荷の大きさを考慮し、第 1 学期の 6 月中に 1 回、1 人 45 分程度の個別面談を Zoom を用いて行い、各受講生の学生生活と学修状況、希望進路の把握に努めた。第 2 学期には、各自が用意したドラフトについて、検討対象となった授業回の後 1 週間以内に、1 人 90 分の個別指導を Zoom を用いて行った。受講生はそれぞれ 2 回、授業時に自分のドラフトが検討対象となったため、2 回ずつ個別指導を受けたこととなる。ここでも、各受講生が用意したドラフトのファイルをタブレット上に立ち上げ、そこに直接赤字を入れる様子を Zoom の画面共有機能で提示することで、教員の意図が伝わりやすい指導が可能となった。

II. 経済学部

① 授業への取り組み例

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

経営学特殊講義（IoT時代のビジネスデザイン）：Zoomによる遠隔授業・ブレイクアウトセッションによるグループワーク。ツールはGoogle Jamboard、Slackを使用。講義スライドはZoomによる投影と、PDFをmanabaで配信。

英語で学ぶビジネス事情（IT企業最前線）：YouTubeによるオンデマンド授業。PDF配信と課題出題はmanabaを使用。

経営入門演習：Zoomによる遠隔授業。GitHubによる課題提出。Manabaによる教材配信、Slackによる教員・学生間のやりとり。

2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等

経営学特殊講義（IoT時代のビジネスデザイン）：グループワークのツールとして付箋ツールであるJamboardを活用。無料ツールとしては、必要十分の機能が提供されている。

英語で学ぶビジネス事情（IT企業最前線）：講義主体の授業はYouTube配信が適していると考えられる。毎週コメントを募り、それに回答するビデオを付与することで学生との相互のやり取りが実現でき、かつ学生の疑問解消やモチベーション維持につながっている。

経営入門演習：多人数による共同作業ツールに慣れる、という目的で行っている授業形態であり、学生のおまじぎに寄り添って、やり方を柔軟に変えているところである。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

英語で学ぶビジネス事情（IT企業最前線）はそのままの形態で継続すべきと考えられる。学生が繰り返し動画を視聴でき、かつじっくり英語で課題を作成することができるため、オンデマンドが適していると考えられる。

経営入門演習におけるGitHub/ Slack等の活用も、それ自体を目的としているため、対面授業であってもツールの利用自体は継続できればと考える。

経営学特殊講義（IoT時代のビジネスデザイン）は、普通の対面によるグループワークに変更すべきと考える。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合

すべての科目を本年度同様の形式で実施したいと考える。

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

日本経済史・経済学特殊講義(イノベーションと企業の歴史)：遠隔

入門演習・演習(3年生)：原則、対面(1-2回のみ遠隔)

日本経済史特論Ⅱ(大学院と共通)：遠隔

2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等

遠隔の授業については、オンデマンドと同時配信を併用している。授業資料およびオンデマンド動画を毎週配信することに加えて、毎回、必ず Zoom で 15-80 分程度の同時配信授業を行い、授業の補足、チャットによる質疑応答、動画視聴などを行っている。学生にとっては、オンデマンド動画と資料によりいつでも受講できるとともに、チャット等で双方向のやりとりも可能になることでメリットが大きいと思われる～日本経済史・経済学特殊講義(イノベーションと企業の歴史)

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

もし可能であれば、多くの人数が受講する科目である「日本経済史」・「経済学特殊講義(イノベーションと企業の歴史)」については、原則遠隔(同時配信とオンデマンドの併用)を基本として、1学期に2回程度、対面授業という形で行いたい。その方が、漫然と対面で行うよりも、学生がフレキシブルに受講することが可能であり、教育上の効果が大きいのではないかと考えている。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合

すべて来年度も継続とする。

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

・キャリア・デザインⅠA,ⅢA・B：遠隔（オンデマンド、配信データ・資料配布・課題提出とも Webclass 使用）

・インターンシップと仕事経験：遠隔（ZOOM, 資料配布・課題提出は Webclass 使用）

2. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見等

・授業回ごとに出席確認(オンデマンドは音声の利用履歴確認)及び課題の提出と質問の受付を行っている。

・オンデマンド授業において提出された質問については、翌週の授業で回答を行っている。質問を受け付けることにより授業の理解度と共に学生の興味関心が幅広く把握できることから、授業運営において非常に有効である。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

・キャリア・デザインⅠA,ⅢA・B:遠隔(オンデマンド)

履修学生数が多く(224名~596名)、ある程度のゆとりを確保した上での大教室での対面授業は困難であるため。

また Zoom については、オンデマンドであっても配信された音声途切れるなど問題の指摘が多いことから、困難と考える。

・インターンシップと仕事経験(19名)については学生の状況を鑑みながら対面にするか、Zoomにするか検討したい。なお採用選考場面では現状 WEB 面接が主流であり、授業での Zoom による模擬面接の体験は、学生には好評である。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
今年度と同様

・キャリア・デザインⅠA,ⅢA・B:遠隔(オンデマンド)

・インターンシップと仕事経験:遠隔(Zoom)

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法(資料の配布方法も含む)

(遠隔)

生産システム1(臨時対面授業ではハイブリッド)、経営科学入門1

- ・manaba を使って事前にレジュメを配布
- ・当日は Zoom を使って同時配信授業
- ・授業を録画し、授業後1週間アーカイブ視聴可能に(manaba でリンクを周知)
- ・小テスト機能で中間テスト
- ・レポート機能でレポート提出
- ・ブレイクアウトルームを使ってディスカッション、ビジネスゲームなど

特別演習

- ・ Zoom で卒業研究に関するよろず相談、今後のアドバイス
- ・ 学生からの進捗報告

(対面ハイブリッド)

演習 (3年生)

- ・ 基本対面で進行しながら、教室内の様子を Zoom で同時配信
 - ・ 双方向でディスカッションなど
2. 授業の質の向上のため工夫していること. その結果得られた知見等
- ・ 質問は必ず「皆様」宛とさせている→質問の質が格段に向上した
 - ・ 表示名を学籍番号+本名 (ひらがな or カタカナ) としている
 - ・ 次に進んでいいかどうか、手あげ機能を使って学生に確認しながら進めている
 - ・ 投票機能などを使って、インタラクティブに授業を進めている
 - ・ よく学生に質問を投げ掛ける (ときどき全然反応のない学生もいる)
 - ・ ipad と PC を連携して、その場で書きながらの授業をしている
3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの
- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由
- 遠隔のみではなく、基本は対面で、大部分の回では遠隔を併用しようと思っている。そのほうが、学生がどこからでも授業に参加できて便利だと考える。絶対に教室に着座していないといけないという理由もないのではないかと考える。
- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
全て今年と同様とする予定である。
-

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法 (資料の配布方法も含む)

産業事情 オムニチャネル戦略

連絡 : G-Port

講義 : 遠隔授業 (Zoom)

資料配布、レポート提出、試験 : WebClass

経営学入門演習

連絡 : G-Port

講義：遠隔授業（Zoom）

資料配布、レポート提出、試験：WebClass

2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等

産業事情 オムニチャネル戦略

経営学入門演習

遠隔授業における課題として、インタラクティブなやりとりが不足することだと思っており、Zoom のブレイクアウトを使用して、学生間のディスカッションとそこに私自身が加わってのやりとりの場を意識して作っている。

レポート課題をQAに近い形にして、学生の理解度を測っている。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

規制がなければ、対面での授業で実施したいと考えている。一方で、リモートによる利点は学生側にもあると思っており、学生の意見によっては、講義によってリアルとリモートを切り替えるハイブリッドにする可能性はある。

ハイフレックス型は学生に不公平が生じる可能性があり、採用は考えていない。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
今年度と同様に、G-Port、WebClass、Zoom の活用で対応する。

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

マーケティング：授業で質問を繰り返し、チャットで回答を要求。ものすごい回答数がかかる。回答への評価もする。

また折に触れ、コマーシャルなどの映像を流し、それを解説し、オーディエンスが飽きないようにしている。

2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等

特殊講義(対面)では数回講義の後でグループワークを実施し、テーマを決めて中間報告、最終報告を行い、外部から識者も招き、一緒に報告を評価している。またグループ間でもディスカッションを活発化させるように仕向け、盛り上がるように気を遣っている。

学生は皆、授業に関心を持ち、楽しそうに学んでいるようである。演習や入門演習（どちらも対面）も同様である。また友人を増やすのにも役立っているようである。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

マーケティングでは、オンラインの方が質問についての返答がチャットで活発であった。また話もよく聞こえるようである。オンラインでも悪くない感触がある。継続するかどうかは動向を見て決定する。

- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合今年度と同様に行う。対面にした授業は新たな工夫を考える必要がありそうだ。

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

「消費者行動」（2年次配当）および「経営学特殊講義（現代消費論）」（3年次配当）予習・復習用のオンデマンド教材として、PPTのスライドショーに音声を録音した動画をYouTube経由で限定配信し、PPTスライドのPDFファイル、およびYouTubeのURL情報をmanaba経由で配信している。

また、Zoom経由で同時配信型の授業も行い、同時配信用に再編集したPPTスライドのPDFファイルもmanaba経由で配信し、また、授業内容についてのコメント・ペーパーをmanabaのレポート機能を使って毎回提出させている。

尚、受講生の理解を促進するため、テレビのニュース番組等の動画を授業中に提示しているが、著作権法上の問題が懸念するため、同時配信型の授業でのみ使用している。

2. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見等

「演習3年」

例年と同様に、manaba経由で資料の配布を行うと共に、プロジェクト機能、レポート機能、アンケート機能、およびresponを使って、発表資料の提出、発表内容についての相互評価などを行っている。

また、今年は、上記に加えて、Slackを使って、教員からゼミ生への連絡・情報共有、グループ内での情報共有などを促進することを試みている。

結果的に、manabaに無い機能を補完する形になっており、期待以上の教育効果を上げていると考えている。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠

隔授業を利用する場合、その方法や理由

「消費者行動」「経営学特殊講義（現代消費論）」

基本的に、対面授業が再開した後も、上記の取り組みは継続する予定。

今のところ、教室での対面授業と Zoom での遠隔授業（オンライン授業）を組み合わせたハイブリッド型の授業を行う予定である。

- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
本年度と同様の授業方式で行う予定である。

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

基礎マクロ経済学・日本経済論 I

- ・オンデマンド形式（YouTube に講義動画をアップ。公開後、今年度中はいつでも視聴可能。）
- ・respon で授業時間内に出席確認（毎回）
- ・manaba の小テスト昨日で小テストを出題（ほぼ毎回）→翌週解説
- ・日本経済論 I は 6 月 30 日には対面授業を実施する予定
- ・7 月の学期末定期試験前に Zoom による質問受付の機会を設定予定

2. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見等

基礎マクロ経済学・日本経済論 I

- ・履修生が質問をしやすいうちに manaba の掲示板に「第〇回授業質問受付」という形で毎週スレッドを作成した。
- ・（前年度の経験から）学期の初めのころには履修生が manaba を通じて課題を提出できているのか、respon による出席が教員に届いているのか不安に思う傾向があるため、課題及び出席状況を manaba を通じて公開した（公開するのは学籍番号と提出状況のみ）。
- ・課題の解答内容をチェックし、理解度が低い場合は翌週の解説を詳しくするなどの工夫を行った。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

- ・遠隔であれ対面であれ、manaba を利用できるのであれば、respon や小テスト機能を使って、出席割合や理解度の確認は継続する予定

- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
- ・ 大人数科目の場合は今年度と同様の授業形態（1に記載）を検討している

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

授業科目；キャリア・デザインⅠ，キャリア・デザインⅡ

授業方法：遠隔（Zoomを用いた同時配信型）

資料の配布：授業のスライドは画面共有のみ

2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等

授業科目；キャリア・デザインⅠ，キャリア・デザインⅡ

工夫：毎回の授業の最初に前回の授業で頂いた質問・意見等に関して返答の時間を確保

工夫：授業（Zoom）の中で、ブレイクアウトルームや投票機能等を活用し学生同士のディスカッションの場の提供およびインタラクティブな関係を意識

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

対面になった場合、Zoomは使用せずに通常どおりの形態に変更予定

- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
同様の規制がかかる場合は今年度と同様に Zoom にて実施する予定

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

・ 経済統計をよむ1，2：遠隔授業で実施、WebClass を使用してパワーポイントの資料とこれを説明した音声ファイルを配布、WebClass のチャット機能と Zoom を利用した Q&A の機会の提供、WebClass を使用した復習用のクイズの提供

・ 入門演習、遠隔・対面ハイブリッド授業で実施

遠隔には Zoom を利用、対面参加者にはプリントアウト、遠隔参加者には WebClass の掲示板を利用して資料配布

・ 演習3年生、遠隔・対面ハイブリッド授業で実施

遠隔には Zoom を利用、対面参加者にはプリントアウト、遠隔参加者には WebClass の

掲示板を利用して資料配布

2. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見等

- ・経済統計をよむ1、2：復習用課題を用意し、学生が授業で理解すべき内容を明確化しようとしている。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

- ・WebClass を使った復習用の課題の提供

短時間であれば学生の負担は軽い。問題を用意する中で授業のポイントが明確になることがあった。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合

- ・WebClass を使った復習用の課題の提供：理由1) に同じ
- ・Zoom を利用した Q&A の機会の提供、チャットやメールに比べて学生は質問し易い模様。

1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）

- 国際経済学・経済学特殊講義（国際貿易の諸問題）：いわゆる立ち講義に関しては、manabaにて資料を提供しつつ、講義スライドに音声を入力し別撮りした動画と合わせ、動画編集ソフトでタイトルやBGMなどを加えつつ編集したものをYouTubeにて限定公開する、オンデマンド式で実施している。
- 演習（3年生）・入門演習：対面実施の許可を得ている演習科目に関しては、ZoomとWebカメラ、会議スピーカーを用いたハイブリッド型で実施し、学生本人の希望に沿ってオンライン参加、対面参加により実施している。ただし、入門演習に関しては、4回目以降から、結果的に全員が対面により参加するようになった。

2. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見等

- 科目：経済学特殊講義（国際貿易の諸問題）オンデマンド型では一方通行になりがちな教員と学生とのインタラクションを高めるべく、正規の時間前に動画を視聴することを指示しつつ、正規の講義時間には任意参加のQ&Aセッションを対面とZoomのハイブリッドで毎週実施し、そこでの意見や質問を加点する方式を採用した。Q&Aセッションでの議論内容の一部は、事後的にmanabaにてスライドにして公開している。概ね、履修者の5～7割程度が参加している（オンラインと対面の比率概ねは1：1）。ただし、参加メンバーが固定化し、（Q&Aセッションの内容のうち重要な部分は事後公開されるとはいえ）非参加者と参加者との情報格差が大きくな

ることが問題である。

- 科目：国際経済学、経済学特殊講義（国際貿易の諸問題）：オンラインで実施する小テストなどでは、学籍番号の下1桁や下3桁に応じて正答が変わる問題を出題している。友人から聞いた正答をそのまま入力するわけにはいかないため、それなりに苦労していたようであるが、SNS上で同じ下1桁／下3桁を募集する行動が散見されたため、正答の教えあいの防止には至っていない。成績評価のためには、対面試験か、短時間のオンライン試験を実施する必要性を痛感している。
3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの
- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由
- 状況によりオンデマンド動画の併用も考えるが、毎回の動画1本あたり丸1日以上作業が必要であり、負担が大きすぎるために遠隔授業を続けるつもりは基本的にない。
 - 特に、オンライン試験において「システム上の問題から、数日間の解答期間の設定を要求される」「資料が閲覧可能であるのみならず、他人から答えを聞ける」状態が続く限り、公正かつ公平な評価のためには、やはり対面試験の実施が必要だと考えている。特に、数日間の試験期間を設定しているにも関わらず「試験期間が短い」「空欄は動画を見なければわからないのではなく、最初から埋めて欲しい」などと、学生からの甘えた要望が増えており、オンライン試験に慣れきった学生の勉学態度が悪化していることを懸念している。
- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
- 今年度と同様の授業方法を採用するつもりであるが、各教員の個別対応に依存した現状は負担が大きく、教務課を中心とした大学本部のサポートを強化して欲しいと考えている。特に、オンライン試験の実施に関しては、大学全体で優れた試験システムの導入や、短時間試験に耐えられるサーバーの強化など、より公平・公正に試験が実施できるようにして欲しい。

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法（資料の配布方法も含む）
- 学部演習、大学院演習・授業：当初は対面型もしくはハイブリッド型でスタートしたが、緊急事態宣言の発出に伴い、原則として、Zoomを利用した同時配信型に切り替えた。必要な資料の配布、学生の提出物の受理（輪読のレジメ、ケースディスカッションの回答、プロジェクトのレポート）は全てmanabaを通じて実施している。指定テキストの配布は各学生自宅宛郵送にて実施した。なお、緊急事態宣言が解除されたことを踏まえ、終盤の演習・授業は対面で行うことを計画している。
 - 学部授業「経営組織論I」：manabaを活用したオンデマンド型で実施している。毎回の授業教材として文章のファイルと音声のファイルをmanabaに用意し、それを指定した期日までに受講させ、合わせてmanaba上に用意した小テストを毎回受験させることで、学習を促し、理解度を確認するようにしている。成績は、小テストの結果、教材の閲覧・小テスト受験による出欠確認、期末のまとめ小テストの結果、並びに

期末のレポートにより評価する予定である。

- 学部授業「産業事情(現代企業論)」:実務家をゲスト講師として招いて多様な業界・企業の概要・就職・仕事についてご講義いただき、という内容・形式の授業を、毎回ゲスト講師にご来校いただき、会議室からZoomを通じて同時配信型で実施している。Zoomへの参加(入退室)情報で出欠を確認し、manaba経由で提出させた期末レポートによって成績を評価する予定。なお、緊急事態宣言発出中は、ゲスト講師のご意向を事前に確認し、来校を望まない方については遠隔からご講義いただく形式をとっている。また、一回、在外のゲスト講師にご講義をお願いしており、この回については海外よりZoomを通じて同時配信型で実施する予定である。
2. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見等
- 学部演習や大学院演習・授業では、学生の発言を促すため、できるだけ学生の発言内容の良い面を評価するように努めている。また、議論が混乱しないよう、議論の枠組みを確認するように促すことに努めている。
 - 経営組織論Iでは、毎回小テストを実施することで学習を促すように努めている。またmanaba掲示板に毎回のクラス毎に質問のスレッドを用意し、質問を促すとともに、丁寧な回答を心がけている。
 - 産業事情では、Zoomのチャット機能を通じて、講義中に質問するよう促しており、またチャットの投稿先を全員ではなくホスト(教員)にすることを認めることで質問しやすい環境を整え、活発な質疑応答が毎回行われている。また、期末レポートはmanabaの「アンケート」にフォームを用意し、毎回の授業直後から期末まで随時入力・加筆・修正できる仕組みを用意し、期末レポートを提出しやすい環境を整えた。
3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの
- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由
- 対面授業が可能な場合には、基本的には対面型で授業を実施したいと考えている。ただし、manabaでの資料配布・提出、質問の受け付けなどは活用したいと思う。
 - また、産業事情など、ゲスト講師を招く場合に、ゲストのご都合によっては(例えば、在外のゲスト講師など)同時配信型を活用することも視野に入りたいと考えている。
- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
- 感染症の状況に大きな変化がないのであれば、原則として今年度と同様の方法を続けるつもりである。ただし、学部の演習、大学院の演習・授業に関しては、対面型の必要性が高い内容の授業を(可能な範囲で)対面型(もしくはハイブリッド型)で実施したいと考えている。
-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法(資料の配布

方法も含む)

経済学特殊講義 (R による因果推論) (担当: 福地) では、リモートで授業を行った。履修者は R と R のパッケージを自分の PC にインストールして、R によるデータ分析を行った。この方式には、以下の利点がある。(R・・・統計分析フリーソフト)

- (i) 履修者数を制限する必要がなく履修希望者全員が履修できる。
- (ii) 学生は自分の PC に R と各パッケージの最新のバージョンをインストールできる。また、自分の PC で R を実行することにより、実践的力が身に着く。
- (iii) 板書などによる説明がしにくいという欠点があるものの、R のコードについての説明は画面共有で行う方が、教室のプロジェクターで行うよりも容易である。

この方式が可能であったのは、R がフリーソフトであり、ネット上のリソースが非常に豊富であるからである。総合的に見れば、本授業については、Zoom を用いてリモートで行う方式が、教室で行う対面授業方式よりも優れていると考える。

2. 授業の質の向上のため工夫していること. その結果得られた知見等

演習 (3 年) では、この 3 年間、班ごとにデータ分析のコンテストに参加させている。

学習・研究の進捗報告、相互のディスカッションは Slack を用いた。コンテストに参加させることで班単位での活動が活性化されることがわかった。また、2 年次の演習で基礎的な手法 (R や Python など) を身に付けておけば、3 年次には、学生が中心で (広い意味での) データ分析プロジェクトを進められることもわかった。

一方、年によってはモチベーションが弱い少数の学生が演習に所属し、班の活動に貢献しないという事象も起きた。分析をするために簡単なプログラミングが不可欠であり、一度つまずくと先に進まない学生も少数いた。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

- 1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

経済学特殊講義 (R による因果推論) については、コロナ感染が収束後もリモートで行う予定である。

- 2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合

-
1. 遠隔授業や対面授業、遠隔・対面ハイブリッド授業にて実施された授業方法 (資料の配布方法も含む)

講義名: 一般経済史、外国書講読、入門演習、演習

資料配布方法: manaba コースコンテンツに、講義パワーポイントと、講義パワーポイントの説明動画 (Youtube リンク)、参考資料、参考動画を掲示した。

授業方法: Zoom セミナー形式の授業を開き、オンデマンド配信の資料で自習をしてきた学生たちに、講義内容についての活発な議論を促した。

2. 授業の質の向上のため工夫していること. その結果得られた知見等

講義名：一般経済史、外国書講読、入門演習、演習

授業の質向上のための工夫：Zoom セミナー形式の授業では、6-7名以上になると、議論がしにくいので、大人数の講義等の際には、Zoom ブレイクアウトルーム機能を使い、オンラインでも少人数で親しく話し合える場を提供した。

3. 1. の授業方法のうち、来年度も継続しようとするもの

1) 来年度は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束して、原則として対面事業が行われる場合。また、遠隔授業を利用する場合、その方法や理由

来年度も、基本的には、オンデマンドでの資料配信+遠隔または対面での討議という、反転授業形式を、全ての科目で継続して実施する予定。Zoom ブレイクアウトルーム機能を用いたセミナーの部分を、対面授業での代替を適宜実施しつつ、また学生からの要望も多いため、遠隔授業の継続的な利用も適宜実施することを検討する。

原則として対面授業が行われる場合には、合宿等を行って、集中的に親密度を高める工夫を施すことを検討する。

2) 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、授業方法に今年度と同様の規制がかかる場合
来年度も授業方法を変更する予定は、特にない。

Ⅲ. 文学部

【哲学科】

■授業への取り組み例

・「水準が高く進める速さが速すぎる」という結果に対応するため、授業時間外の補講や補習会、学生同士の授業内容に関する互助のためのコミュニケーションの促進などを毎年してきている。大変負担ではあるが、内容を減らすわけにはいかない授業なのでそれ以外の解決方法が思いつかない。よってオンラインでそれらが十分に行えるように、交流の機会を多く設けるなど計らった。

【史学科】

■授業への取り組み例

・遠隔授業の実施について非常勤講師の皆様の方針をお伝えし、実施についての交流会合を実施した。また、機材操作に慣れておられない非常勤講師の方をサポートするため、専任教員・TA が録画などの作業をお手伝いした。卒論準備・発表準備のために学生が、学校施設を利用できるようにするため、演習の相談を個別に対面・遠隔で実施するよう工夫した。図書の貸し出しについても、教員が読ませようとする図書を選出して個々の学生に宅急便で貸し出しし、また、返却受け入れ業務を行うなどの措置を執った。これらをもってしても、通常年度の学生が享受していた学修機会を完全に提供することはできなかった。特に、学生が研究室に来て自主的に文献を調査して発表をまとめる過程が登校禁止措置によって実現できなかったため、喪われたものが大きい。学生側では、交流の機会や絆の形成が顕著に阻害されたため、大きな損失を被っていると推察される。

【日本語日本文学科】

■授業への取り組み例

・WebClass に資料を載せる際に、わかりやすい、親しみやすいイラストを添えた。理解しやすくしようという意味と、親しみを持ってもらおうという意味をこめたつもりである。

・同じように、Word で創った資料があまりに味気ないので、時々イラストを描いて、読み込んで送っている。

・少しでも学生それぞれとの応答が出来ないかと考えて、WebClass のタイムラインを使って、学生たちが書き込んでくれた意見に対しては、全員にコメントを返すことにしている。参加してくれる学生は半数近くであるが、いろいろな意見や声に対して対面授業よりも丁寧な応答が出来ているかもしれない。ただし、時間はかなり取られる。

・例年授業で行っているリアクションペーパーへのコメントを、本年度は100%返信を書き、かつ、その内容（学生の質問・コメントと教員の返信コメント）を全学生に翌週、公開した

(ただし、公開してよいかどうかは学生に事前に確認済み。公開してほしくないものは公開しない)。「他の学生の意見が見られた」「他にも一緒に勉強している学生がいることが分かってうれしかった」という意見があった。

・課題が過多にならないよう、毎回、課題に要した時間を選択式で尋ねた。30分から1時間程度に収まるようにし、1時間を超えた人が増えた際は、翌週から減らすなど、加減した。一方で、学生によって課題に要する時間がかかなり異なることも明らかになった。

【英語英米文学科】

■授業への取り組み例

1) 学生からの質問に答える

遠隔授業が増え、特にオンデマンド型の授業では、学生の顔が見えず、出席が確認できないので、課題を出すだけでなく、毎回の授業コメントを学生が書いて、WebClassの掲示板に提出するようにしている教員も多い。さらに、毎回の授業の質問コーナーを設けて、教員が答えるようにしている場合もある。時間はかかるものの、学生との個人的な繋がりも増え、他の学生もその質問と回答を見ることができるので、学習効果がより深くなっていると感じられる。

2) ルーブリックの使用

授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、「アカデミック・ライティング」と「アカデミック・プレゼンテーション」の授業にルーブリックを継続的に用いている。これらの科目の担当者(専任教員と非常勤講師)は前年度中に、メール上の会議と対面式会議を行い、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成する。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示す。

3) 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

学生の意欲的な取り組みを促進する目的で、「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。

【ドイツ語圏文化学科】

■授業への取り組み例

1) 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から3つのコース(言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース)のうちいずれかを選択し、専門の勉強を始める。3つのコースに進む前の段階として、1・2年次は、基礎的なドイツ語力を付けるカリキュラムが組まれている。その中心となるのは、日本人教員が担当する初級・中級文法のクラスが週2コマ(1年生)、3コマ(2年生)、母語話者と日本人の教員がティームティーチングをするコミュニケーション主体のクラスが週3コマ用意されて

いる。これらの授業はいずれも基本的に1クラス25名以下（再履修者がいても30人以下）に押さえられており、きめ細かい指導を行っている。

さらに、1年次第1学期は、令和2年度から、「アカデミック・スキルズ入門」という科目を新規開講し、発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成といったアカデミック・スキルの指導を行うことで初年次教育を充実させた。1年次に、基礎ゼミナールの形で、学部4年間に必要な基本的な技能と知識を教授することで、学生の授業に対する総合的な満足度は高まっていると言えよう。

1年次第2学期から2年次にかけては、1学期完結の形で「現代地域事情入門ゼミナール」、「言語・情報コース入門ゼミナール」、「文学・文化コース入門ゼミナール」を必修としている。これらは1クラス25人以下の体制で、「アカデミック・スキルズ入門」で基礎を学習したディスカッション・グループワーク・発表を実践的に学ぶとともに、ドイツの現代地域事情、言語・情報、文学・文化の基礎的な知識を身に着ける機会となっている。このように1年半にわたり3つの入門ゼミを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように設計している。

2) アクティブ・ラーニングの実践

ドイツ語圏文化学科のゼミナールではほぼすべてでリアクションペーパーを導入し、学生の学習状況を把握し、質問等にきめ細かく答えられる態勢になっている。また、予め課題に関するレポートを提出させ、授業中ではその内容に対する討議を行う「反転学習」や、Zoomのグループセッションやresponのアンケート機能を用いたインタラクティブな授業を実践している。前々年度のアンケートでは「履修者同士の意見交換の機会」や「意欲的な取り組み」の点で必ずしも高くない評価があったが、前年度にこれが改善しているのはそうした教員の取り組みの表れと言えるだろう。

その一環として、毎年5月に、1年生、3年生を対象にした文献検索等のガイダンスを大学図書館に依頼し実施している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で前年に引き続きオンラインとなったが、それぞれの学年で必要な到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打ち合わせをした上で実施した。これにより、1年生は基本的な文献の検索、3年生は卒業論文・卒業研究執筆に必要な専門文献を検索し入手する技術が身につくようにしている。

3) 卒業論文・卒業研究のきめ細やかな指導体制

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンス後、半年以上の準備期間を経て、4年生の4月から本格的に始まる。令和3年度は各教員とも、オンラインでの指導も取り入れつつ、充実した指導を行っている。

【フランス語圏文化学科】

■授業への取り組み例

授業の理解度に関連する質問事項（「この授業の水準に満足している」、「教員は理解しやすい授業を行っている」）の回答をふまえて、令和2年度から新たに1年次全学生を対象とした授業（前期のみ）として「入門演習」を開講した。大学で学ぶにあたって必要なアカデミック・スキル（情報や文献の検索、文献資料の読解及び要約、レポートの作成、発表の仕方など）を、少人数の演習形式で習得する授業である。大学での授業をより良く理解し、さらには自らの学習成果を効果的に発表する力を養成することを目指している。授業では文章要約を毎回提出することおよび学期末のレポートが課された。遠隔授業であったため当初予定されていた受講者によるグループ発表はなかったもの、毎週の課題の添削によって学生たちのアカデミック・スキルの増進だけでなく、入学直後の不安解消にもつながったように思われる。

また、遠隔授業においては学生のリアクションがなかなか伝わらないため、リアクションペーパーを授業に積極的に取り入れるようにした。その他、学科内では授業方法、成績評価方法などについて遠隔会議などで情報交換を密に行った。

【心理学科】

■授業への取り組み例

・遠隔状況での心理学研究の実施方法の実習

「心理学実験演習Ⅱ」（3年次必修）では、心理学研究で使用する特定の研究法・統計手法の習得を目的に、学生が興味・関心に従ってグループを作り、研究計画を立案し、データを収集し、レポート執筆を行っている。令和2年度は、コロナ禍で対面での研究の実施が困難になり、翌年の卒業論文の研究でも同様の状況が続くことが予想された。研究法の1つ「面接法」の実習においては、ZoomやLINEを用いて遠隔対面状況で面接調査を行うことも可とした。授業時には受講者同士で遠隔対面状況での調査的面接の練習を行い、実際のデータ収集時においてもほとんどの学生がZoomやLINEを用いたことが確認された。

「質問紙法」の実習においては、対面でのデータ収集から、Googleフォームを用いたネット上での調査に全面的に変更された。Googleフォームの作成手順と、対面で配布する従来の質問紙と比較して作成にあたり注意すべき点、を理解できるように実習が構成された。

・授業支援ツールを用いた予習課題・リアクションペーパーの配布・回収

「心理学概論」（2年次必修）では、従来事前学習として、予習課題のプリントを授業時に配布し、該当箇所の教科書の内容を理解した上で解答を求め、翌週に回収することを繰り返していた。令和2年度は、Zoomを用いた遠隔授業に移行したため、WebClass上で課題の提示と回収を行えるようにした。またすべての授業回においてresponを通してのリアクションペーパーの記入・回収を導入した。本授業は受講者が100人を超えるため、従

来の対面授業では用紙の配布・回収、フィードバックに時間がかかることが、実施にあたって難しい点であった。令和2年度は、遠隔授業を支援するツールが学生にも浸透したため、配布・回収・フィードバックが著しく容易になった。リアクションペーパーで記載された質問やコメントは次回授業時の冒頭に10名程度の内容を引用することで、前回復習を行う時間と位置づけられた。

・responを用いた授業内でのリアルタイムの態度調査・実験の実施

Zoomを通して行われた講義科目において、受講者との相互性を確保するため、responを通じて質問に対する即時的な反応を求め、その内容を授業中に反映する方法が用いられた。例えば、授業内容に関連する様々な態度（たとえば「人間の知的能力の発達において重要なのは遺伝だと思うか、それとも生まれた後の環境だと思うか」）や、仮想的な場面における自分の行動を予測してもらうような簡単な場面想定的実験（たとえば「4000円が80%でもらえるくじと、3000円が100%でもらえるくじ、のどちらを選ぶか」）の単純な選択をリアルタイムで収集して、その結果を受講者と確認して授業の導入として利用した。また授業内容を踏まえた上でのアイデアや具体例を問うような質問について、responをリアルタイムで立ち上げて、回答が入力されて先着順に挙げられていく様子を見せることで、回答への自律的参加を維持するように構成された。

【教育学科】

■授業への取り組み例

- ①教育学科では、学生の学習、研究活動の一層の活性化を目指すとともに、2021年度においては、Zoomを用いた遠隔形式の授業と対面型授業の併用による、学生の授業参加に関わる不利益等が生じないように、学科会議において常に丁寧な報告・意見交換を続けている。
- ②必修科目に位置付ける「教育学理論」・「初等教育学」などの理論的な科目で教育・人間・公教育に関する思想を学び、「自然体験実習」・「社会体験実習」などの実践的な科目で教育・子ども・学校のフィールド研究を体験し、模擬授業等とあわせて、教育における理論と実践の往還を意識できる構成としてきた。令和2,3年度においてはZoom等を活用した遠隔形式の学習が多くなり、対面形式と同様の効果を期待することは容易ではないが、学科会議等で報告や意見交換を行いつつ、状況に応じた授業科目・学科行事の検討、学生への丁寧な対応等を行っている。
- ③教育学科では、教育と現代社会に関する科目、新しい実践の創造に関する科目、表現と体験に関する科目を配置し、学生の興味・関心に即して、個々に学習・研究が深化されていくように配慮し、映像記録やグループ討議、リアクション・ペーパーを活用した授業等が、積極的に取り組まれてきた。令和2,3年度における遠隔形式の授業においても、できる限り、対面形式の場合と同様の学習機会を提供できるようにしている。
- ④進路は、小学校教員を中心として、大学院・企業・公務員・その他、となっている。卒業や進路に関して、引き続き、学生の状況を教員間で情報共有しながら、丁寧に対応してい

る。

⑤令和2年度は、WebClass、Zoomなどを効果的に活用し、可能な限り丁寧で効果的な講義、演習の在り方、個々の指導に対する工夫するなど、継続的で柔軟な対応、改善に力を尽くしてきた。令和3年度においても同様の学習環境が続いており、前年度以上に、学科での報告、意見交換を丁寧に重ね、講義・演習内容の改善、学生・院生の指導にあたっている。

IV. 理学部

[取り組み例 1]

期末試験をオンラインで実施した。連絡が確実に取れるメールアドレスを事前に提出してもらい、当日はメールおよび WebClass を通じて問題を配布し、メール添付の形で答案を回収する形で試験を実施した。

2点、問題が生じた。1つ目はオンライン試験の問題にミスがあり、問題訂正をメールおよび WebClass で通知したものの、メールでの連絡に気づかなかった受験者が若干名いたため、点数を補正する形で不利を補った。2つ目は受験者側の問題で、解答の酷似した4人組の答案が見受けられ、相互に試験の内容を教え合ったことが強く疑われた。

[取り組み例 2]

試験について、採点した答案返却（ほとんどの場合試験当日の夜に採点を終えて返却した）と同時に、試験の略解と講評を配布した。即日答案が返却でき、また略解と講評（どこで間違えた人が多かったか、各問題の出来、全体の点数分布など）をすぐに見られることは、復習をするうえで有意義だったと思う。

試験後の略解と講評の配布は、対面授業に戻った今年度も継続している。

[取り組み例 3]

次頁以降取り組み例 3 参照

取組み例2

物理学・数学演習 3 冬学期期末試験講評 (2020 年度)

総評：試験の結果です。

平均点：17.9 点

最高点：33 点

30 点以上の人は 4 人いました。

以下は今回の試験の点数の分布です。

点数	人数
35-	0
30-34	4
25-29	5
20-24	5
15-19	5
10-14	3
5-9	2
0-4	4

[1] 正規直交基底 $\{|0\rangle, |1\rangle\}$ で張られる二準位系の状態が

$$|\psi\rangle = \frac{2}{3}|0\rangle + \frac{1+2i}{3}|1\rangle \quad (1)$$

であるとする。この系に対し $\hat{\sigma}_x$ の射影測定を行ったが、測定値は記録せずに捨ててしまった。測定値が捨てられた (未知) という状況の下での測定後の状態の密度行列を、 $\{|0\rangle, |1\rangle\}$ 基底で表せ。

出来は悪かったです。

$\hat{\sigma}_x$ の固有状態は $|\pm\rangle = \frac{1}{\sqrt{2}}(|0\rangle \pm |1\rangle)$ (測定値は ± 1 、各測定値が得られる確率を計算すると $|\langle +|\psi\rangle|^2 = \frac{13}{18}$ 、 $|\langle -|\psi\rangle|^2 = \frac{5}{18}$ になるので、測定後に測定値を捨てた後の密度行列は

$$\rho = \frac{13}{18}|+\rangle\langle +| + \frac{5}{18}|-\rangle\langle -| = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} & \frac{2}{9} \\ \frac{2}{9} & \frac{1}{2} \end{pmatrix} \quad (2)$$

です。

「測定値を捨ててしまったら、状態は変化しないはず」と、初期状態の密度行列をそのまま書いている答案が多数ありましたが、これは誤りです。測定をして測定値を捨てると、干渉項がなくなるということは、例えば演習テキストの p34 で明示的に解説しています。一般に量子状態を測定すると (測定値を知らなくても) 状態が変化してしまう、というのは量子力学の基本的な性質ですので、ここを誤解していた人はきちんと復習をしてください。

また、各測定値ごとの密度行列を書いている人もいましたが、これは焦って問題文を読み間違えてしまったのかと思います。

[2] 正規直交基底 $\{|0\rangle, |1\rangle\}$ で張られる二準位系 AB の複合系を考える。複合系の状態を並べて書いた場合、A 系、B 系の順に書いているものと約束する。複合系の状態

$$|\psi\rangle = \frac{2}{3}|10\rangle - \frac{2}{3}|11\rangle + \frac{1}{3}|00\rangle \quad (3)$$

に対し、 $\{|0\rangle, |1\rangle\}$ 基底で行列表示した B 系の物理量

$$\hat{C} := \begin{pmatrix} 4 & 2 \\ 2 & 1 \end{pmatrix} \quad (4)$$

の射影測定を行う。得られうる測定値と、その測定値が得られる確率を求めよ。

そこそこの出来でした。演習テキスト [101] の類題です。

\hat{C} の固有値は 5, 0、対応する固有状態は $|a\rangle = \frac{1}{\sqrt{5}}(2|0\rangle + |1\rangle)$ 、 $|b\rangle = \frac{1}{\sqrt{5}}(|0\rangle - 2|1\rangle)$ です。これを用いて B 系を表示して整理すると

$$|\psi\rangle = \frac{2\sqrt{2}}{3\sqrt{5}} \left(\frac{1}{\sqrt{2}}(|0\rangle + |1\rangle) \right) |a\rangle + \frac{\sqrt{37}}{3\sqrt{5}} \left(\frac{1}{\sqrt{35}}(|0\rangle + 6|1\rangle) \right) |b\rangle \quad (5)$$

となります。各係数の絶対値二乗が測定でその状態が得られる確率なので、測定値 5 が出る確率は $\frac{8}{45}$ 、測定値 0 が出る確率は $\frac{37}{45}$ です。

複合系の場合には、着目系以外の系の状態が同じ状態の場合には干渉しますが、直交する状態の場合には干渉しません。この性質を忘れて計算しているような答案もありましたが、これは複合系の基本的な性質ですので、間違えてしまった人はきちんと復習してください。

[3] 全角運動量 $S = 1$ 系の (\hbar で割った) y 角運動量 \hat{j}_y の固有値 1 の固有状態を初期状態にとる。(\hbar で割った) z 角運動量 \hat{j}_z の固有値 1, 0, -1 の固有状態を $|1\rangle, |0\rangle, |-1\rangle$ と書く。ハミルトニアンは

$$\hat{H} = |1\rangle\langle -1| + |-1\rangle\langle 1| \quad (6)$$

とする。

(1) この初期状態のエネルギー期待値を求めよ。

出来はよかったです。

演習テキスト [76] と同様に考えます。 $\hat{j}_y = \frac{i}{2}(\hat{j}^- - \hat{j}^+) = \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 0 & -i & 0 \\ i & 0 & -i \\ 0 & i & 0 \end{pmatrix}$ であることより、 \hat{j}_y の固有値 1 の固有状態は

状態 $\begin{pmatrix} 1/2 \\ i/\sqrt{2} \\ -1/2 \end{pmatrix}$ です。これが $|\psi(0)\rangle$ なので、与えられた \hat{H} の期待値は、 $\langle\psi(0)|\hat{H}|\psi(0)\rangle = -\frac{1}{2}$ です。

なぜか \hat{j}_y の固有値 1 の固有状態を $|1\rangle$ だと思っている答案をちらほら見ました。これは \hat{j}_z の固有値 1 の固有状態です。また、 \hat{j}_y の行列表示が \hat{j}_x になっている人も見かけました。[76] とは似ていますが設定は違いますので注意してください。

(2) このハミルトニアンに従って系が時間発展する。時刻 t での \hat{j}_y の期待値を求めよ。

そこそこの出来でした。演習テキスト [34] の類題です。

\hat{H} の固有値は 1, 0, -1、対応する固有状態は $\frac{1}{\sqrt{2}}(|0\rangle + |1\rangle)$ 、 $|0\rangle$ 、 $\frac{1}{\sqrt{2}}(|0\rangle - |1\rangle)$ です。これらを $|E_+\rangle, |E_0\rangle, |E_-\rangle$ と書くことにします。すると、 $|\psi(0)\rangle = \frac{1}{\sqrt{2}}(|E_-\rangle + |E_0\rangle)$ なので、 $|\psi(t)\rangle = \frac{1}{\sqrt{2}}(e^{it/\hbar}|E_-\rangle + |E_0\rangle)$ と時間発展が解けます。これ

より、 $\langle \psi(t) | \hat{j}_y | \psi(t) \rangle = \cos \frac{t}{\hbar}$ と解けます。

なぜか \hat{j}_y は時間変化しないと思っている人がちらほらいました。初期状態は \hat{j}_y の固有状態ですが、ハミルトニアンは全然関係ないですから、当然時間変化します。

$\langle \psi(t) |$ をとる際に、複素共役を取り忘れていると思しき答案が結構ありました。そうすると答えに $i \sin \frac{t}{\hbar}$ が入ってきます。物理量の期待値は必ず実数ですから、複素数が答えに残った段階でどこかで計算ミスをしたと気づいてもらいたかったです。

[4] とりうる状態が状態 1,2,3 の 3 状態のボソン系を考える。各状態のエネルギーは $E_1 = 0, E_2 = k, E_3 = 3k$ とする。粒子間の相互作用エネルギーはないものとする。

(1) 規格化されていない状態

$$C \cdot \hat{b}_2^\dagger \hat{b}_3^\dagger \hat{b}_1^\dagger \hat{b}_2 (\hat{b}_2^\dagger)^3 \hat{b}_1^\dagger |0\rangle \quad (7)$$

を考える。ただし $|0\rangle$ は真空である。これが規格化されるように係数 C を定めよ。

(この問題は、導出抜きに答えだけ書いても減点対象としない。ただし途中過程が書いてある場合、最終結果が間違っている場合も部分点がつく可能性がある。)

出来は良かったです。(10.16)(10.17) を使って解きます。

状態ごとにどういう係数が出てくるか計算して、その積を取ればいいので分けて計算します。状態を $|n_1, n_2, n_3\rangle$ と書くことにすると、 $(\hat{b}_1^\dagger)^2 |0, 0, 0\rangle = \sqrt{2} |2, 0, 0\rangle$ 、 $\hat{b}_2^\dagger \hat{b}_2 (\hat{b}_2^\dagger)^3 |0, 0, 0\rangle = \hat{n}_2 \sqrt{6} |0, 3, 0\rangle = 3\sqrt{6} |0, 3, 0\rangle$ 、 $\hat{b}_3^\dagger |0, 0, 0\rangle = |0, 0, 1\rangle$ より、 $C \cdot \hat{b}_2^\dagger \hat{b}_3^\dagger \hat{b}_1^\dagger \hat{b}_2 (\hat{b}_2^\dagger)^3 \hat{b}_1^\dagger |0\rangle = 6\sqrt{3}C |2, 3, 1\rangle$ です。なので、 $C = 1/6\sqrt{3}$ が答えです。

(2) この系を、逆温度 β 、化学ポテンシャル μ の熱浴・粒子浴に接触させ、平衡状態に置く。各状態の出現確率は、グランドカノニカル分布に従うものとする。

このとき、この系にいるボース粒子の総数の期待値を求めよ。

出来は悪かったです。

第 2 回冬季中間試験の [1](2) とほとんど同じタイプの問題です。ボース分布関数はその状態にいる粒子数期待値そのものなので、

$$\frac{1}{e^{-\beta\mu} - 1} + \frac{1}{e^{-\beta(\mu-k)} - 1} + \frac{1}{e^{-\beta(\mu-3k)} - 1} \quad (8)$$

が答えです。

間違えてエネルギー期待値を計算している答案を複数見ました。問題文はしっかり読んでください。

エネルギーがゼロの場合のボース分布関数はゼロであると勘違いしている答案もいくつも見ました。式に実際に代入すれば明らかかと思いますが、これは特にゼロにはなりません。

この問題は量子統計力学の基本中の基本ですし、前回の中間試験を復習していれば正しく解けるはずの問題ですから、解けなかった人はしっかり復習してください。

[5] $-L \leq x \leq L$ の区間の無限に深い 1 次元井戸型ポテンシャルの系のハミルトニアン

$$H_0 = -\frac{\hbar^2}{2m} \frac{\partial^2}{\partial x^2} + V(x) \quad (9)$$

$$V(x) = \begin{cases} 0 & : -L \leq x \leq L \\ \infty & : \text{otherwise} \end{cases} \quad (10)$$

に対し、 $0 \leq x \leq L$ の区間だけポテンシャルを $\varepsilon > 0$ だけ上げるような摂動をかける。つまり、摂動ハミルトニアンが

$$H = H_0 + \varepsilon W(x) \quad (11)$$

$$W(x) = \begin{cases} 1 & : 0 \leq x \leq L \\ 0 & : \text{otherwise} \end{cases} \quad (12)$$

で与えられている状況を考える。

(1) $\varepsilon > 0$ が非常に小さい状況を考える。このときの第二励起状態について、摂動前と摂動後の波動関数の概形を重ねて図示せよ。厳密には解けないので大雑把な形が分かるように書けばよい。特に節がどうなるかは分かるように書くこと。

(この問題は、導出抜きに答えだけ書いても減点対象としない。ただし途中過程が書いてある場合、最終結果が間違っても部分点がつく可能性がある。)

ほとんどの人が出来ていませんでした。演習テキスト [65]-[67] の類題ですから、さすがにこれはもっと出来てほしかったです。

摂動をかけると、エネルギーは増えるので $-L \leq x \leq 0$ の区間の運動量 (波数) は大きくなり、(ポテンシャルエネルギーが差し引かれたことにより) $0 \leq x \leq L$ の区間の運動量は減ります。これは正負の間の波動関数の接続状況を考えてみても分かると思います。

そうすると、摂動後の波動関数は以下の図のようになり、節はともに負の方向にずれます。

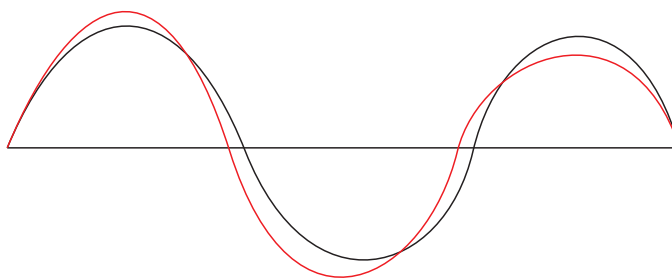


図 1: [5](1) の解。黒が摂動なし、赤が摂動を加えた後の波動関数。

節の変化が明確でない回答は不正解としました。振幅の変化は特に細かく問いませんでした。

(2) 摂動ハミルトニアン基底エネルギーを ε の 2 次まで書け。ただし、井戸型ポテンシャルの固有エネルギーと固有状態の式は既知としてよい。また無限級数の式 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{(2n+1)^2} = \frac{\pi^2}{8}$ は導出なしに用いてよい。

(注：無限和を最後まで計算したものを正解とするが、2 次摂動に無限和が残っていても部分点は与える。無限和を計算する際は、望遠鏡和 $\sum_{n=1}^{\infty} (a_n - a_{n+1}) = a_1$ の手法、及び $\frac{1}{(2n+1)(2n-1)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right)$ という事実は利用できる)

一点訂正です。 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{(2n+1)^2} = \frac{\pi^2}{8}$ は $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{1}{(2n+1)^2} = \frac{\pi^2}{8}$ が正しいです (和の開始が $n = 0$ から)。大変申し訳ありませんでした。

ほとんどの人が出来てませんでした。二次摂動は (注もあるように) 難しいですが、一次摂動は全然難しくないで、一次摂動ぐらいまで解ける人はもっとたくさんいてほしかったです。

摂動前のハミルトニアン固有値と固有状態は、すでに演習で解いています。固有エネルギーは $E_n = \frac{\hbar^2 \pi^2}{8mL^2} n^2$ 、対応する固有状態は $\psi_n(x) = \frac{1}{\sqrt{L}} \sin\left(\frac{n\pi}{2L}(x+L)\right)$ です。以下 $C := \frac{\hbar^2 \pi^2}{8mL^2}$ とします。

1 次摂動は簡単で

$$E^{(1)} = \varepsilon \int_0^L dx |\psi_1(x)|^2 = \frac{\varepsilon}{2} \tag{13}$$

です。

2 次摂動も公式に入れてみると

$$E^{(2)} = \sum_{n=2}^{\infty} \frac{1}{C(1-n^2)} \left| \int_0^L dx \varepsilon \psi_1^*(x) \psi_n(x) \right|^2 = \sum_{n=2}^{\infty} \frac{\varepsilon^2}{C(1-n^2)\pi^2} \left| \frac{1}{n-1} \sin\frac{(n-1)\pi}{2} - \frac{1}{n+1} \sin\frac{(n+1)\pi}{2} \right|^2 \tag{14}$$

となります。ここで、絶対値二乗の中身は

$$\frac{1}{n-1} \sin\frac{(n-1)\pi}{2} - \frac{1}{n+1} \sin\frac{(n+1)\pi}{2} = \begin{cases} 0 & n = 4k+1, 4k+3 \\ \frac{1}{n-1} - \frac{1}{n+1} & n = 4k+2 \\ \frac{1}{n+1} - \frac{1}{n-1} & n = 4k \end{cases} \tag{15}$$

なので、二乗してしまうことを考えると n の偶奇の場合分けで十分であり、特に n が奇数のときは項がゼロになるので考えなくていいです。 $n = 2m$ と置いて、ひたすら計算を進めると

$$\begin{aligned} E^{(2)} &= \sum_{m=1}^{\infty} \frac{\varepsilon^2}{C(1-n^2)\pi^2} \left(\frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m+1} \right)^2 \\ &= -\frac{1}{2C\pi^2} \left[\sum_{m=1}^{\infty} \left(\frac{1}{2m-1} \right)^3 - \left(\frac{1}{2m+1} \right)^3 + 3 \sum_{m=1}^{\infty} \frac{1}{(2m-1)(2m+1)} \left(\frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m+1} \right) \right] \\ &= -\frac{1}{2C\pi^2} \left[\frac{1}{2 \cdot 1 - 1} + \frac{3}{2} \sum_{m=1}^{\infty} \left\{ \left(\frac{1}{2m-1} \right)^2 + \left(\frac{1}{2m+1} \right)^2 + \left(\frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m+1} \right) \right\} \right] \\ &= -\frac{1}{2C\pi^2} \left[1 + \frac{3}{2} \left(2 \cdot \frac{\pi^2}{8} - 1 - \frac{1}{2 \cdot 1 - 1} \right) \right] \\ &= \frac{4mL^2}{\hbar^2 \pi^2} \left(\frac{3\pi^2}{8} - 2 \right) \end{aligned} \tag{16}$$

が答えと分かります。

2021 年度 構造生物学研究室の生命科学実験 2 の取り組みについて

本年度の実習の工夫

本年度の実習は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐとともに対面で質の高い実習を実現するため、以下の対策を講じました。

1. オンデマンド形式のオンラインと対面の教材を用意することで実習室の利用人数を半分にしました。(半分が対面している日は残り半分はオンライン教材で学習し、別の日は入れ替える、という形式です)
2. 対面では実験操作に、オンデマンド形式のオンラインは理論に注目した教材を作成して質の向上を目指しました。
3. オンライン教材は昨年度同様、YouTube で動画を限定公開することで WebClass の利用容量を軽減しました。
4. オンライン教材では理解度の確認が難しいため、オンライン教材+レポート課題をセットにすることで、理解度の確認を行いました。
5. オンライン教材でわからなかった点の理解を促進するため、ZOOM を用いた解説回を三回実施しました。
6. 学生の研究に対する意欲向上を目指し、アイデアをだす課題を提示し、ZOOM で紹介し、ポジティブなコメントを出しました。

オンライン動画について

今回の実習におけるオンラインは、オンデマンド形式が三回、ZOOM 解説が三回、ZOOM でのデータベースの利用解説が二回で実施しました。オンデマンド形式の教材は以下になります。

第一回：<https://youtu.be/iX2kQVEXiqA>

第二回：<https://youtu.be/Xvc-nLlFy1c>

第三回：<https://youtu.be/bsverCqkdTU>

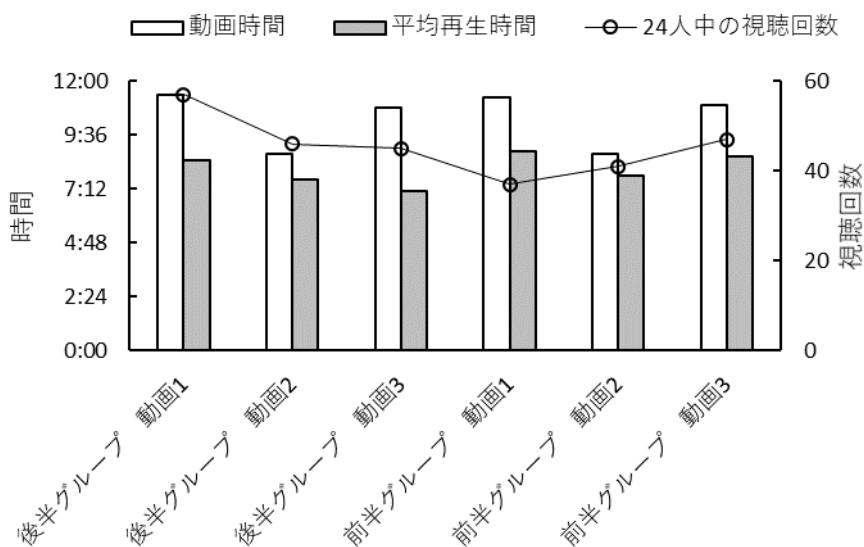
昨年度は全面オンラインだったので動画教材には実験操作と理論の両方が入っていましたが、今年は対面も行ったので、動画教材は理論に絞ったものを新規で作りました。

動画の工夫ですが、オンライン教材の例として使えるように、日本地図と放射光施設の写真を除く CG を含む図を自作しました。また、学生の集中力が継続するよう、時間を 10 分程度にし、可能な限り動きがある動画にしました。また、聞き取りやすくするため、ナレーションは本業の声優に依頼しました。(ナレーションの費用については、予算執行が可能か不安だったので自費で行っています。価格としては今回依頼した方は 10 分程度一本 5000 円でした。)

なお、動画視聴での理解度確認とともに理解を深めるためにその日が締切のレポート課題を毎回出題し、金曜日に ZOOM で解説しました。

学生のオンライン教材への取り組み姿勢について

YouTube による視聴分析結果は以下の通りです。



48人の学生が二つのグループにわかれたため、一度の動画教材に対して、24人が視聴しています。視聴回数はいずれも24回をこえているので、一人最低一回は視聴していると思われます。

今回、レポート課題の答えが直接的に動画に表示されるものではなく、動画から学んだことから考える課題を出しました。その結果、正解率は低く、学生からは「(直接的な) 答えが動画にでてこなかったから難しい」という声がありました。学生の中には、**オンデマンド教材の場合、動画のシークバーを動かし、レポート課題に対応する部分を探す、という学生もいる**ようです。WebClassのアクセスログを見ても、レポート課題を確認してから動画教材にアクセスしている学生もいます。情報番組のプレゼント企画ではないので、こういった学習姿勢は非常に危ういと感じています。

学生のオンライン環境について

学生に聞いたところ、**学内でもオンライン講義を受講するためのオンライン環境は確保できている**とのことでした。

V. 国際社会科学部

• Issues in the World is a one semester required English course for all second-year students. This course, along with Economics in the World, makes up half of the Bridge Program, which is a core component of the English language curriculum and is at the heart of our faculty's Content and Language Integrated Learning approach. These Bridge Courses pair small-group language-focus classes taught by language experts with large lecture classes taught by subject matter experts. Both of the paired courses present similar knowledge and content for mastery by the students, but from different perspectives so that students learn both the concepts and the language to describe them. In previous years, Issues in the World (IITW) had been paired with a sociology course, Sustainable Development. That course was no longer available to the Bridge Program, so this presented an opportunity to redevelop the course.

IITW is taught by a team of teachers, so this was a significant change for all instructors. When planning the revised course, I wished to keep components of the original IITW, while also providing support to the new lecture course, Economic Development of Japan, which covers economic history and development in Japan culminating in recent developments and featuring aspects of inequality in the workplace—especially as experienced by women. To match this, we retained the two research cycle structure where students research and peer teach on two related topics of their choice.

In order to make use of the experience and preparation from previous years of the course, the new IITW focused even more strongly on inequality. In the first research cycle, students work in groups to research and present on the economic development of a country of their choice in tandem with the Economic Development of Japan course. In the second research cycle, students then each choose a different dimension or aspect of inequality for individual research and report writing as the lecture course turns to that topic. This second focus complements the Economic Development of Japan course and responds to student preferences; they responded positively to investigating inequality in relation to development in the previous course. This set of tasks requires students to use and show mastery of the language and concepts in a new context.

The final strand of my new IITW course is the addition of a series of short lectures and readings which present economic development and inequality in Indonesia. This gives

the students a third track for practicing listening to lectures, note-taking, and asking instructors questions for clarification. Students compare and contrast issues in the economic and social development of this oft overlooked neighbor with Japan and with the countries they chose for their own research. This recycles the vocabulary and concepts from Economic Development in Japan an additional time, giving students one more context in which to engage with English and the understanding of inequality.

・ Because of coronavirus pandemic situation, my teaching almost exclusively made a transition into on-line, in which I used mainly ZOOM as medium to give instructions and occasionally on-demand system (e.g., videos, mini reports, and quizzes). The continuing use of moodle turned out to be a very effective means to reach students. To use this “crisis” as an opportunity, I basically converted many paper-based educational materials and my instructions (which had been given orally before) into digital forms. This took a quite good amount of time and energy, but it turned out to be very meaningful. The rate of student participation was very good. The problem I faced was the limit set upon the file size of student submissions because of the enhanced use of moodle by faculty members. The problems raised by students are mostly related to the poor condition of WiFi environment at Gakushuin University.

・ The Economic Development of Japan の授業において、アクティブラーニングを進めるため、Zoom のブレイクアウトルーム機能を使用して、グループ討論を行った。その際、SA をモデレーターとして活用した。

・ マクロ経済学：本科目は国際社会科学部 1 年次向けのものであるが、学生にとっては初めて触れるような概念や考え方が多いようで、過去のアンケートを見ても内容が難しいと感じている受講者が一定数いるようであった。2020 年度はコロナ禍でオンライン授業となり、上記の課題を踏まえて授業の進め方を検討し、以下のような形式を採用した。まず、教員が教材を事前に Moodle 上に掲載し、学生はその教材に各自取り組んだ上で、質問や解説を希望する事項などを Moodle のフィードバック機能を通じて提出する。そして、授業時には Zoom による同時配信形式で教員がそれらについて重点的に説明をしながら講義する、というものである。このような方法で運営したことにより、どのような箇所が分かりにくいのかということを具体的に把握した上で同時配信の講義ができた。オンライン授業ではあったが、結果的には受講者が分かりやすく感じた部分が多かったのではないかという感触もっており、2021 年度の講義科目でも同様の形式を採用している。

・少人数演習授業では **Slack** に課題やビデオを事前に示し、授業時間内ではディスカッションや教員とのやり取りを中心に進めた。また、事前課題を授業前に **Slack** にアップさせることで、クラスメイト同士で内容を検討する機会を設けた。これにより提出物の質が上がり、ディスカッションもスムーズに行うことができた。

また、講義授業では教員とのやり取りを望む声が多かったため、**Zoom** によるリアルタイム授業を行い、ディスカッションや質問セッションを例年より多く設けるようにした。また、Eメールなどによる質問やコメントも奨励し、個別対応も増やした。さらに、個別に受けた質問やコメントを講義授業でも共有し、学生の理解を深めるよう努力した。

VI. 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターでは、令和2年12月に、センターが開講する外国語科目を担当する教員に対して令和2年度の遠隔授業に関するアンケートを実施し、各教員の具体的な取り組みや工夫を「アイデア集」としてセンター独自に取りまとめ、教員間で共有できるようにした。以下、「アイデア集」の中から各教員の授業への取り組みを、「オンデマンド」「Zoom」「オンデマンドとZoomの併用」別に一部抜粋し紹介する。

【オンデマンド】

- ・毎週教科書に関する課題を LMS 上に出しそれを期限までに提出させた後、学生の解答をいくつか選び、コンピュータ画面上に表示しながら解説を行っているが、その解説を動画でキャプチャーできるソフトを使って録画し、その動画ファイルを Google Drive にまずアップロードし、それを共有するための URL リンクを取得してから、それを LMS 上に載せる。学生から回収した課題をすべて添削し返却する時間的余裕はないので、提出された課題の中から共通して間違っているものを抜き出して、解説するようにしている。学生はその動画を見て、自分の解答を添削することになる。その後、単語テストを非同期で行う。また、シャドーイングなどの練習を行うクラスは、Moodle の録音機能を用いて録音させ、個別に発音指導や評価を行う。録音させた音声は AI によって文字化されるため、学生はその文字を見ながら自分の録音音声を聞き、その活動を振り返る。
- ・オンデマンド形式で、一部の学生が授業解説を一切確認しないで課題だけ提出していることが分かったので、解説を確認しないと課題ができない様に工夫した。
- ・オンデマンド形式で、各自でやった課題について添付ファイルで表示してチャットで質問や意見交換をさせると、学生の発言内容が全て残っているので、対面で机間巡視しながら各グループの様子を見るよりも把握しやすいことがわかったが、タイピングが苦手な学生にはハンデがあった。
- ・オンデマンド形式では、学生がパソコンを開かないと学習が始まらないため、一斉メールを毎週始業時に出したりしたが、学生一人一人の学習目標を立てさせて自律学習者として自覚を促し自らが目標達成するべく学習に取り組むことに成功した者はかなりの力がついたことを実感しているが、自分はそれほど学習するつもりはなく、先生の熱意についていけないと脱落して辞めてしまった者もいて、学生の顔が見えないと教員のやり方に調整がつけにくいことを痛感した。
- ・教科書のビデオ解説動画を配信した。動画作成の際には、学生の集中力を考え、あまり長くなりすぎないように要点を簡潔にわかりやすく、コンパクトに伝えるよう努めた。
- ・教科書で扱ったトピックについて考えたことを英語で書き、それを WebClass のピア・レビュー機能を用いてピア・レビューさせた。ルーブリックを用いた評価だけでなく、書かれている

英文のよい点や改善点についてコメント欄にコメントしてもらった。ピア・レビューの当初の目的は、他の人が書いた文章を批判的および分析的に読む練習を積むことで、自分の書いた文章に対する客観的な視点を養い、読者を意識した読みやすい英文が書けるようになることであった。遠隔授業においては、他の学生の取り組みを見ることで孤独感が和らぎ、自分一人で勉強しているのではなく、他の履修者も同じ課題と一緒に頑張っているんだという安心感につながり、それと同時に、自分のレベルがどのくらいなのかを理解し他の履修者から良い刺激をもらう機会にもなったようだ。

- ・ 教員が一方的に教科書の内容の解説をするのではなく、学生に各パラグラフの解説を割り当て、掲示板に投稿してもらった。単に全訳をのせるだけでなく、パラグラフの要点、重要な語句や文法事項についても解説をしてもらった。担当でない履修者は、投稿された解説を読み、パラグラフの担当者が挙げているわからない点について答えたり、担当者が勘違いをしている部分や他にも重要と思われる点、気づいた点や提案、質問等を投稿させたりした。この方式は教員が履修者の理解度を図る上でも役立ったし、学生同士の学びや気づきを促す上でも役立ったと思う。学生は教科書の解説を任されることで、一定の責任が生じ、第三者でも分かりやすい解説を書こうと努力をするようになり、より教科書の内容に対する理解が深まったようだ。また、自分の解説を投稿または発表する前にわからない表現や文法事項を丁寧に調べるという習慣も身についたようである。
- ・ **manaba** でパワーポイントの資料に音声をつける形でオンデマンド授業を行い、またその週の学習内容をドリルにして毎週掲載しました。ドリル機能を重視して **manaba** にしたのですが、間違えたところを正解が解るまでトライするなど、全問正解でも期間において繰り返し解く学生も多く、語学学習にはドリル問題が合っていると思いました。
- ・ 顔を合わせて対面授業を行うことができない状況下において、学生間の繋がりを作りながら、活気のある有意義な授業を行うことを心掛けた。具体的には、**WebClass** の掲示板を活用し、履修者同士が英語で頻繁に意見や感想などを交換する場を設けた。具体的には、学生が他の履修者の課題内容を読み、感想やコメントを投稿することができる取り組み（課題）を加え、学生のモチベーションの維持を意識した。
- ・ 課題の提出先として、教員のみに一方向的に提出するのではなく、掲示板に英語で課題内容を投稿するという形式により、履修者が取り組み内容をすべて共有できるようにした。一人で学ぶ中でやる気の低下や不安が生じることがないように配慮した。結果として、学生は毎回の取り組みに対して、ある程度の緊張感を持って取り組んでいる様子が見られた。
- ・ テキストを用いた授業に加え、以下のような課題を柔軟に行うことで、履修者が楽しみながら英語を学習できるように心掛けた。

[英作文の課題例 1] 自分が気に入っている製品について広告文を英語で作成する（広告主・会社側の立場に立って、消費者に気に入っている製品を宣伝する）

[英作文の課題例 2] 夏休み期間中の有意義な経験（読書、映画鑑賞、旅行など）を通して認識が変わったことや新たに発見したことに焦点を当て、詳しく英語で説明を行う

[リスニング課題例1] 関心のあるトピックを選び、オンライン動画ニュースサイト（英語版）を利用して視聴し、内容の要約と各自に見解をまとめる

[リスニング課題例2] 海外向けの日本を紹介する英語教養番組 Japanology Plus（NHK ワールド JAPAN）を視聴し、内容の要約と感想をまとめる

[リスニング課題例3] 現在の社会的状況の中で他の履修者と共有したいと思う「英語の歌」について、楽曲の文化的・歴史的背景や歌詞の意味や解説などを含めて解説付きで紹介する

・ manaba を利用してオンデマンド型の授業を行いました。ユニット毎にまとめの英作文を「掲示板」に投稿し、ピア・エディティングをするという活動を行ったところ、学生が思いのほか積極的に参加してくれました。ただ、個別の添削がしづらく、フィードバックに時間と手間がかかるのが難点でした。

・ I was able to provide my students with a very effective and focused, 4-skill English lessons based on a variety of TED and TED-ED talks using narrated PowerPoint movies. Activities included cloze listening, pronunciation practice, discussion questions and weekly reaction paper writing assignments. In addition, students were required to join the extensive reading website ReadOasis.com and read a minimum of 200,000 words. Prints were made available for download for each lesson.

・ Using Moodle, I am able to have students communicate with one another in writing or by leaving recorded messages for one another, summarize their discussions during Zoom breakout meetings, and submit presentation videos if they have been absent. Students can also have online chats in smaller groups than whole-class Zoom chats allow. I also find it useful to have resources on the Moodle site explaining to students how to use various Zoom functions such as screen sharing and collaboration using the Whiteboard.

【Zoom】

・ Zoom で行なった「少人数の」リーディングの授業などでは、テキストを画面に表示して説明を書き込みながら解説し、関連資料・音声・動画なども必要に応じて提示することができ、準備には時間がかかるが通常の対面授業と遜色のない、部分的にはより効果的な授業ができたと感じている。また輪読の際、学生全員が顔を出して発表したことも対面に近い状態で互いの学習意欲を刺激し、よい効果を与えたのではないかと考えている。

・ I found it useful to give students materials and activities on WebClass before having a short (30 minutes) Zoom meeting. The WebClass activities included listening practice, vocabulary quizzes, and other focused language practice that prepared them for the Zoom meeting. I sometimes also used the BBS and Wiki functions to brainstorm discussion ideas before meeting on Zoom. I could give feedback on Zoom, too.

・ In the Zoom meetings, students usually spent most of the time in breakout rooms, discussing the topics introduced on WebClass, or doing speaking activities from the textbook. I usually changed the breakout rooms once every 5-10 minutes to either repeat an activity with new people, or start a new activity. This

also meant that students didn't get stuck with an uncooperative partner for too long (although most students were very cooperative and tried very hard).

- I tried to make sure I visited the breakout rooms to speak to every student every week (I could usually do this, but occasionally I missed one or two students - in that case, I made sure I spoke to them first next week). This way, I avoided long lectures (as most of the input was given on WebClass prior to the Zoom meeting) and maximized the amount of time students could spend speaking, as well as the amount of time I could spend speaking to students one-on-one.
- 毎年中央棟 CALL 教室でパソコンや書画カメラを利用していたので、遠隔（zoom オンライン）になっても、授業の構成や質に変化はありませんでした。よかった点は教室だとパソコンの立ち上げに時間がかかりますが、zoom だとその時間が必要なく、また、遅れて来る学生がいても、オンラインの場合、教員も学生も気が散ることがなかった点です。oral の試験もオンラインで一人一人時間を指定し、待合室に入ってもらって、効率よくできました。普段黒板に書いてもらう練習問題の解答も同様です。チャットや画面共有の方が、物理的に人が動く時間を減らすことができるので、授業時間を有効に利用できました。
- 私の Zoom の授業では、頻繁に意見を発言させたり、ブレーキングアウトセッションをつくり、3-4 人のグループワークをして問題解決、サマリーライティングを行ったりし、それを manaba に upload して、教員がコメントを返しています。シャドーイングをするときにも小グループに分け、音が正しく拾えているか確認しています。他大学では、power point を使ってプレゼンテーションをし、フロアからの意見交換をしています。以上は、効果的であったと考えております。
- 遠隔授業で初級の場合、自分で音声を聞いて音読を提出させる機会を設けたので対面授業では得られない効果があった。

【Zoom とオンデマンドの併用】

- 私は今年度、第 1 学期はオンデマンドのみ、第 2 学期はオンデマンド+30 分 Zoom（希望者のみ発音練習）としました。オンデマンドでの発音学習は心配していましたが、学生の発音が全体的に良かったのが印象的でした。また第 2 学期は Zoom で発音をチェックするようにしたところ、希望者のみ参加としたので人数は少なかったものの、参加した学生さんの発音レベルはかなり高いものとなっていました。
- Zoom とオンデマンドを併用しました。学生は毎週、オンデマンド教材で 45 分間は自習して、45 分は Zoom 参加するという形です。クラスを半分に分け、1 グループは前半 45 分に Zoom、もう一つのグループは後半 45 分に Zoom としましたので、教員は 90 分間 Zoom で話しています。学生に聞いたところ、Zoom の方がやっぱりちゃんとできるのでよい、という意見が大半でした。自分では試していないのですが、発音練習については、学生に録音させて提出させるのが効果的と聞きました。テスト問題について、ドイツ語の作文は（機械翻訳を使う人がいるので）ちょっと工夫が必要だと思います。遠隔の場合、遅刻者や欠席者がほとんどなく、その

点はメリットだと思いました。

- 授業は WebClass のチャットでリアルタイムで行いました。チャットでもリアルタイムはよかったと言う声、そして授業内容がずっと文字で残るので助かるという声もありました。数回 Zoom も行いましたが、「先生の顔が見られてよかった」という声が複数ありました。オンデマンドであっても教員の顔を見せるのは必要ではないかと思います。
- ドイツ語のテキストを、ネイティブの発音を真似して録音させ、それを 2 週間に 1 回提出させました。学生は何度も自分の録音を聞いて、確認したようです。飛躍的に発音がよくなった学生が複数いました。次年度は、発音の良さあしを評点に反映させるようにしてみようかと思っています。
- 毎週課題を出し、添削をして返却しましたが、学生からは時間を決めて学習を進めることができたと感想をもらっています。時々、Zoom で授業が進められるとよいかと思いました。テキストの内容に関する動画サイトも紹介し、学生からは好評でした。毎回の授業のハンドアウトを作成し、最後に感想・質問コーナーをつけました。時々、学生からテキスト内容に関する感想や、英語の勉強方法に関する質問があり、返答をしました。学生の考えや、課題がわかりました。また、テキスト以外の速読教材を送り、Rapid Reading として時間を計り、内容に関する感想を書いてもらいました。これは、学生が自分が英語を読む時に何が問題であるかよくわかったようです。
- パワポスライド+各ページに音声（他の授業でよく用いられている PDF + 音声別途形式は学習しづらかったとの声）。⇒音声があることで分かりやすく学習しやすかったとの声多数。文法説明に偏らないように冒頭に文化紹介+他の受講者の感想や質問を紹介するページを設けた点も好評（感想などを共有することで一人で学習しているという孤独感を与えないようにするため）。最後に行ったアンケートによればこの授業形態におおむね満足している学生が多かった様子。
- ブレイクアウトセッション（グループワーク）を活用した Zoom 授業および録画配信は、対面に近い形との声が多かった。（添削の必要がある）課題は出しづらかったが、Zoom のチャット機能で全員が一斉に入力した作文をその場で添削するという方法は効果的だった。
- For LABO class I used online graded readers in the first half of the semester. Students summarised the books in a weekly journal and orally in breakout room pairs. In the second half of the semester, students watched TED talks, which they summarised in their weekly journal and again orally in breakout room pairs. Students mainly kept their cameras off during class - except when I asked them to turn them on at the end to say goodbye. I tried to interact with each of the students in the class each week - with a check-in at the start of the class, and with questions directed to named students during the class. All class instructions, and links to e-readers and TED talks were stored on Moodle.
- Effective methods: I found it useful to use zoom, and WebClass for homework. For Zoom I found it useful to use the main session to explain the speaking activities and the breakout rooms for the students to practice these. During the lesson I would cycle between everyone together in the main

session where I would either teach them the language point or feedback as a class to what they had discussed. I also found it useful to use a class Google Docs, which provided the framework for the lesson, and was used as a reference point along with the textbook.

第5章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	322 22.84%	767 54.40%	226 16.03%	71 5.04%	18 1.28%	6 0.43%	1,410 100.00%	3.93	0.839	3.94	0.298
外七	語学	436 25.29%	980 56.84%	235 13.63%	50 2.90%	22 1.28%	1 0.06%	1,724 100.00%	4.02	0.788	4.02	0.334
スポーツ	演習	50 20.08%	138 55.42%	41 16.47%	15 6.02%	4 1.61%	1 0.40%	249 100.00%	3.87	0.860	3.86	0.418
基礎教養	講義	648 29.72%	1,195 54.82%	240 11.01%	71 3.26%	19 0.87%	7 0.32%	2,180 100.00%	4.10	0.780	4.12	0.225
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	648 29.72%	1,195 54.82%	240 11.01%	71 3.26%	19 0.87%	7 0.32%	2,180 100.00%	4.10	0.780	4.12	0.225
法学部	講義	874 25.53%	1,946 56.83%	449 13.11%	130 3.80%	19 0.55%	6 0.18%	3,424 100.00%	4.03	0.767	4.05	0.238
	演習	95 32.09%	140 47.30%	46 15.54%	12 4.05%	2 0.68%	1 0.34%	296 100.00%	4.06	0.837	4.05	0.443
	計	969 26.05%	2,086 56.08%	495 13.31%	142 3.82%	21 0.56%	7 0.19%	3,720 100.00%	4.03	0.773	4.05	0.296
経済学部	講義	720 23.24%	1,740 56.17%	463 14.95%	140 4.52%	28 0.90%	7 0.23%	3,098 100.00%	3.97	0.803	4.00	0.255
	演習	26 24.07%	50 46.30%	22 20.37%	10 9.26%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	3.85	0.895	3.86	0.416
	計	746 23.27%	1,790 55.83%	485 15.13%	150 4.68%	28 0.87%	7 0.22%	3,206 100.00%	3.96	0.806	3.98	0.282
文学部	講義	563 23.22%	1,361 56.12%	351 14.47%	121 4.99%	23 0.95%	6 0.25%	2,425 100.00%	3.96	0.814	3.99	0.296
	演習	269 31.13%	444 51.39%	104 12.04%	38 4.40%	8 0.93%	1 0.12%	864 100.00%	4.08	0.829	4.10	0.378
	計	832 25.30%	1,805 54.98%	455 13.83%	159 4.83%	31 0.94%	7 0.21%	3,289 100.00%	3.99	0.819	4.03	0.333
理学部	講義	371 19.45%	1,016 53.28%	380 19.93%	94 4.93%	44 2.31%	2 0.10%	1,907 100.00%	3.83	0.878	3.84	0.293
	演習	87 21.12%	214 51.94%	71 17.23%	32 7.77%	8 1.94%	0 0.00%	412 100.00%	3.83	0.917	3.86	0.361
	計	458 19.75%	1,230 53.04%	451 19.45%	126 5.43%	52 2.24%	2 0.09%	2,319 100.00%	3.83	0.884	3.84	0.306
国際社会科学部	講義	320 25.10%	725 56.85%	166 13.02%	53 4.16%	8 0.63%	3 0.24%	1,275 100.00%	4.02	0.778	3.99	0.268
	演習	9 17.31%	19 36.54%	17 32.69%	7 13.46%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	3.58	0.936	3.55	0.625
	語学	72 24.24%	157 52.86%	50 16.84%	14 4.71%	4 1.35%	0 0.00%	297 100.00%	3.94	0.848	3.94	0.395
	計	401 24.69%	901 55.48%	233 14.35%	74 4.56%	12 0.74%	3 0.18%	1,624 100.00%	3.99	0.800	3.94	0.372
教職課程	講義	67 19.03%	184 52.27%	78 22.16%	19 5.40%	4 1.14%	0 0.00%	352 100.00%	3.83	0.838	3.97	0.318
	演習	70 27.89%	138 54.98%	33 13.15%	5 1.99%	3 1.20%	2 0.80%	251 100.00%	4.07	0.774	4.08	0.281
	計	137 22.72%	322 53.40%	111 18.41%	24 3.98%	7 1.16%	2 0.33%	603 100.00%	3.93	0.820	4.03	0.300
学芸員	講義	55 22.00%	151 60.40%	30 12.00%	12 4.80%	1 0.40%	1 0.40%	250 100.00%	3.99	0.757	4.03	0.210
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	55 22.00%	151 60.40%	30 12.00%	12 4.80%	1 0.40%	1 0.40%	250 100.00%	3.99	0.757	4.03	0.210
合計	5,054 24.56%	11,365 55.24%	3,002 14.59%	894 4.35%	215 1.05%	44 0.21%	20,574 100.00%	3.98	0.813	3.99	0.323	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	3,940 24.14%	9,085 55.66%	2,383 14.60%	711 4.36%	164 1.00%	38 0.23%	16,321 100.00%	3.98	0.808	3.99	0.281
演習	606 27.15%	1,143 51.21%	334 14.96%	119 5.33%	25 1.12%	5 0.22%	2,232 100.00%	3.98	0.858	4.00	0.411
語学	508 25.14%	1,137 56.26%	285 14.10%	64 3.17%	26 1.29%	1 0.05%	2,021 100.00%	4.01	0.797	4.00	0.343
合計	5,054 24.56%	11,365 55.24%	3,002 14.59%	894 4.35%	215 1.05%	44 0.21%	20,574 100.00%	3.98	0.813	3.99	0.323

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	2,685 23.53%	6,261 54.87%	1,774 15.55%	549 4.81%	116 1.02%	26 0.23%	11,411 100.00%	3.95	0.821
学部2年	1,330 23.72%	3,200 57.07%	806 14.37%	203 3.62%	60 1.07%	8 0.14%	5,607 100.00%	3.99	0.789
学部3年	856 29.43%	1,539 52.90%	353 12.13%	120 4.13%	34 1.17%	7 0.24%	2,909 100.00%	4.06	0.827
学部4年	173 27.86%	350 56.36%	68 10.95%	22 3.54%	5 0.81%	3 0.48%	621 100.00%	4.07	0.775

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	415 24.57%	901 53.35%	273 16.16%	78 4.62%	17 1.01%	5 0.30%	1,689 100.00%	3.96	0.827	3.96	0.394
26～50名	1,001 26.40%	2,050 54.06%	546 14.40%	150 3.96%	42 1.11%	3 0.08%	3,792 100.00%	4.01	0.816	4.02	0.341
51～100名	1,138 23.08%	2,700 54.76%	773 15.68%	233 4.73%	73 1.48%	14 0.28%	4,931 100.00%	3.93	0.841	3.97	0.303
101～200名	859 25.12%	1,878 54.91%	483 14.12%	159 4.65%	36 1.05%	5 0.15%	3,420 100.00%	3.99	0.821	4.00	0.284
201名以上	1,641 24.34%	3,836 56.90%	927 13.75%	274 4.06%	47 0.70%	17 0.25%	6,742 100.00%	4.00	0.780	4.01	0.211
合計	5,054 24.56%	11,365 55.24%	3,002 14.59%	894 4.35%	215 1.05%	44 0.21%	20,574 100.00%	3.98	0.813	3.99	0.323

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	415 29.43%	740 52.48%	182 12.91%	59 4.18%	10 0.71%	4 0.28%	1,410 100.00%	4.06	0.808	4.08	0.295
外七	語学	663 38.46%	882 51.16%	133 7.71%	34 1.97%	11 0.64%	1 0.06%	1,724 100.00%	4.25	0.733	4.25	0.319
スポーツ	演習	60 24.10%	139 55.82%	39 15.66%	10 4.02%	1 0.40%	0 0.00%	249 100.00%	3.99	0.772	4.00	0.347
基礎教養	講義	739 33.90%	1,119 51.33%	227 10.41%	76 3.49%	15 0.69%	4 0.18%	2,180 100.00%	4.14	0.791	4.17	0.237
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	739 33.90%	1,119 51.33%	227 10.41%	76 3.49%	15 0.69%	4 0.18%	2,180 100.00%	4.14	0.791	4.17	0.237
法学部	講義	1,037 30.29%	1,721 50.26%	428 12.50%	191 5.58%	42 1.23%	5 0.15%	3,424 100.00%	4.03	0.873	4.03	0.335
	演習	128 43.24%	140 47.30%	19 6.42%	7 2.36%	2 0.68%	0 0.00%	296 100.00%	4.30	0.751	4.30	0.332
	計	1,165 31.32%	1,861 50.03%	447 12.02%	198 5.32%	44 1.18%	5 0.13%	3,720 100.00%	4.05	0.867	4.09	0.352
経済学部	講義	870 28.08%	1,663 53.68%	388 12.52%	140 4.52%	35 1.13%	2 0.06%	3,098 100.00%	4.03	0.830	4.05	0.319
	演習	61 56.48%	40 37.04%	7 6.48%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.50	0.619	4.48	0.290
	計	931 29.04%	1,703 53.12%	395 12.32%	140 4.37%	35 1.09%	2 0.06%	3,206 100.00%	4.05	0.828	4.10	0.346
文学部	講義	772 31.84%	1,265 52.10%	263 10.85%	105 4.33%	19 0.78%	1 0.04%	2,425 100.00%	4.10	0.813	4.13	0.327
	演習	397 45.95%	404 46.76%	47 5.44%	12 1.38%	3 0.35%	1 0.12%	864 100.00%	4.37	0.683	4.38	0.306
	計	1,169 35.54%	1,669 50.74%	310 9.43%	117 3.56%	22 0.67%	2 0.06%	3,289 100.00%	4.17	0.790	4.22	0.342
理学部	講義	575 30.15%	1,023 53.64%	236 12.38%	63 3.30%	9 0.47%	1 0.05%	1,907 100.00%	4.10	0.769	4.10	0.276
	演習	180 38.83%	205 49.76%	34 8.25%	10 2.43%	3 0.73%	0 0.00%	412 100.00%	4.24	0.761	4.28	0.310
	計	755 31.69%	1,228 52.95%	270 11.64%	73 3.15%	12 0.52%	1 0.04%	2,319 100.00%	4.12	0.769	4.13	0.291
国際社会科学部	講義	428 33.57%	682 53.49%	122 9.57%	33 2.59%	9 0.71%	1 0.08%	1,275 100.00%	4.17	0.756	4.12	0.300
	演習	24 46.15%	23 44.23%	3 5.77%	2 3.85%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.33	0.760	4.31	0.452
	語学	146 49.16%	136 45.79%	11 3.70%	4 1.35%	0 0.00%	0 0.00%	297 100.00%	4.43	0.633	4.43	0.270
	計	598 36.82%	841 51.79%	136 8.37%	39 2.40%	9 0.55%	1 0.06%	1,624 100.00%	4.22	0.742	4.26	0.334
教職課程	講義	106 30.11%	187 53.13%	39 11.08%	16 4.55%	4 1.14%	0 0.00%	352 100.00%	4.07	0.833	4.15	0.231
	演習	96 38.25%	130 51.79%	21 8.37%	4 1.59%	0 0.00%	0 0.00%	251 100.00%	4.27	0.679	4.29	0.254
	計	202 33.50%	317 52.57%	60 9.95%	20 3.32%	4 0.66%	0 0.00%	603 100.00%	4.15	0.778	4.23	0.251
学芸員	講義	74 29.60%	133 53.20%	27 10.80%	12 4.80%	3 1.20%	1 0.40%	250 100.00%	4.06	0.841	4.08	0.290
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	74 29.60%	133 53.20%	27 10.80%	12 4.80%	3 1.20%	1 0.40%	250 100.00%	4.06	0.841	4.08	0.290
合計	6,751 32.81%	10,632 51.68%	2,226 10.82%	778 3.78%	166 0.81%	21 0.10%	20,574 100.00%	4.12	0.804	4.17	0.327	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	5,016 30.73%	8,533 52.28%	1,912 11.71%	695 4.26%	146 0.89%	19 0.12%	16,321 100.00%	4.08	0.819	4.10	0.304
演習	926 41.49%	1,081 48.43%	170 7.62%	45 2.02%	9 0.40%	1 0.04%	2,232 100.00%	4.29	0.726	4.30	0.339
語学	809 40.03%	1,018 50.37%	144 7.13%	38 1.88%	11 0.54%	1 0.05%	2,021 100.00%	4.28	0.721	4.27	0.318
合計	6,751 32.81%	10,632 51.68%	2,226 10.82%	778 3.78%	166 0.81%	21 0.10%	20,574 100.00%	4.12	0.804	4.17	0.327

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,744 32.81%	5,924 51.91%	1,226 10.74%	402 3.52%	101 0.89%	14 0.12%	11,411 100.00%	4.12	0.801
学部2年	1,788 31.89%	2,917 52.02%	637 11.36%	225 4.01%	35 0.62%	5 0.09%	5,607 100.00%	4.11	0.799
学部3年	1,013 34.82%	1,466 50.40%	284 9.76%	121 4.16%	24 0.83%	1 0.03%	2,909 100.00%	4.14	0.816
学部4年	196 31.56%	311 50.08%	77 12.40%	30 4.83%	6 0.97%	1 0.16%	621 100.00%	4.07	0.847

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	712 42.16%	833 49.32%	110 6.51%	31 1.84%	3 0.18%	0 0.00%	1,889 100.00%	4.31	0.691	4.31	0.331
26~50名	1,396 36.81%	1,928 50.84%	327 8.62%	115 3.03%	23 0.61%	3 0.08%	3,792 100.00%	4.20	0.768	4.22	0.344
51~100名	1,568 31.80%	2,556 51.84%	589 11.94%	178 3.61%	34 0.69%	6 0.12%	4,931 100.00%	4.11	0.796	4.12	0.299
101~200名	1,094 31.99%	1,773 51.84%	375 10.96%	138 4.04%	37 1.08%	3 0.09%	3,420 100.00%	4.10	0.824	4.08	0.288
201名以上	1,981 29.38%	3,542 52.54%	825 12.24%	316 4.69%	69 1.02%	9 0.13%	6,742 100.00%	4.05	0.833	4.04	0.268
合計	6,751 32.81%	10,632 51.68%	2,226 10.82%	778 3.78%	166 0.81%	21 0.10%	20,574 100.00%	4.12	0.804	4.17	0.327

Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	471 33.40%	707 50.14%	154 10.92%	64 4.54%	12 0.85%	2 0.14%	1,410 100.00%	4.11	0.831	4.11	0.298
外七	語学	709 41.13%	883 51.22%	84 4.87%	34 1.97%	14 0.81%	0 0.00%	1,724 100.00%	4.30	0.723	4.29	0.348
スポーツ	演習	67 26.91%	141 56.63%	26 10.44%	14 5.62%	1 0.40%	0 0.00%	249 100.00%	4.04	0.797	4.04	0.356
基礎教養	講義	730 33.49%	1,112 51.01%	216 9.91%	88 4.04%	26 1.19%	8 0.37%	2,180 100.00%	4.12	0.831	4.13	0.274
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	730 33.49%	1,112 51.01%	216 9.91%	88 4.04%	26 1.19%	8 0.37%	2,180 100.00%	4.12	0.831	4.13	0.274
法学部	講義	1,114 32.54%	1,603 46.82%	370 10.81%	268 7.83%	65 1.90%	4 0.12%	3,424 100.00%	4.00	0.958	4.00	0.370
	演習	150 50.68%	121 40.88%	16 5.41%	6 2.03%	3 1.01%	0 0.00%	296 100.00%	4.38	0.768	4.37	0.301
	計	1,264 33.98%	1,724 46.34%	386 10.38%	274 7.37%	68 1.83%	4 0.11%	3,720 100.00%	4.03	0.950	4.08	0.388
経済学部	講義	951 30.70%	1,618 52.23%	355 11.46%	120 3.87%	52 1.68%	2 0.06%	3,098 100.00%	4.06	0.851	4.04	0.353
	演習	55 50.93%	39 36.11%	12 11.11%	2 1.85%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.36	0.755	4.34	0.380
	計	1,006 31.38%	1,657 51.68%	367 11.45%	122 3.81%	52 1.62%	2 0.06%	3,206 100.00%	4.07	0.849	4.08	0.368
文学部	講義	781 32.21%	1,219 50.27%	241 9.94%	152 6.27%	28 1.15%	4 0.16%	2,425 100.00%	4.06	0.880	4.04	0.412
	演習	385 44.56%	396 45.83%	56 6.48%	24 2.76%	1 0.12%	2 0.23%	864 100.00%	4.32	0.728	4.32	0.367
	計	1,166 35.45%	1,615 49.10%	297 9.03%	176 5.35%	29 0.88%	6 0.18%	3,289 100.00%	4.13	0.850	4.15	0.418
理学部	講義	867 34.98%	993 52.07%	174 9.12%	57 2.99%	16 0.84%	0 0.00%	1,907 100.00%	4.17	0.779	4.17	0.286
	演習	220 53.40%	156 37.86%	25 6.07%	8 1.46%	4 0.97%	1 0.24%	412 100.00%	4.42	0.755	4.43	0.298
	計	887 38.25%	1,149 49.55%	199 8.58%	63 2.72%	20 0.86%	1 0.04%	2,319 100.00%	4.22	0.780	4.22	0.305
国際社会科学部	講義	485 38.04%	623 48.86%	100 7.84%	51 4.00%	11 0.86%	5 0.39%	1,275 100.00%	4.20	0.813	4.12	0.356
	演習	18 34.62%	21 40.38%	12 23.08%	1 1.92%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.08	0.813	4.04	0.518
	語学	142 47.81%	134 45.12%	15 5.05%	2 0.67%	3 1.01%	1 0.34%	297 100.00%	4.39	0.709	4.38	0.323
	計	645 39.72%	778 47.91%	127 7.82%	54 3.33%	14 0.86%	6 0.37%	1,624 100.00%	4.23	0.798	4.22	0.376
	教職課程	98 27.84%	164 46.59%	47 13.35%	30 8.52%	13 3.69%	0 0.00%	352 100.00%	3.86	1.034	3.97	0.399
学芸員	講義	78 31.08%	117 46.61%	33 13.15%	22 8.76%	1 0.40%	0 0.00%	251 100.00%	3.99	0.912	3.99	0.378
	演習	176 29.19%	281 46.60%	80 13.27%	52 8.62%	14 2.32%	0 0.00%	603 100.00%	3.92	0.987	3.98	0.383
	計	82 32.80%	125 50.00%	23 9.20%	18 7.20%	1 0.40%	1 0.40%	250 100.00%	4.08	0.862	4.01	0.347
合計	7,203 35.01%	10,172 49.44%	1,959 9.52%	959 4.66%	251 1.22%	30 0.15%	20,574 100.00%	4.13	0.853	4.16	0.371	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	5,379 32.96%	8,164 50.02%	1,680 10.29%	848 5.20%	224 1.37%	26 0.16%	16,321 100.00%	4.08	0.871	4.07	0.352
演習	973 43.59%	991 44.40%	180 8.06%	75 3.36%	10 0.45%	3 0.13%	2,232 100.00%	4.28	0.785	4.26	0.383
語学	851 42.11%	1,017 50.32%	99 4.90%	36 1.78%	17 0.84%	1 0.05%	2,021 100.00%	4.31	0.722	4.31	0.345
合計	7,203 35.01%	10,172 49.44%	1,959 9.52%	959 4.66%	251 1.22%	30 0.15%	20,574 100.00%	4.13	0.853	4.16	0.371

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	4,148 36.35%	5,656 49.57%	1,032 9.04%	439 3.85%	123 1.08%	13 0.11%	11,411 100.00%	4.16	0.824
学部2年	1,808 32.25%	2,864 51.08%	576 10.27%	282 5.03%	70 1.25%	7 0.12%	5,607 100.00%	4.08	0.856
学部3年	1,050 36.09%	1,329 45.69%	283 9.73%	195 6.70%	45 1.55%	7 0.24%	2,909 100.00%	4.08	0.928
学部4年	186 29.95%	311 50.08%	68 10.95%	41 6.60%	12 1.93%	3 0.48%	621 100.00%	4.00	0.923

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	729 43.16%	787 46.60%	127 7.52%	36 2.13%	8 0.47%	2 0.12%	1,689 100.00%	4.30	0.739	4.29	0.377
26~50名	1,479 39.00%	1,827 48.18%	298 7.86%	153 4.03%	33 0.87%	2 0.05%	3,792 100.00%	4.20	0.817	4.20	0.404
51~100名	1,692 34.31%	2,475 50.19%	484 9.82%	221 4.48%	51 1.03%	8 0.16%	4,931 100.00%	4.12	0.836	4.12	0.322
101~200名	1,168 34.15%	1,716 50.18%	300 8.77%	189 5.53%	44 1.29%	3 0.09%	3,420 100.00%	4.10	0.869	4.07	0.359
201名以上	2,135 31.67%	3,367 49.94%	750 11.12%	360 5.34%	115 1.71%	15 0.22%	6,742 100.00%	4.05	0.891	4.03	0.294
合計	7,203 35.01%	10,172 49.44%	1,959 9.52%	959 4.66%	251 1.22%	30 0.15%	20,574 100.00%	4.13	0.853	4.16	0.371

Q3-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
計セ	講義	48 3.00%	93 6.98%	259 19.44%	451 33.86%	246 18.47%	235 17.64%	1,332 100.00%	2.31	1.047	2.32	0.588
外セ	語学	56 3.34%	153 9.13%	371 22.14%	587 35.02%	252 15.04%	257 15.33%	1,676 100.00%	2.42	1.025	2.37	0.539
スホ健	演習	2 0.85%	3 1.28%	18 7.69%	66 28.21%	104 44.44%	41 17.52%	234 100.00%	1.62	0.802	1.62	0.397
基礎教養	講義	53 2.58%	115 5.59%	319 15.50%	774 37.61%	405 19.68%	392 19.05%	2,058 100.00%	2.18	0.982	2.22	0.459
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	53 2.58%	115 5.59%	319 15.50%	774 37.61%	405 19.68%	392 19.05%	2,058 100.00%	2.18	0.982	2.22	0.459
法学部	講義	108 3.50%	204 6.61%	495 16.03%	1,046 33.88%	567 18.37%	667 21.61%	3,087 100.00%	2.27	1.051	2.26	0.444
	演習	30 10.45%	44 15.33%	58 20.21%	63 21.95%	32 11.15%	60 20.91%	287 100.00%	2.90	1.249	2.96	0.712
	計	138 4.09%	248 7.35%	553 16.39%	1,109 32.87%	599 17.75%	727 21.55%	3,374 100.00%	2.33	1.083	2.43	0.594
経済学部	講義	121 4.14%	181 6.19%	544 18.60%	928 31.74%	481 16.45%	689 22.88%	2,924 100.00%	2.35	1.066	2.30	0.566
	演習	8 7.55%	16 15.09%	20 18.87%	29 27.36%	29 16.04%	17 15.09%	106 100.00%	2.66	1.229	2.61	0.802
	計	129 4.26%	197 6.50%	564 18.61%	957 31.58%	498 16.44%	685 22.61%	3,030 100.00%	2.36	1.074	2.34	0.605
文学部	講義	74 3.30%	155 6.92%	386 17.22%	755 33.69%	446 19.90%	425 18.96%	2,241 100.00%	2.26	1.049	2.27	0.634
	演習	63 7.53%	100 11.95%	165 19.71%	218 26.05%	135 16.13%	156 18.64%	837 100.00%	2.62	1.218	2.56	0.728
	計	137 4.45%	255 8.28%	551 17.90%	973 31.61%	581 18.88%	581 18.88%	3,078 100.00%	2.36	1.109	2.38	0.684
理学部	講義	151 8.23%	200 10.91%	432 23.56%	507 27.84%	196 10.69%	348 18.97%	1,834 100.00%	2.73	1.157	2.73	0.713
	演習	163 40.65%	75 18.70%	48 11.97%	37 9.23%	8 2.00%	70 17.46%	401 100.00%	4.05	1.142	4.06	0.724
	計	314 14.05%	275 12.30%	480 21.48%	544 24.34%	204 9.13%	418 18.70%	2,235 100.00%	2.97	1.261	3.00	0.890
国際社会科学部	講義	25 2.07%	101 8.36%	246 20.36%	398 32.95%	164 13.58%	274 22.68%	1,208 100.00%	2.38	0.983	2.42	0.403
	演習	4 7.84%	5 9.80%	9 17.65%	13 25.49%	11 21.57%	9 17.65%	51 100.00%	2.48	1.273	2.46	0.841
	語学	21 7.22%	48 16.49%	74 25.43%	69 23.71%	28 9.62%	51 17.53%	291 100.00%	2.85	1.135	2.78	0.696
	計	50 3.23%	154 9.94%	329 21.23%	480 30.97%	203 13.10%	334 21.55%	1,550 100.00%	2.48	1.041	2.57	0.593
教職課程	講義	16 5.18%	18 5.83%	61 19.74%	117 37.86%	48 15.53%	49 15.86%	309 100.00%	2.37	1.056	2.43	0.471
	演習	17 7.46%	13 5.70%	35 15.35%	79 34.65%	39 17.11%	45 19.74%	228 100.00%	2.40	1.172	2.47	0.621
	計	33 6.15%	31 5.77%	96 17.88%	196 36.50%	87 16.20%	94 17.50%	537 100.00%	2.38	1.104	2.46	0.552
学芸員	講義	8 3.48%	20 8.70%	36 15.65%	68 29.57%	46 20.00%	52 22.61%	230 100.00%	2.30	1.109	2.06	0.617
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	8 3.48%	20 8.70%	36 15.65%	68 29.57%	46 20.00%	52 22.61%	230 100.00%	2.30	1.109	2.06	0.617
合計	968 5.01%	1,544 7.99%	3,576 18.50%	6,205 32.09%	3,225 16.68%	3,816 19.74%	19,334 100.00%	2.41	1.109	2.42	0.677	

【形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					形態別 平均	形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
講義		604 3.97%	1,087 7.14%	2,778 18.25%	5,044 33.13%	2,599 17.07%	3,111 20.44%	15,223 100.00%	2.34	1.065	2.35	0.592
演習		287 13.39%	256 11.94%	353 16.46%	505 23.55%	346 16.14%	397 18.52%	2,144 100.00%	2.79	1.357	2.64	0.923
語学		77 3.91%	201 10.22%	445 22.62%	656 33.35%	280 14.23%	308 15.66%	1,987 100.00%	2.48	1.053	2.43	0.581
合計		968 5.01%	1,544 7.99%	3,576 18.50%	6,205 32.09%	3,225 16.68%	3,816 19.74%	19,334 100.00%	2.41	1.109	2.42	0.677

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満				
学部1年		499 4.61%	952 8.79%	2,244 20.71%	3,713 34.27%	1,606 14.82%	1,822 16.81%	10,836 100.00%	2.45	1.071
学部2年		244 4.65%	361 6.88%	842 16.04%	1,645 31.35%	956 18.22%	1,200 22.87%	5,248 100.00%	2.33	1.111
学部3年		203 7.63%	190 7.14%	406 15.25%	706 26.52%	538 20.21%	619 23.25%	2,662 100.00%	2.42	1.246
学部4年		20 3.54%	35 6.19%	83 14.69%	137 24.25%	173 21.77%	167 29.56%	565 100.00%	2.23	1.129

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
25名以下		121 7.36%	191 11.63%	340 20.69%	422 25.68%	280 17.04%	289 17.59%	1,643 100.00%	2.59	1.214	2.53	0.754
26～50名		282 7.27%	345 9.57%	635 17.62%	1,111 30.83%	826 17.37%	625 17.34%	3,604 100.00%	2.50	1.196	2.44	0.750
51～100名		287 6.17%	401 8.62%	940 20.21%	1,451 31.20%	707 15.20%	865 18.60%	4,651 100.00%	2.50	1.136	2.47	0.685
101～200名		141 4.43%	239 7.51%	578 18.15%	1,057 33.20%	503 15.80%	666 20.92%	3,184 100.00%	2.39	1.079	2.35	0.530
201名以上		157 2.51%	368 5.89%	1,083 17.32%	2,164 34.61%	1,109 17.74%	1,371 21.93%	6,252 100.00%	2.24	0.991	2.20	0.337
合計		968 5.01%	1,544 7.99%	3,576 18.50%	6,205 32.09%	3,225 16.68%	3,816 19.74%	19,334 100.00%	2.41	1.109	2.42	0.677

Q4 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	370 26.24%	776 55.04%	198 14.04%	46 3.26%	12 0.85%	8 0.57%	1,410 100.00%	4.03	0.783	4.01	0.382
	外セ	510 29.58%	895 51.91%	227 13.17%	70 4.06%	17 0.99%	5 0.29%	1,724 100.00%	4.05	0.824	4.04	0.421
スホ健	演習	52 20.88%	122 49.00%	22 8.49%	56 22.49%	16 6.43%	3 1.20%	249 100.00%	3.82	0.877	3.82	0.337
	基礎教養	683 31.33%	1,196 54.86%	214 9.82%	53 2.43%	23 1.06%	11 0.50%	2,180 100.00%	4.14	0.767	4.14	0.305
法学部	講義	995 29.06%	1,779 51.96%	419 12.24%	147 4.29%	76 2.22%	8 0.23%	3,424 100.00%	4.02	0.887	4.02	0.457
	演習	127 42.91%	126 42.57%	28 9.46%	10 3.38%	5 1.69%	0 0.00%	296 100.00%	4.22	0.876	4.21	0.427
経済学部	講義	854 27.57%	1,668 53.84%	398 12.85%	123 3.97%	45 1.45%	10 0.32%	3,098 100.00%	4.02	0.834	4.01	0.408
	演習	45 41.67%	53 49.07%	7 6.48%	2 1.85%	0 0.00%	1 0.93%	108 100.00%	4.32	0.681	4.32	0.343
文学部	講義	716 29.53%	1,309 53.98%	257 10.60%	94 3.88%	41 1.69%	8 0.33%	2,425 100.00%	4.06	0.841	4.06	0.430
	演習	316 36.57%	465 53.82%	63 7.29%	17 1.97%	3 0.35%	0 0.00%	864 100.00%	4.24	0.700	4.23	0.350
理学部	講義	483 25.33%	1,017 53.33%	272 14.26%	84 4.40%	45 2.36%	6 0.31%	1,907 100.00%	3.95	0.886	3.95	0.398
	演習	80 19.42%	234 56.80%	76 18.45%	15 3.64%	7 1.70%	0 0.00%	412 100.00%	3.89	0.816	3.96	0.359
国際社会科学部	講義	334 26.20%	690 54.12%	161 12.63%	59 4.63%	22 1.73%	9 0.71%	1,275 100.00%	3.99	0.857	3.95	0.395
	演習	17 32.69%	24 46.15%	6 11.54%	4 7.69%	1 1.92%	0 0.00%	52 100.00%	4.00	0.970	3.98	0.507
教職課程	講義	92 30.98%	161 54.21%	34 11.45%	7 2.36%	3 1.01%	0 0.00%	297 100.00%	4.12	0.773	4.12	0.283
	演習	443 27.28%	875 53.88%	201 12.38%	70 4.31%	26 1.60%	9 0.55%	1,624 100.00%	4.01	0.847	4.02	0.370
学芸員	講義	83 23.58%	178 50.57%	65 18.47%	16 4.55%	9 2.56%	1 0.28%	352 100.00%	3.88	0.907	4.01	0.379
	演習	91 36.25%	129 51.39%	25 9.66%	5 1.99%	1 0.40%	0 0.00%	251 100.00%	4.21	0.732	4.21	0.273
合計	講義	174 28.86%	307 50.91%	90 14.93%	21 3.48%	10 1.66%	1 0.17%	603 100.00%	4.02	0.853	4.12	0.336
	演習	46 18.40%	140 56.00%	34 13.60%	19 7.60%	8 3.20%	3 1.20%	250 100.00%	3.80	0.941	3.97	0.514
合計	講義	46 18.40%	140 56.00%	34 13.60%	19 7.60%	8 3.20%	3 1.20%	250 100.00%	3.80	0.941	3.97	0.514
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
合計	講義	5,894 28.65%	10,962 53.28%	2,540 12.35%	787 3.83%	321 1.56%	70 0.34%	20,574 100.00%	4.04	0.839	4.05	0.406
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5	4	3	2	1				無回答	形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義	講義	4,564 27.96%	8,753 53.63%	2,018 12.36%	641 3.93%	281 1.72%	64 0.39%	16,321 100.00%	4.03	0.847	4.03	0.409
	演習	728 32.62%	1,153 51.66%	261 11.69%	69 3.09%	20 0.90%	1 0.04%	2,232 100.00%	4.12	0.796	4.13	0.388
語学	講義	602 29.79%	1,056 52.25%	261 12.91%	77 3.81%	20 0.99%	5 0.25%	2,021 100.00%	4.06	0.816	4.06	0.404
	演習	91 36.25%	129 51.39%	25 9.66%	5 1.99%	1 0.40%	0 0.00%	251 100.00%	4.21	0.732	4.21	0.273
合計	講義	5,894 28.65%	10,962 53.28%	2,540 12.35%	787 3.83%	321 1.56%	70 0.34%	20,574 100.00%	4.04	0.839	4.05	0.406
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1				無回答
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	講義	3,245 28.44%	6,157 53.96%	1,427 12.51%	402 3.52%	138 1.21%	42 0.37%	11,411 100.00%	4.05	0.812
	演習	1,513 26.98%	3,048 54.36%	690 12.31%	230 4.10%	106 1.89%	20 0.36%	5,607 100.00%	4.01	0.854
学部2年	講義	939 32.28%	1,439 49.47%	336 11.55%	125 4.30%	65 2.23%	5 0.17%	2,909 100.00%	4.05	0.900
	演習	188 30.27%	306 49.28%	85 13.69%	29 4.67%	11 1.77%	2 0.32%	621 100.00%	4.02	0.888

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5	4	3	2	1				無回答	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	講義	552 32.68%	849 50.27%	201 11.90%	63 3.73%	21 1.24%	3 0.18%	1,689 100.00%	4.10	0.836	4.09	0.420
	演習	1,111 29.30%	2,032 53.59%	454 11.97%	150 3.96%	36 0.95%	9 0.24%	3,792 100.00%	4.07	0.809	4.07	0.418
51～100名	講義	1,347 27.32%	2,636 53.46%	651 13.20%	181 3.67%	97 1.97%	19 0.39%	4,931 100.00%	4.01	0.856	4.02	0.411
	演習	1,017 29.74%	1,793 52.43%	397 11.61%	126 3.68%	75 2.19%	12 0.35%	3,420 100.00%	4.04	0.871	4.03	0.405
201名以上	講義	1,867 27.69%	3,652 54.17%	837 12.41%	267 3.96%	92 1.36%	27 0.40%	6,742 100.00%	4.03	0.827	4.04	0.336
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
合計	講義	5,894 28.65%	10,962 53.28%	2,540 12.35%	787 3.83%	321 1.56%	70 0.34%	20,574 100.00%	4.04	0.839	4.05	0.406
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000

Q5 この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
計七	講義	526 37.30%	677 48.01%	133 9.43%	54 3.83%	17 1.21%	3 0.21%	1,410 100.00%	4.17	0.839	4.17	0.412	
外七	語学	607 35.21%	860 49.88%	169 9.80%	64 3.71%	24 1.39%	0 0.00%	1,724 100.00%	4.14	0.840	4.13	0.400	
スポーツ	演習	93 37.35%	119 47.79%	30 12.05%	5 2.01%	2 0.80%	0 0.00%	249 100.00%	4.19	0.783	4.19	0.254	
基礎教養	講義	896 41.10%	1,059 48.58%	154 7.06%	42 1.93%	21 0.96%	8 0.37%	2,180 100.00%	4.27	0.757	4.29	0.293	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	896 41.10%	1,059 48.58%	154 7.06%	42 1.93%	21 0.96%	8 0.37%	2,180 100.00%	4.27	0.757	4.29	0.293	
法学部	講義	1,153 33.67%	1,650 48.19%	364 10.63%	171 4.99%	79 2.31%	7 0.20%	3,424 100.00%	4.06	0.921	4.06	0.439	
	演習	122 41.22%	123 41.55%	41 13.85%	8 2.70%	2 0.68%	0 0.00%	296 100.00%	4.20	0.826	4.19	0.391	
	計	1,275 34.27%	1,773 47.66%	405 10.89%	179 4.81%	81 2.18%	7 0.19%	3,720 100.00%	4.07	0.915	4.09	0.430	
経済学部	講義	1,000 32.28%	1,444 46.61%	382 12.33%	177 5.71%	87 2.81%	8 0.26%	3,098 100.00%	4.00	0.964	4.01	0.551	
	演習	42 38.89%	48 44.44%	15 13.89%	2 1.85%	0 0.00%	1 0.93%	108 100.00%	4.21	0.753	4.23	0.332	
	計	1,042 32.50%	1,492 46.54%	397 12.38%	179 5.58%	87 2.71%	9 0.28%	3,206 100.00%	4.01	0.959	4.03	0.532	
文学部	講義	922 38.02%	1,173 48.37%	199 8.21%	94 3.88%	34 1.40%	3 0.12%	2,425 100.00%	4.18	0.844	4.19	0.435	
	演習	350 40.51%	403 46.64%	77 8.91%	28 3.24%	6 0.69%	0 0.00%	864 100.00%	4.23	0.796	4.20	0.435	
	計	1,272 38.87%	1,576 47.92%	276 8.39%	122 3.71%	40 1.22%	3 0.09%	3,289 100.00%	4.19	0.832	4.19	0.434	
理学部	講義	611 32.04%	903 47.35%	239 12.48%	110 5.77%	40 2.10%	5 0.26%	1,907 100.00%	4.02	0.931	4.01	0.506	
	演習	115 27.91%	216 52.43%	60 14.56%	15 3.64%	6 1.46%	0 0.00%	412 100.00%	4.02	0.838	4.05	0.350	
	計	726 31.31%	1,119 48.25%	298 12.85%	125 5.39%	46 1.98%	5 0.22%	2,319 100.00%	4.02	0.915	4.02	0.478	
国際社会科学部	講義	446 34.98%	587 46.04%	123 9.65%	79 6.20%	35 2.75%	5 0.39%	1,275 100.00%	4.05	0.971	3.98	0.558	
	演習	16 30.77%	24 46.15%	9 17.31%	3 5.77%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.02	0.852	3.97	0.532	
	語学	103 34.68%	158 53.20%	26 8.75%	7 2.36%	3 1.01%	0 0.00%	297 100.00%	4.18	0.767	4.18	0.340	
	計	565 34.79%	769 47.35%	158 9.73%	89 5.48%	38 2.34%	5 0.31%	1,624 100.00%	4.07	0.934	4.06	0.485	
教職課程	講義	92 26.14%	163 46.31%	57 16.19%	27 7.67%	13 3.69%	0 0.00%	352 100.00%	3.84	1.019	4.11	0.520	
	演習	96 38.25%	125 49.80%	26 10.36%	2 0.80%	2 0.80%	0 0.00%	251 100.00%	4.24	0.731	4.22	0.323	
	計	188 31.18%	288 47.76%	83 13.76%	29 4.81%	15 2.49%	0 0.00%	603 100.00%	4.00	0.931	4.17	0.422	
学芸員	講義	70 28.00%	139 55.60%	23 9.20%	13 5.20%	3 1.20%	2 0.80%	250 100.00%	4.05	0.833	4.18	0.376	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	70 28.00%	139 55.60%	23 9.20%	13 5.20%	3 1.20%	2 0.80%	250 100.00%	4.05	0.833	4.18	0.376	
合計	7,260 35.29%	9,871 47.98%	2,126 10.33%	901 4.38%	374 1.82%	42 0.20%	20,574 100.00%	4.11	0.886	4.13	0.437		

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	5,716 35.02%	7,795 47.76%	1,673 10.25%	767 4.70%	329 2.02%	41 0.25%	16,321 100.00%	4.09	0.903	4.11	0.466
演習	834 37.37%	1,058 47.40%	258 11.56%	63 2.82%	18 0.81%	1 0.04%	2,232 100.00%	4.18	0.802	4.18	0.386
語学	710 35.13%	1,018 50.37%	195 9.65%	71 3.51%	27 1.34%	0 0.00%	2,021 100.00%	4.14	0.829	4.14	0.391
合計	7,260 35.29%	9,871 47.98%	2,126 10.33%	901 4.38%	374 1.82%	42 0.20%	20,574 100.00%	4.11	0.886	4.13	0.437

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	4,088 35.83%	5,509 48.28%	1,192 10.45%	450 3.94%	150 1.31%	22 0.19%	11,411 100.00%	4.14	0.850
学部2年	1,866 33.28%	2,761 49.24%	586 10.45%	265 4.73%	117 2.09%	12 0.21%	5,607 100.00%	4.07	0.901
学部3年	1,085 37.30%	1,299 44.65%	278 9.56%	148 5.09%	92 3.16%	7 0.24%	2,909 100.00%	4.08	0.976
学部4年	212 34.14%	291 46.86%	66 10.63%	37 5.96%	14 2.25%	1 0.16%	621 100.00%	4.05	0.943

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	611 36.18%	807 47.78%	186 11.01%	65 3.85%	18 1.07%	2 0.12%	1,689 100.00%	4.14	0.838	4.15	0.399
26~50名	1,386 36.55%	1,873 49.39%	350 9.23%	134 3.53%	46 1.21%	3 0.08%	3,792 100.00%	4.17	0.825	4.17	0.434
51~100名	1,753 35.55%	2,336 47.37%	538 10.91%	206 4.18%	85 1.72%	13 0.26%	4,931 100.00%	4.11	0.881	4.12	0.447
101~200名	1,242 36.32%	1,581 46.23%	338 9.88%	165 4.82%	88 2.57%	6 0.18%	3,420 100.00%	4.09	0.938	4.07	0.483
201名以上	2,268 33.64%	3,274 48.56%	714 10.59%	331 4.91%	137 2.03%	18 0.27%	6,742 100.00%	4.07	0.905	4.08	0.424
合計	7,260 35.29%	9,871 47.98%	2,126 10.33%	901 4.38%	374 1.82%	42 0.20%	20,574 100.00%	4.11	0.886	4.13	0.437

Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	355 25.18%	585 41.49%	298 21.13%	129 9.15%	39 2.77%	4 0.28%	1,410 100.00%	3.77	1.015	3.78	0.479
外七	語学	613 35.56%	725 42.05%	247 14.33%	98 5.68%	36 2.09%	5 0.29%	1,724 100.00%	4.04	0.957	4.04	0.511
スポーツ	演習	29 11.65%	69 27.71%	77 30.92%	53 21.29%	21 8.43%	0 0.00%	249 100.00%	3.13	1.132	3.14	0.434
基礎教養	講義	867 39.77%	861 39.50%	280 12.84%	120 5.50%	43 1.97%	9 0.41%	2,180 100.00%	4.10	0.958	4.08	0.518
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	867 39.77%	861 39.50%	280 12.84%	120 5.50%	43 1.97%	9 0.41%	2,180 100.00%	4.10	0.958	4.08	0.518
法学部	講義	988 28.86%	1,438 42.00%	596 17.41%	294 8.59%	103 3.01%	5 0.15%	3,424 100.00%	3.85	1.028	3.86	0.556
	演習	149 50.34%	107 36.15%	27 9.12%	11 3.72%	2 0.68%	0 0.00%	296 100.00%	4.32	0.840	4.34	0.426
	計	1,137 30.56%	1,545 41.53%	623 16.75%	305 8.20%	105 2.82%	5 0.13%	3,720 100.00%	3.89	1.022	3.97	0.566
経済学部	講義	846 27.31%	1,265 40.83%	592 19.11%	268 8.65%	116 3.74%	11 0.36%	3,098 100.00%	3.80	1.054	3.85	0.635
	演習	60 55.56%	43 39.81%	4 3.70%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.50	0.619	4.51	0.333
	計	906 28.26%	1,308 40.80%	596 18.59%	269 8.39%	116 3.62%	11 0.34%	3,206 100.00%	3.82	1.050	3.93	0.643
文学部	講義	839 34.80%	975 40.21%	345 14.23%	179 7.38%	82 3.38%	5 0.21%	2,425 100.00%	3.95	1.043	3.95	0.652
	演習	367 42.48%	362 41.90%	85 9.84%	39 4.51%	11 1.27%	0 0.00%	864 100.00%	4.20	0.883	4.20	0.526
	計	1,206 36.67%	1,337 40.65%	430 13.07%	218 6.63%	93 2.83%	5 0.15%	3,289 100.00%	4.02	1.009	4.04	0.618
理学部	講義	538 28.21%	838 43.94%	345 18.09%	130 6.82%	54 2.83%	2 0.10%	1,907 100.00%	3.88	0.989	3.87	0.491
	演習	108 26.21%	205 49.76%	69 16.75%	24 5.83%	5 1.21%	1 0.24%	412 100.00%	3.94	0.879	4.02	0.415
	計	646 27.86%	1,043 44.98%	414 17.85%	154 6.64%	59 2.54%	3 0.13%	2,319 100.00%	3.89	0.970	3.90	0.479
国際社会科学部	講義	346 27.14%	594 46.59%	207 16.24%	100 7.84%	23 1.80%	5 0.39%	1,275 100.00%	3.90	0.951	3.84	0.486
	演習	27 51.92%	18 34.62%	4 7.69%	2 3.85%	1 1.92%	0 0.00%	52 100.00%	4.31	0.919	4.29	0.511
	語学	153 51.52%	119 40.07%	23 7.74%	2 0.67%	0 0.00%	0 0.00%	297 100.00%	4.42	0.664	4.42	0.275
	計	526 32.39%	731 45.01%	234 14.41%	104 6.40%	24 1.48%	5 0.31%	1,624 100.00%	4.01	0.928	4.10	0.499
教職課程	講義	90 25.57%	135 38.35%	72 20.45%	36 10.23%	19 5.40%	0 0.00%	352 100.00%	3.68	1.122	3.85	0.613
	演習	93 37.05%	111 44.22%	27 10.76%	15 5.98%	5 1.99%	0 0.00%	251 100.00%	4.08	0.945	4.05	0.444
	計	183 30.35%	246 40.80%	99 16.42%	51 8.46%	24 3.98%	0 0.00%	603 100.00%	3.85	1.069	3.96	0.530
学芸員	講義	39 15.60%	95 38.00%	41 16.40%	43 17.20%	30 12.00%	2 0.80%	250 100.00%	3.28	1.263	3.51	0.741
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	39 15.60%	95 38.00%	41 16.40%	43 17.20%	30 12.00%	2 0.80%	250 100.00%	3.28	1.263	3.51	0.741
合計	6,507 31.63%	8,545 41.53%	3,339 16.23%	1,544 7.50%	590 2.87%	49 0.24%	20,574 100.00%	3.92	1.016	3.96	0.576	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,908 30.07%	6,786 41.58%	2,776 17.01%	1,299 7.96%	509 3.12%	43 0.26%	16,321 100.00%	3.88	1.028	3.89	0.578
演習	833 37.32%	915 40.99%	293 13.13%	145 6.50%	45 2.02%	1 0.04%	2,232 100.00%	4.05	0.972	4.06	0.607
語学	766 37.90%	844 41.76%	270 13.36%	100 4.95%	36 1.78%	5 0.25%	2,021 100.00%	4.09	0.930	4.09	0.501
合計	6,507 31.63%	8,545 41.53%	3,339 16.23%	1,544 7.50%	590 2.87%	49 0.24%	20,574 100.00%	3.92	1.016	3.96	0.576

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,715 32.56%	4,792 41.99%	1,838 16.11%	781 6.84%	259 2.27%	26 0.23%	11,411 100.00%	3.96	0.983
学部2年	1,582 28.21%	2,389 42.61%	959 17.10%	460 8.20%	201 3.58%	16 0.29%	5,607 100.00%	3.84	1.040
学部3年	996 34.24%	1,100 37.81%	444 15.26%	254 8.73%	110 3.78%	5 0.17%	2,909 100.00%	3.90	1.085
学部4年	205 33.01%	252 40.58%	96 15.46%	48 7.73%	18 2.90%	2 0.32%	621 100.00%	3.93	1.027

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	686 40.62%	674 39.91%	201 11.90%	94 5.57%	31 1.84%	3 0.18%	1,689 100.00%	4.12	0.949	4.11	0.589
26～50名	1,271 33.52%	1,597 42.11%	571 15.06%	251 6.62%	97 2.56%	5 0.13%	3,792 100.00%	3.98	0.991	3.98	0.584
51～100名	1,489 30.20%	2,006 40.68%	872 17.68%	384 7.79%	169 3.43%	11 0.22%	4,931 100.00%	3.87	1.041	3.90	0.572
101～200名	1,143 33.42%	1,386 40.53%	518 15.15%	251 7.34%	112 3.27%	10 0.29%	3,420 100.00%	3.94	1.036	3.92	0.588
201名以上	1,918 28.45%	2,882 42.75%	1,177 17.46%	564 8.37%	181 2.68%	20 0.30%	6,742 100.00%	3.86	1.010	3.86	0.509
合計	6,507 31.63%	8,545 41.53%	3,339 16.23%	1,544 7.50%	590 2.87%	49 0.24%	20,574 100.00%	3.92	1.016	3.96	0.576

Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
計七	講義	88 6.24%	175 12.41%	413 29.29%	416 29.50%	315 22.34%	3 0.21%	1,410 100.00%	2.51	1.150	2.54	0.417	
外七	語学	436 25.29%	453 26.28%	385 22.33%	270 15.66%	179 10.38%	1 0.06%	1,724 100.00%	3.40	1.298	3.44	0.930	
スポーツ	演習	14 5.62%	20 8.03%	56 22.49%	82 32.93%	77 30.92%	0 0.00%	249 100.00%	2.24	1.143	2.26	0.560	
基礎教養	講義	383 17.57%	493 22.61%	545 25.00%	458 21.01%	295 13.53%	6 0.28%	2,180 100.00%	3.10	1.295	3.10	0.796	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	383 17.57%	493 22.61%	545 25.00%	458 21.01%	295 13.53%	6 0.28%	2,180 100.00%	3.10	1.295	3.10	0.796	
法学部	講義	390 11.39%	612 17.87%	942 27.51%	835 24.39%	639 18.66%	6 0.18%	3,424 100.00%	2.79	1.258	2.78	0.588	
	演習	122 41.22%	79 26.69%	43 14.53%	34 11.49%	18 6.08%	0 0.00%	296 100.00%	3.85	1.244	3.95	0.752	
	計	512 13.76%	691 18.58%	985 26.48%	869 23.36%	657 17.66%	6 0.16%	3,720 100.00%	2.87	1.290	3.05	0.801	
経済学部	講義	318 10.26%	606 19.56%	959 30.96%	699 22.56%	509 16.43%	7 0.23%	3,098 100.00%	2.85	1.212	2.96	0.634	
	演習	59 54.63%	37 34.26%	8 7.41%	4 3.70%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.40	0.785	4.39	0.385	
	計	377 11.76%	643 20.06%	967 30.16%	703 21.93%	509 15.88%	7 0.22%	3,206 100.00%	2.90	1.232	3.14	0.774	
文学部	講義	365 15.05%	497 20.49%	678 27.96%	535 22.06%	347 14.31%	3 0.12%	2,425 100.00%	3.00	1.266	3.09	0.854	
	演習	281 32.52%	253 29.28%	164 18.98%	112 12.96%	54 6.25%	0 0.00%	864 100.00%	3.69	1.225	3.73	0.898	
	計	646 19.64%	750 22.80%	842 25.60%	647 19.67%	401 12.19%	3 0.09%	3,289 100.00%	3.18	1.291	3.33	0.924	
理学部	講義	190 9.96%	463 24.28%	589 30.83%	439 23.02%	222 11.64%	5 0.26%	1,907 100.00%	2.98	1.158	3.02	0.521	
	演習	57 13.83%	140 33.98%	92 22.33%	78 18.93%	45 10.92%	0 0.00%	412 100.00%	3.21	1.216	3.36	0.755	
	計	247 10.65%	603 26.00%	681 29.32%	517 22.29%	267 11.51%	5 0.22%	2,319 100.00%	3.02	1.172	3.08	0.588	
国際社会科学部	講義	137 10.75%	245 19.22%	298 23.37%	351 27.53%	234 18.35%	10 0.78%	1,275 100.00%	2.76	1.261	2.82	0.572	
	演習	21 40.38%	23 44.23%	4 7.69%	3 5.77%	1 1.92%	0 0.00%	52 100.00%	4.15	0.937	4.15	0.786	
	語学	174 58.59%	97 32.66%	18 6.06%	5 1.68%	2 0.67%	1 0.34%	297 100.00%	4.47	0.745	4.48	0.283	
	計	332 20.44%	365 22.48%	320 19.70%	359 22.11%	237 14.59%	11 0.68%	1,624 100.00%	3.12	1.359	3.59	0.949	
教職課程	講義	81 23.01%	66 18.75%	61 17.33%	73 20.74%	71 20.17%	0 0.00%	352 100.00%	3.04	1.458	3.04	1.041	
	演習	75 29.88%	79 31.47%	49 19.52%	30 11.95%	18 7.17%	0 0.00%	251 100.00%	3.65	1.225	3.67	0.730	
	計	156 25.87%	145 24.05%	110 18.24%	103 17.08%	89 14.76%	0 0.00%	603 100.00%	3.29	1.398	3.38	0.929	
学芸員	講義	13 5.20%	37 14.80%	52 20.80%	60 24.00%	87 34.80%	1 0.40%	250 100.00%	2.31	1.237	2.51	0.953	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	13 5.20%	37 14.80%	52 20.80%	60 24.00%	87 34.80%	1 0.40%	250 100.00%	2.31	1.237	2.51	0.953	
合計	3,204 15.57%	4,375 21.26%	5,355 26.03%	4,484 21.79%	3,113 15.13%	43 0.21%	20,574 100.00%	3.00	1.289	3.19	0.875		

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース					
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差	
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差	
講義	1,965 12.04%	3,194 19.57%	4,536 27.79%	3,866 23.69%	2,719 16.66%	41 0.25%	16,321 100.00%	2.87	1.252	2.92	0.710	
演習	629 28.18%	631 28.27%	416 18.64%	343 15.37%	213 9.54%	0 0.00%	2,232 100.00%	3.50	1.302	3.56	0.962	
語学	610 30.18%	550 27.21%	403 19.94%	275 13.61%	181 8.96%	2 0.10%	2,021 100.00%	3.56	1.289	3.59	0.941	
合計	3,204 15.57%	4,375 21.26%	5,355 26.03%	4,484 21.79%	3,113 15.13%	43 0.21%	20,574 100.00%	3.00	1.289	3.19	0.875	

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年	1,781 15.61%	2,164 18.96%	2,919 25.58%	2,672 23.42%	1,849 16.20%	26 0.23%	11,411 100.00%	2.94	1.303
学部2年	778 13.88%	1,343 23.95%	1,581 28.20%	1,133 20.21%	761 13.57%	11 0.20%	5,607 100.00%	3.04	1.241
学部3年	525 18.05%	714 24.54%	708 24.34%	538 18.49%	419 14.40%	5 0.17%	2,909 100.00%	3.13	1.309
学部4年	115 18.52%	149 23.99%	138 22.22%	139 22.38%	79 12.72%	1 0.16%	621 100.00%	3.13	1.304

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース					
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差	
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差	
25名以下	601 35.58%	487 28.83%	284 15.63%	194 11.49%	141 8.35%	2 0.12%	1,689 100.00%	3.72	1.283	3.71	0.983	
26～50名	776 20.46%	943 24.87%	880 23.21%	713 18.80%	475 12.53%	5 0.13%	3,792 100.00%	3.22	1.308	3.27	0.924	
51～100名	603 12.23%	979 19.85%	1,375 27.88%	1,160 23.52%	805 16.33%	9 0.18%	4,931 100.00%	2.88	1.251	2.97	0.738	
101～200名	466 13.63%	686 20.06%	925 27.05%	779 22.78%	558 16.32%	6 0.18%	3,420 100.00%	2.92	1.274	2.93	0.721	
201名以上	758 11.24%	1,280 18.99%	1,911 28.34%	1,638 24.30%	1,134 16.82%	21 0.31%	6,742 100.00%	2.83	1.238	2.87	0.510	
合計	3,204 15.57%	4,375 21.26%	5,355 26.03%	4,484 21.79%	3,113 15.13%	43 0.21%	20,574 100.00%	3.00	1.289	3.19	0.875	

Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	425 30.14%	708 50.21%	181 12.84%	69 4.89%	26 1.84%	1 0.07%	1,410 100.00%	4.02	0.890	4.02	0.463
外七	語学	579 33.58%	837 48.55%	181 10.50%	92 5.34%	32 1.86%	3 0.17%	1,724 100.00%	4.07	0.905	4.06	0.496
スポーツ	演習	65 26.10%	152 61.04%	30 12.05%	1 0.40%	1 0.40%	0 0.00%	249 100.00%	4.12	0.649	4.12	0.229
基礎教養	講義	779 35.73%	1,123 51.51%	172 7.89%	74 3.39%	27 1.24%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.17	0.809	4.18	0.367
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	779 35.73%	1,123 51.51%	172 7.89%	74 3.39%	27 1.24%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.17	0.809	4.18	0.367
法学部	講義	1,005 29.35%	1,589 46.41%	520 15.19%	208 6.07%	97 2.83%	5 0.15%	3,424 100.00%	3.94	0.970	3.94	0.510
	演習	130 43.92%	127 42.91%	24 8.11%	11 3.72%	3 1.01%	1 0.34%	296 100.00%	4.25	0.837	4.24	0.425
	計	1,135 30.51%	1,716 46.13%	544 14.62%	219 5.89%	100 2.69%	6 0.16%	3,720 100.00%	3.96	0.964	4.01	0.506
経済学部	講義	876 28.28%	1,397 45.09%	440 14.20%	228 7.36%	150 4.84%	7 0.23%	3,098 100.00%	3.85	1.065	3.91	0.631
	演習	47 43.52%	52 48.15%	8 7.41%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.34	0.658	4.34	0.291
	計	923 28.79%	1,449 45.20%	448 13.97%	229 7.14%	150 4.68%	7 0.22%	3,206 100.00%	3.86	1.058	3.96	0.616
文学部	講義	824 33.98%	1,204 49.65%	243 10.02%	106 4.37%	43 1.77%	5 0.21%	2,425 100.00%	4.10	0.876	4.11	0.497
	演習	363 42.01%	388 44.91%	78 9.03%	26 3.01%	9 1.04%	0 0.00%	864 100.00%	4.24	0.818	4.23	0.512
	計	1,187 36.09%	1,592 48.40%	321 9.76%	132 4.01%	52 1.58%	5 0.15%	3,289 100.00%	4.14	0.863	4.16	0.505
理学部	講義	541 28.37%	898 47.09%	275 14.42%	122 6.40%	83 3.30%	8 0.42%	1,907 100.00%	3.91	0.989	3.91	0.561
	演習	99 24.03%	194 47.09%	90 21.84%	20 4.85%	8 1.94%	1 0.24%	412 100.00%	3.87	0.902	3.93	0.493
	計	640 27.60%	1,092 47.09%	365 15.74%	142 6.12%	91 3.06%	9 0.39%	2,319 100.00%	3.90	0.974	3.92	0.547
国際社会科学部	講義	369 28.94%	603 47.29%	148 11.61%	95 7.45%	53 4.16%	7 0.55%	1,275 100.00%	3.90	1.036	3.84	0.612
	演習	22 42.31%	22 42.31%	3 5.77%	4 7.69%	1 1.92%	0 0.00%	52 100.00%	4.15	0.978	4.13	0.708
	語学	130 43.77%	141 47.47%	17 5.72%	6 2.02%	1 0.34%	2 0.67%	297 100.00%	4.33	0.708	4.34	0.256
	計	521 32.08%	766 47.17%	168 10.34%	105 6.47%	55 3.39%	9 0.55%	1,624 100.00%	3.99	0.997	4.06	0.557
教職課程	講義	76 21.59%	164 46.59%	66 18.75%	34 9.66%	11 3.13%	1 0.28%	352 100.00%	3.74	1.005	3.99	0.519
	演習	95 37.85%	122 48.61%	28 11.16%	3 1.20%	3 1.20%	0 0.00%	251 100.00%	4.21	0.778	4.18	0.326
	計	171 28.36%	286 47.43%	94 15.59%	37 6.14%	14 2.32%	1 0.17%	603 100.00%	3.94	0.945	4.09	0.429
学芸員	講義	56 22.40%	135 54.00%	41 16.40%	9 3.60%	7 2.80%	2 0.80%	250 100.00%	3.90	0.886	4.06	0.403
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	56 22.40%	135 54.00%	41 16.40%	9 3.60%	7 2.80%	2 0.80%	250 100.00%	3.90	0.886	4.06	0.403
合計	6,481 31.50%	9,856 47.91%	2,545 12.37%	1,109 5.39%	535 2.60%	48 0.23%	20,574 100.00%	4.01	0.944	4.06	0.508	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,951 30.34%	7,821 47.92%	2,086 12.78%	945 5.79%	477 2.92%	41 0.25%	16,321 100.00%	3.97	0.963	4.01	0.528
演習	821 36.78%	1,057 47.36%	261 11.69%	66 2.96%	25 1.12%	2 0.09%	2,232 100.00%	4.16	0.824	4.18	0.454
語学	709 35.08%	978 48.39%	198 9.80%	98 4.85%	33 1.63%	5 0.25%	2,021 100.00%	4.11	0.884	4.10	0.478
合計	6,481 31.50%	9,856 47.91%	2,545 12.37%	1,109 5.39%	535 2.60%	48 0.23%	20,574 100.00%	4.01	0.944	4.06	0.508

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,620 31.72%	5,508 48.27%	1,429 12.52%	597 5.23%	236 2.07%	21 0.18%	11,411 100.00%	4.03	0.916
学部2年	1,625 28.98%	2,790 49.76%	701 12.50%	308 5.49%	165 2.94%	18 0.32%	5,607 100.00%	3.97	0.949
学部3年	1,022 35.13%	1,273 43.76%	323 11.10%	175 6.02%	109 3.75%	7 0.24%	2,909 100.00%	4.01	1.021
学部4年	205 33.01%	273 43.96%	89 14.33%	28 4.51%	24 3.86%	2 0.32%	621 100.00%	3.98	1.003

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	647 38.31%	783 46.36%	188 9.95%	58 3.43%	28 1.66%	5 0.30%	1,689 100.00%	4.17	0.863	4.17	0.460
26~50名	1,284 33.86%	1,841 48.55%	434 11.45%	167 4.40%	58 1.53%	8 0.21%	3,792 100.00%	4.09	0.872	4.10	0.511
51~100名	1,513 30.68%	2,415 48.98%	613 12.43%	259 5.25%	119 2.41%	12 0.24%	4,931 100.00%	4.01	0.928	4.02	0.493
101~200名	1,090 31.87%	1,604 46.90%	421 12.31%	196 5.73%	105 3.07%	4 0.12%	3,420 100.00%	3.99	0.974	3.97	0.545
201名以上	1,947 28.88%	3,213 47.66%	909 13.48%	429 6.36%	225 3.34%	19 0.28%	6,742 100.00%	3.93	0.988	3.94	0.521
合計	6,481 31.50%	9,856 47.91%	2,545 12.37%	1,109 5.39%	535 2.60%	48 0.23%	20,574 100.00%	4.01	0.944	4.06	0.508

Q9 この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
計七	講義	367 26.03%	719 50.99%	208 14.75%	92 6.52%	22 1.56%	2 0.14%	1,410 100.00%	3.94	0.898	3.95	0.341	
外七	語学	547 31.73%	871 50.52%	201 11.66%	75 4.35%	29 1.68%	1 0.06%	1,724 100.00%	4.06	0.870	4.07	0.390	
スポーツ	演習	58 23.29%	130 52.21%	46 18.47%	12 4.82%	3 1.20%	0 0.00%	249 100.00%	3.92	0.845	3.92	0.364	
基礎教養	講義	738 33.85%	1,108 50.83%	205 9.40%	97 4.45%	28 1.28%	4 0.18%	2,180 100.00%	4.12	0.845	4.12	0.356	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	738 33.85%	1,108 50.83%	205 9.40%	97 4.45%	28 1.28%	4 0.18%	2,180 100.00%	4.12	0.845	4.12	0.356	
法学部	講義	949 27.72%	1,704 49.77%	446 13.03%	240 7.01%	84 2.45%	1 0.03%	3,424 100.00%	3.93	0.951	3.94	0.458	
	演習	117 39.53%	130 43.92%	33 11.15%	13 4.39%	3 1.01%	0 0.00%	296 100.00%	4.17	0.865	4.15	0.398	
	計	1,066 28.66%	1,834 49.30%	479 12.88%	253 6.80%	87 2.34%	1 0.03%	3,720 100.00%	3.95	0.947	3.99	0.452	
経済学部	講義	816 26.34%	1,557 50.26%	471 15.20%	173 5.58%	73 2.36%	8 0.26%	3,098 100.00%	3.93	0.921	3.96	0.428	
	演習	45 41.67%	52 48.15%	10 9.26%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.31	0.676	4.31	0.324	
	計	861 26.86%	1,609 50.19%	481 15.00%	174 5.43%	73 2.28%	8 0.25%	3,206 100.00%	3.94	0.916	4.01	0.431	
文学部	講義	755 31.13%	1,213 50.02%	269 11.09%	147 6.08%	37 1.53%	4 0.16%	2,425 100.00%	4.03	0.896	4.02	0.468	
	演習	323 37.38%	405 46.88%	76 8.80%	52 6.02%	7 0.81%	1 0.12%	864 100.00%	4.14	0.870	4.13	0.496	
	計	1,078 32.78%	1,618 49.19%	345 10.49%	199 6.05%	44 1.34%	5 0.15%	3,289 100.00%	4.06	0.890	4.06	0.481	
理学部	講義	442 23.18%	986 51.70%	307 16.10%	131 6.87%	37 1.94%	4 0.21%	1,907 100.00%	3.87	0.910	3.90	0.407	
	演習	71 17.23%	210 50.97%	81 19.66%	36 8.74%	13 3.16%	1 0.24%	412 100.00%	3.71	0.959	3.73	0.441	
	計	513 22.12%	1,196 51.75%	388 16.73%	167 7.20%	50 2.16%	5 0.22%	2,319 100.00%	3.84	0.921	3.86	0.418	
国際社会科学部	講義	346 27.14%	661 51.84%	156 12.24%	73 5.73%	34 2.67%	5 0.39%	1,275 100.00%	3.95	0.930	3.87	0.468	
	演習	16 30.77%	23 44.23%	8 15.38%	3 5.77%	2 3.85%	0 0.00%	52 100.00%	3.92	1.026	3.92	0.641	
	語学	107 36.03%	146 49.16%	23 7.74%	18 6.06%	3 1.01%	0 0.00%	297 100.00%	4.13	0.870	4.14	0.406	
	計	469 28.88%	830 51.11%	187 11.51%	94 5.79%	39 2.40%	5 0.31%	1,624 100.00%	3.99	0.924	3.98	0.471	
教職課程	講義	88 25.00%	167 47.44%	59 16.76%	27 7.67%	10 2.84%	1 0.28%	352 100.00%	3.84	0.980	4.03	0.421	
	演習	94 37.45%	128 51.00%	24 9.56%	5 1.99%	0 0.00%	0 0.00%	251 100.00%	4.24	0.703	4.23	0.260	
	計	182 30.18%	295 48.92%	83 13.76%	32 5.31%	10 1.66%	1 0.17%	603 100.00%	4.01	0.896	4.14	0.352	
学芸員	講義	57 22.80%	145 58.00%	25 10.00%	18 7.20%	4 1.60%	1 0.40%	250 100.00%	3.94	0.873	4.08	0.361	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	57 22.80%	145 58.00%	25 10.00%	18 7.20%	4 1.60%	1 0.40%	250 100.00%	3.94	0.873	4.08	0.361	
合計	5,936 28.85%	10,355 50.33%	2,648 12.87%	1,213 5.90%	389 1.89%	33 0.16%	20,574 100.00%	3.99	0.908	4.02	0.429		

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース					
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差	
講義	4,558 27.93%	8,260 50.61%	2,146 13.15%	998 6.11%	329 2.02%	30 0.18%	16,321 100.00%	3.96	0.915	3.98	0.428	
演習	724 32.44%	1,078 48.30%	278 12.46%	122 5.47%	28 1.25%	2 0.09%	2,232 100.00%	4.05	0.882	4.07	0.460	
語学	654 32.36%	1,017 50.32%	224 11.08%	93 4.60%	32 1.58%	1 0.05%	2,021 100.00%	4.07	0.870	4.08	0.392	
合計	5,936 28.85%	10,355 50.33%	2,648 12.87%	1,213 5.90%	389 1.89%	33 0.16%	20,574 100.00%	3.99	0.908	4.02	0.429	

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,267 28.63%	5,753 50.42%	1,491 13.07%	691 6.06%	193 1.69%	16 0.14%	11,411 100.00%	3.98	0.901
学部2年	1,523 27.16%	2,925 52.17%	715 12.75%	319 5.69%	112 2.00%	13 0.23%	5,607 100.00%	3.97	0.899
学部3年	952 32.73%	1,352 46.48%	366 12.58%	171 5.88%	65 2.23%	3 0.10%	2,909 100.00%	4.02	0.944
学部4年	186 29.95%	313 50.40%	72 11.59%	31 4.99%	18 2.90%	1 0.16%	621 100.00%	4.00	0.937

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	578 34.22%	808 47.84%	203 12.02%	79 4.68%	20 1.18%	1 0.06%	1,689 100.00%	4.09	0.865	4.10	0.428
26~50名	1,136 29.96%	1,925 50.76%	438 11.55%	226 5.96%	64 1.69%	3 0.08%	3,792 100.00%	4.01	0.898	4.03	0.452
51~100名	1,349 27.36%	2,491 50.52%	681 13.81%	304 6.17%	97 1.97%	9 0.18%	4,931 100.00%	3.95	0.914	3.98	0.426
101~200名	1,019 29.80%	1,638 47.89%	435 12.72%	251 7.34%	70 2.05%	7 0.20%	3,420 100.00%	3.96	0.951	3.95	0.435
201名以上	1,854 27.50%	3,493 51.81%	891 13.22%	353 5.24%	138 2.05%	13 0.19%	6,742 100.00%	3.98	0.896	4.00	0.349
合計	5,936 28.85%	10,355 50.33%	2,648 12.87%	1,213 5.90%	389 1.89%	33 0.16%	20,574 100.00%	3.99	0.908	4.02	0.429

Q9-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース					
		5		4		無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		多い	少ない								
計七	講義	93	21	0	114	-	-	-	-	-	
		81.58%	18.42%	0.00%	100.00%						
外七	語学	55	48	1	104	-	-	-	-	-	
		52.88%	46.15%	0.96%	100.00%						
スポ健	演習	1	14	0	15	-	-	-	-	-	
		6.67%	93.33%	0.00%	100.00%						
基礎教養	講義	97	27	1	125	-	-	-	-	-	
		77.60%	21.60%	0.80%	100.00%						
	演習	0	0	0	0	0.00	0.000	0.00	0.000		
	計	97	27	1	125	-	-	-	-	-	
		77.60%	21.60%	0.80%	100.00%						
法学部	講義	268	51	5	324	-	-	-	-	-	
		82.72%	15.74%	1.54%	100.00%						
	演習	13	3	0	16	-	-	-	-	-	
	計	281	54	5	340	-	-	-	-	-	
		81.25%	18.75%	0.00%	100.00%						
経済学部	講義	186	51	9	246	-	-	-	-	-	
		75.61%	20.73%	3.66%	100.00%						
	演習	0	1	0	1	-	-	-	-	-	
	計	186	52	9	247	-	-	-	-	-	
		75.30%	21.05%	3.64%	100.00%						
文学部	講義	99	84	1	184	-	-	-	-	-	
		53.80%	45.65%	0.54%	100.00%						
	演習	31	27	1	59	-	-	-	-	-	
	計	130	111	2	243	-	-	-	-	-	
		53.50%	45.68%	0.82%	100.00%						
理学部	講義	148	18	2	168	-	-	-	-	-	
		88.10%	10.71%	1.19%	100.00%						
	演習	44	4	1	49	-	-	-	-	-	
	計	192	22	3	217	-	-	-	-	-	
		88.48%	10.14%	1.38%	100.00%						
国際社会科学部	講義	70	35	2	107	-	-	-	-	-	
		65.42%	32.71%	1.87%	100.00%						
	演習	1	4	0	5	-	-	-	-	-	
		20.00%	80.00%	0.00%	100.00%						
	語学	6	15	0	21	-	-	-	-	-	
	計	77	54	2	133	-	-	-	-	-	
		57.89%	40.60%	1.50%	100.00%						
教職課程	講義	15	22	0	37	-	-	-	-	-	
		40.54%	59.46%	0.00%	100.00%						
	演習	2	3	0	5	-	-	-	-	-	
	計	17	25	0	42	-	-	-	-	-	
		40.48%	59.52%	0.00%	100.00%						
学芸員	講義	9	11	2	22	-	-	-	-	-	
		40.91%	50.00%	9.09%	100.00%						
	演習	0	0	0	0	0.00	0.000	0.00	0.000		
	計	9	11	2	22	-	-	-	-	-	
		40.91%	50.00%	9.09%	100.00%						
合計		1,138	439	25	1,602	-	-	-	-	-	
		71.04%	27.40%	1.56%	100.00%						

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
講義	985	320	22	1,327	-	-
	74.23%	24.11%	1.66%	100.00%		
演習	92	56	2	150	-	-
	61.33%	37.33%	1.33%	100.00%		
語学	61	63	1	125	-	-
	48.80%	50.40%	0.80%	100.00%		
合計	1,138	439	25	1,602	-	-
	71.04%	27.40%	1.56%	100.00%		

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
学部1年	673	199	12	884	-	-
	76.13%	22.51%	1.36%	100.00%		
学部2年	283	144	4	431	-	-
	65.66%	33.41%	0.93%	100.00%		
学部3年	160	67	9	236	-	-
	67.80%	28.39%	3.81%	100.00%		
学部4年	21	28	0	49	-	-
	42.86%	57.14%	0.00%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	平均	標準偏差
25名以下	45	54	0	99	-	-
	45.45%	54.55%	0.00%	100.00%		
26~50名	176	111	3	290	-	-
	60.69%	38.28%	1.03%	100.00%		
51~100名	302	93	6	401	-	-
	75.31%	23.19%	1.50%	100.00%		
101~200名	244	74	3	321	-	-
	76.01%	23.05%	0.93%	100.00%		
201名以上	371	107	13	491	-	-
	75.56%	21.79%	2.65%	100.00%		
合計	1,138	439	25	1,602	-	-
	71.04%	27.40%	1.56%	100.00%		

Q10 この授業の水準に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
計七	講義	325 23.05%	766 54.33%	227 16.10%	70 4.96%	16 1.13%	6 0.43%	1,410 100.00%	3.94	0.832	3.95	0.389	
外七	語学	514 29.81%	894 51.86%	222 12.88%	64 3.71%	24 1.39%	6 0.35%	1,724 100.00%	4.05	0.837	4.05	0.402	
スポーツ	演習	53 21.29%	126 50.60%	56 22.49%	9 3.61%	5 2.01%	0 0.00%	249 100.00%	3.86	0.863	3.85	0.420	
基礎教養	講義	715 32.80%	1,137 52.16%	248 11.38%	50 2.29%	25 1.15%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.13	0.788	4.15	0.325	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	715 32.80%	1,137 52.16%	248 11.38%	50 2.29%	25 1.15%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.13	0.788	4.15	0.325	
法学部	講義	956 27.92%	1,744 50.93%	494 14.43%	150 4.38%	73 2.13%	7 0.20%	3,424 100.00%	3.98	0.890	3.99	0.444	
	演習	113 38.18%	140 47.30%	29 9.80%	12 4.05%	2 0.68%	0 0.00%	296 100.00%	4.18	0.820	4.18	0.423	
	計	1,069 28.74%	1,884 50.65%	523 14.06%	162 4.35%	75 2.02%	7 0.19%	3,720 100.00%	4.00	0.886	4.03	0.445	
経済学部	講義	756 24.40%	1,583 51.10%	534 17.24%	143 4.62%	72 2.32%	10 0.32%	3,098 100.00%	3.91	0.897	3.94	0.492	
	演習	47 43.52%	51 47.22%	9 8.33%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.33	0.670	4.34	0.307	
	計	803 25.05%	1,634 50.97%	543 16.94%	144 4.49%	72 2.25%	10 0.31%	3,206 100.00%	3.92	0.894	3.99	0.490	
文学部	講義	751 30.97%	1,248 51.40%	307 12.66%	82 3.38%	30 1.24%	7 0.29%	2,425 100.00%	4.08	0.824	4.09	0.433	
	演習	314 36.34%	429 49.65%	95 11.00%	22 2.55%	2 0.23%	2 0.23%	864 100.00%	4.20	0.748	4.20	0.404	
	計	1,065 32.38%	1,677 50.99%	402 12.22%	104 3.16%	32 0.97%	9 0.27%	3,289 100.00%	4.11	0.806	4.13	0.424	
理学部	講義	451 23.65%	866 50.66%	339 17.78%	98 5.14%	43 2.25%	10 0.52%	1,907 100.00%	3.89	0.903	3.90	0.447	
	演習	73 17.72%	203 49.27%	106 25.73%	19 4.61%	9 2.18%	2 0.49%	412 100.00%	3.76	0.874	3.81	0.400	
	計	524 22.60%	1,169 50.41%	445 19.19%	117 5.05%	52 2.24%	12 0.52%	2,319 100.00%	3.87	0.899	3.88	0.438	
国際社会科学部	講義	322 25.25%	687 53.88%	165 12.94%	72 5.65%	25 1.96%	4 0.31%	1,275 100.00%	3.95	0.886	3.88	0.485	
	演習	16 30.77%	27 51.92%	3 5.77%	4 7.69%	1 1.92%	1 1.92%	52 100.00%	4.04	0.937	4.04	0.682	
	語学	104 35.02%	159 53.54%	27 9.09%	5 1.68%	1 0.34%	1 0.34%	297 100.00%	4.22	0.704	4.23	0.357	
	計	442 27.22%	873 53.76%	195 12.01%	81 4.99%	27 1.66%	6 0.37%	1,624 100.00%	4.00	0.863	4.03	0.481	
教職課程	講義	74 21.02%	173 49.15%	80 22.73%	18 5.11%	7 1.99%	0 0.00%	352 100.00%	3.82	0.890	4.03	0.451	
	演習	88 35.06%	134 53.39%	25 9.96%	0 0.00%	2 0.80%	2 0.80%	251 100.00%	4.23	0.690	4.23	0.266	
	計	162 26.87%	307 50.91%	105 17.41%	18 2.99%	9 1.49%	2 0.33%	603 100.00%	3.99	0.837	4.14	0.370	
学芸員	講義	58 23.20%	136 54.40%	38 15.20%	11 4.40%	4 1.60%	3 1.20%	250 100.00%	3.94	0.844	4.08	0.369	
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000	
	計	58 23.20%	136 54.40%	38 15.20%	11 4.40%	4 1.60%	3 1.20%	250 100.00%	3.94	0.844	4.08	0.369	
合計	5,730 27.85%	10,603 51.54%	3,004 14.60%	830 4.03%	341 1.66%	66 0.32%	20,574 100.00%	4.00	0.859	4.04	0.432		

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,408 27.01%	8,440 51.71%	2,432 14.90%	694 4.25%	295 1.81%	52 0.32%	16,321 100.00%	3.98	0.868	4.00	0.439
演習	704 31.54%	1,110 49.73%	323 14.47%	67 3.00%	21 0.94%	7 0.31%	2,232 100.00%	4.08	0.813	4.11	0.431
語学	618 30.58%	1,053 52.10%	249 12.32%	69 3.41%	25 1.24%	7 0.35%	2,021 100.00%	4.08	0.821	4.08	0.400
合計	5,730 27.85%	10,603 51.54%	3,004 14.60%	830 4.03%	341 1.66%	66 0.32%	20,574 100.00%	4.00	0.859	4.04	0.432

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,090 27.08%	5,929 51.96%	1,714 15.02%	472 4.14%	168 1.47%	38 0.33%	11,411 100.00%	3.99	0.849
学部2年	1,502 26.79%	2,946 52.54%	812 14.48%	228 4.07%	100 1.78%	19 0.34%	5,607 100.00%	3.99	0.859
学部3年	943 32.42%	1,411 48.50%	378 12.99%	111 3.82%	59 2.03%	7 0.24%	2,909 100.00%	4.06	0.888
学部4年	186 29.95%	304 48.95%	96 15.46%	19 3.06%	14 2.25%	2 0.32%	621 100.00%	4.02	0.885

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	554 32.80%	847 50.15%	207 12.26%	55 3.26%	19 1.12%	7 0.41%	1,689 100.00%	4.11	0.821	4.11	0.446
26～50名	1,119 29.51%	1,954 51.53%	525 13.84%	136 3.59%	46 1.21%	12 0.32%	3,792 100.00%	4.05	0.828	4.07	0.433
51～100名	1,308 26.53%	2,540 51.51%	777 15.76%	202 4.10%	85 1.72%	19 0.39%	4,931 100.00%	3.97	0.863	4.00	0.434
101～200名	977 28.57%	1,702 49.77%	506 14.80%	155 4.53%	70 2.05%	10 0.29%	3,420 100.00%	3.99	0.895	3.97	0.447
201名以上	1,772 26.28%	3,560 52.80%	989 14.67%	282 4.18%	121 1.79%	18 0.27%	6,742 100.00%	3.98	0.860	4.01	0.368
合計	5,730 27.85%	10,603 51.54%	3,004 14.60%	830 4.03%	341 1.66%	66 0.32%	20,574 100.00%	4.00	0.859	4.04	0.432

Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		高すぎる	低すぎる						
計七	講義	63 73.26%	21 24.42%	2 2.33%	86 100.00%	-	-	-	-
外七	語学	33 37.50%	51 57.95%	4 4.55%	88 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 7.14%	11 78.57%	2 14.29%	14 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	31 41.33%	43 57.33%	1 1.33%	75 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	31 41.33%	43 57.33%	1 1.33%	75 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	150 67.26%	60 26.91%	13 5.83%	223 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 57.14%	6 42.86%	0 0.00%	14 100.00%	-	-	-	-
	計	158 66.67%	66 27.85%	13 5.49%	237 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	92 42.79%	109 50.70%	14 6.51%	215 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	-	-	-	-
	計	93 43.06%	109 50.48%	14 6.48%	216 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	44 39.29%	63 56.23%	5 4.46%	112 100.00%	-	-	-	-
	演習	12 50.00%	10 41.67%	2 8.33%	24 100.00%	-	-	-	-
	計	56 41.18%	73 53.68%	7 5.15%	136 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	109 77.30%	31 21.99%	1 0.71%	141 100.00%	-	-	-	-
	演習	20 71.43%	6 21.43%	2 7.14%	28 100.00%	-	-	-	-
	計	129 76.33%	37 21.89%	3 1.78%	169 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	51 52.58%	43 44.33%	3 3.09%	97 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	5 100.00%	0 0.00%	5 100.00%	-	-	-	-
	語学	0 0.00%	6 100.00%	0 0.00%	6 100.00%	-	-	-	-
	計	51 47.22%	54 50.00%	3 2.78%	108 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	4 16.00%	19 76.00%	2 8.00%	25 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	2 100.00%	0 0.00%	2 100.00%	-	-	-	-
	計	4 14.81%	21 77.78%	2 7.41%	27 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	5 33.33%	9 60.00%	1 6.67%	15 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	5 33.33%	9 60.00%	1 6.67%	15 100.00%	-	-	-	-
合計	624 53.29%	495 42.27%	52 4.44%	1,171 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
高すぎる	低すぎる					
講義	549 55.51%	398 40.24%	42 4.25%	989 100.00%	-	-
演習	42 47.73%	40 45.45%	6 6.82%	88 100.00%	-	-
語学	33 35.11%	57 60.64%	4 4.26%	94 100.00%	-	-
合計	624 53.29%	495 42.27%	52 4.44%	1,171 100.00%	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
高すぎる	低すぎる					
学部1年	342 53.44%	271 42.34%	27 4.22%	640 100.00%	-	-
学部2年	180 54.88%	138 42.07%	10 3.05%	328 100.00%	-	-
学部3年	91 53.53%	66 38.82%	13 7.65%	170 100.00%	-	-
学部4年	11 33.33%	20 60.61%	2 6.06%	33 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
高すぎる	低すぎる					
25名以下	25 33.78%	48 64.86%	1 1.35%	74 100.00%	-	-
26~50名	86 47.25%	86 47.25%	10 5.49%	182 100.00%	-	-
51~100名	184 64.11%	93 32.40%	10 3.48%	287 100.00%	-	-
101~200名	123 54.67%	92 40.89%	10 4.44%	225 100.00%	-	-
201名以上	206 51.12%	176 43.67%	21 5.21%	403 100.00%	-	-
合計	624 53.29%	495 42.27%	52 4.44%	1,171 100.00%	-	-

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
計七	講義	283 20.07%	731 51.84%	278 19.72%	93 6.60%	17 1.21%	8 0.57%	1,410 100.00%	3.83	0.865	3.87	0.316
外七	語学	468 27.15%	877 50.87%	265 15.37%	81 4.70%	28 1.62%	5 0.29%	1,724 100.00%	3.97	0.873	3.98	0.422
スポーツ	演習	42 16.87%	140 56.22%	43 17.27%	20 8.03%	3 1.20%	1 0.40%	249 100.00%	3.80	0.858	3.81	0.370
基礎教養	講義	914 41.93%	1,054 48.35%	151 6.93%	43 1.97%	15 0.69%	3 0.14%	2,180 100.00%	4.29	0.739	4.30	0.262
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	914 41.93%	1,054 48.35%	151 6.93%	43 1.97%	15 0.69%	3 0.14%	2,180 100.00%	4.29	0.739	4.30	0.262
法学部	講義	1,047 30.58%	1,736 50.70%	419 12.24%	159 4.64%	51 1.49%	12 0.35%	3,424 100.00%	4.05	0.865	4.07	0.385
	演習	135 45.61%	122 41.22%	33 11.15%	4 1.35%	2 0.68%	0 0.00%	296 100.00%	4.30	0.772	4.31	0.367
	計	1,182 31.77%	1,858 49.95%	452 12.15%	163 4.38%	53 1.42%	12 0.32%	3,720 100.00%	4.07	0.861	4.12	0.392
経済学部	講義	747 24.11%	1,610 51.97%	484 15.62%	181 5.84%	67 2.16%	9 0.29%	3,098 100.00%	3.90	0.905	3.94	0.424
	演習	53 49.07%	44 40.74%	11 10.19%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.39	0.667	4.39	0.332
	計	800 24.95%	1,654 51.59%	495 15.44%	181 5.65%	67 2.09%	9 0.28%	3,206 100.00%	3.92	0.902	4.00	0.439
文学部	講義	942 38.85%	1,186 48.91%	201 8.29%	65 2.68%	27 1.11%	4 0.16%	2,425 100.00%	4.22	0.795	4.24	0.366
	演習	345 39.93%	401 46.41%	89 10.30%	20 2.31%	7 0.81%	2 0.23%	864 100.00%	4.23	0.787	4.23	0.428
	計	1,287 39.13%	1,587 48.25%	290 8.82%	85 2.58%	34 1.03%	6 0.18%	3,289 100.00%	4.22	0.793	4.24	0.390
理学部	講義	480 25.17%	1,007 52.81%	297 15.05%	94 4.93%	33 1.73%	6 0.31%	1,907 100.00%	3.95	0.869	3.95	0.389
	演習	99 24.03%	220 53.40%	72 17.48%	15 3.64%	5 1.21%	1 0.24%	412 100.00%	3.96	0.819	4.00	0.375
	計	579 24.97%	1,227 52.91%	359 15.48%	109 4.70%	38 1.64%	7 0.30%	2,319 100.00%	3.95	0.860	3.96	0.385
国際社会科学部	講義	385 30.20%	677 53.10%	124 9.73%	60 4.71%	27 2.12%	2 0.16%	1,275 100.00%	4.05	0.882	3.96	0.402
	演習	17 32.69%	26 50.00%	6 11.54%	3 5.77%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.10	0.823	4.08	0.460
	語学	95 31.99%	162 54.55%	28 9.43%	8 2.69%	3 1.01%	1 0.34%	297 100.00%	4.14	0.772	4.16	0.333
	計	497 30.60%	865 53.26%	158 9.73%	71 4.37%	30 1.85%	3 0.18%	1,624 100.00%	4.07	0.861	4.05	0.388
教職課程	講義	112 31.82%	165 46.88%	50 14.20%	20 5.68%	5 1.42%	0 0.00%	352 100.00%	4.02	0.904	4.21	0.374
	演習	102 40.64%	121 48.21%	22 8.76%	4 1.59%	2 0.80%	0 0.00%	251 100.00%	4.26	0.750	4.23	0.392
	計	214 35.49%	286 47.43%	72 11.94%	24 3.98%	7 1.16%	0 0.00%	603 100.00%	4.12	0.851	4.22	0.379
学芸員	講義	82 32.80%	138 55.20%	18 7.20%	9 3.60%	1 0.40%	2 0.80%	250 100.00%	4.17	0.746	4.26	0.358
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	82 32.80%	138 55.20%	18 7.20%	9 3.60%	1 0.40%	2 0.80%	250 100.00%	4.17	0.746	4.26	0.358
合計	6,348 30.85%	10,417 50.63%	2,581 12.54%	879 4.27%	293 1.42%	56 0.27%	20,574 100.00%	4.06	0.856	4.08	0.409	

【形態別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,992 30.59%	8,304 50.88%	2,012 12.33%	724 4.44%	243 1.49%	46 0.28%	16,321 100.00%	4.05	0.860	4.08	0.396
演習	793 35.53%	1,074 48.12%	276 12.37%	66 2.96%	19 0.85%	4 0.18%	2,232 100.00%	4.15	0.809	4.16	0.429
語学	563 27.86%	1,039 51.41%	293 14.50%	89 4.40%	31 1.53%	6 0.30%	2,021 100.00%	4.00	0.860	4.00	0.414
合計	6,348 30.85%	10,417 50.63%	2,581 12.54%	879 4.27%	293 1.42%	56 0.27%	20,574 100.00%	4.06	0.856	4.08	0.409

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,430 30.06%	5,784 50.69%	1,522 13.34%	502 4.40%	144 1.26%	29 0.25%	11,411 100.00%	4.04	0.851
学部2年	1,619 28.87%	2,964 52.86%	702 12.52%	227 4.05%	83 1.48%	12 0.21%	5,607 100.00%	4.04	0.842
学部3年	1,064 36.58%	1,365 46.92%	292 10.04%	120 4.13%	57 1.96%	11 0.38%	2,909 100.00%	4.12	0.892
学部4年	227 36.55%	291 46.86%	62 9.98%	28 4.51%	9 1.45%	4 0.64%	621 100.00%	4.13	0.875

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	558 33.04%	834 49.38%	209 12.37%	65 3.85%	20 1.18%	3 0.18%	1,689 100.00%	4.09	0.841	4.10	0.435
26～50名	1,230 32.44%	1,896 50.00%	460 12.13%	152 4.01%	43 1.13%	11 0.29%	3,792 100.00%	4.09	0.838	4.10	0.443
51～100名	1,432 29.04%	2,500 50.70%	706 14.32%	215 4.36%	62 1.26%	16 0.32%	4,931 100.00%	4.02	0.850	4.06	0.381
101～200名	1,118 32.69%	1,712 50.06%	383 11.20%	138 4.04%	60 1.75%	9 0.26%	3,420 100.00%	4.08	0.868	4.07	0.395
201名以上	2,010 29.81%	3,475 51.54%	823 12.21%	309 4.58%	108 1.60%	17 0.25%	6,742 100.00%	4.04	0.865	4.04	0.340
合計	6,348 30.85%	10,417 50.63%	2,581 12.54%	879 4.27%	293 1.42%	56 0.27%	20,574 100.00%	4.06	0.856	4.08	0.409

Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	424 30.07%	787 55.82%	138 9.79%	45 3.19%	14 0.99%	2 0.14%	1,410 100.00%	4.11	0.778	4.13	0.310
外七	語学	503 29.18%	903 52.38%	210 12.18%	81 4.70%	27 1.57%	0 0.00%	1,724 100.00%	4.03	0.861	4.03	0.423
スポーツ	演習	36 14.46%	139 55.82%	47 18.88%	21 8.43%	5 2.01%	1 0.40%	249 100.00%	3.73	0.885	3.74	0.400
基礎教養	講義	765 35.09%	1,150 52.75%	190 8.72%	55 2.52%	15 0.69%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.19	0.752	4.22	0.271
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	765 35.09%	1,150 52.75%	190 8.72%	55 2.52%	15 0.69%	5 0.23%	2,180 100.00%	4.19	0.752	4.22	0.271
法学部	講義	981 28.65%	1,817 53.07%	405 11.83%	155 4.53%	60 1.75%	6 0.18%	3,424 100.00%	4.03	0.863	4.04	0.380
	演習	131 44.26%	130 43.92%	28 9.46%	6 2.03%	1 0.34%	0 0.00%	296 100.00%	4.30	0.750	4.30	0.319
	計	1,112 29.89%	1,947 52.34%	433 11.64%	161 4.33%	61 1.64%	6 0.16%	3,720 100.00%	4.05	0.857	4.10	0.383
経済学部	講義	808 26.08%	1,640 52.94%	452 14.59%	134 4.33%	62 2.00%	2 0.06%	3,098 100.00%	3.97	0.872	3.98	0.397
	演習	47 43.52%	50 46.30%	10 9.26%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.32	0.681	4.32	0.340
	計	855 26.67%	1,690 52.71%	462 14.41%	135 4.21%	62 1.93%	2 0.06%	3,206 100.00%	3.98	0.868	4.03	0.404
文学部	講義	810 33.40%	1,254 51.71%	264 10.89%	67 2.76%	28 1.15%	2 0.08%	2,425 100.00%	4.14	0.800	4.16	0.357
	演習	332 38.43%	426 49.31%	82 9.49%	19 2.20%	4 0.46%	1 0.12%	864 100.00%	4.23	0.746	4.22	0.415
	計	1,142 34.72%	1,680 51.08%	346 10.52%	86 2.61%	32 0.97%	3 0.09%	3,289 100.00%	4.16	0.787	4.18	0.381
理学部	講義	470 24.65%	1,031 54.06%	277 14.53%	94 4.93%	34 1.78%	11 0.05%	1,907 100.00%	3.95	0.865	3.95	0.355
	演習	99 24.03%	218 52.91%	68 16.50%	19 4.61%	6 1.46%	2 0.49%	412 100.00%	3.94	0.850	4.02	0.398
	計	569 24.54%	1,249 53.86%	345 14.88%	113 4.87%	40 1.72%	3 0.13%	2,319 100.00%	3.95	0.862	3.96	0.363
国際社会科学部	講義	370 29.02%	699 54.82%	119 9.33%	61 4.78%	25 1.96%	1 0.08%	1,275 100.00%	4.04	0.866	3.96	0.361
	演習	17 32.69%	28 53.85%	5 9.62%	2 3.85%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.15	0.751	4.15	0.416
	語学	116 39.06%	142 47.81%	25 8.42%	11 3.70%	3 1.01%	0 0.00%	297 100.00%	4.20	0.822	4.21	0.357
	計	503 30.97%	869 53.51%	149 9.17%	74 4.56%	28 1.72%	1 0.06%	1,624 100.00%	4.08	0.857	4.07	0.380
	教職課程	100 28.41%	172 48.86%	57 16.19%	17 4.83%	6 1.70%	0 0.00%	352 100.00%	3.97	0.891	4.16	0.371
学芸員	講義	101 40.24%	123 49.00%	24 9.56%	2 0.80%	1 0.40%	0 0.00%	251 100.00%	4.28	0.700	4.26	0.315
	演習	201 33.33%	295 48.92%	81 13.43%	19 3.15%	7 1.16%	0 0.00%	603 100.00%	4.10	0.830	4.22	0.341
	計	78 31.20%	134 53.60%	24 9.60%	11 4.40%	1 0.40%	2 0.80%	250 100.00%	4.12	0.783	4.23	0.333
合計	6,188 30.08%	10,843 52.70%	2,425 11.79%	801 3.89%	292 1.42%	25 0.12%	20,574 100.00%	4.06	0.836	4.09	0.389	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,806 29.45%	8,684 53.21%	1,926 11.80%	639 3.92%	245 1.50%	21 0.13%	16,321 100.00%	4.05	0.838	4.08	0.364
演習	763 34.18%	1,114 49.91%	264 11.83%	70 3.14%	17 0.76%	4 0.18%	2,232 100.00%	4.14	0.798	4.15	0.424
語学	619 30.63%	1,045 51.71%	235 11.63%	92 4.55%	30 1.48%	0 0.00%	2,021 100.00%	4.05	0.858	4.05	0.418
合計	6,188 30.08%	10,843 52.70%	2,425 11.79%	801 3.89%	292 1.42%	25 0.12%	20,574 100.00%	4.06	0.836	4.09	0.389

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	3,474 30.44%	6,023 52.78%	1,329 11.65%	432 3.79%	138 1.21%	15 0.13%	11,411 100.00%	4.08	0.822
学部2年	1,518 27.07%	3,061 54.59%	713 12.72%	221 3.94%	89 1.59%	5 0.09%	5,607 100.00%	4.02	0.836
学部3年	975 33.52%	1,438 49.43%	317 10.90%	118 4.06%	58 1.99%	3 0.10%	2,909 100.00%	4.09	0.883
学部4年	213 34.30%	310 49.92%	62 9.98%	28 4.51%	7 1.13%	1 0.16%	621 100.00%	4.12	0.844

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	587 34.75%	824 48.79%	194 11.49%	64 3.79%	18 1.07%	2 0.12%	1,689 100.00%	4.13	0.834	4.13	0.427
26~50名	1,218 32.12%	1,973 52.03%	408 10.76%	147 3.88%	43 1.13%	3 0.08%	3,792 100.00%	4.10	0.822	4.11	0.428
51~100名	1,446 29.32%	2,640 53.54%	603 12.23%	175 3.55%	61 1.24%	6 0.12%	4,931 100.00%	4.06	0.816	4.07	0.339
101~200名	1,056 30.88%	1,769 51.73%	391 11.43%	138 4.04%	61 1.78%	5 0.15%	3,420 100.00%	4.06	0.862	4.05	0.376
201名以上	1,881 27.90%	3,637 53.95%	829 12.30%	277 4.11%	109 1.62%	9 0.13%	6,742 100.00%	4.03	0.844	4.03	0.307
合計	6,188 30.08%	10,843 52.70%	2,425 11.79%	801 3.89%	292 1.42%	25 0.12%	20,574 100.00%	4.06	0.836	4.09	0.389

Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答					
計七	講義	357 25.32%	765 54.26%	217 15.39%	49 3.48%	21 1.49%	1 0.07%	1,410 100.00%	3.99	0.825	3.99	0.412
外七	語学	544 31.55%	850 49.30%	223 12.94%	66 3.83%	40 2.32%	1 0.06%	1,724 100.00%	4.04	0.898	4.04	0.467
スポーツ	演習	42 16.87%	134 53.82%	59 23.69%	12 4.82%	2 0.80%	0 0.00%	249 100.00%	3.81	0.799	3.81	0.341
基礎教養	講義	813 37.29%	1,089 49.95%	187 8.58%	65 2.98%	23 1.06%	3 0.14%	2,180 100.00%	4.20	0.797	4.20	0.332
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	813 37.29%	1,089 49.95%	187 8.58%	65 2.98%	23 1.06%	3 0.14%	2,180 100.00%	4.20	0.797	4.20	0.332
法学部	講義	1,016 29.67%	1,668 48.71%	468 13.67%	185 5.40%	82 2.39%	5 0.15%	3,424 100.00%	3.98	0.931	3.99	0.488
	演習	138 46.62%	120 40.54%	29 9.80%	8 2.70%	1 0.34%	0 0.00%	296 100.00%	4.30	0.783	4.30	0.391
	計	1,154 31.02%	1,788 48.06%	497 13.36%	193 5.19%	83 2.23%	5 0.13%	3,720 100.00%	4.01	0.924	4.06	0.485
経済学部	講義	850 27.44%	1,498 48.35%	478 15.43%	176 5.68%	92 2.97%	4 0.13%	3,098 100.00%	3.92	0.958	3.95	0.540
	演習	54 50.00%	45 41.67%	8 7.41%	1 0.93%	0 0.00%	0 0.00%	108 100.00%	4.41	0.670	4.40	0.314
	計	904 28.20%	1,543 48.13%	486 15.16%	177 5.52%	92 2.87%	4 0.12%	3,206 100.00%	3.93	0.954	4.01	0.537
文学部	講義	840 34.64%	1,182 48.74%	269 11.09%	97 4.00%	33 1.36%	4 0.16%	2,425 100.00%	4.11	0.853	4.13	0.468
	演習	356 41.20%	395 45.72%	83 9.81%	23 2.66%	5 0.58%	2 0.23%	864 100.00%	4.25	0.780	4.25	0.446
	計	1,196 36.36%	1,577 47.95%	352 10.70%	120 3.65%	38 1.16%	6 0.18%	3,289 100.00%	4.15	0.837	4.18	0.462
理学部	講義	499 26.17%	845 49.55%	315 16.52%	93 4.88%	52 2.73%	3 0.16%	1,907 100.00%	3.92	0.929	3.92	0.478
	演習	86 20.87%	212 51.46%	87 21.12%	18 4.37%	8 1.94%	1 0.24%	412 100.00%	3.85	0.867	3.92	0.412
	計	585 25.23%	1,157 49.89%	402 17.34%	111 4.79%	60 2.59%	4 0.17%	2,319 100.00%	3.91	0.918	3.92	0.464
国際社会科学部	講義	343 26.90%	656 51.45%	169 13.25%	70 5.49%	35 2.75%	2 0.16%	1,275 100.00%	3.94	0.931	3.85	0.500
	演習	19 36.54%	21 40.38%	10 19.23%	1 1.92%	1 1.92%	0 0.00%	52 100.00%	4.08	0.904	4.06	0.664
	語学	121 40.74%	150 50.51%	17 5.72%	6 2.02%	3 1.01%	0 0.00%	297 100.00%	4.28	0.748	4.29	0.340
	計	483 29.74%	827 50.92%	196 12.07%	77 4.74%	39 2.40%	2 0.12%	1,624 100.00%	4.01	0.908	4.04	0.497
教職課程	講義	84 23.86%	153 43.47%	79 22.44%	28 7.95%	8 2.27%	0 0.00%	352 100.00%	3.79	0.971	4.02	0.498
	演習	102 40.64%	121 48.21%	21 8.37%	4 1.59%	3 1.20%	0 0.00%	251 100.00%	4.25	0.774	4.24	0.281
	計	186 30.85%	274 45.44%	100 16.58%	32 5.31%	11 1.82%	0 0.00%	603 100.00%	3.98	0.923	4.14	0.405
学芸員	講義	61 24.40%	138 55.20%	25 10.00%	20 8.00%	5 2.00%	1 0.40%	250 100.00%	3.92	0.919	4.08	0.440
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00	0.000	0.00	0.000
	計	61 24.40%	138 55.20%	25 10.00%	20 8.00%	5 2.00%	1 0.40%	250 100.00%	3.92	0.919	4.08	0.440
合計	6,325 30.74%	10,142 49.30%	2,744 13.34%	922 4.48%	414 2.01%	27 0.13%	20,574 100.00%	4.02	0.895	4.06	0.468	

【形態別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答					
講義	4,863 29.80%	8,094 49.59%	2,207 13.52%	783 4.80%	351 2.15%	23 0.14%	16,321 100.00%	4.00	0.905	4.03	0.475
演習	797 35.71%	1,048 46.95%	297 13.31%	67 3.00%	20 0.90%	3 0.13%	2,232 100.00%	4.14	0.821	4.16	0.444
語学	665 32.90%	1,000 49.48%	240 11.88%	72 3.56%	43 2.13%	1 0.05%	2,021 100.00%	4.08	0.881	4.08	0.458
合計	6,325 30.74%	10,142 49.30%	2,744 13.34%	922 4.48%	414 2.01%	27 0.13%	20,574 100.00%	4.02	0.895	4.06	0.468

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答			
学部1年	3,475 30.45%	5,674 49.72%	1,587 13.91%	484 4.24%	179 1.57%	12 0.11%	11,411 100.00%	4.03	0.868
学部2年	1,614 28.79%	2,842 50.69%	749 13.36%	261 4.65%	131 2.34%	10 0.18%	5,607 100.00%	3.99	0.905
学部3年	1,011 34.75%	1,327 45.62%	332 11.41%	155 5.33%	82 2.82%	2 0.07%	2,909 100.00%	4.04	0.963
学部4年	217 34.94%	286 46.05%	72 11.59%	22 3.54%	21 3.38%	3 0.48%	621 100.00%	4.06	0.956

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答					
25名以下	624 36.94%	799 47.31%	185 10.95%	55 3.26%	25 1.48%	1 0.06%	1,689 100.00%	4.15	0.849	4.15	0.475
26~50名	1,221 32.20%	1,871 49.34%	501 13.21%	145 3.82%	53 1.40%	1 0.03%	3,792 100.00%	4.07	0.853	4.09	0.473
51~100名	1,440 29.20%	2,465 49.99%	711 14.42%	199 4.04%	107 2.17%	9 0.18%	4,931 100.00%	4.00	0.891	4.03	0.454
101~200名	1,098 32.11%	1,620 47.37%	434 12.69%	180 5.26%	83 2.43%	5 0.15%	3,420 100.00%	4.02	0.937	3.99	0.497
201名以上	1,942 28.80%	3,387 50.24%	913 13.54%	343 5.09%	146 2.17%	11 0.16%	6,742 100.00%	3.99	0.907	4.00	0.419
合計	6,325 30.74%	10,142 49.30%	2,744 13.34%	922 4.48%	414 2.01%	27 0.13%	20,574 100.00%	4.02	0.895	4.06	0.468

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		令和2年度	令和3年度
委員長	副学長	山本政人	山本政人
委員	学生センター所長	村主道美	村主道美
委員	学長室部長	宮澤文玄	宮澤文玄
委員	法学部	櫻井敬子	櫻井敬子
委員	経済学部	守島基博	守島基博
委員	文学部	前田直子	前田直子
委員	理学部	宇田川将文	宇田川将文
委員	国際社会科学部	ガルシア, クレマンス	ガルシア, クレマンス 山崎 泉
委員	法務研究科	原 恵美	原 恵美
委員	スポーツ・健康科学センター	羽田雄一	羽田雄一
委員	計算機センター	申 吉浩	申 吉浩
委員	外国語教育研究センター	中竹真依子	中竹真依子
委員	教職課程	梅野正信	宮盛邦友
委員	学芸員課程委員会	佐野みどり	島尾 新

学習院大学
令和2（2020）年度「授業評価アンケート」報告書

令和3（2021）年9月

編 集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
発 行 学習院大学
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL 03(5992)9537
お問合せ先：学長室経営企画課